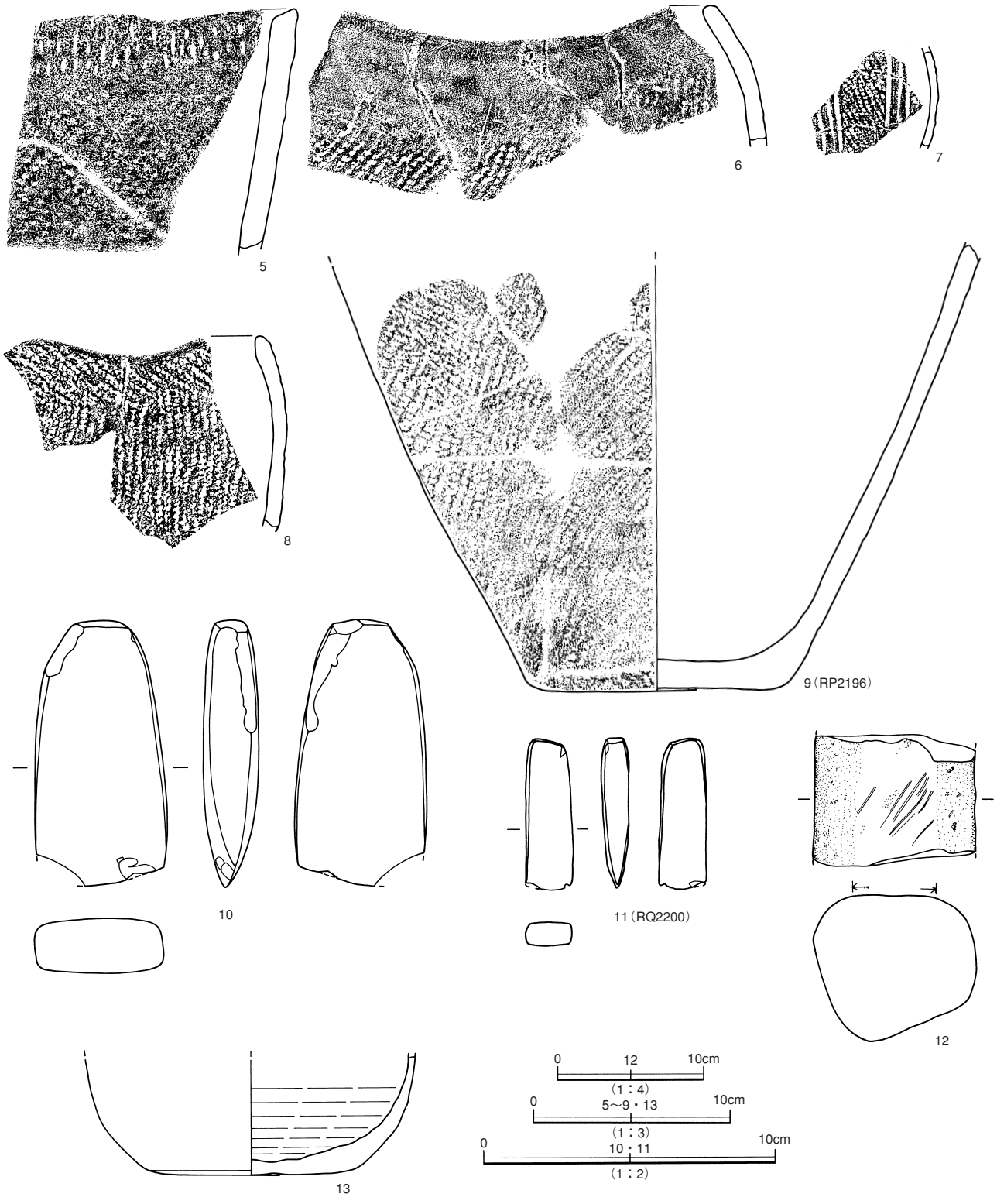
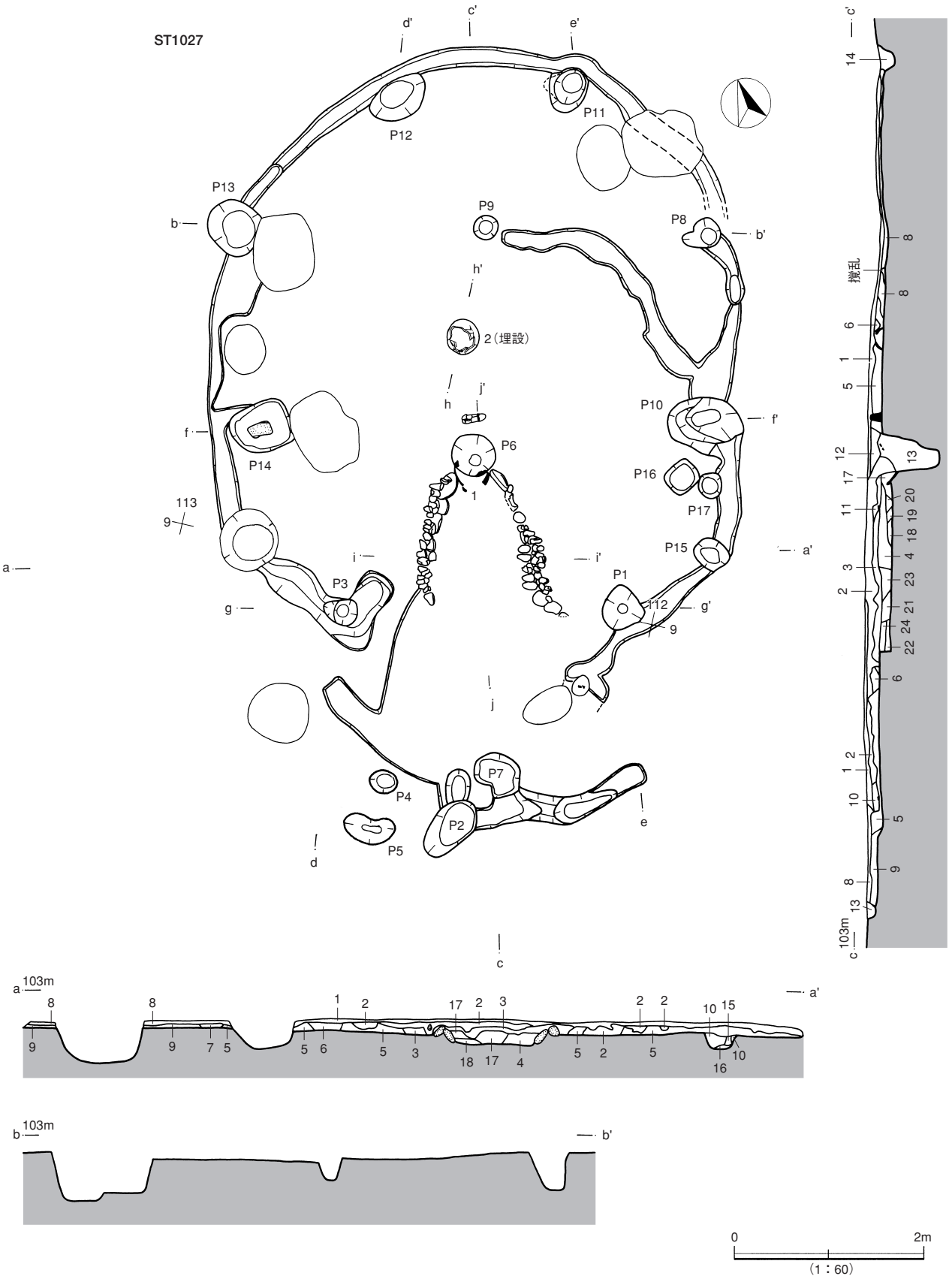
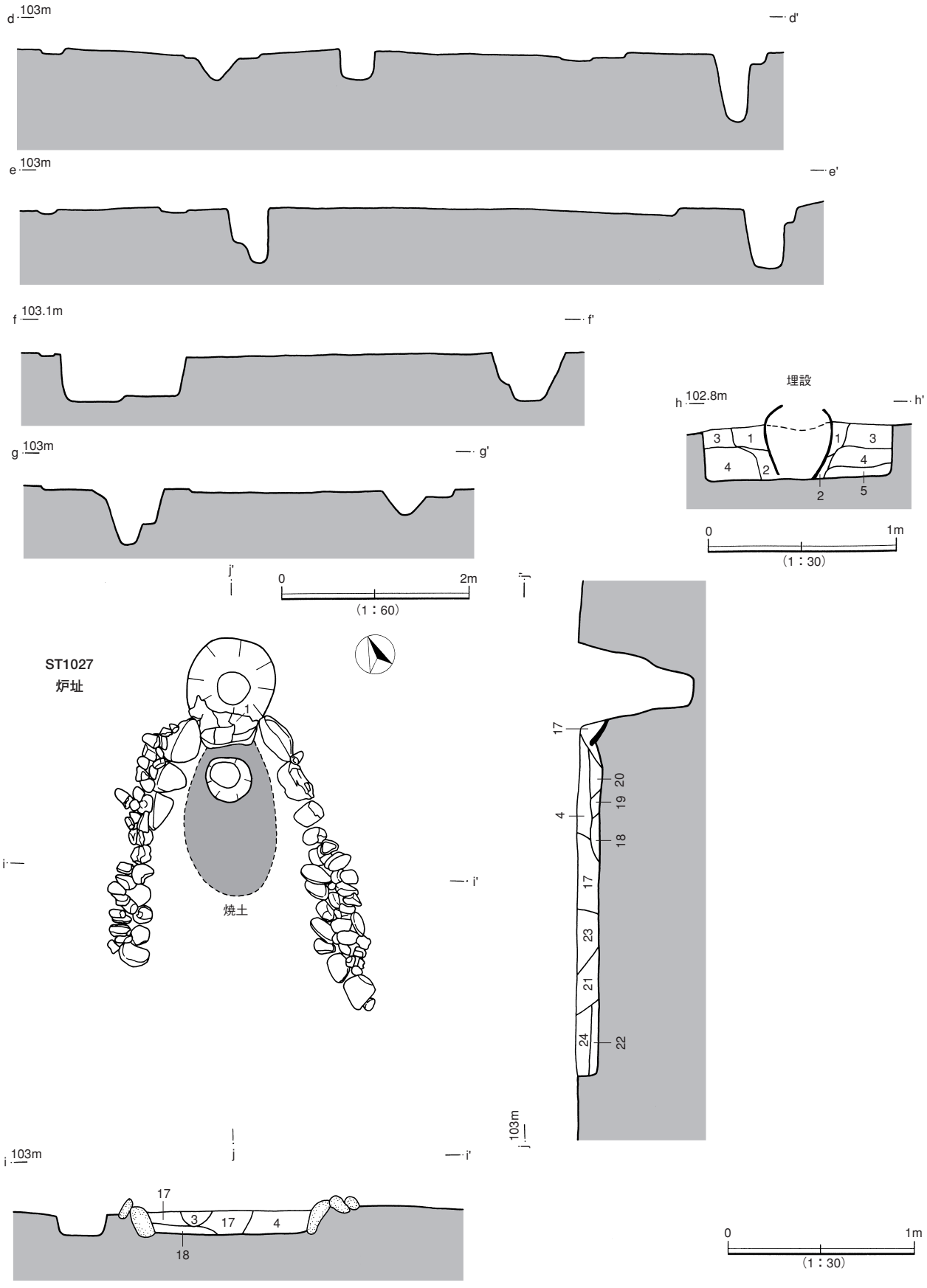


第327図　ST1005 住居跡出土遺物（３）

Title:P364-384_縄文時代.ec6 Page:377 Date: 2005/03/18 Fri 16:12:34



第328図　ST1027 住居跡（１）



第329図　ST1027 住居跡（２）

Title:P364-384_縄文時代.ec6 Page:379 Date: 2005/03/18 Fri 16:24:45

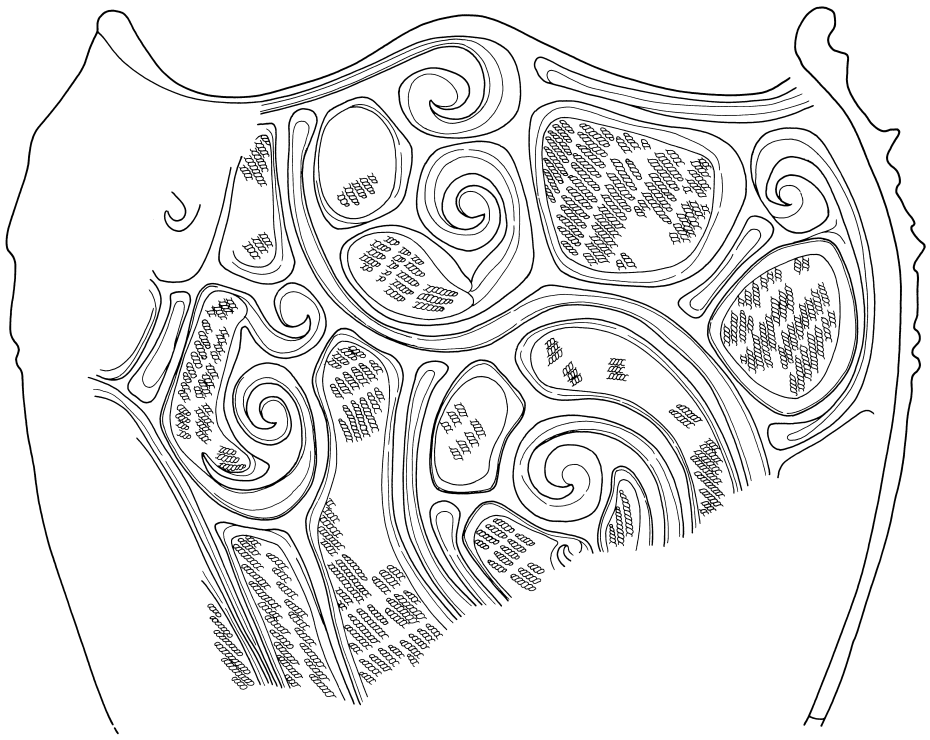
ST1027

a-a'・c-c'・i-i'・j-j'

1	黒色砂質土	黄褐色土粒少量混入
2	黒色砂質土	黄褐色砂質土ブロック、木炭粒少量混入 黄褐色砂質土粒多く混入
3	暗褐色砂質土	焼土粒、木炭粒、少量混入
4	暗茶褐色砂質土	焼土多量に混入、炉址
5	暗黄褐色土	暗褐色砂質土、黒色砂質土粒少量混入
6	暗褐色砂質土	黒色砂質土少量混入
7	暗褐色砂質土	黄褐色砂質土少量混入
8	黄褐色砂質土	暗褐色砂質土粒少量混入
9	黄褐色砂質土	地山
10	暗褐色砂質土	木炭粒わずかに混入
11	黒褐色砂質土	木炭粒、焼土粒少量混入
12	黒褐色土	黄褐色土粒、同ブロック多量に混入
13	暗褐色土	黄褐色土、黄褐色土ブロック多く混入
14	黒褐色砂質土	黒色砂質土粒わずかに混入
15	黒色砂質土	黄褐色砂質土わずかに混入
16	暗褐色砂質土	10と同様だが、黄褐色砂質土多い
17	暗赤褐色砂質土	焼土4を少量混入、4より焼土多い
18	暗褐色土	白色砂多く混入
19	暗茶褐色砂質土	焼土+白色砂
20	暗茶褐色砂質土	4より焼土多く、17より少ない
21	暗黄褐色砂	木炭粒、白色砂混入
22	黄白色砂	
23	暗褐色砂質土	3と似るが、焼土粒混入しない
24		21と似るが、21より黄白色砂多い

h-h'

1	暗黄褐色砂	木根撹乱、ブロック入る
2	暗黄褐色砂	わずかに木炭粒混入
3	暗黄褐色砂	撹乱ブロック入る、地山
4	暗黄褐色砂	3より暗色、わずかに木炭粒混入、地山
5	暗黄褐色砂	3と同様地山であろう

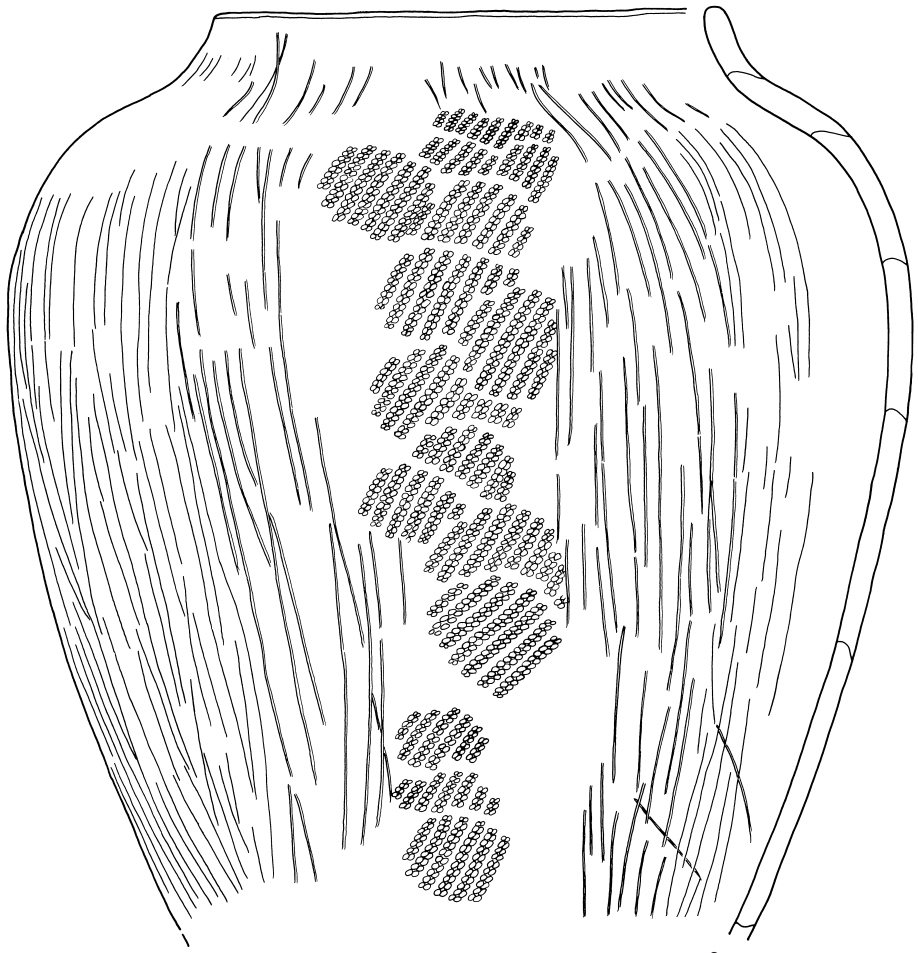


1

0　10cm
（1：3）

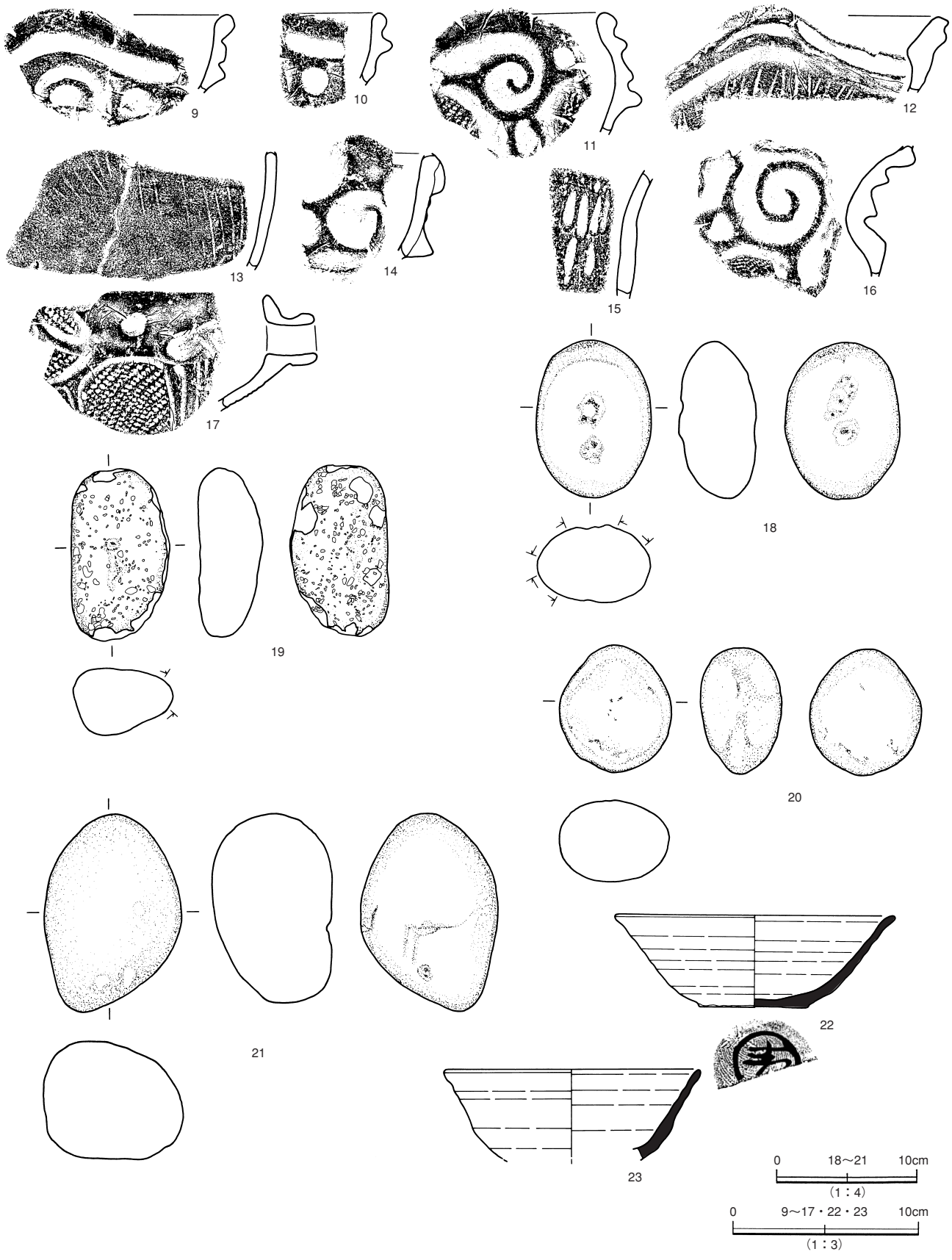
第330図　ST1027 住居跡出土遺物（1）

Title:P364-384_縄文時代.ec6 Page:380 Date: 2005/03/18 Fri 16:28:06

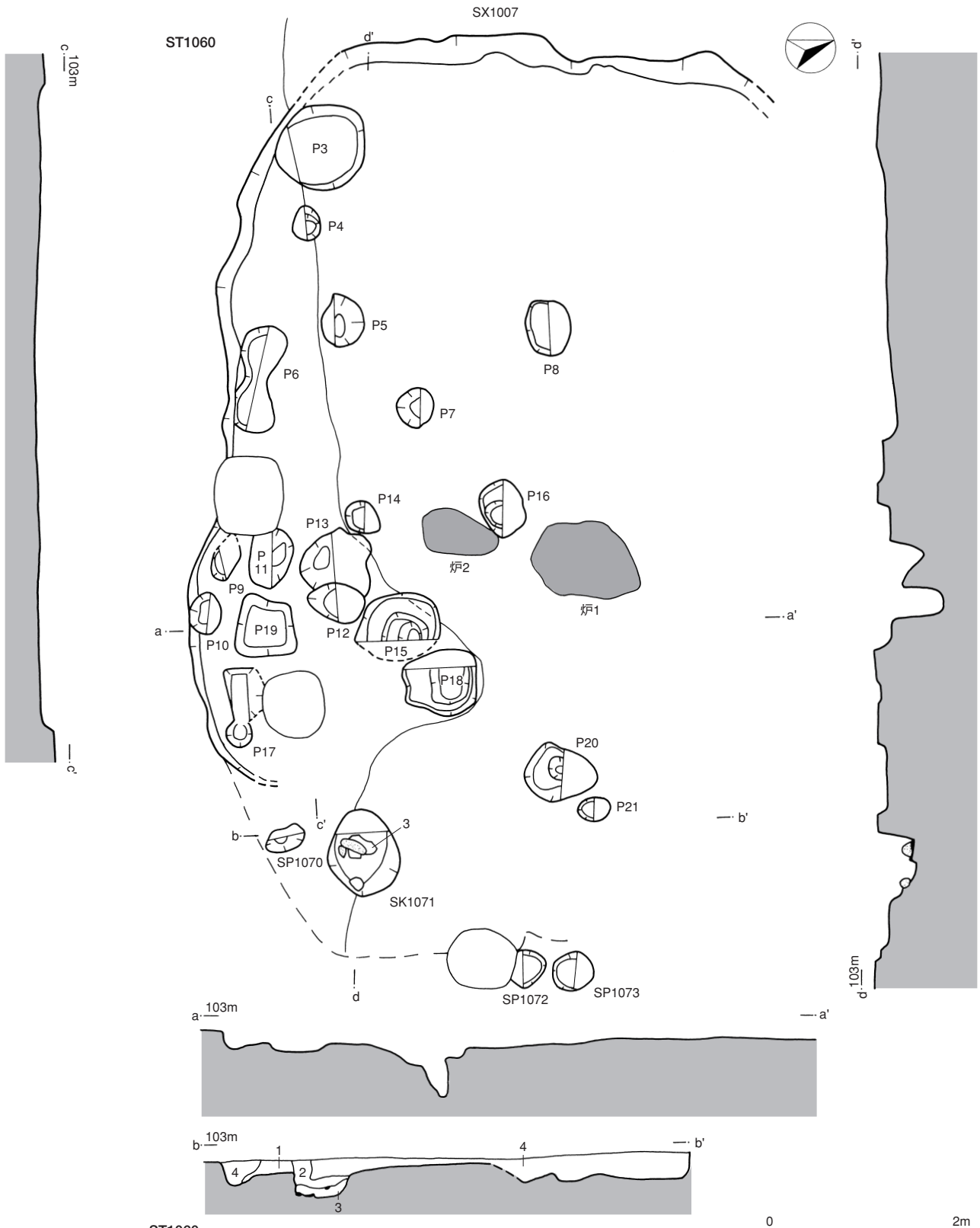


第331図　ST1027 住居跡出土遺物（２）

Title:P364-384_縄文時代.ec6 Page:381 Date: 2005/03/18 Fri 16:32:10



第332図　ST1027 住居跡出土遺物（３）



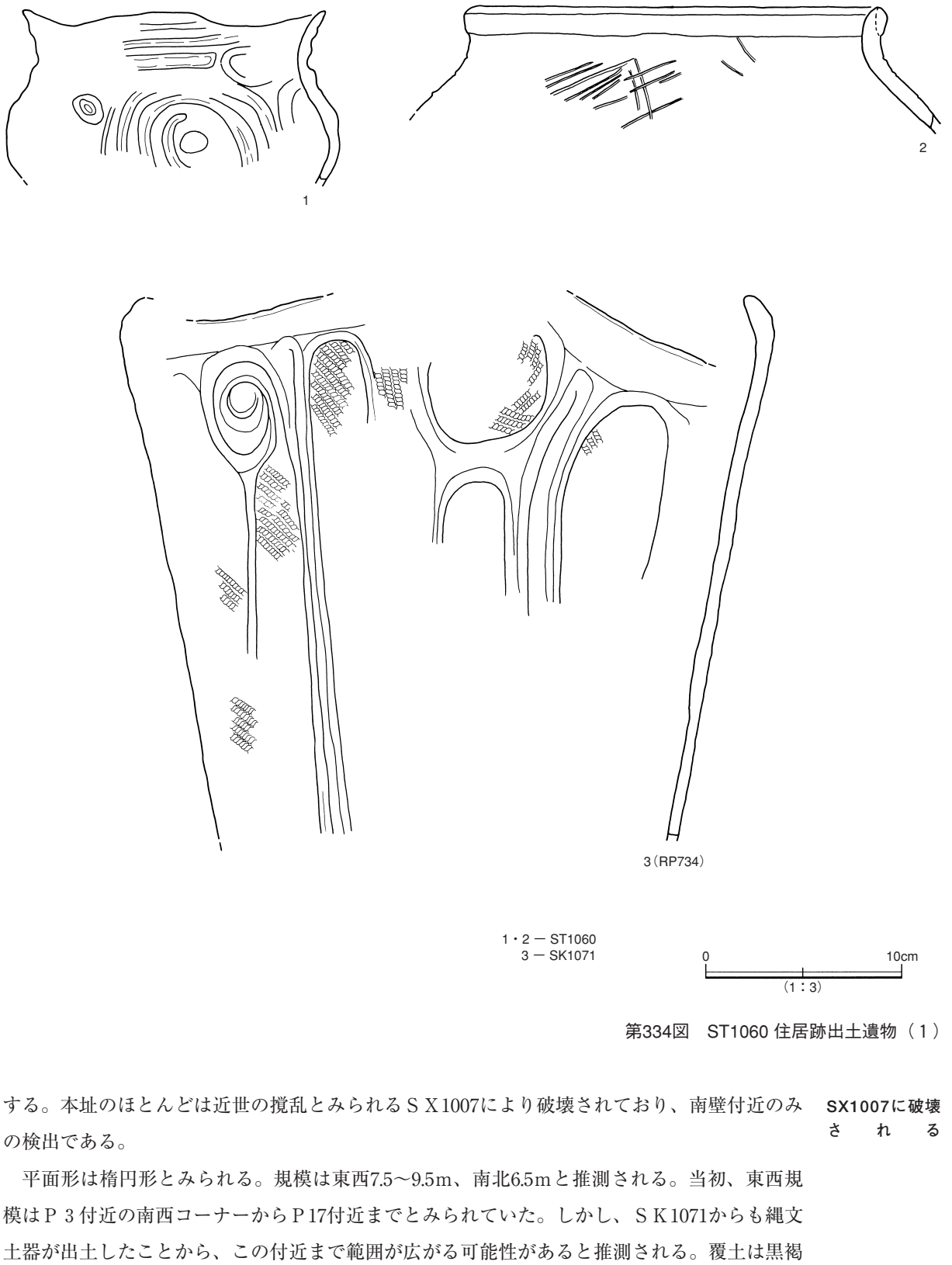
ST1060
1　10YR3/2　黒褐色微砂　炭化粒を僅かに含み汚れている、しまる、純粋層

SK1071
2　10YR3/4　暗褐色微砂　炭化粒を僅かに含み汚れている、しまる、純粋層
3　10YR3/3　暗褐色微砂　炭化粒を含み、遺物を含む、汚れている、1より色調暗くしまる
4　撹乱　10YR2/2黒褐色シルトと10YR2/1黒色シルトの混合土、盛土・地山土をブロックで含む

SP1070
4　10YR3/4　暗褐色微砂　炭化粒を僅かに含み汚れている、しまる、純粋層

第333図　ST1060 住居跡

Title:P364-384_縄文時代.ec6 Page:383 Date: 2005/03/19 Sat 09:28:08



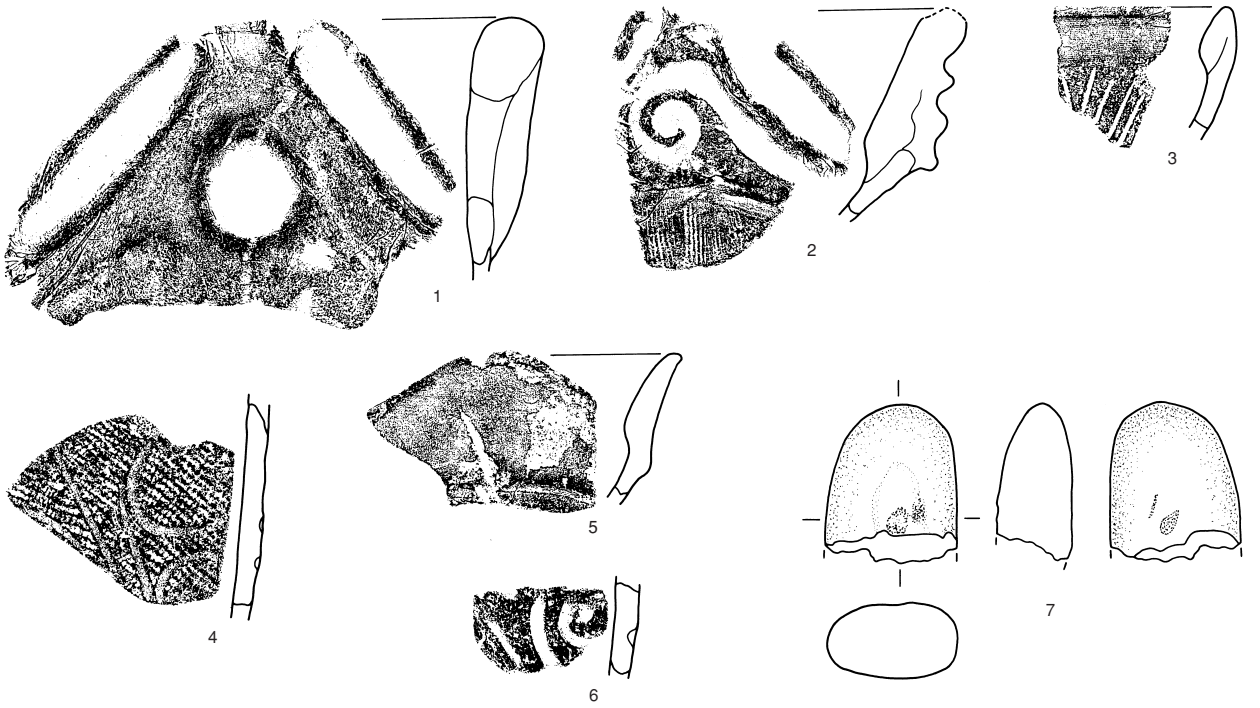
第334図　ST1060 住居跡出土遺物（１）

SX1007に破壊される

する。本址のほとんどは近世の撹乱とみられるＳＸ1007により破壊されており、南壁付近のみの検出である。

平面形は楕円形とみられる。規模は東西7.5～9.5m、南北6.5mと推測される。当初、東西規模はＰ３付近の南西コーナーからＰ17付近までとみられていた。しかし、ＳＫ1071からも縄文土器が出土したことから、この付近まで範囲が広がる可能性があると推測される。覆土は黒褐色微砂を主体とする。

壁は地山黄褐色砂質土を垂直に掘り込む。床は黄褐色砂質土の直床で、踏み固められた堅緻な床面は検出されない。柱穴は床面の20カ所で検出された。主な柱穴の深さは次の通りである。



第335図　ST1060 住居跡出土遺物（２）

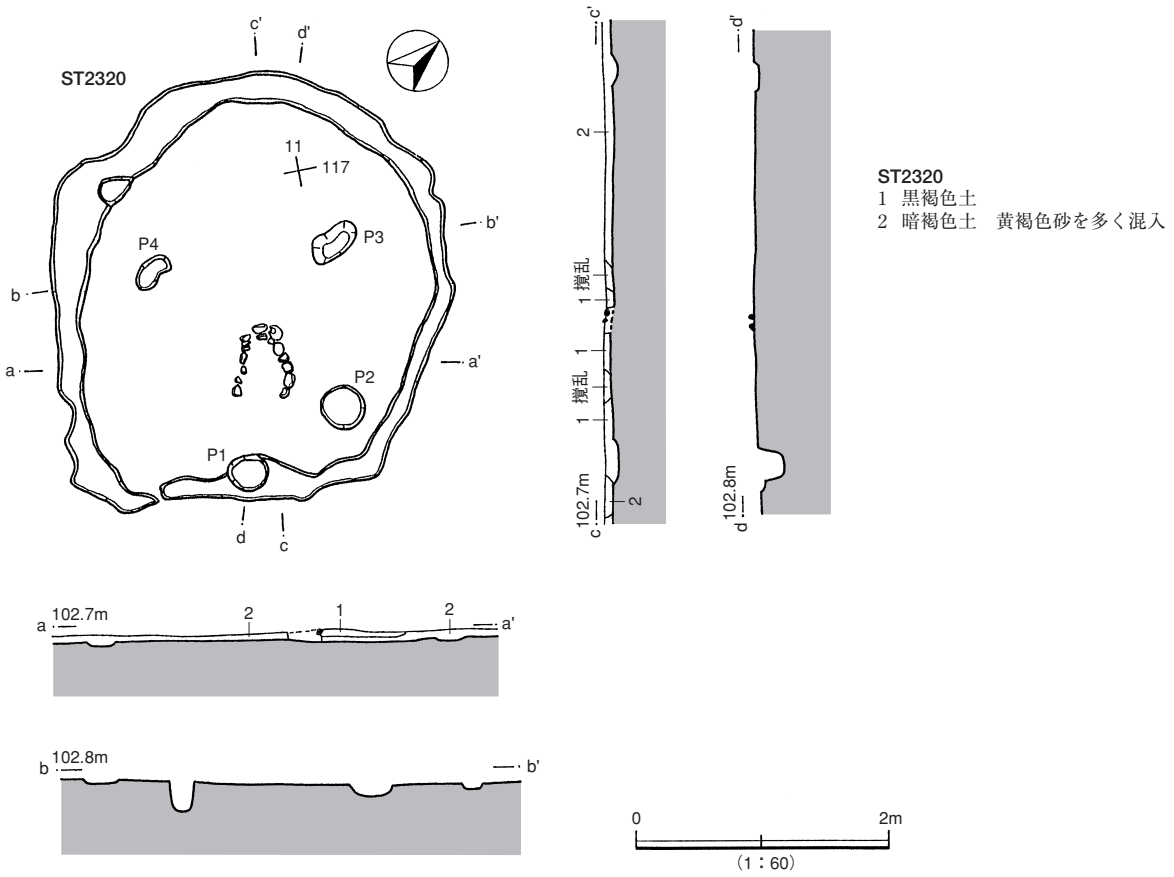
Ｐ５（50cm）、Ｐ7（40cm）、Ｐ８（48cm）、Ｐ12（50cm）、Ｐ13（35cm）、Ｐ15（50cm）、Ｐ16（46cm）、Ｐ18（20cm）、Ｐ20（26cm）、Ｐ21（21cm）などである。この他は深さ10cm前後である。炉は地床炉で２カ所で検出された。ＥＬ１は床面より10cmほど下がる。ＥＬ２は床面とほぼ同レベルである。

２　基　の　炉

ＳＫ1071は本址の柱穴又は土坑とみられる。規模は長軸90cm、短軸70cm、深さ27cmを測る。住居跡と同様の覆土で、３の深鉢が出土している。

遺物は第334図１・２が本址の覆土中で、３はＳＫ1071内から出土している。第335図１～９はＳＸ1007出土であるが、本址に関連する遺物とみられるため掲載した。第334図１は台付鉢とみ

Title:P385-389_縄文時代.ec6 Page:385 Date: 2005/03/19 Sat 09:30:07



ST2320
1　黒褐色土
2　暗褐色土　黄褐色砂を多く混入

第336図　ST2320 住居跡

られるが明確ではない。2は半截竹管文が口縁下部に施文される深鉢。3は渦巻文などを施す深鉢である。1・3は器面の摩滅が著しい。

ＳＸ1007の1～6は太い沈線文・渦巻文・細い沈線文などの深鉢・浅鉢片である。7は凹石、8・9は須恵器坏・甕である。

ＳＴ2320住居跡（第336図　写遺構－80）

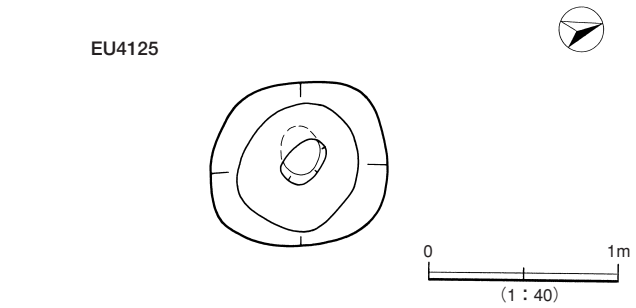
第5調査区のグリッド11・12－117・118に位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は東西3.4m、南北3.2mを測る。表土除去後の遺構確認時に、周溝と石囲炉が検出されたため住居跡と認定した。覆土はほとんど検出されないが黒褐色砂とみられる。壁面・床面は検出されない。柱穴は4カ所で検出された。深さはＰ1・4は20～24cm、Ｐ2は3cm、Ｐ3が10cmである。Ｐ1・4以外は柱穴とはみられない。炉は小礫が馬蹄形に配置されるが、焼土などは検出されない。遺物の出土はないが、炉や住居の形態、付近に所在するＳＴ1005・1027と同様中期と考える。

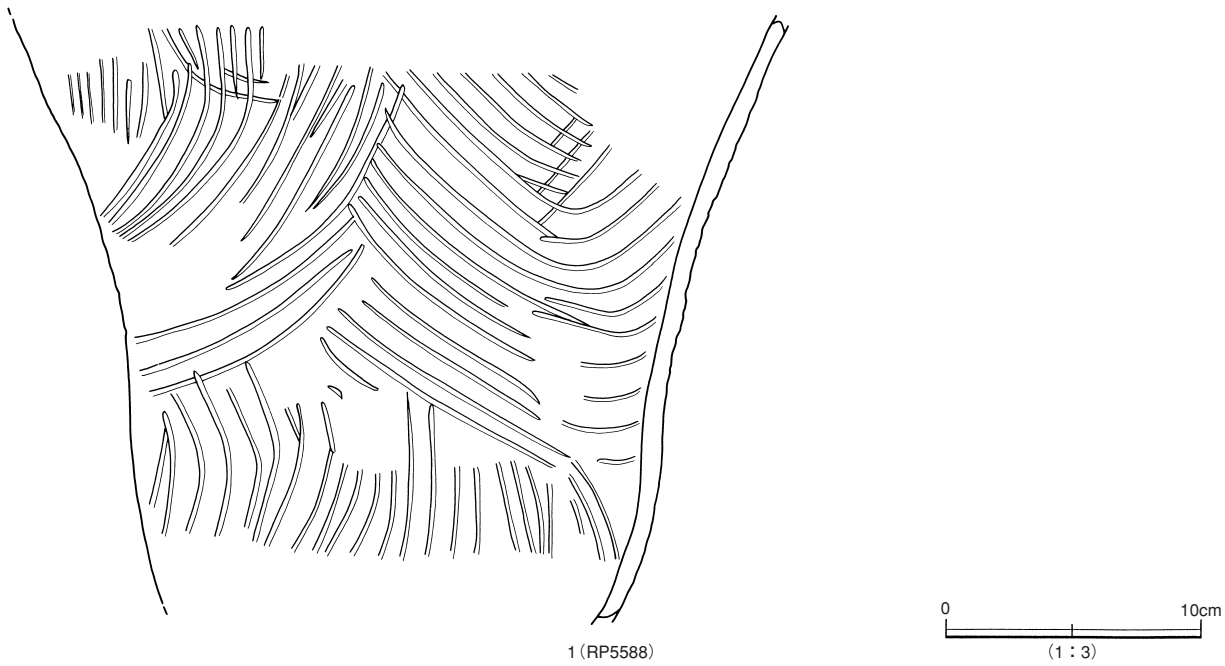
石　囲　炉

ＥＵ4125埋設土器（第337図　写遺物－22・115）

第5調査区グリッド12－113に位置する。ＳＴ1103の南側に所在する。埋設土器遺構とみられる。径90cmのピットの中から深鉢の胴部が出土している。1の深鉢は先端の鋭い篦状施文具による沈線文が全面に施される。

ＳＫ1013出土の深鉢型土器1～3は1次調査で5区の遺構確認時に取り上げられた。土坑状





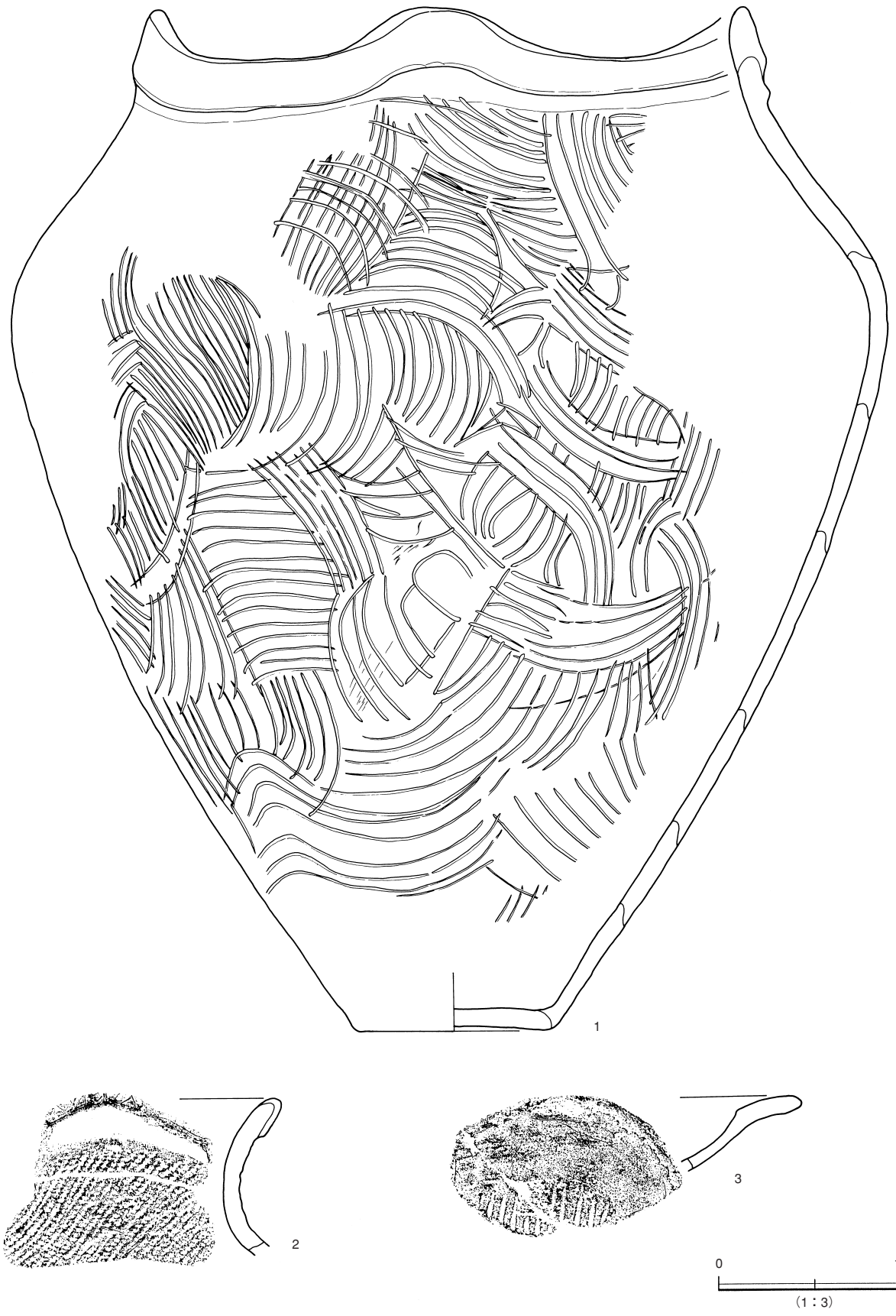
第337図　EU4125 埋設土器

のプランが確認されたためＳＫ1013と登録された。しかし翌年、２次調査で再度検出を試みたが検出されなかった。よってここでは遺物のみの掲載である。報告ではグリッド12－113の検出とあり、本址はＥＵ4125と同地区での検出である。ＥＵ4125と同様の埋設遺構と推測される。あるいはＥＵ4125と同じ遺構の可能性も考えられる。第334図１はＥＵ4125出土の深鉢と同様の文様を施文される。この他、第339図の１～16は５区のＳＫ1112～ＳＫ1114・1158・2371内出土の縄文中期大木９式土器の深鉢片である。

ＳＴ2000住居跡（第340図　写遺構－147　写遺物－36）

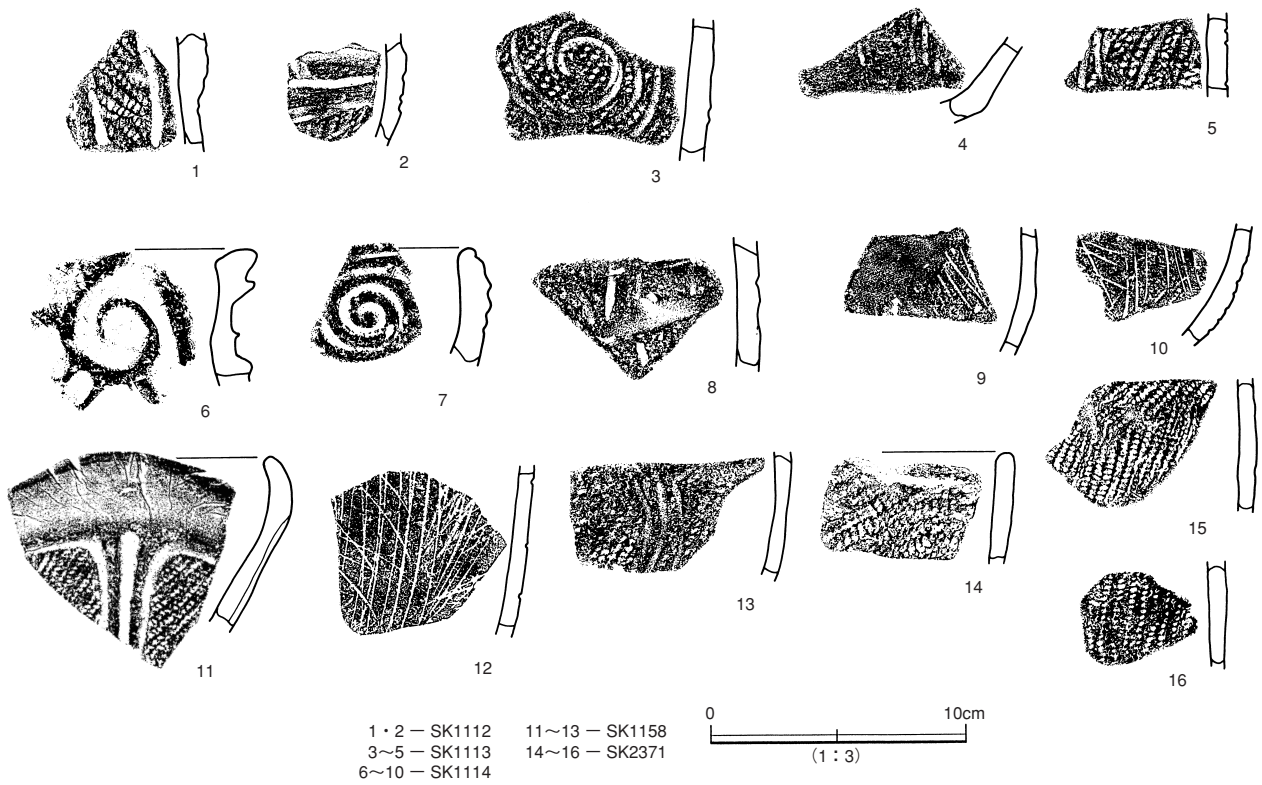
グリッド21－83・84に位置する。上部削平の為、炉・ピットのみの検出である。北西部は調査区外にかかる。雑木の撹乱を受け、炉付近は壊されている。北側５ｍには縄文時代中期中葉のフラスコ状土坑ＳＫ894が所在する。覆土は暗褐色土の自然堆積である。平面形は円形とみられる。規模は径3.5～４ｍ以上である。床は地山黄褐色土の直床。南東部の溝２条は当初本址の周溝と考えていたが、溝のラインや堆積土の違いから周溝ではないと判断した。ただ、ＳＤ２は溝内にピットがあり、こちらが本址の周溝とも推測される。柱穴はＰ１～15である。このうち、Ｐ４・８・10～12は深くしっかりした柱穴、Ｐ５・６は浅いが良好な柱穴。Ｐ８は本来上端

Title:P385-389_縄文時代.ec6 Page:387 Date: 2005/03/18 Fri 16:38:51



第338図　SK1013 土坑出土遺物

Title:P385-389_縄文時代.ec6 Page:388 Date: 2005/03/19 Sat 09:33:32



第339図　SK1112・1113・1114・1158・2371 土坑出土遺物

となりうる部分が雑木根により破壊されているが、良好な柱穴と思われる。

複　式　炉　炉は複式炉で炉北側部分の石組みは雑木根により壊されている。前庭部にあたる部分はない。本址全体が雑木の撹乱を受けており、抜根作業時に石を取り除いてしまった可能性がある。石組部に敷石はみられない。当初は上記の理由で取り除いてしまったものとも考えたが、土器埋設部近くの底面が火を受けていることから、これが本来の姿であると推測されるが、そうすると焼土の範囲が狭すぎることになる。埋設土器の周辺は良く焼けているが、石組部では埋設土器に一番近い石以外は、火を受けた痕跡はない。

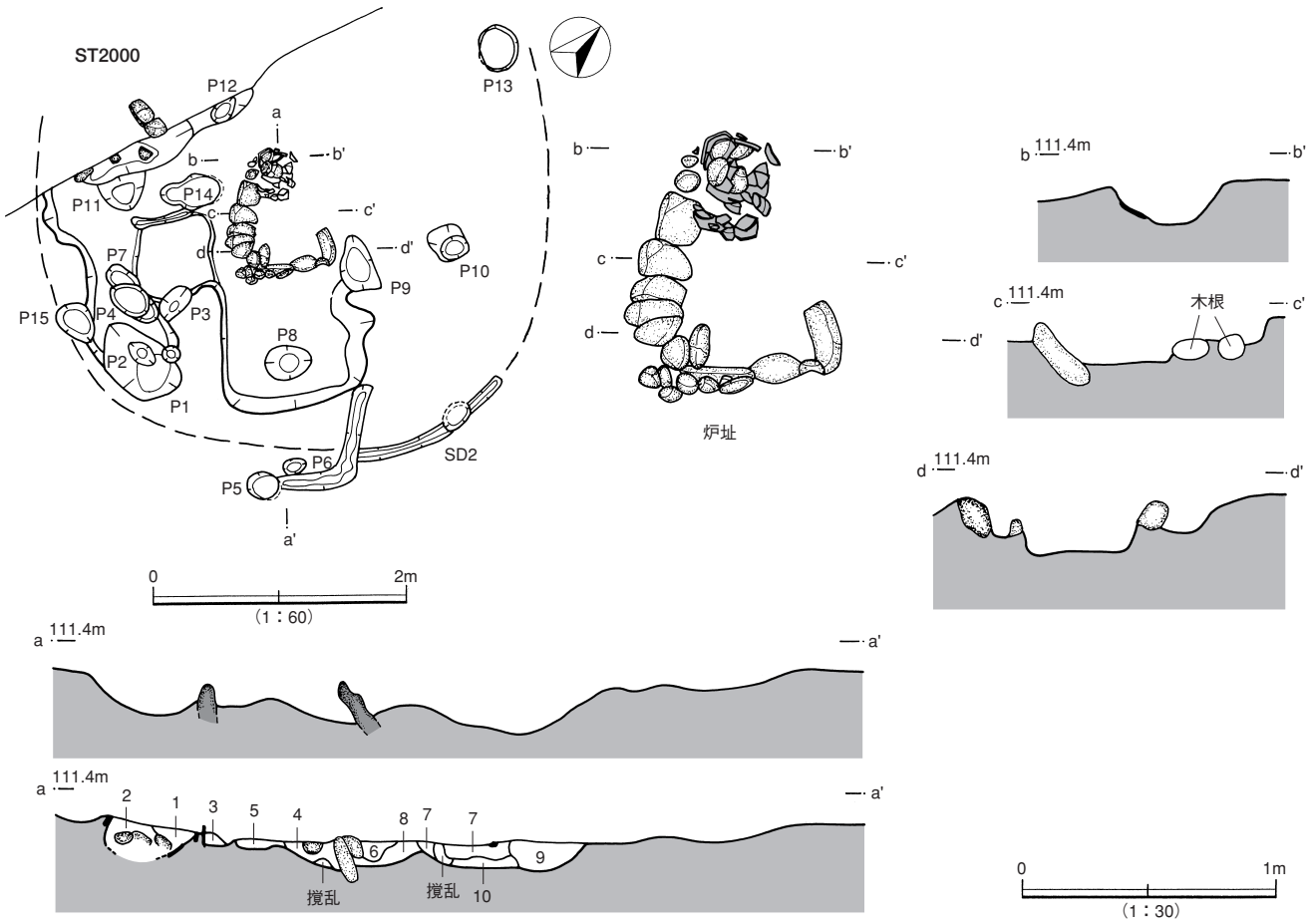
埋設土器は約１個体が検出された。土器内部にも木根がみられ、細かく割れてしまっている。埋設土器内部には土器底部、土器片、握りこぶし大の石３個（うち２個は火を受けている）があるが、廃絶時の状態ではないとみられる。堆積土は黒褐色土で焼土や灰、炭化物はほとんどみられない。埋設土器遺構の掘り方は全面にわたって焼土がみられるが、北西部分（炉の先端部分）が一番焼けている。

ＳＴ3304住居跡（第341～344図　写遺構－154・155　写遺物－22・60）

第８調査区のグリッド11・12－101・102に位置する。環状集落西の斜面際に所在する。東にＳＴ3301・3302・3303と重複する。南壁にＳＫ3850、北西壁でＳＫ3821と重複し本址がこれらを切る。

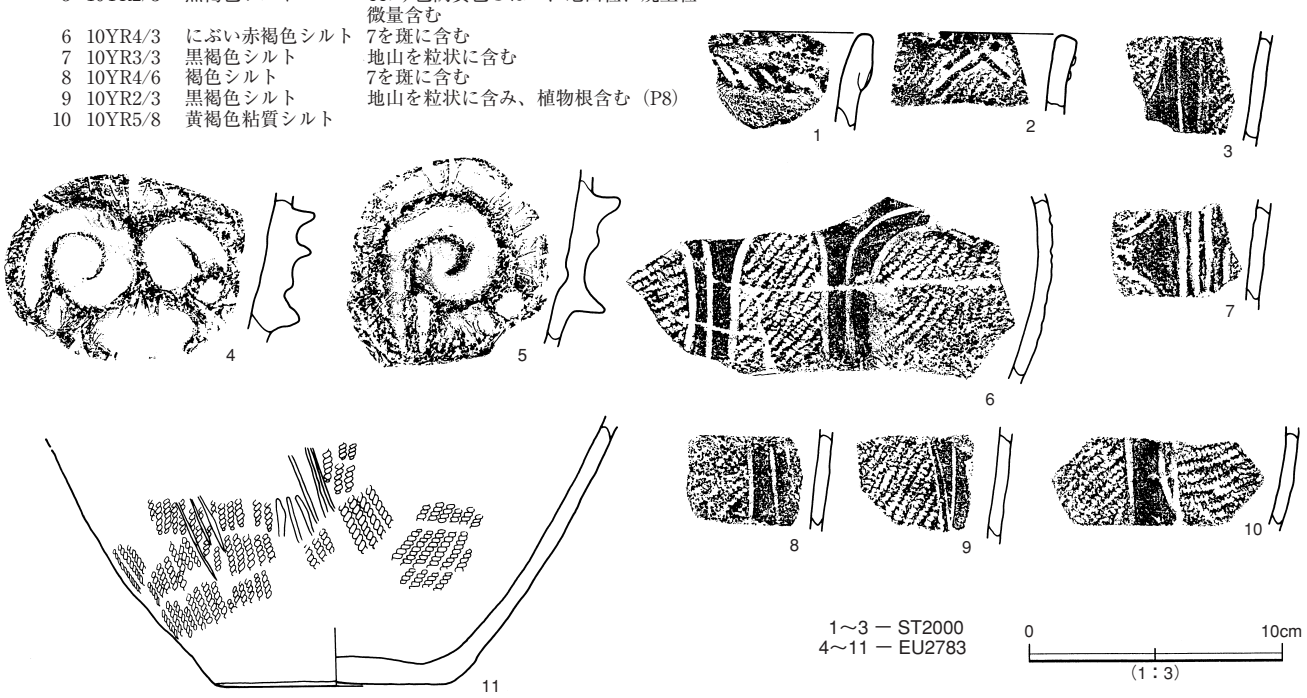
平面形は円形を呈し、規模は径４ｍを測る。覆土は黒褐色シルトから灰黄褐色シルトを主体とする。壁は地山を掘り込み、東壁は良好に遺存しているが、西壁は僅かな遺存である。これは本址が東から西への斜面上に所在するためである。

Title:P385-389_縄文時代.ec6 Page:389 Date: 2005/03/18 Fri 16:41:42



ST2000

1	10YR2/2	黒褐色シルト	しまりなく柔らかい、焼土、炭化物含む
2	10YR3/1	黒褐色シルト	
3	5YR4/4	にぶい赤褐色シルト	焼土
4	10YR2/3	黒褐色シルト	炭化物含む
5	10YR2/3	黒褐色シルト	4より色調黄色っぽい、地山粒、焼土粒微量含む
6	10YR4/3	にぶい赤褐色シルト	7を斑に含む
7	10YR3/3	黒褐色シルト	地山を粒状に含む
8	10YR4/6	褐色シルト	7を斑に含む
9	10YR2/3	黒褐色シルト	地山を粒状に含み、植物根含む（P8）
10	10YR5/8	黄褐色粘質シルト	

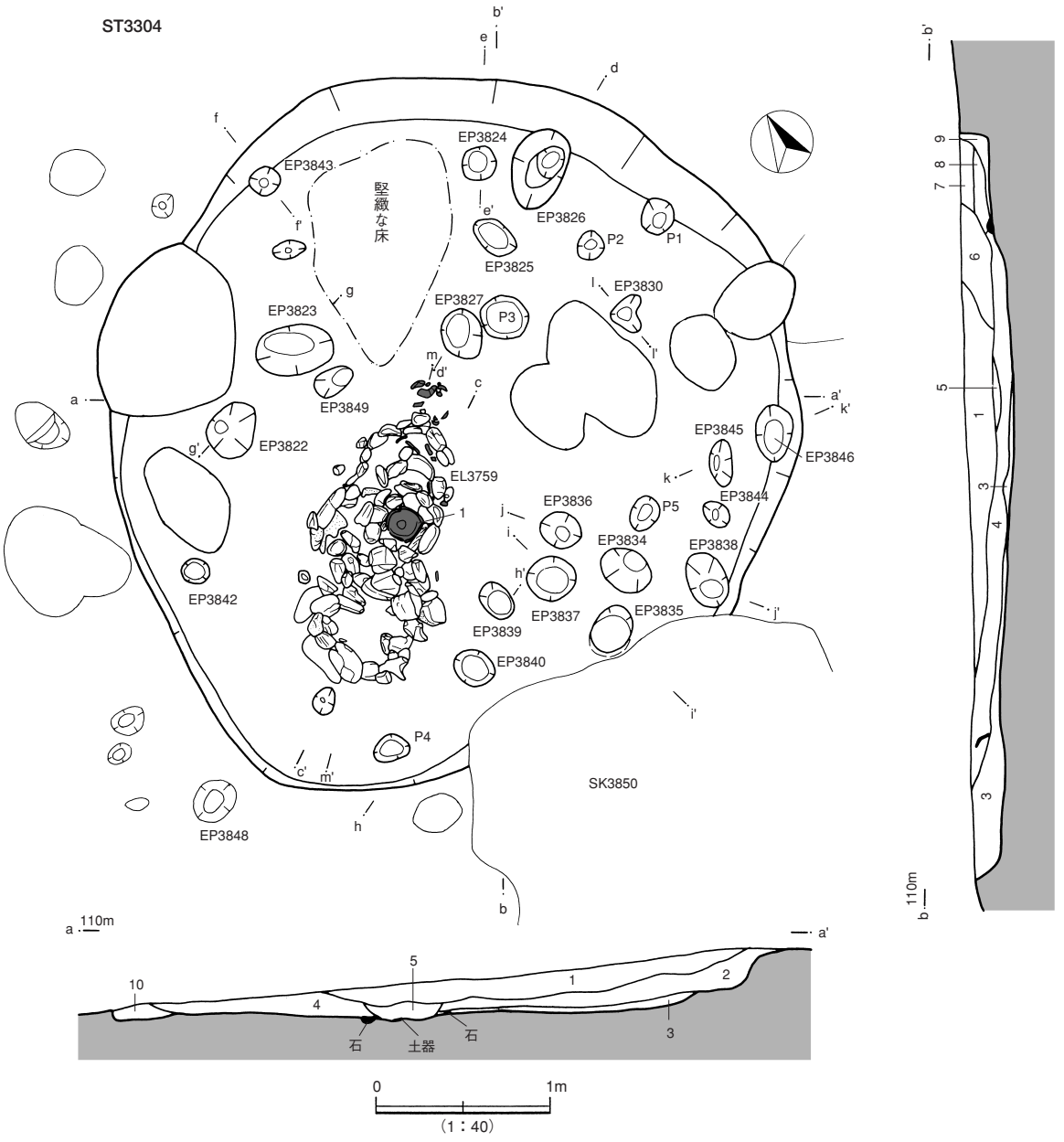


1～3 ― ST2000
4～11 ― EU2783

0　10cm
(1：3)

第340図　ST2000 住居跡・出土遺物

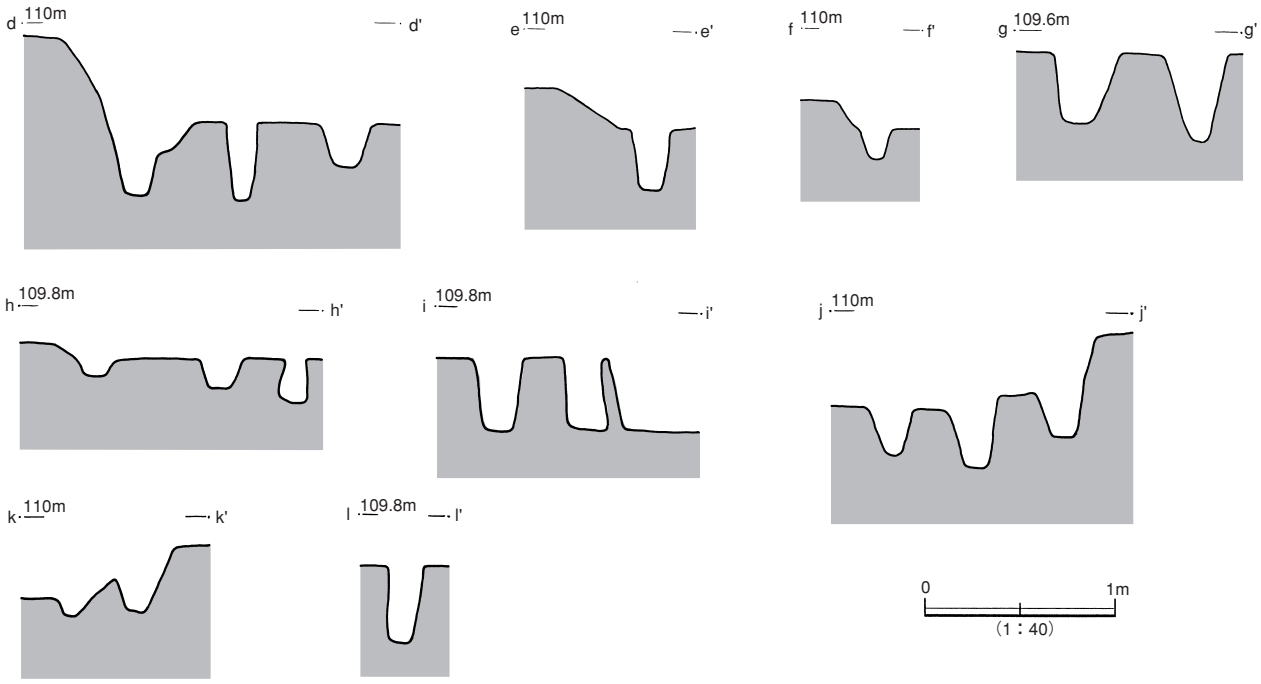
Title:P390-393_縄文時代.ec6 Page:390 Date: 2005/03/18 Fri 16:46:27

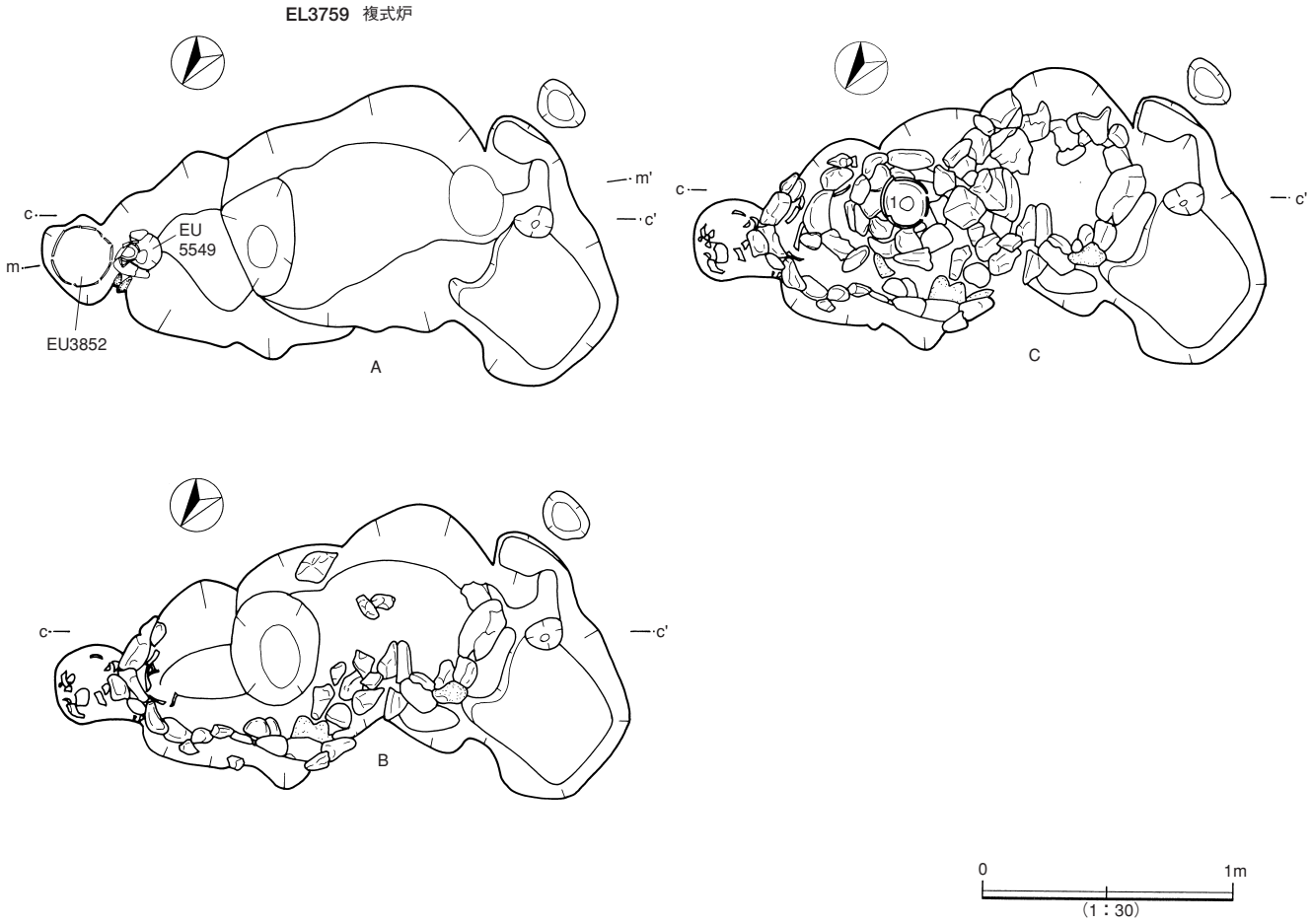


ST3304
a-a'、b-b'
1　10YR3/1　黒褐色シルト
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　炭化粒、粗砂含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　　1、2より粘性あり
4　10YR4/2　灰黄褐色シルト　炭化粒含む
5　10YR5/2　灰黄褐色シルト
6　10YR4/3　黄褐色シルト
7　10YR2/3　黒褐色シルト
8　10YR3/3　暗褐色シルト
9　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト

第341図　ST3304 住居跡（1）

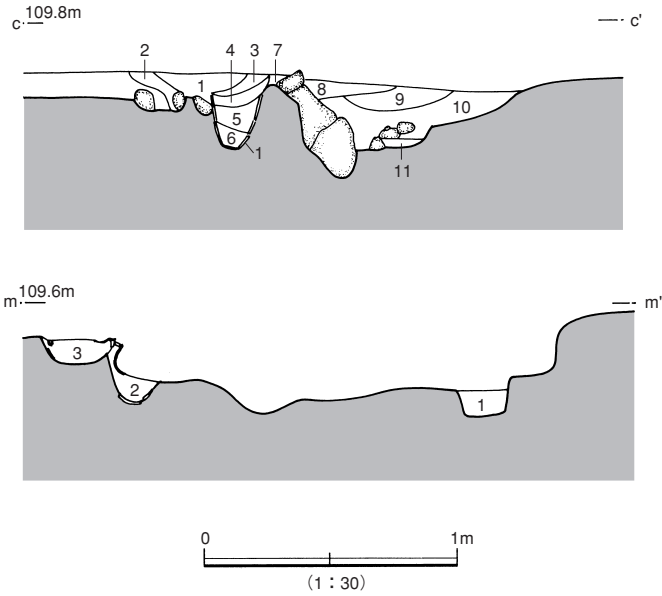
Title:P390-393_縄文時代.ec6 Page:391 Date: 2005/03/18 Fri 16:50:15





第342図　ST3304 住居跡（２）

Title:P390-393_縄文時代.ec6 Page:392 Date: 2005/03/21 Mon 14:31:42



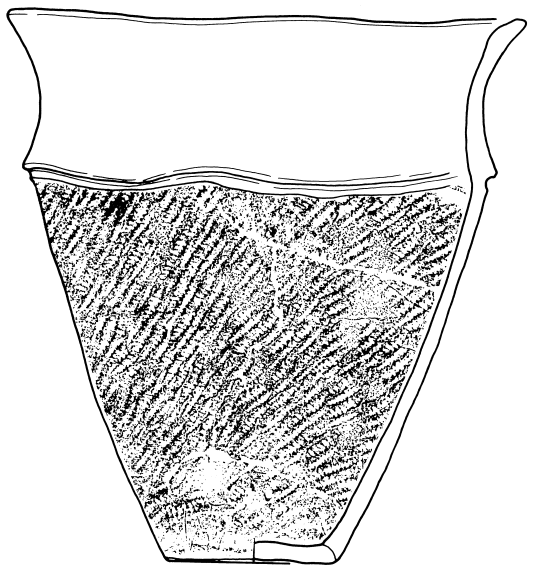
EL3759

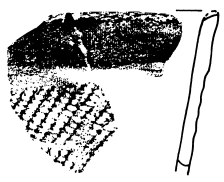
c-c'

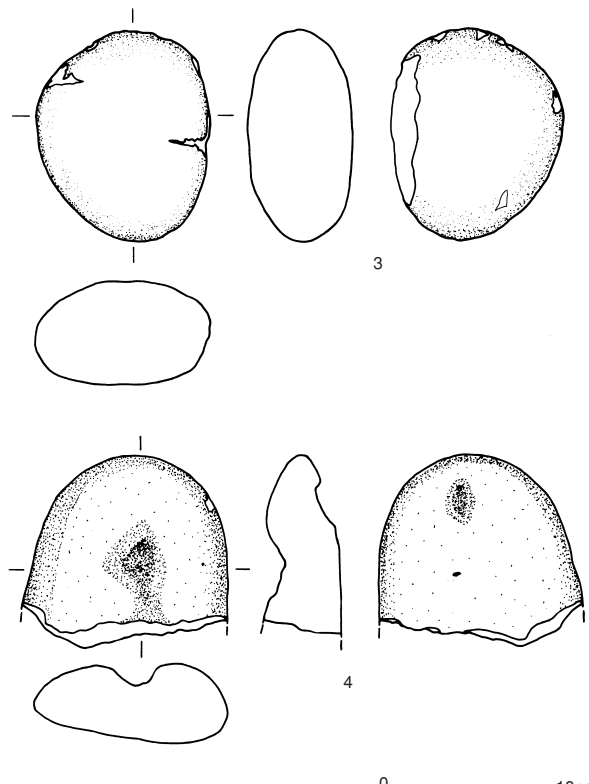
1	10YR2/1	黒色シルト	炭化粒含む
2	5YR4/3	にぶい赤褐色シルト	
3	10YR4/1	灰褐色シルト	炭化粒含む
4	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒含む
5	10YR4/4	褐色シルト	焼土ブロック含む
6	10YR2/1	黒色シルト	炭化粒多く含む
7	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒混じる
8	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒混じる
9	10YR3/3	暗褐色シルト	土器片混じる
10	10YR3/4	暗褐色シルト	9より炭化粒多く含む
11	10YR3/2	黒褐色シルト	

m-m'

1	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化物含む
2	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化粒混じる、EU5549内の炭、灰、EU3852に切られている（EU5549）
3	10YR4/1	褐灰色シルト	わずかに灰を含む、EU5549を切っている、EU3852は底部を切っている（EU3852）



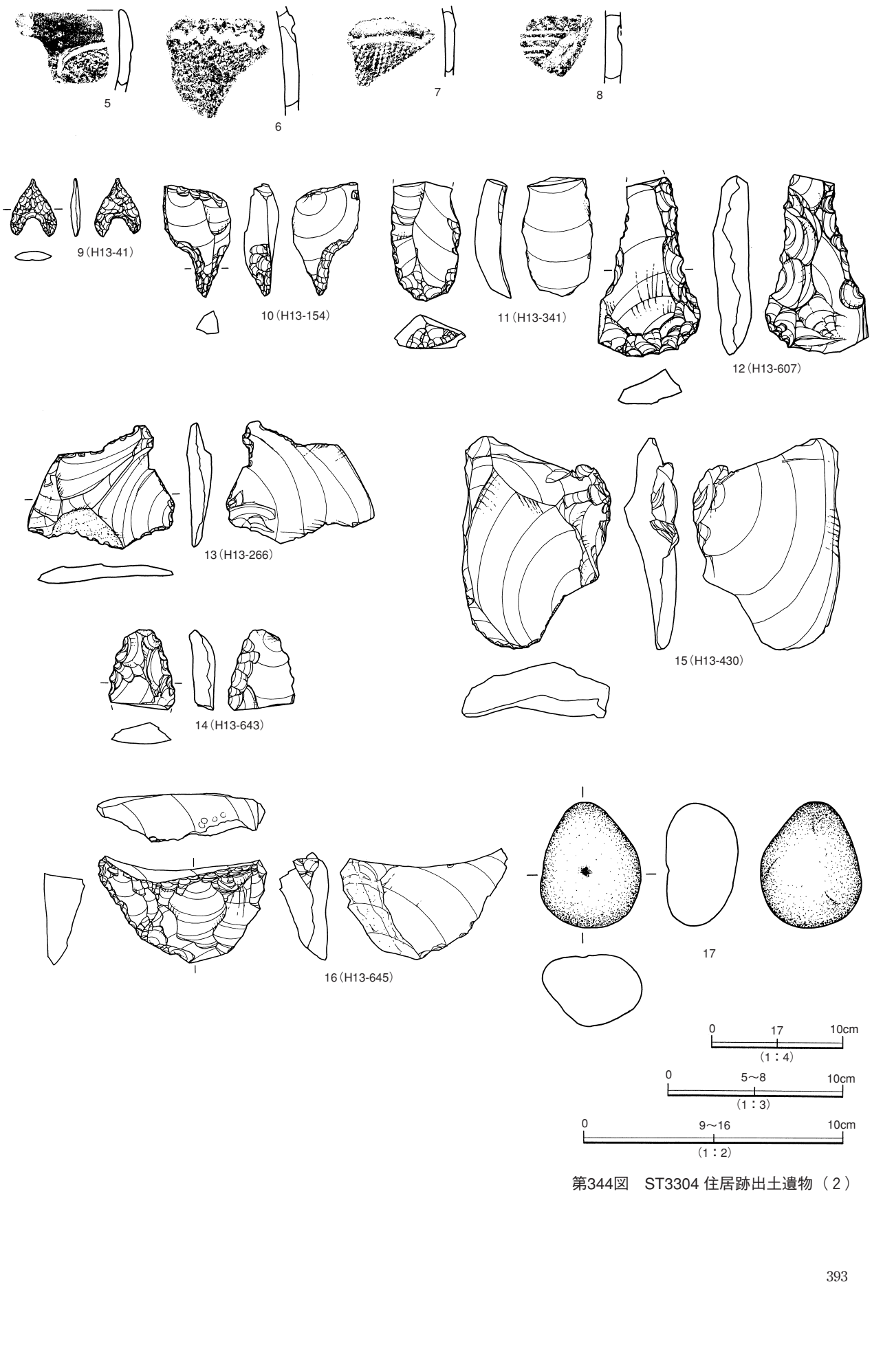




1～4　複式炉出土遺物

第343図　ST3304 住居跡（3）・出土遺物（1）

Title:P390-393_縄文時代.ec6 Page:393 Date: 2005/03/18 Fri 16:57:07



第344図　ST3304 住居跡出土遺物（２）

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:394 Date: 2005/03/19 Sat 09:35:35

床は北側の点線で示した範囲が堅緻な床面が検出されている。主柱穴はＥＰ3825･3826･3822･3834とみられ、径25～45cmで深さ35～47cmである。他柱穴はＥＰ3823・3824・3835・3837が深さ35cm前後、ＥＰ3836・3839・3843は20cm前後である。他は10cm前後で浅い。

3時期の複式炉

炉は複式炉とみられ、３時期の変遷が考えられる。最も古いＡは埋設土器ＥＵ3852・5549が埋設され、周辺に土坑状の掘り込みが検出された。Ｂでは礫と土器が検出され、Ｃでは礫で囲まれた中に１の深鉢が埋設されている。

遺物は複式炉に使用されていた１の深鉢や３・４・17の磨石・凹石、９～16の石器が出土している。

4．土　　坑

ＳＫ535（第345図　写遺構－74　写遺物－184）

４区グリッド18・19－74・75に位置する。平面形は径1.7ｍの円形を呈し、掘り込みの深さは確認面から90cmを測る。底面は平坦で、壁はやや傾斜して立ち上がる。覆土は大別して４層あり黒色シルトの自然堆積である。

遺物は縄文中期の土器片が少量出土している。

ＳＫ620（第345図　写遺構－74）

４区グリッド18－64･65に位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は南北1.2ｍ、東西1.5ｍを測る。東壁はほぼ垂直に、西壁はやや斜めに掘り込まれる。底面は、ほぼ平坦で確認面からの深さは50cmを測る。覆土は４層に分けられ、黒褐色～黒色シルトの自然堆積である。

遺物は縄文土器、剥片を出土している。

ＳＫ712（第346図）

フラスコ状土坑

６区グリッド22－10に位置する。ＳＨ476号墳上に所在するフラスコ状土坑である。上面は1.29～1.53ｍの楕円形、底面は径1.7ｍの円形を呈する。深さは50～70cmである。平坦な底面からオーバーハングして確認面に至る。

遺物は少量の剥片が出土している。

ＳＫ713（第346図）

ＳＫ712に隣接して位置する。上面は径1.2～1.4ｍの楕円形、底面は径1.3ｍを測る円形を呈する。深さは70～100cmを測り、平坦な底面からオーバーハングして立ち上がる。

遺物は剥片が少量出土している。

ＳＫ722（第347図）

グリッド19－90に位置する。南西に傾斜する環状集落南端部の斜面中位に所在し上部削平されている。北にＳＫ734、南にＳＫ1508と重複する。

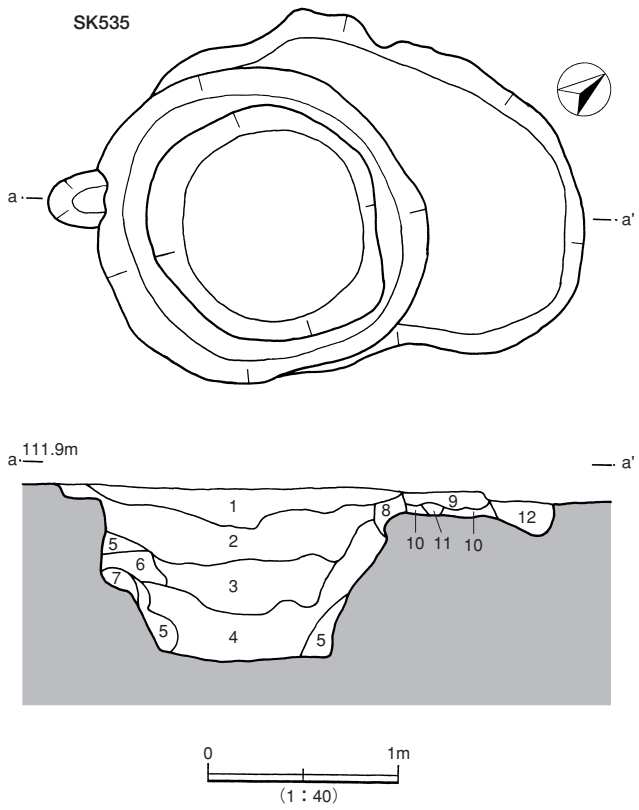
平面形は楕円形を呈し、規模は東西1.64ｍ、南北1.78ｍ、深さ34cmを測る。堆積土の状況は一括堆積である。断面形はＵ字形を呈し、底面は平坦である。

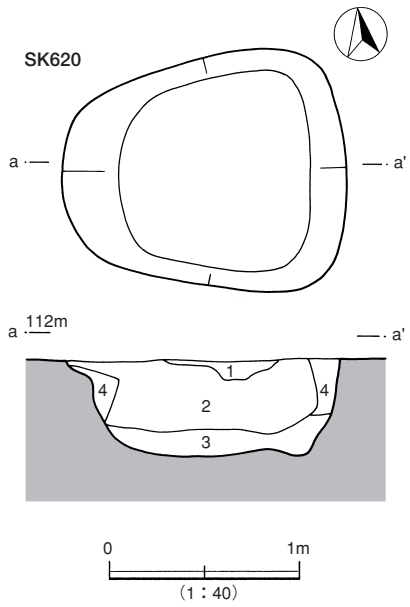
遺物は深鉢土器片や石器が少量出土している。

ＳＫ724（第347図）

グリッド18－91に位置する。南西への斜面上に所在する。当初１基の土坑として精査してい

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:395 Date: 2005/03/21 Mon 16:03:59





SK620

1	10YR2/2	黒褐色シルト	植物根混入
2	10YR2/2	黒褐色シルト	10YR3/2黒褐色シルトが径数cmのブロック状に混入、炭化物、植物根混入
3	10YR2/1	黒色シルト	10YR2/3黒褐色シルト、10YR6/6明黄褐色シルトが径数cmのブロック状に混入、固くしまる、炭化物植物根混入
4	10YR4/6	褐色シルト	10YR6/6明黄褐色シルト混入、植物根混入

SK535

1	10YR2/1	黒色シルト	木炭粒わずかに混入、植物根混入
2	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子、木炭粒少量混入、植物根混入
3	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子多く、同土少量混入、植物根混入
4	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子、木炭粒わずかに混入、植物根混入
5	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルト多量混入、植物根混入
6	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルトブロック（木根撹乱）少量混入、植物根混入
7	10YR5/6	黄褐色シルト	10YR2/1黒色シルト少量混入、植物根混入
8	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子多量混入、（3よりも多い）、植物根混入
9	10YR2/2	黒褐色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子多く、木炭粒少量混入、植物根混入
10	10YR5/6	黄褐色シルト	7とほぼ同じだが、木炭粒混入、植物根混入
11	10YR3/3	暗褐色シルト	木炭粒少量混入、植物根混入
12	10YR3/3	暗褐色シルト	10YR5/8黄褐色シルト粒子、木炭粒少量混入、植物根混入

第345図　SK535・620 土坑

たが土層断面から、２基の土坑の重複の可能性が指摘されている。

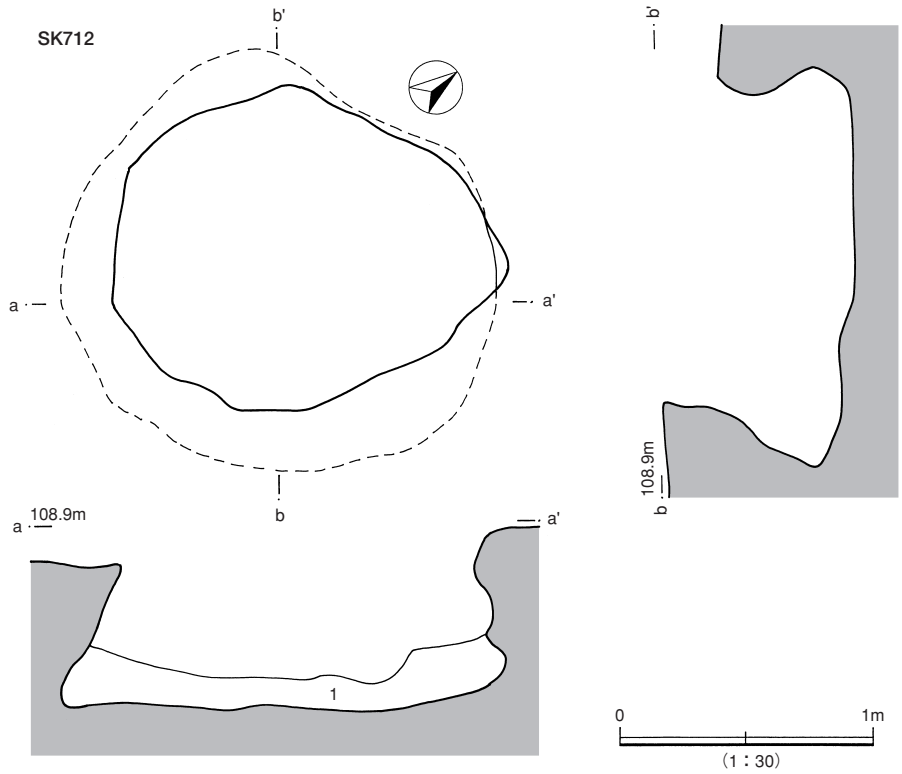
平面形は不整形を呈し、規模は東西1.12m、南北1.72m、深さ70cmを測る。北壁は、ほぼ垂直に立ち上がり、南壁は大きくオーバーハングして立ち上がる。底面はほぼ平坦である。覆土は砂層で一括堆積である。遺物は深鉢土器片が少量出土している。

ＳＫ725（第347図）

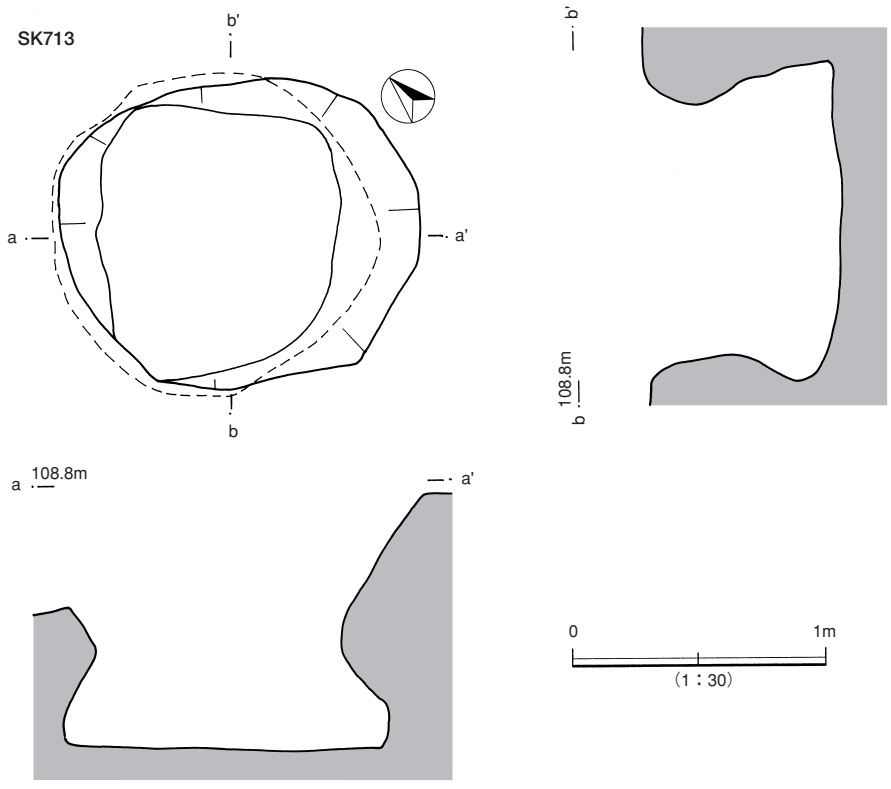
グリッド18－91に位置する。ＳＫ724に隣接して斜面上で検出された。上面が削平されて浅い可能性もあるが、当初から浅い土坑とも考えられる。

平面形は整った円形を呈し、規模は東西1.24m、南北1.22m、深さ18cmを測る。底面は平坦で断面Ｕ字形を呈する。堆積土の状況は一括堆積で人為的に埋め戻されたと考えられ、墓壙の可能性がある。遺物はほとんど出土していない。

墓壙の可能性



SK712
1　10YR4/6　褐色砂質シルト　10YR5/8黄褐色シルトとの中間色、暗褐色砂質シルトを斑に含む



第346図　SK712・713 土坑

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:397 Date: 2005/03/19 Sat 09:37:18

ＳＫ723（第348図）

グリッド19－91の南西に傾斜する斜面に位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は東西1.32m、南北1.34mで深さ64cmを測る。壁は断面図作成時はかなりオーバーハングしていたが、その後崩落してしまった。壁は凹凸の著しい底面からオーバーハングして立ち上がる。

堆積土は２～５層が埋め戻された後、１層が自然堆積したとみられる。遺物は土器片が僅かと石器・磨石が出土している。

ＳＫ728（第349図）

グリッド17－92、南西へ傾斜する斜面上に位置する。上面プランは楕円形を呈する深いフラスコ状土坑である。規模は東西94cm、南北１m、深さ１mを測る。

断面図の作成時は明確でなかったが、最終的には北壁で大きくオーバーハングし、南壁では僅かであることが確認された。覆土の状態は基本的に一括堆積である。底面は平坦で遺物が僅かに出土している。

ＳＫ730（第349図）

グリッド17－91に位置する。ＳＫ731と重複し、これを切る。中央から北側にピット状の撹乱を受ける。上部は削平を受けているとみられるが遺存状態は良好である。

平面形は楕円形を呈し、規模は東西1.26m、南北1.46m、深さ20～30cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。覆土は一括堆積の状況である。

遺物は半截竹管による平行沈線文の深鉢土器片、凹石などが出土している。

ＳＫ731（第349図）

グリッド17－91に位置する。ＳＫ730と重複する。平面形は円形を呈し、規模は東西1.32m、南北1.52m、深さ20～30cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。

覆土の状況は焼土が充満していて、壁面に土器が貼り付いていた。炉跡の可能性がある。　**炉跡の可能性**

ＳＫ734（第350図　写遺構－174　写遺物－28・84・117）

グリッド19－90の南西へ傾斜する斜面上に位置する。西にＳＫ1509、東にＳＫ735、南西にＳＫ722と重複し、ＳＫ1509に切られる。

平面形は不整円形を呈し、規模は東西1.62m、南北1.66m、深さ67cmを測る。壁は全体に大きくオーバーハングしている。底面は平坦である。覆土の状況は中位に焼土や大形の焼けた礫が混入し、８層は東壁崩落土である。

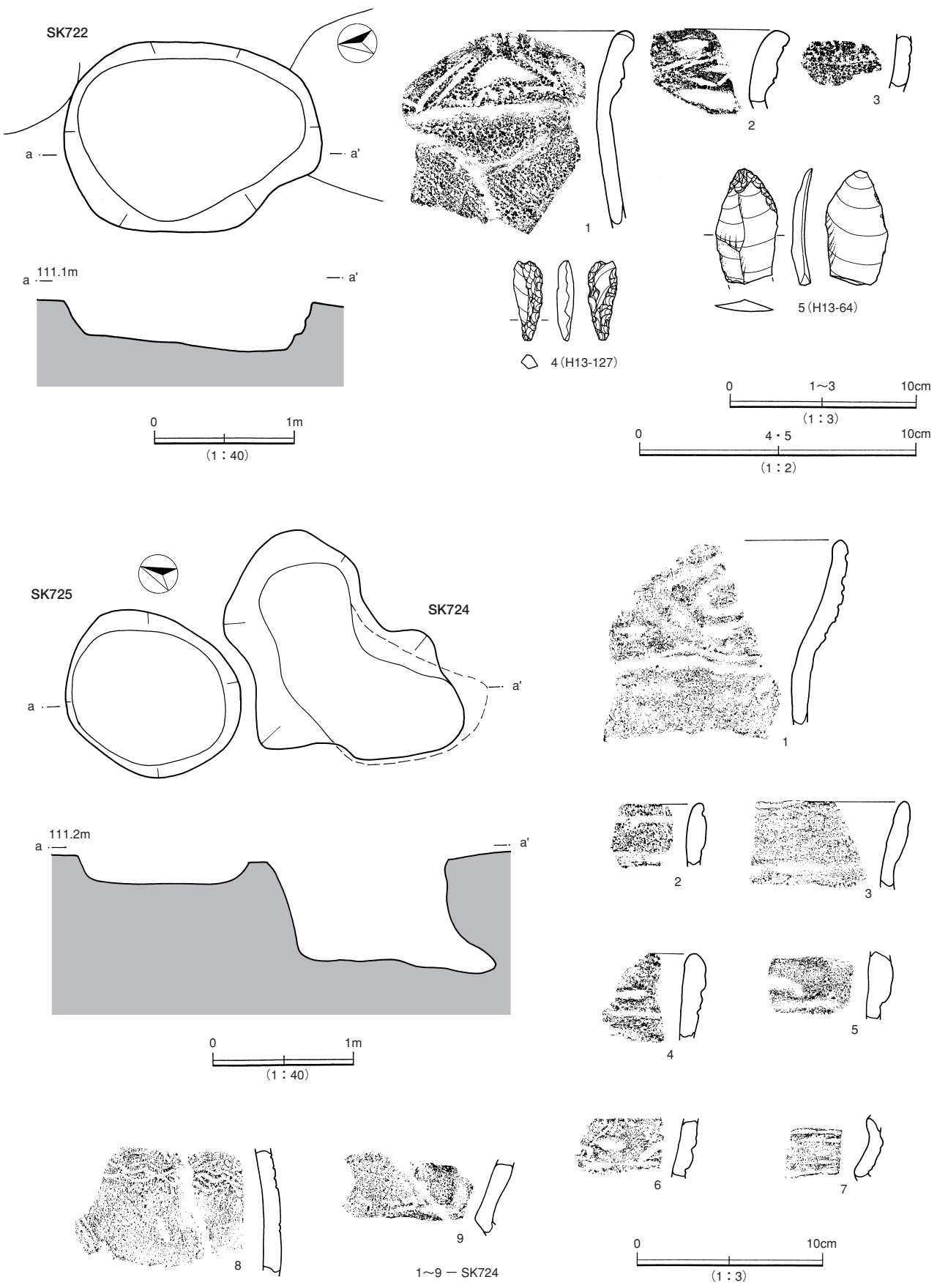
遺物は縄文土器深鉢片・石器・土偶が出土している。土偶は確認面より25cm下層の、焼土層の上位より出土している。本址は出土した縄文土器から縄文中期大木８ｂ式期の土坑とみられるが、土偶は前期の所産とみられるもので、混入と考える。　**前期の土偶**

ＳＫ735（第351図　写遺構－174）

グリッド19－90、南西に傾斜する斜面上に位置する。西にＳＫ734と重複している。平面形は楕円形を呈し、規模は東西1.94m、南北2.24m、深さ76cmを測る。壁はほとんどの部分で大きくオーバーハングする。底面はほぼ平坦である。覆土の状況は一括堆積土と砂層で間層に遺物が混入する。

遺物は深鉢片や石器が少量出土している。

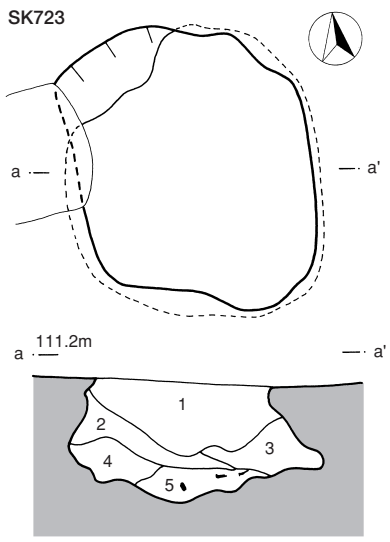
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:398 Date: 2005/03/18 Fri 17:09:15



第347図　SK722・724・725 土坑・出土遺物

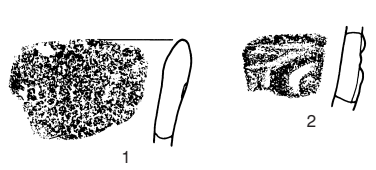
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:399 Date: 2005/03/18 Fri 17:17:16

SK723

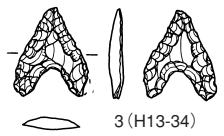


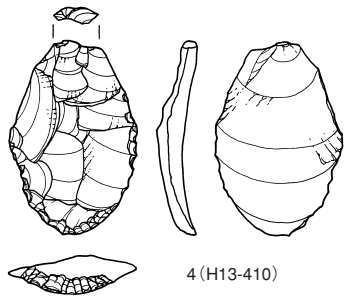
SK723

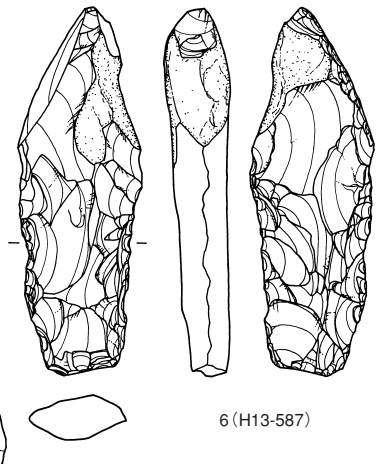
1	10YR3/2	黒褐色微砂	細砂を多く含み、カク礫粒、炭化粒を多く含む、しまる
2	10YR3/2	黒褐色シルト	微砂を含み、下層に向かって細砂になる、地山土をブロックで含み、最下層に土器片含む
3	10YR4/4	褐色細砂	2を点状または縞状に含み、カク礫粒を含む、汚れている
4	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	地山土との混合土、地山土をブロック又は縞状に含み、しまる
5	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	地山土を若干含み、最下層に焼土を含み遺物を含む

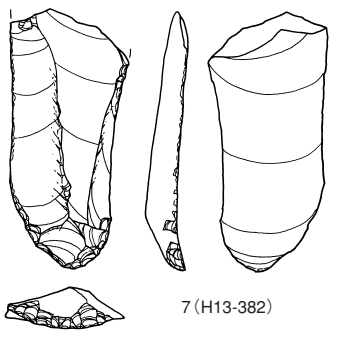

1

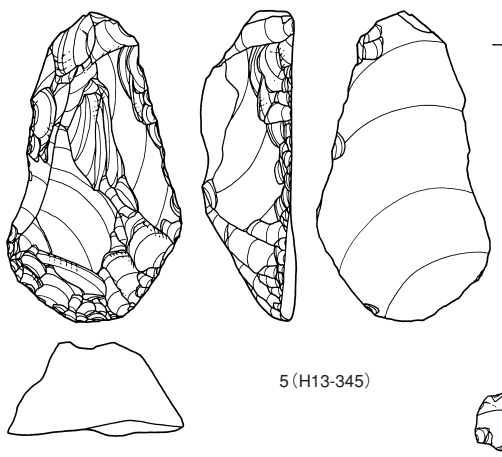
2

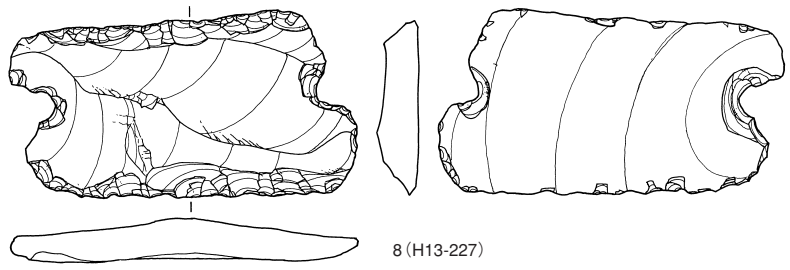

3（H13-34）

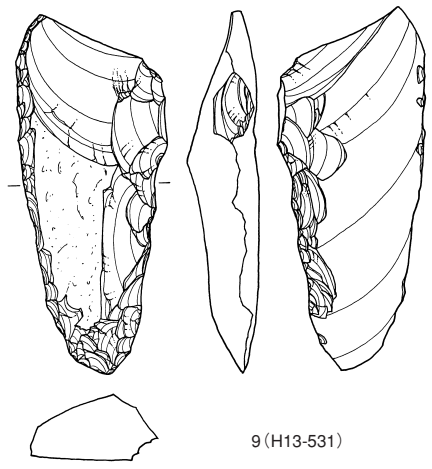

4（H13-410）

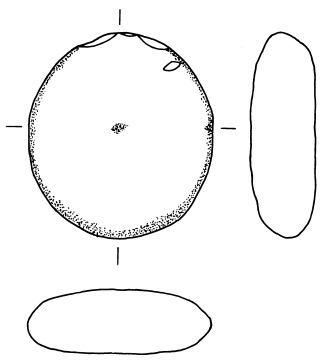

6（H13-587）

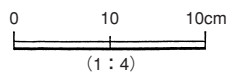

7（H13-382）

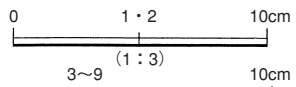

5（H13-345）

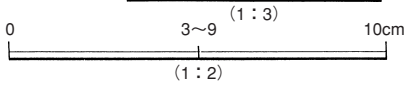

8（H13-227）


9（H13-531）


10

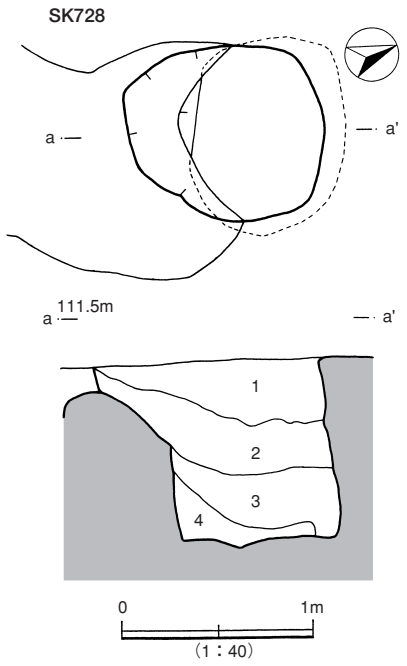

0　10　10cm
(1：4)

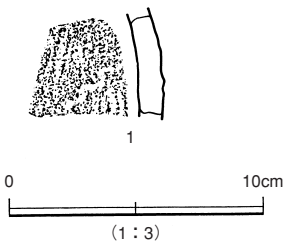

0　1・2　10cm
(1：3)


0　3～9　10cm
(1：2)

第348図　SK723 土坑・出土遺物

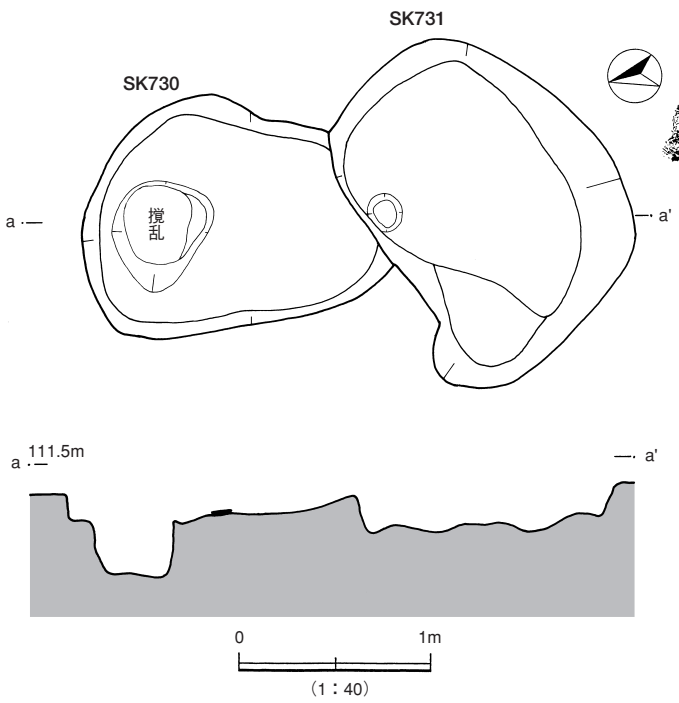
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:400 Date: 2005/03/18 Fri 17:21:13

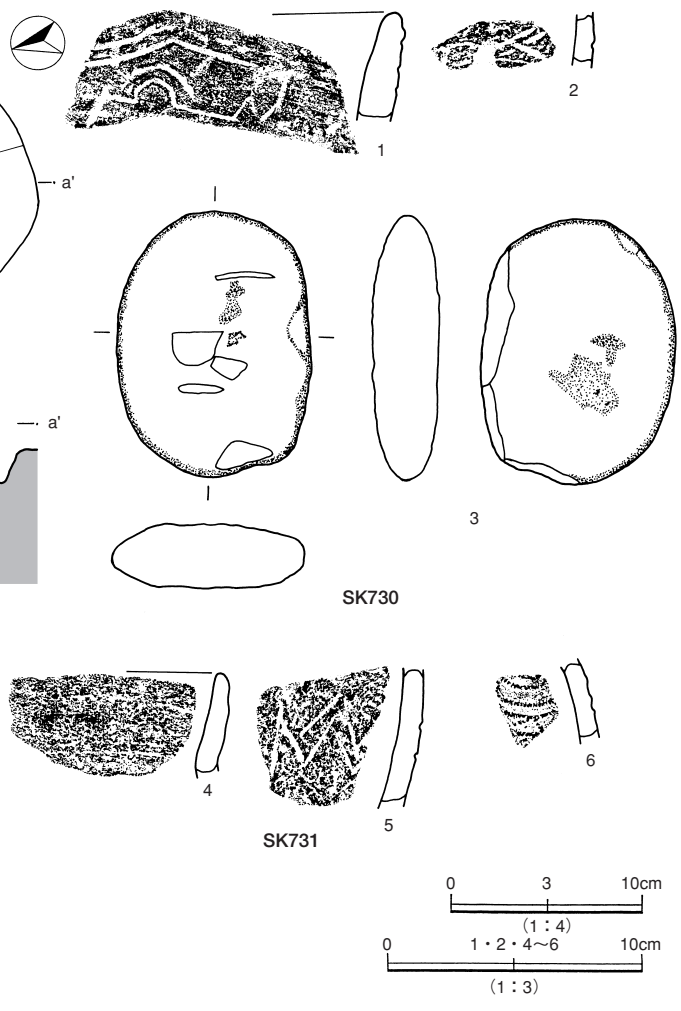




SK728

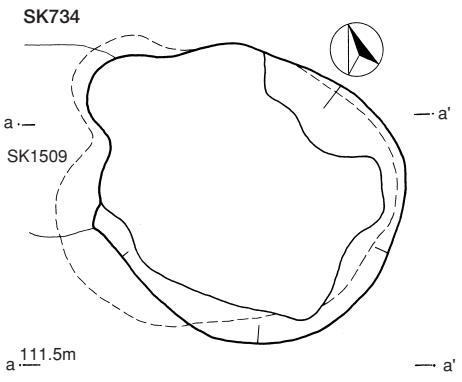
1	10YR3/3　暗褐色粘質シルト	地山土を小ブロック（1～2cm）で含み、炭化粒、遺物を含む、固くしまる
2	10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト	地山土を斑状又はブロック（2～3cm）で含み、炭化粒を含む、しまる
3	10YR3/3　暗褐色粘質シルト	2と同質、2より地山ブロック大きく（3～4cm）、少量含む、しまる
4	10YR2/2　黒褐色粘質シルト	山礫カクを小ブロックで含み、細砂を斜行して含む柔らかい





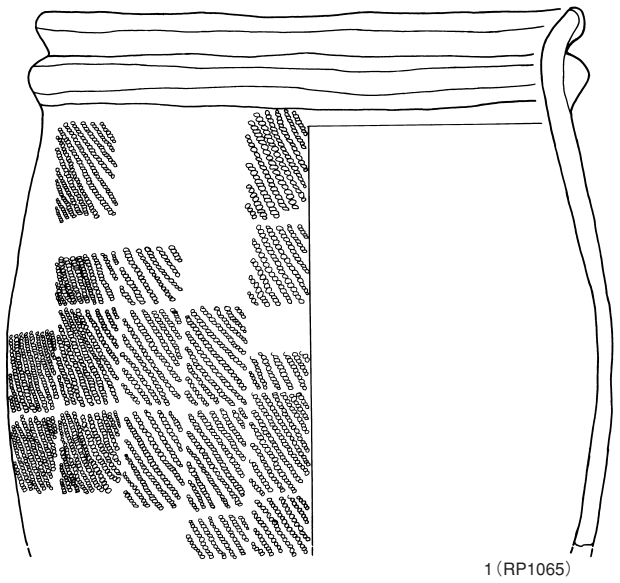
第349図　SK728・730・731 土坑・出土遺物

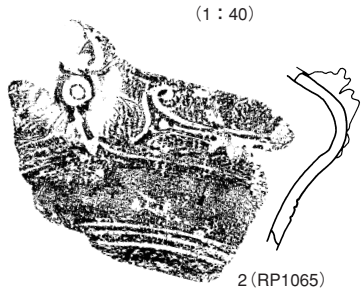
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:401 Date: 2005/03/25 Fri 13:32:03

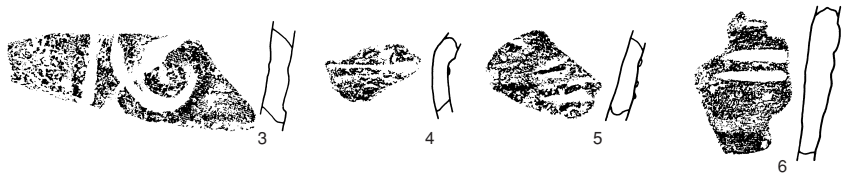


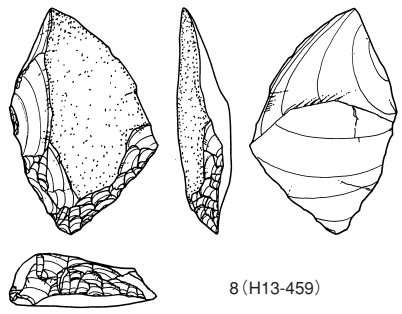
SK734

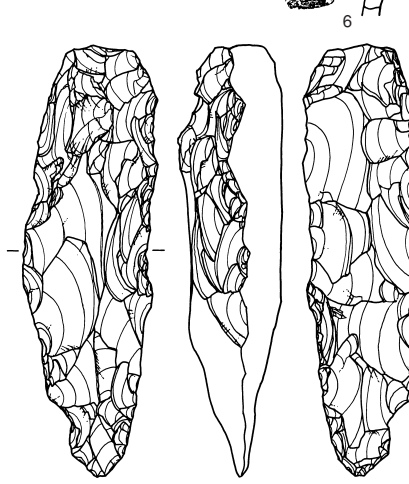
1	10YR2/2	黒褐色シルト	細砂を多く含み、山礫粒、炭化粒含む、固くしまる
2	10YR2/2	黒褐色シルト	地山土を斑状に含み、遺物を含む、炭化粒、焼土粒を多く含む、しまる
3	7.5YR4/6	褐色シルト	焼土、2を縞状に含み、炭化粒含む、柔らかい
4	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化粒を含み、6と類似、柔らかい
5	10YR3/2	黒褐色微砂	細砂を多く含み、地山粒を若干含み、柔らかい
6	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化粒を含み、遺物を含む、純粋層、柔らかい
7	10YR5/4	にぶい黄褐色細砂	炭化粒を含み、山礫粒含む、10YR2/2黒褐色シルトを縞状に含む、汚れている
8	10YR6/6	明黄褐色シルト	6を縞状又は斑に含み、しまる、壁の崩落土？

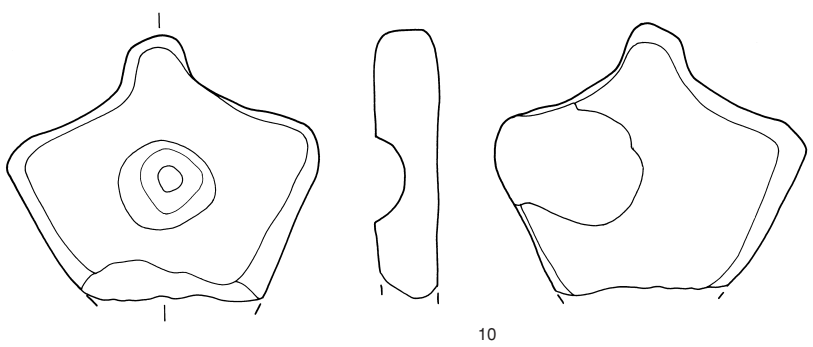






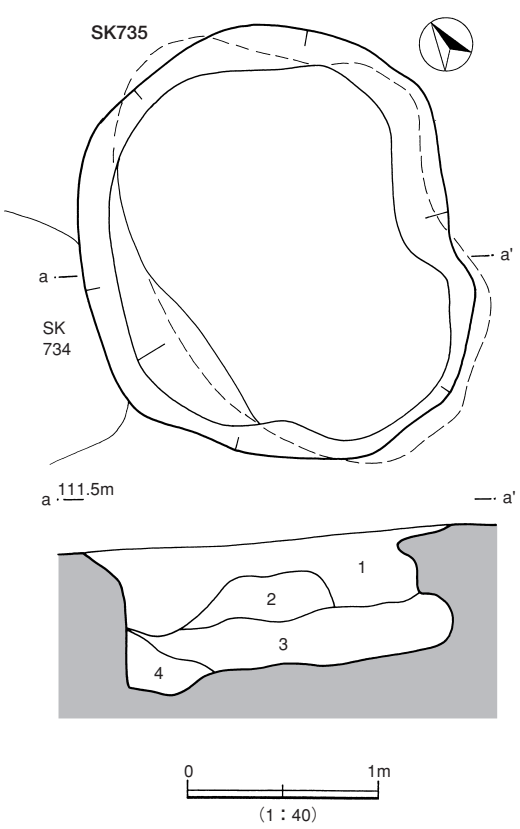


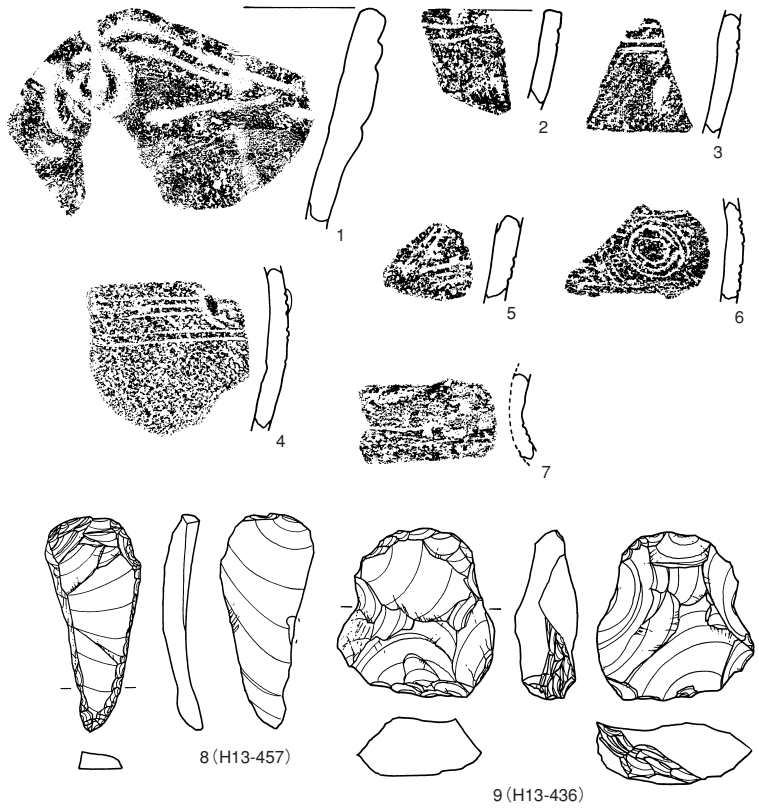




第350図　SK734 土坑・出土遺物

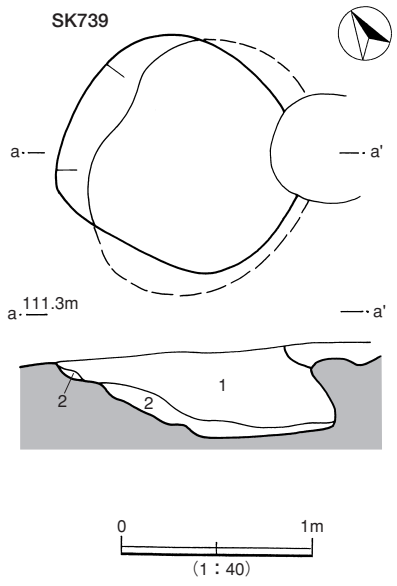
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:402 Date: 2005/03/18 Fri 18:09:23

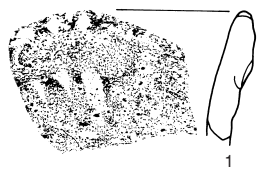




SK735

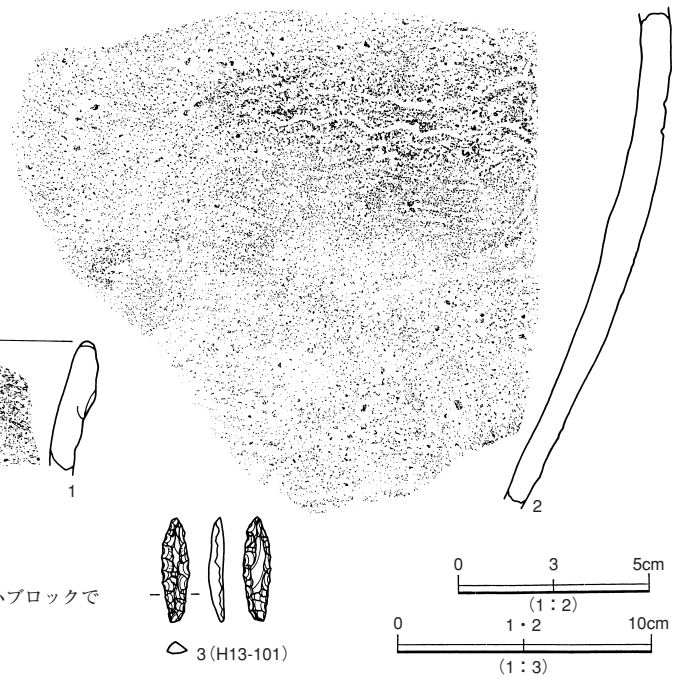
1　10YR2/2　黒褐色シルト　遺物、炭化粒を含み、地山粒、山礫粒を若干含む
　　微砂を含み、しまる
2　10YR4/4　褐色細砂　山礫粒を若干含み、炭化粒含む、しまる
3　10YR4/4　褐色細砂　2より山礫ブロック（2～3cm）を多く含み、炭化
　　粒含む、2より色調暗い
4　10YR3/2　黒褐色微砂　炭化粒、山礫粒を含み、しまる





SK739

1　10YR3/3　暗褐色シルト　10YR6/4にぶい黄橙色シルトを小ブロックで
　　含み、土器片、炭化物含む
2　10YR2/3　黒褐色粘質シルト



第351図　SK735・739 土坑・出土遺物

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:403 Date: 2005/03/25 Fri 11:50:32

ＳＫ739（第351図　写遺物－105）

グリッド19－90の南西に傾斜する斜面上に位置する。西側に水道管による撹乱を受ける。平面形は円形を呈し、規模は東西1.12m、南北1.33m、深さ46cmを測る。

壁の西側部分は緩やかに傾斜し、東側部分は大きくオーバーハングしている。底面は平坦である。堆積土の状況は一括堆積・人為的堆積で短期間に埋没した状況と考える。

ＳＫ740（第352図）

グリッド18－92､南西に傾斜する斜面上に位置する｡平面形は楕円形を呈し､規模は東西95cm､南北72cm、深さ70～60cmを測る。

西壁はオーバーハングしているが、東壁はほぼ垂直に掘り込まれる。底面はほぼ平坦である。覆土は暗褐色シルト～暗褐色微砂で人為的な埋め戻しの可能性がある。

遺物は縄文土器深鉢片が僅かに出土している。

ＳＫ741（第352図）

グリッド18－92、南西への斜面上に位置する。上部はかなり削平を受けているとみられ、土坑の下部のみの検出である。

平面形は楕円形を呈し、規模は南北2.4m、東西1.4m、深さ38～50cmを測る。底面は15cmの高低差を有する。覆土の状況は自然な一括堆積である。

遺物は縄文土器が僅かに出土している。

ＳＫ742（第352図）

グリッド18－90に位置する。付近にはＳＫ876・886が所在する。平面形は円形を呈し、規模は径1.1m、深さ30cmを測る。壁はやや緩やかに掘り込まれ、底面は平坦である。覆土の状況は一括の埋土で墓壙的である。

遺物は縄文土器片が僅かと円盤状石製品が１点出土している。

ＳＫ750（第353図　写遺構－175）

グリッド17・18－91・92に位置する。北にＳＫ728、南にＳＫ725と重複する。

平面形は円形を呈し、規模は東西1.9m、南北2.1m、深さ１mを測る。大きく深いフラスコ状土坑である。壁は全体にオーバーハングするが、垂直に立ち上がる部分もある。底面は平坦である。覆土の状況は一括堆積だが何層かに分かれる。

遺物は半截竹管文や押圧縄文の深鉢片、石錐・石匙・凹石などが少量出土している。

ＳＫ751（第354図）

グリッド14・15－91・92に位置する。遺構が希薄な地区、環状集落の中央広場の南側に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は南北2.3m、東西1.65m、深さ55cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。

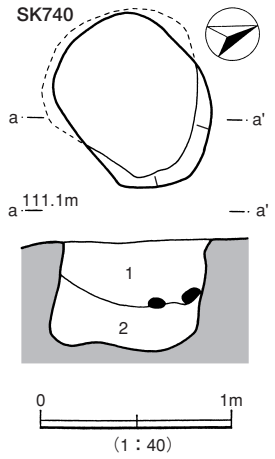
覆土は遺物を混入する１層は自然堆積のようだが、２・３層は人為的に埋められた可能性がある。遺物は掻器・石匙・磨石などが出土している。

ＳＫ760（第354図）

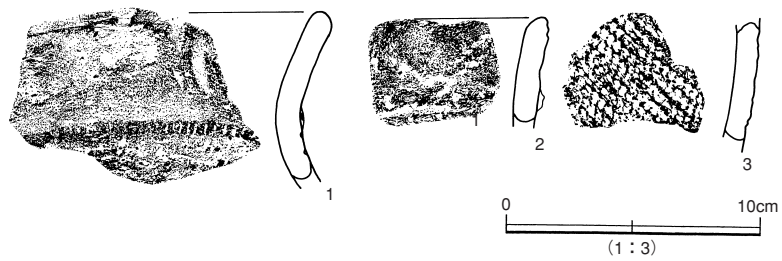
グリッド13－93に位置する。ＳＫ751と同様､環状集落の中央広場に所在する。平面形は方形を呈し、規模は南北1.85m、東西1.5m、深さ50cmを測る。

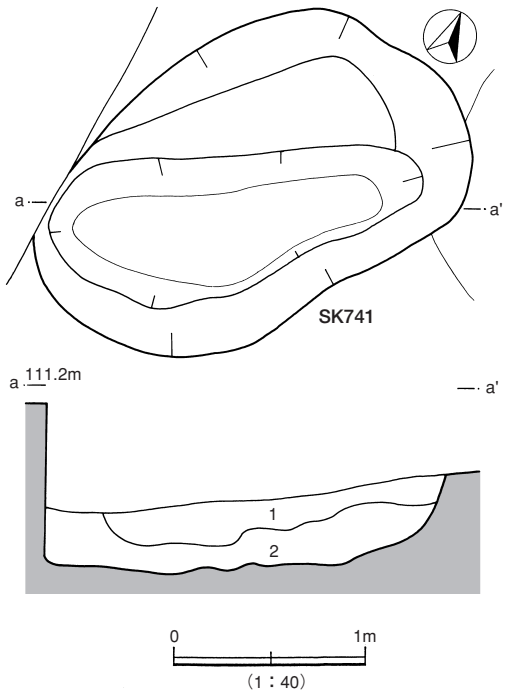
壁はほぼ垂直、底面は平坦である。覆土の１層は自然堆積、２層は人為的に埋め戻された土

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:404 Date: 2005/03/18 Fri 18:14:50

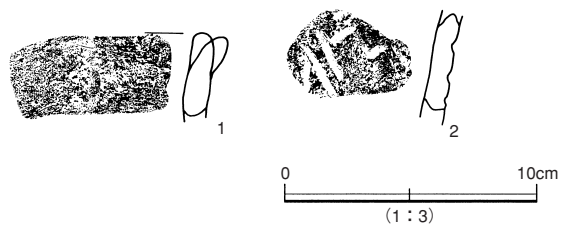


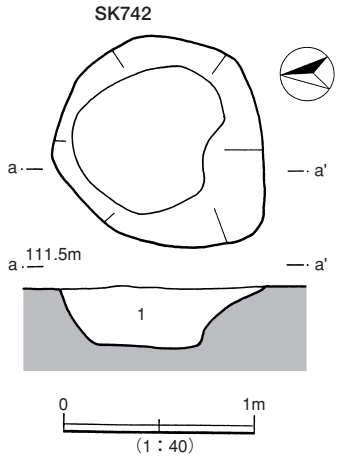
SK740
1　10YR2/3　黒褐色シルト　細砂を小ブロック又は縞状に若干含み、炭化粒、地山土を含む　固くしまる
2　10YR2/3　黒褐色微砂　1をブロック又は縞状に含み、山礫粒、炭化粒を含む、柔らかい

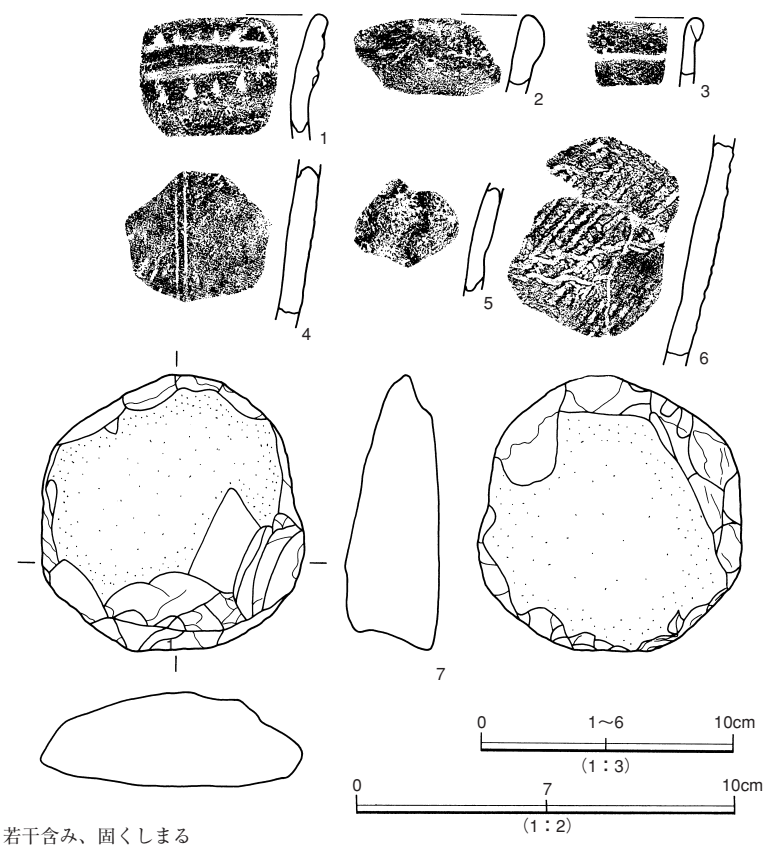




SK741
1　10YR4/4　褐色中砂　植物根、礫含む
2　10YR2/3　黒褐色中砂　10YR4/6褐色シルトを大ブロックで含み、植物根含む



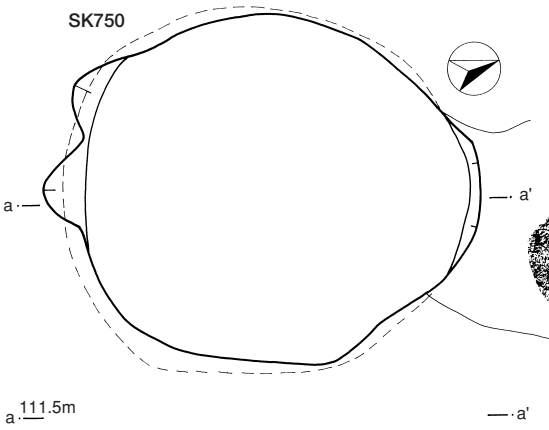


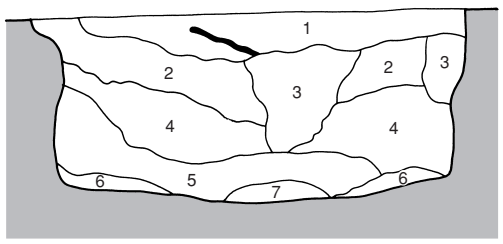


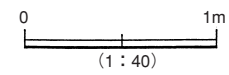
SK742
1　10YR3/3　暗褐色土　炭化物を含み、下層に地山土を若干含み、固くしまる

第352図　SK740・741・742 土坑・出土遺物

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:405 Date: 2005/03/18 Fri 18:17:26

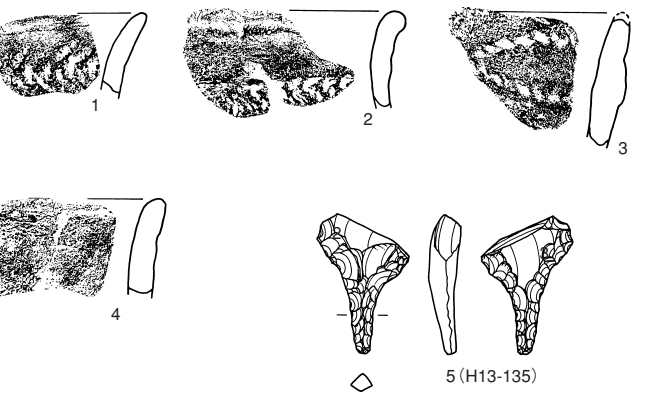


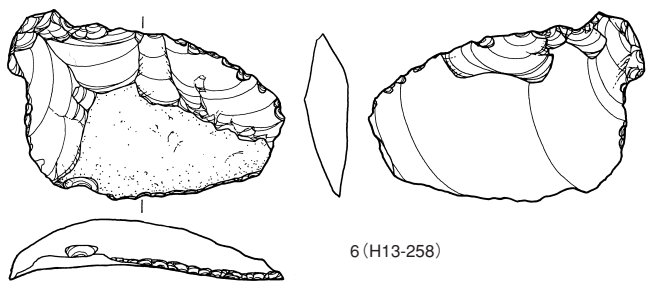


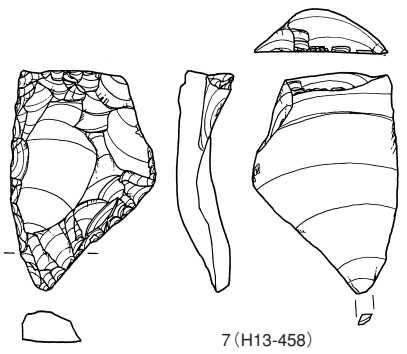


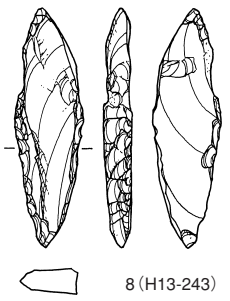
SK750

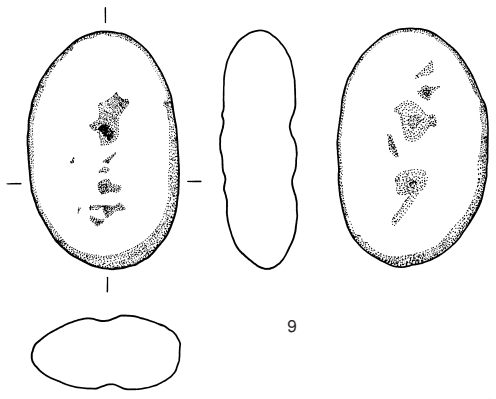
1	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	炭化粒を多く含み、地山土を斑状に含む 微砂を含み、固くしまる
2	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	細砂を多く含み、山礫角、粒を多く含む 炭化粒を含み、固くしまる
3	10YR3/3	暗褐色シルト	1と2の混合土、炭化粒を多く含む、しまる
4	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	2と同様だが、2より粘性で砂質少なくカク 礫粒大きく、しまる
5	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	細砂を多く含み、山礫粒を含む、しまる
6	10YR3/3	暗褐色細砂	10YR3/3暗褐色シルトを縞状に含み、汚れ ている
7	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	5より粘性で焼土粒を多く含む、しまる

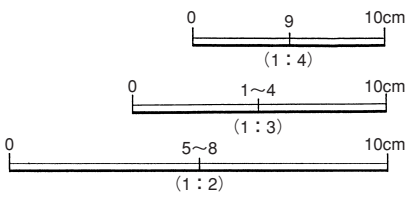




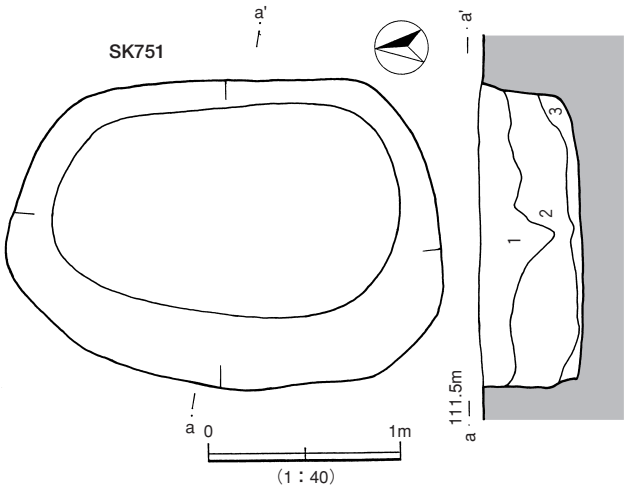




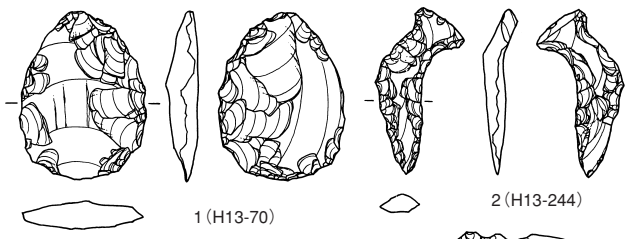


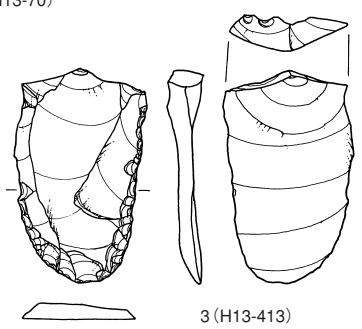


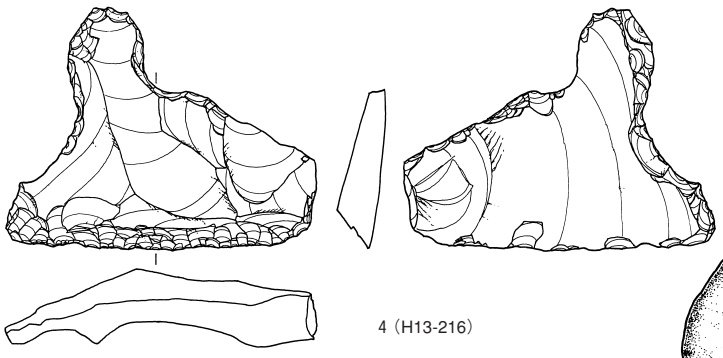
第353図　SK750 土坑・出土遺物

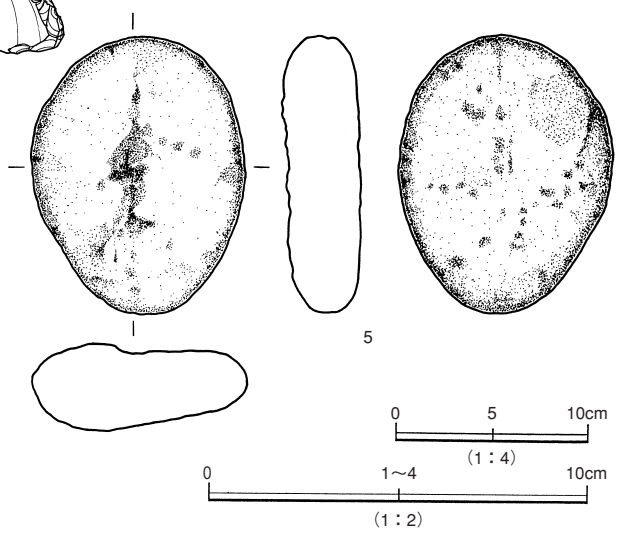


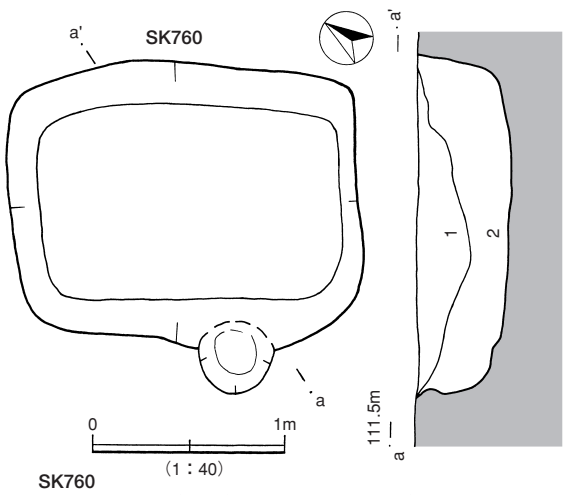
SK751
1　10YR2/2　黒褐色シルト　遺物（剥片多数、土器片）、炭化粒を少量含み、植物根含む、固い
2　10YR3/3　暗褐色シルト　地山粒を斑状に含む
3　10YR2/3　黒褐色シルト　地山粒を少量含む



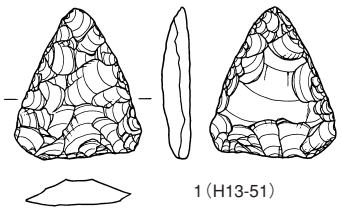


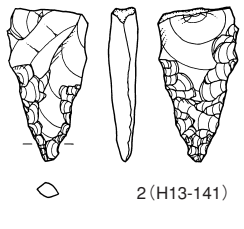


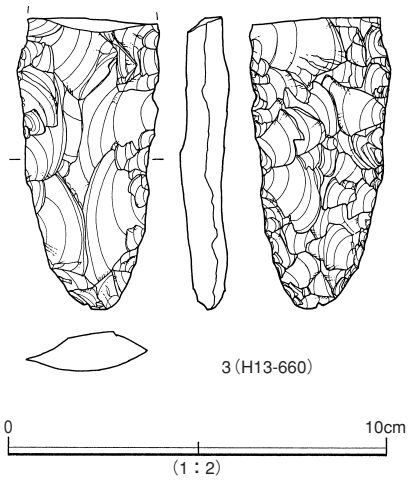




SK760
1　10YR2/1　黒色粘質シルト　地山粒を含み固くしまる、純粋層（遺物を含む）
2　10YR3/3　暗褐色シルト　地山土をブロックで非常に多く含む、3をブロックで含む、しまる（撹乱様）







第354図　SK751・760 土坑・出土遺物

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:407 Date: 2005/03/19 Sat 09:40:26

である。遺物は石鏃などが少量出土している。

ＳＫ764（第355図　写遺物－84）

グリッド12－93に位置する。環状集落中央広場の西側に所在する。平面形は円形を呈し、規模は南北95cm、東西80cm、深さ10cmを測る。検出面からの深さは浅いが、垂直の掘り込みで平坦な底面である。

遺物は大型の深鉢が出土している。

ＳＫ768（第355図）

グリッド13－94に位置する。環状集落中央広場の西側に所在する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は東西59cm、南北1.20m、深さ40cmを測る。墓壙様で他の同様の土坑であるＳＫ785・792・966が付近に所在している。壁はほぼ垂直、底面は平坦で東側にピットが掘り込まれる。覆土の状況は一括堆積である。

墓壙の可能性

遺物は少量の土器片が出土している。

ＳＫ769（第355図）

グリッド14－92に位置する。環状集落中央広場のやや西側に所在する。平面形は、ほぼ円形を呈し、規模は南北1.25m、東西1.1mを測る。底面は平坦である。

遺物は石器が少量出土している。

ＳＫ770（第356図）

グリッド19－90、西に傾斜する斜面上に所在する。南壁で小ピットが重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は南北60cm、東西84cmを測る。

東壁はほぼ垂直に掘り込まれ約25cmを測り、西壁はやや傾斜して掘り込まれ、約20cmの深さである。底面は平坦である。

遺物は縄文中期大木８ａ式土器深鉢片が少量出土している。

ＳＫ772（第356図　写遺物－84）

グリッド20－90に位置する。西に傾斜する斜面上に所在する。ＳＫ1594・1739と重複し、これらを切る。また南西壁で別の土坑と重複し、これに切られる。

平面形は楕円形を呈し、規模は東西1.26m、南北1.74mを測る。東壁は垂直に掘り込まれるが西壁はやや傾斜しており、掘り込みの深さは40～50cm程である。底面は非常に平坦である。

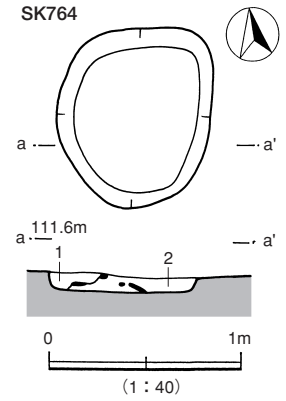
遺物は１の半截竹管文の小型の深鉢型土器や石匙・石篦等が出土している。１は二次焼成を受けたとみられ、器面の剥落が著しい。

ＳＫ781（第357図　写遺物－84）

グリッド12－92に位置する。環状集落中央広場の中央部に所在する。平面形は小ピットと小溝の重複遺構の様相を呈する。ピット部分は径40cm、深さ35cmを測る。遺物は深鉢土器片が出土している。

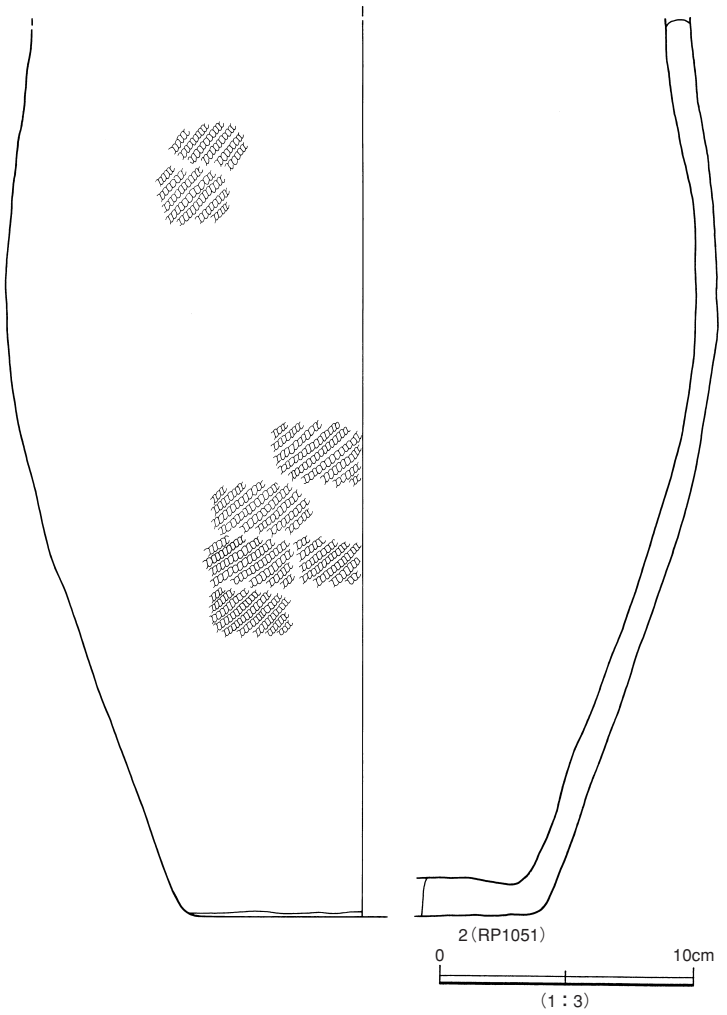
ＳＫ790（第357図　写遺物－５・84）

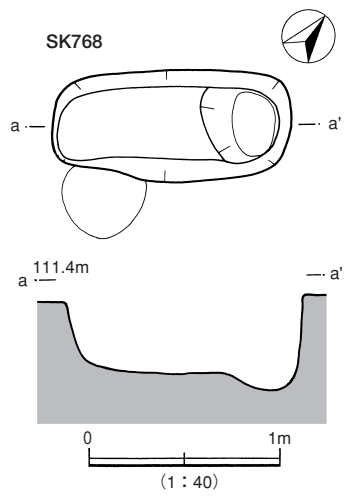
グリッド10－93に位置する。環状集落中央広場のやや北側に所在する。平面形は小溝の様相を呈する。規模は長さ1.1m、幅40cm、深さ25cmを測る。底面に１の台付鉢が貼り付いて出土した。

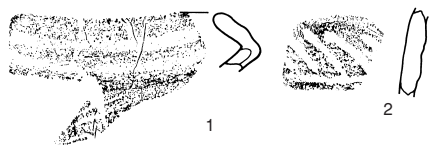


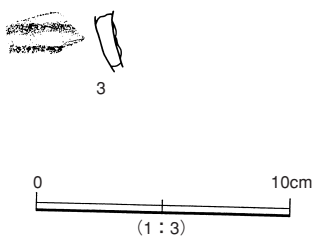
SK764

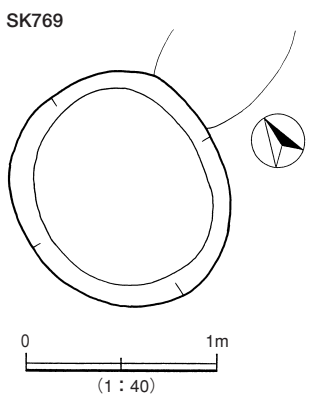
1　10YR4/4　褐色粘質シルト　遺物、植物根含む
2　10YR2/3　黒褐色粘質シルト　遺物、炭化粒、植物根含む、柔らかい

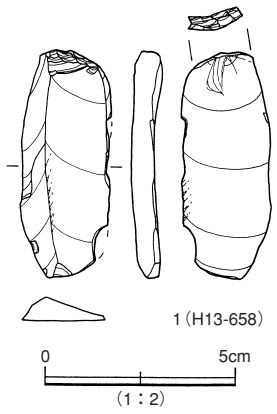






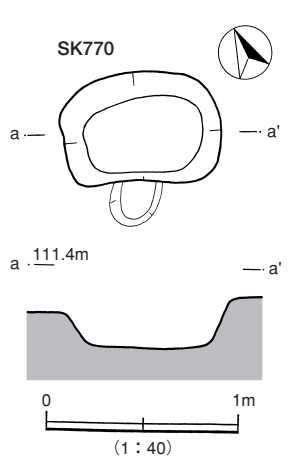


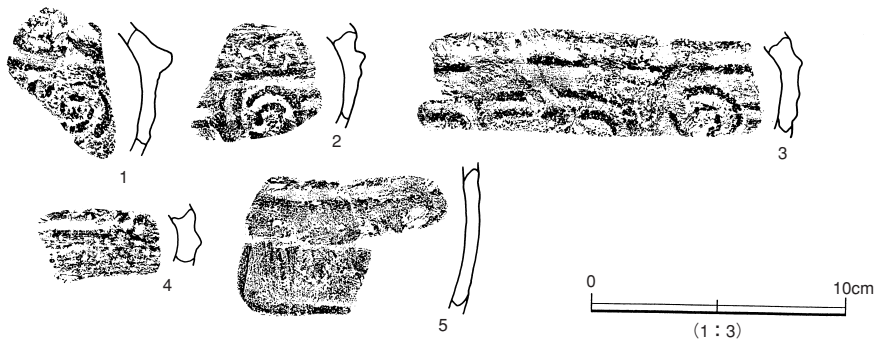


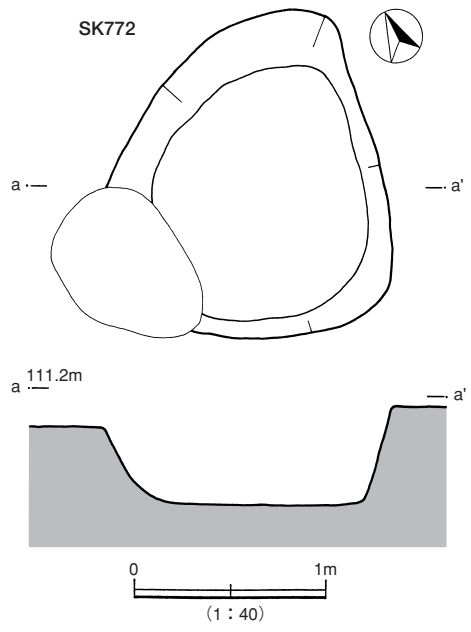


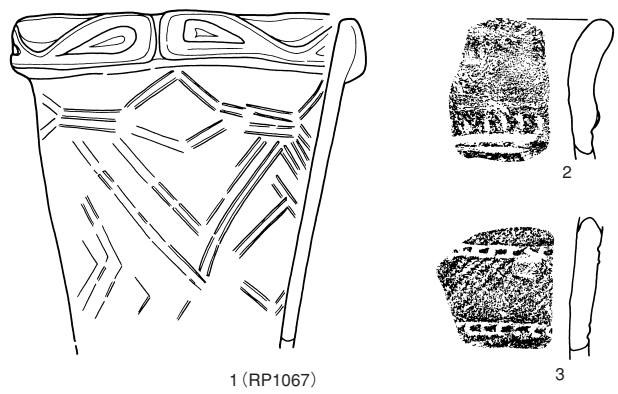
第355図　SK764・768・769 土坑・出土遺物

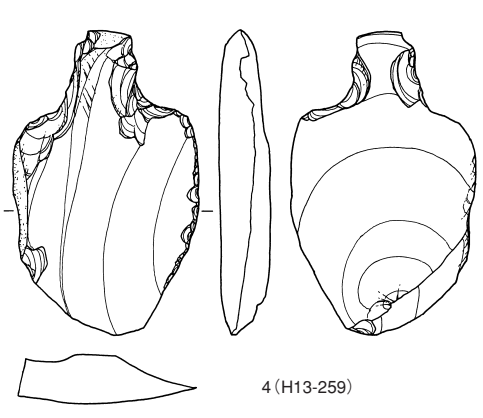
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:409 Date: 2005/03/18 Fri 18:47:05

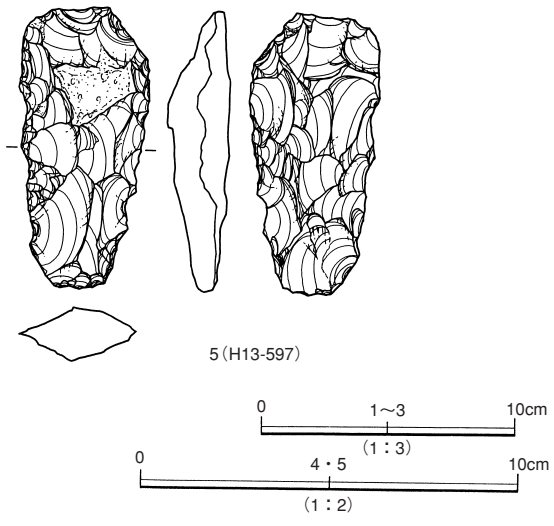






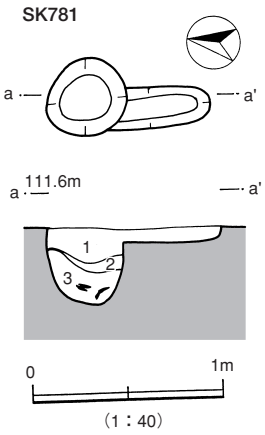




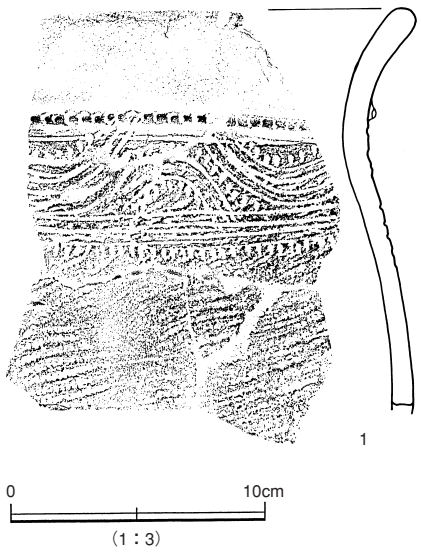


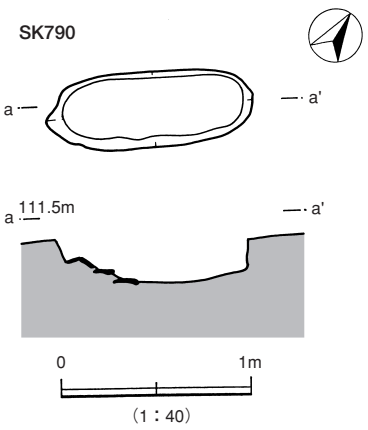
第356図　SK770・772 土坑・出土遺物

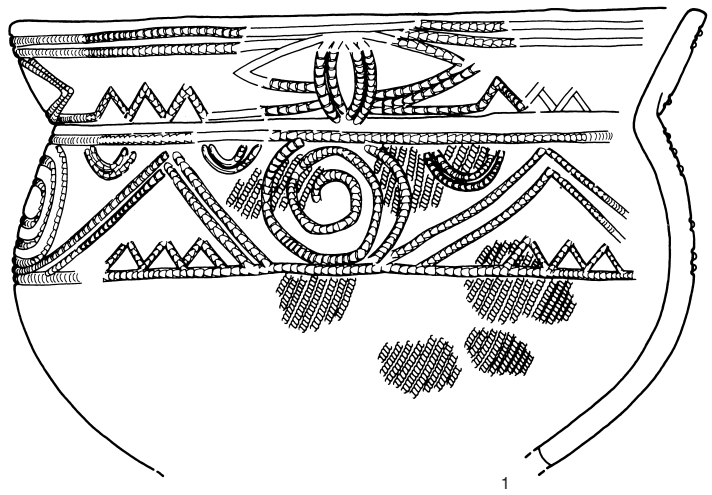
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:410 Date: 2005/03/18 Fri 18:50:00

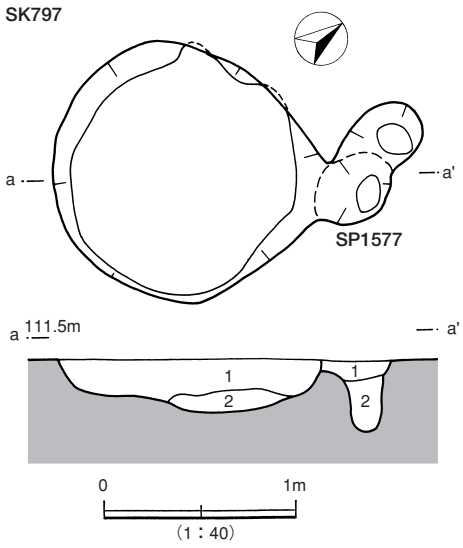


SK781
1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山粒を少量含み炭化粒、植物根含む固い
2　10YR2/2　黒褐色シルト　地山粒を少量含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　地山を多量に含み遺物を含む



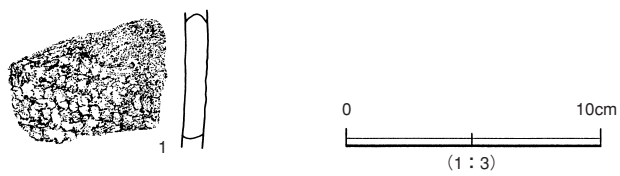






SK797
1　10YR3/4　暗褐色シルト　地山粒、炭化粒含む、固い
2　10YR2/2　黒褐色シルト　地山粒を含み、炭化粒、植物根含む、固い

SP1577
1　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト　2を少量、斑に含む
2　10YR2/2　黒褐色シルト　地山粒を少量含み、炭化粒、植物根含む



第357図　SK781・790・797 土坑・出土遺物

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:411 Date: 2005/03/25 Fri 11:51:56

ＳＫ797（第357図）

グリッド12－91に位置し、ＳＰ1577と重複している。環状集落中央広場のほぼ中央に所在する。平面形は円形を呈し、規模は径1.4m、深さ30cm前後である。当初は壁がオーバーハングするフラスコ状土坑であったが、平面図作成前に崩落してしまった。壁は一部オーバーハングし、底面は平坦である。覆土の状況は自然堆積である。

遺物は石核等が底面付近で出土している。

ＳＫ792（第358図）

墓壙様の形態

グリッド13－94に位置する。遺存状態は良好で形態は墓壙様である。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は東西82cm、南北1.34mを測る。壁はほぼ垂直に掘り込まれ、深さ32cmである。床は平坦でピットが検出された。覆土の状況は一括堆積であり、人為的に埋め戻されたとみられる。

遺物は土器片・石器・磨石・円盤状土製品が出土している。

ＳＫ801（第358図）

グリッド11－92に位置する。環状集落中央広場の中央に所在する。やや浅めの掘り込みであるが、遺存状態は良好である。上部削平を受けたというよりも、元々浅い土坑とみられ、フラスコ状土坑である。

平面形は円形を呈し、径1.12mを測る。壁はややオーバーハングし、深さは32cmを測る。底面は非常に平坦である。覆土の状況は一括堆積である。

遺物は石器・磨石が少量出土している。

ＳＫ806（第359図　写遺構－175）

グリッド９－95に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は上面で長径1.64m、短径1.3mを測る。底面は長径1.3m、短径１m、深さ83cmを測る。

東壁はオーバーハングし、西壁は垂直に立ち上がる。底面は砂層まで掘り下げられ、 ほぼ平担である。

覆土は５層まで確認され、人為的に堅く埋められている。覆土は一括堆積だが砂層の間層があり、時期差があるとみられる。

遺物は土器片と石器が少量出土している。

ＳＫ785（第359図）

グリッド13－94に位置する。遺存状態は良好で墓壙様である。平面形は楕円形を呈し、規模は東西57cm、南北1.2m、深さ30cmを測る。覆土の状況は一括堆積、人為的な埋土の可能性がある。

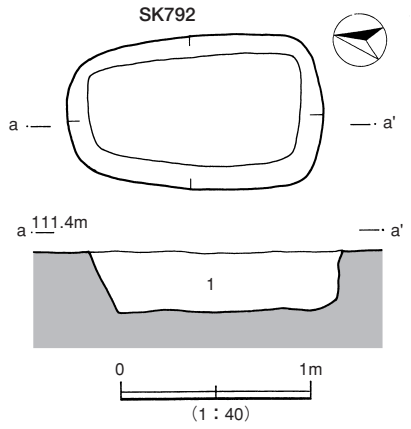
人為的埋土

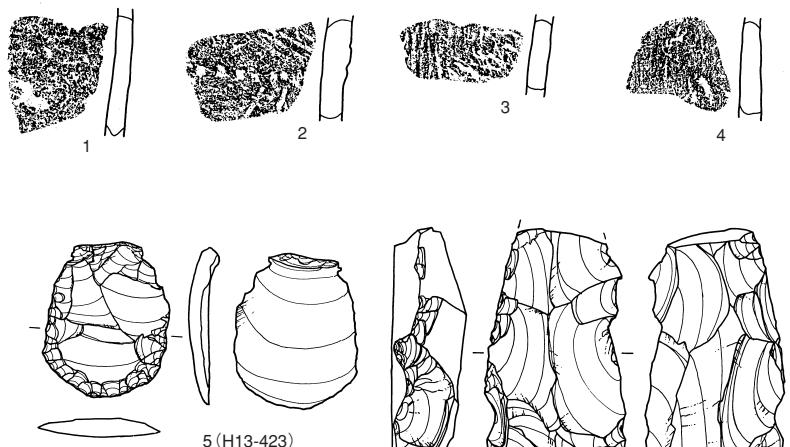
ＳＫ808（第359図）

グリッド12－90に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径１m、深さ20cmを測る。壁は僅かにオーバーハングして立ち上がる。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。覆土は黒色～黒褐色粘質シルトを主体とする自然堆積である。

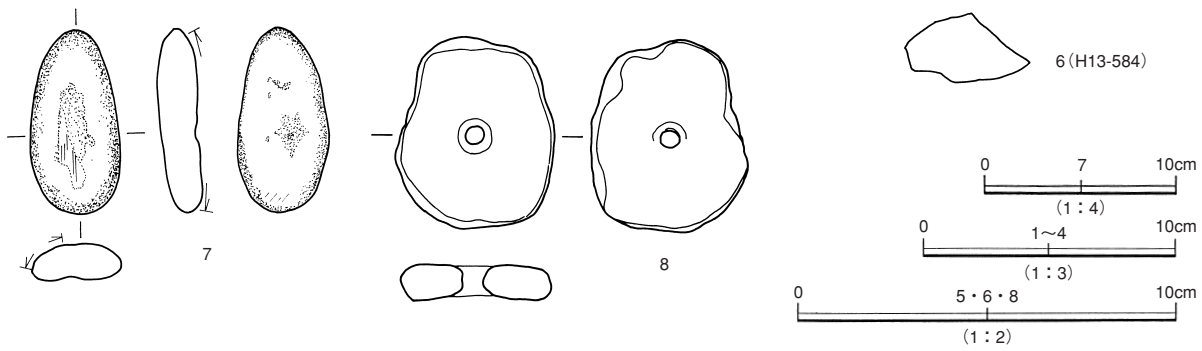
遺物は図示したものはないが、20cmほどの大きなコアが出土している。

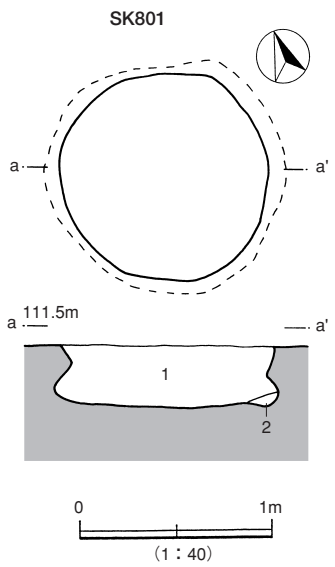
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:412 Date: 2005/03/18 Fri 18:55:43

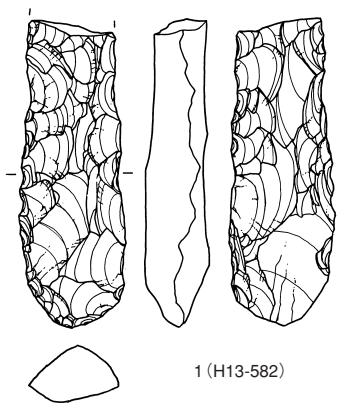


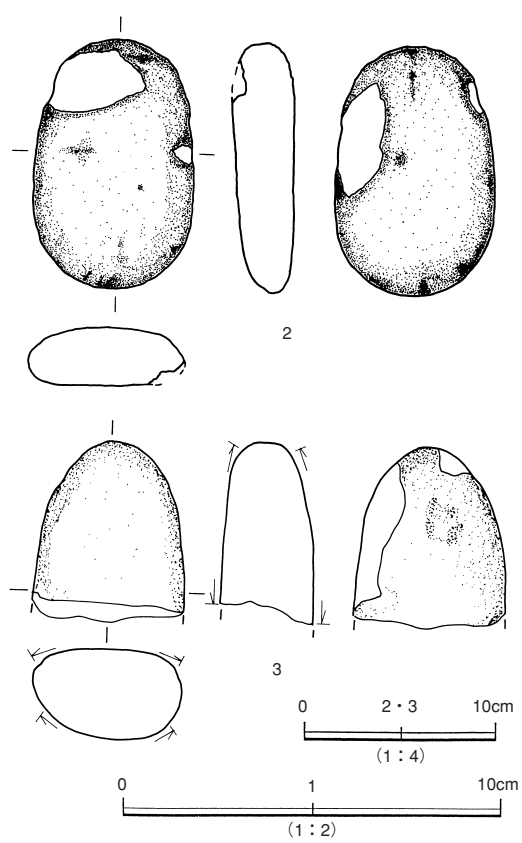


SK792
1　10YR1/3　黒褐色シルト　地山を少量含む







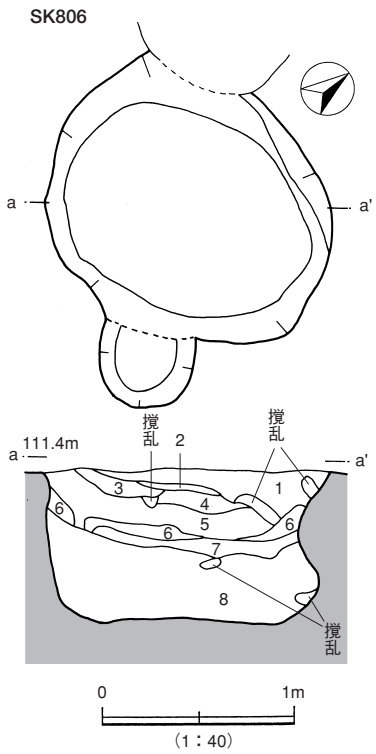


SK801
1　10YR3/2　黒褐色シルト　　地山を粒状に少量、縞状に薄く含み
　　炭化粒、植物根含む、固い
2　10YR4/6　褐色粘質シルト　地山

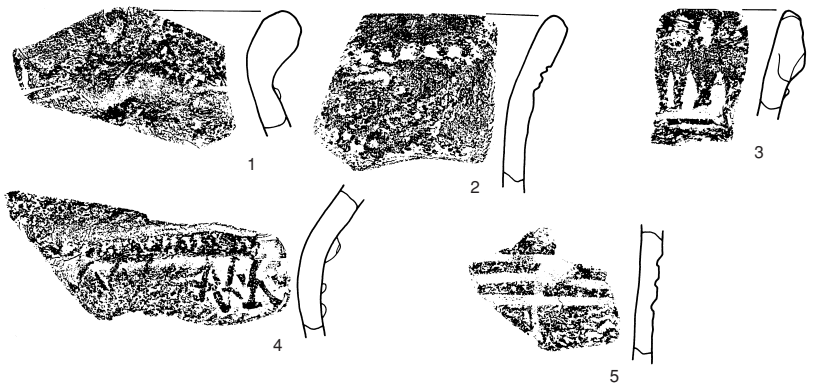
第358図　SK792・801 土坑・出土遺物

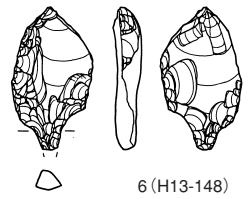
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:413 Date: 2005/03/18 Fri 19:03:10

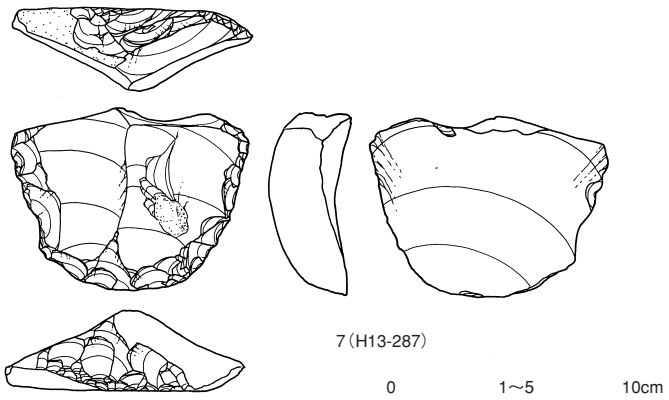
SK806



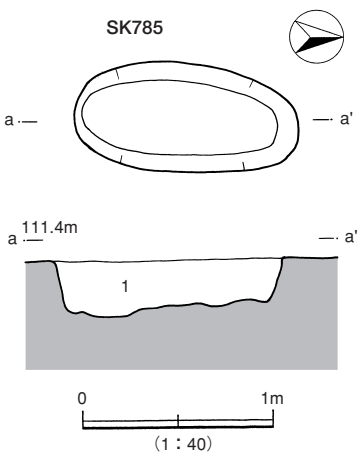
SK806
1　10YR3/4　暗褐色シルト　やや粘性あり、地山粒、焼土、炭化粒を少量含み、植物根礫含む
2　10YR3/4　暗褐色シルト　1と同様だが、地山を斑に含み、焼土、炭化粒、礫含まない
3　10YR2/3　黒褐色シルト　地山粒を微量含み、炭化粒、植物根含む
4　10YR3/2　黒褐色シルト　やや粘性あり、地山を点状に含み、炭化粒含む
5　10YR3/4　暗褐色シルト　地山を粒状、点状に含み、焼土、炭化粒、遺物、礫含む
6　10YR3/2　黒褐色シルト　4より地山を多く含み、炭化粒、礫含む
7　10YR3/3　暗褐色粘質シルト　地山を点状、炭化粒を含み、植物根、礫含む
8　10YR4/4　褐色シルト　地山を点状に多量含み、炭化物、植物根、礫含む、人為的



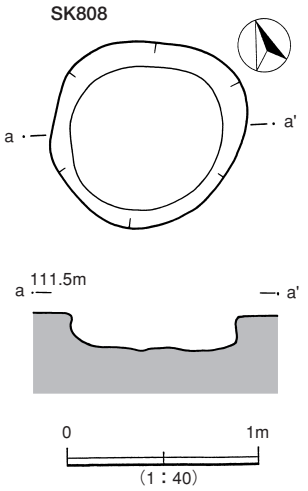




SK785



SK808



SK785
1　10YR2/2　黒褐色シルト　地山粒を斑に含む

第359図　SK806・785・808 土坑・出土遺物

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:414 Date: 2005/03/19 Sat 09:44:15

ＳＫ824ａ～ｅ（第360～362図　写遺物－23・85）

５基のフラスコ状土坑群

グリッド19・20－87・88に位置する。遺存状態は良好である。当初は円形プランで落ち込み状に薄く土が堆積していたため竪穴住居跡とみられたが、精査の結果５基のフラスコ状土坑群と確認された。

覆土の状況は一括堆積であり、間層に地山の土層が入るものもある。平面形は円形を呈する。壁は、垂直あるいはオーバーハングする。

ＳＫ824ａは深さ112cm、ＳＫ824ｃは深さ126cm、ＳＫ824ｄは深さ96cm、ＳＫ824ｅは深さ80cmを測る。

底面は直床で最下層は汚れた地山土（砂礫）が堆積し、地山土と粘土が混在している。ピットなどは未検出である。

遺物は前期末葉と中期大木８ｂ式の遺物が出土しており、両方の時期が混在していると見られるが出土遺構は特定できない。

ＳＫ836（第363図　写遺構－135・175　写遺物－17・36）

グリッド17－87に位置する。ＳＴ835の南壁と重複しこれを切る。ＳＴ835埋没後掘り込まれている。遺存状態は良好だが果樹アンカーに上面を一部壊される。平面形は円形を呈し、断面はフラスコ状で、南側が強くオーバーハングする。

規模は径130cm、深さ103cmを測る。覆土は５層まで確認され、３・４層に礫や土器が投げ込まれている。長さ20～30cmの大型の礫もある。下層の１層は凹みに自然堆積した状況である。底面は赤褐色砂層まで掘り込まれ緩やかな曲面をもつ。

遺物は１の大型の深鉢上半部が出土。他に土器片や石器・磨石が出土している。

ＳＰ777・778（第364図　写遺物－105）

グリッド13・14－91・92に位置する。環状集落中央広場のやや南寄りに位置する。平面形は円形または方形の小ピットである。掘り込みの深さはＳＰ777が22cm、ＳＰ778は10～43cmである。

遺物は細い粘土紐貼付による鋸歯状文の深鉢片や石器が少量出土している。

ＳＫ857ａ～ｇ（第365・366図）

グリッド19・20－88・89に位置する。遺存状態は良好で、南に向かって傾斜する斜面上に所在する。上面では若干の切り合いの線引きはできたが、プランを引くまでには至らなかった。そのため大きなプラン全体で住居跡と考えたが、断面の観察より土坑群と確認された。土層の状態の線引きができなかったのは、土層断面では複数の土坑の切り合いはあるものの、上面は同一覆土のためである。

複数の重複土坑

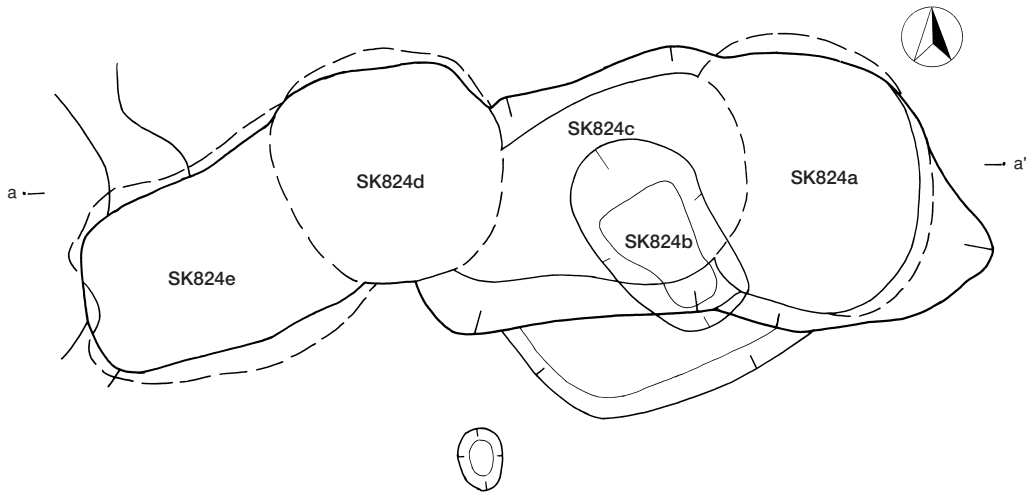
平面形は円形を呈し、規模は直径２～2.5m、深さは70～120cmを測る。壁はほぼ垂直だが、ａの西側部分はオーバーハング気味である。底面は黄褐色粘質シルトと黒褐色土の貼床状を呈する。溝・ピットは検出されていない。

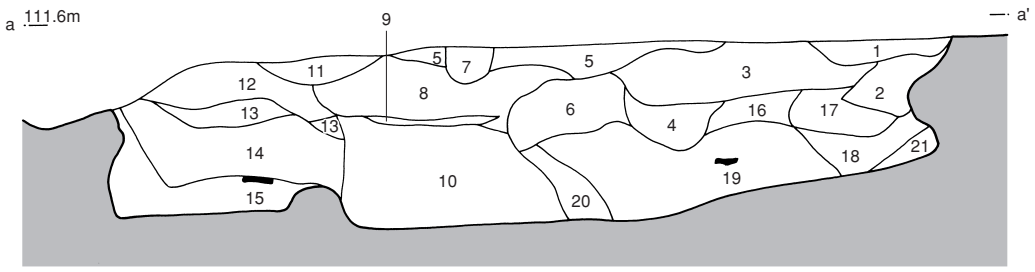
遺物は縄文土器・凹石・石皿が出土している。

ＳＫ876（第367～370図）

グリッド17・18－91・90に位置する。斜面部にかかり、規模は東西1.5m、南北1.7m、深さ

Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:415 Date: 2005/03/18 Fri 19:06:49

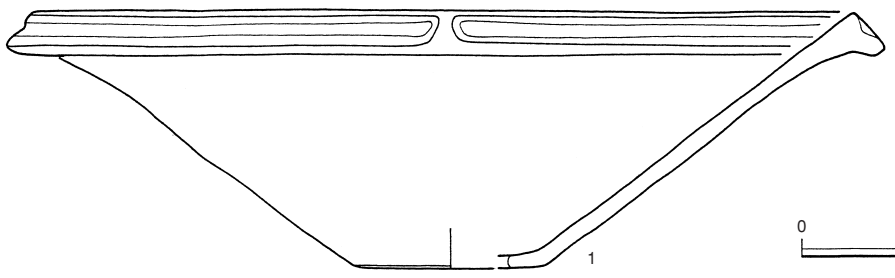




0　1m
（1：40）

SK824
a-a'

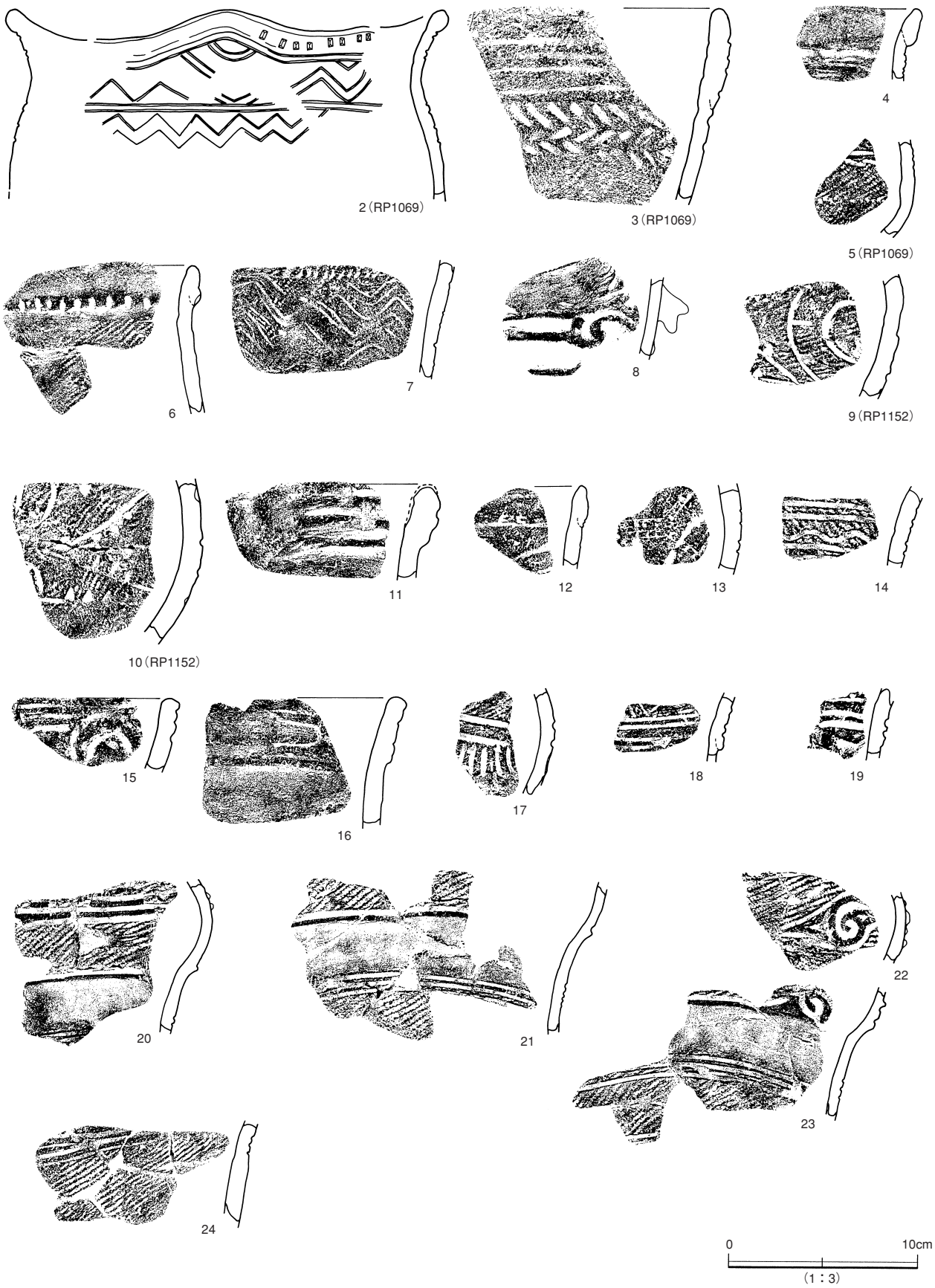
1	10YR2/2	黒褐色シルト	地山を点状に少量含み、炭化粒、植物根含む
2	10YR3/2	黒褐色シルト	細砂含み、地山、炭化粒含む
3	7.5YR2/2	黒褐色粘質シルト	細砂含み、遺物、焼土、炭化粒、植物根、礫含む
4	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	細砂含む
5	10YR2/3	黒褐色シルト	遺物、植物根含む
6	10YR3/3	暗褐色シルト	粗砂混じる、地山（褐色粘質シルト）を斑に含み、炭化粒、植物根含む
7	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	植物根含み、柔らかい、木根等の撹乱か？
8	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	中砂混じり、地山を少量含み、遺物、炭化粒、植物根含む
9	10YR4/4	褐色粘質シルト	
10	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	中砂混じり、地山を1～3cm角の点状に含み、炭化物、植物根含む
11	10YR2/2	黒褐色シルト	植物根含み、柔らかい
12	7.5YR2/2	黒褐色粘質シルト	遺物、炭化粒、植物根含む
13	10YR5/4	にぶい黄褐色シルト質粘土	
14	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	中砂混じり、焼土を少量含み、炭化物、植物根含む
15	10YR3/4	暗褐色シルト質砂	粘性あり、遺物を含む
16	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	地山を3～4cm角、粒状に含み、遺物、炭化粒、礫含む
17	10YR4/3	にぶい黄褐色粘質シルト	16を斑に含み、植物根、礫含む
18	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	19を斑、17を縞状に含み、遺物を含む、炭化粒を多量に含み、柔らかい
19	10YR3/2	黒褐色シルト	17を2～3cm角の点状に含み、遺物、炭化物、植物根、山礫含む
20	7.5YR4/4	褐色粗砂	純粋層
21	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒、山礫含む



0　10cm
（1：3）

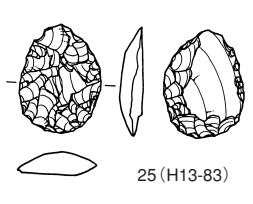
第360図　SK824 土坑・出土遺物（１）

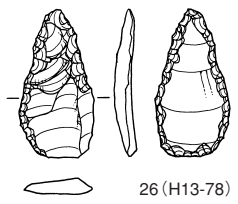
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:416 Date: 2005/03/18 Fri 19:11:36

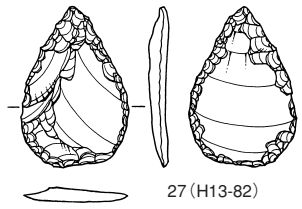


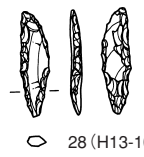
第361図　SK824 土坑出土遺物（２）

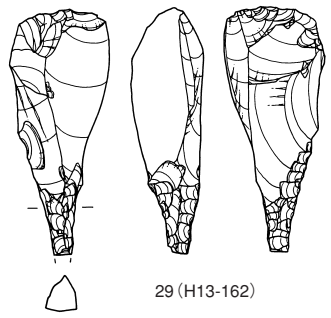
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:417 Date: 2005/03/18 Fri 19:14:31

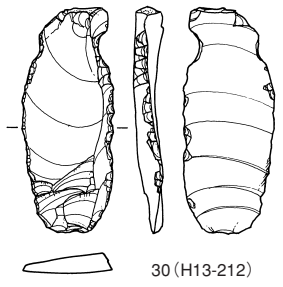

25（H13-83）

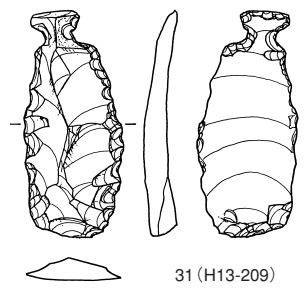

26（H13-78）

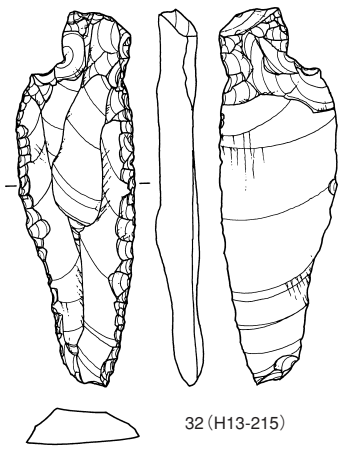

27（H13-82）

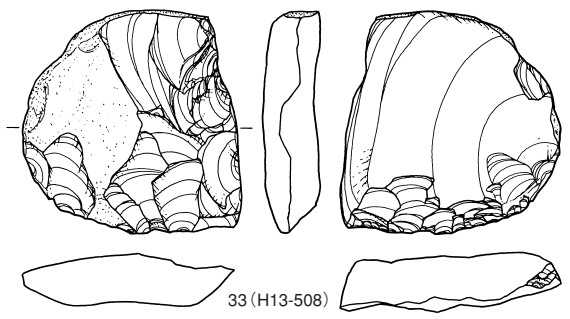

28（H13-105）

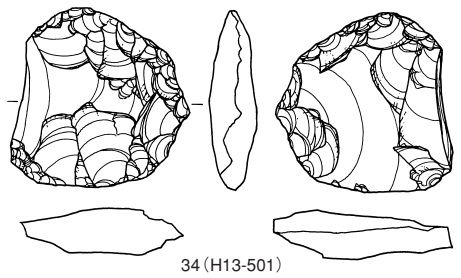

29（H13-162）

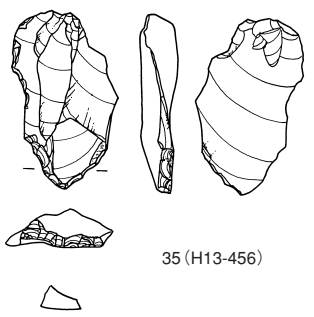

30（H13-212）

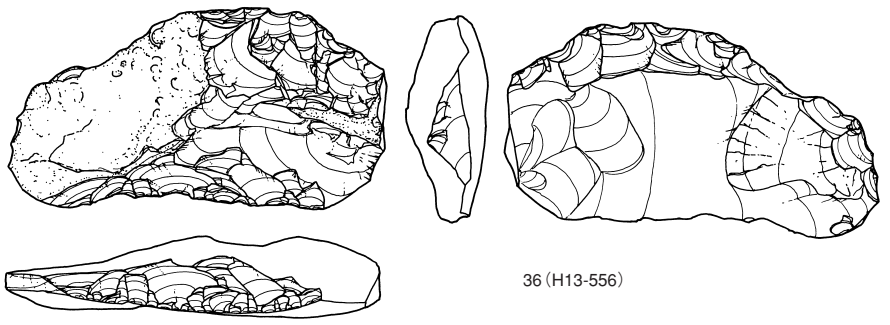

31（H13-209）


32（H13-215）


33（H13-508）


34（H13-501）

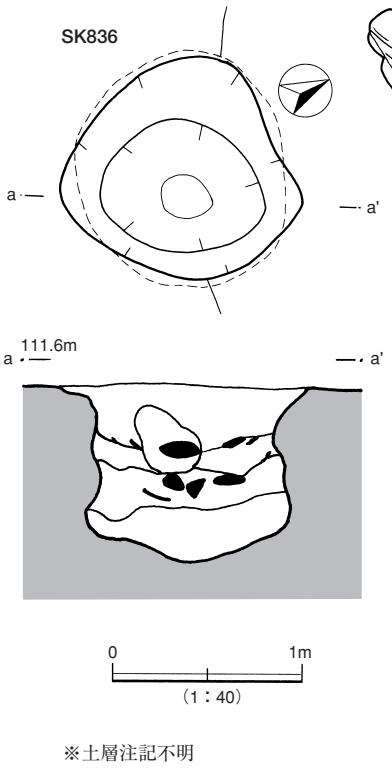

35（H13-456）


36（H13-556）

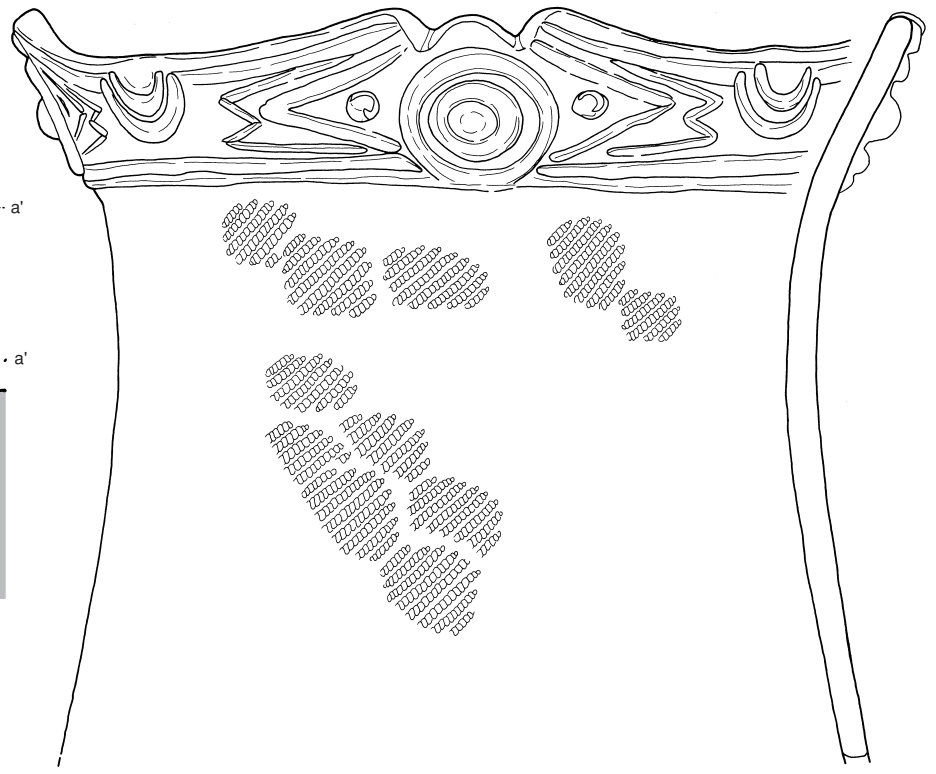
0　10cm
（1：2）

第362図　SK824 土坑出土遺物（３）

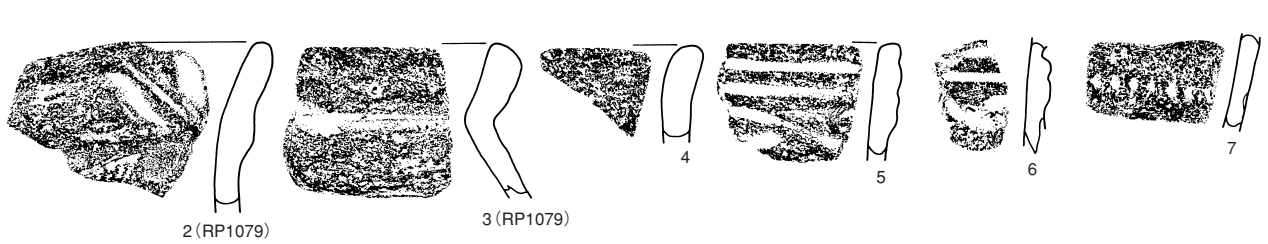
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:418 Date: 2005/03/25 Fri 13:42:53



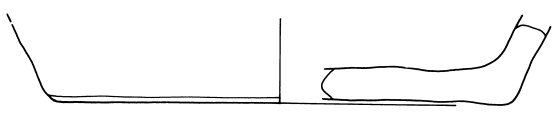
※土層注記不明



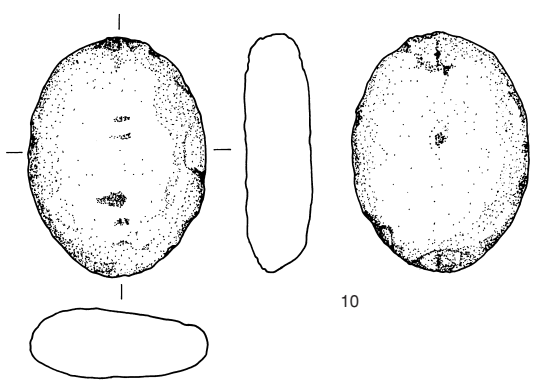
1（RP1141）



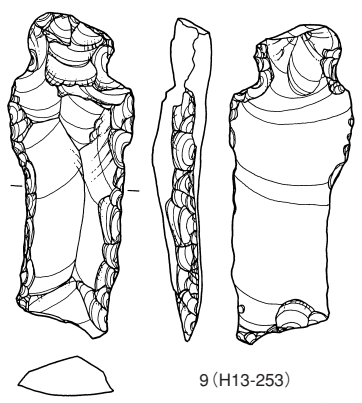
2（RP1079）　3（RP1079）　4　5　6　7



8（RP1079）



10

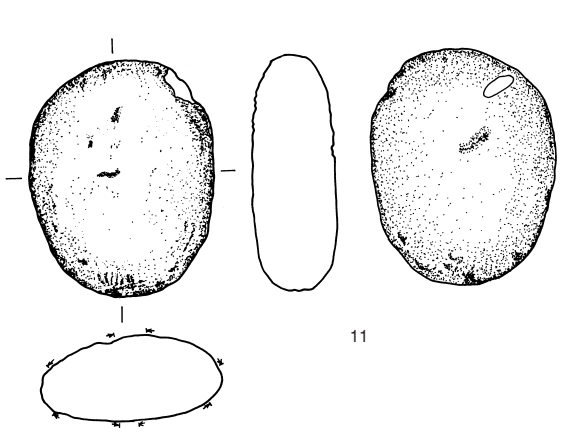


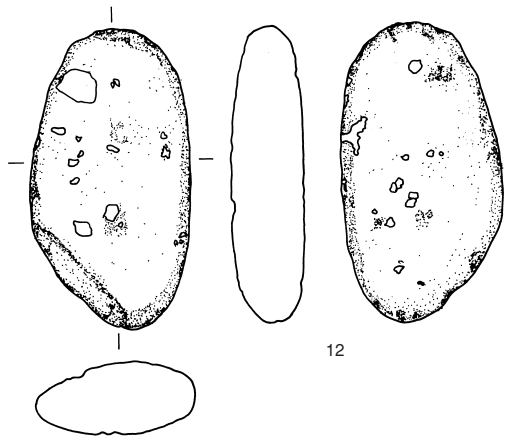
9（H13-253）

0　10　10cm
(1：4)
0　1～8　10cm
(1：3)
0　9　10cm
(1：2)

第363図　SK836 土坑・出土遺物

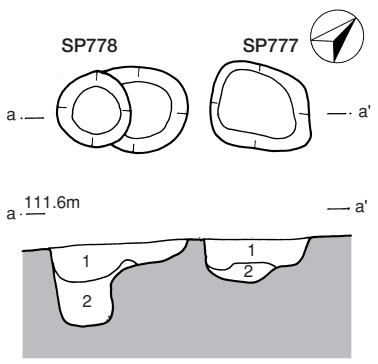
Title:P394-419_縄文時代.ec6 Page:419 Date: 2005/03/18 Fri 19:22:50





SK836

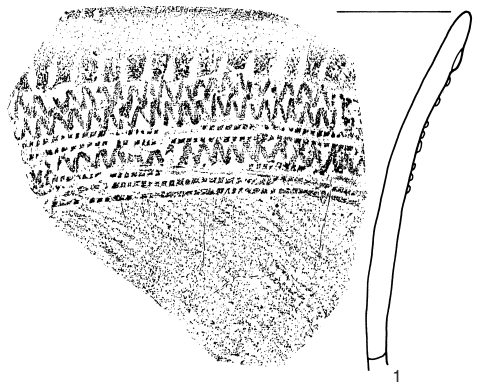
0　10cm
（1：4）

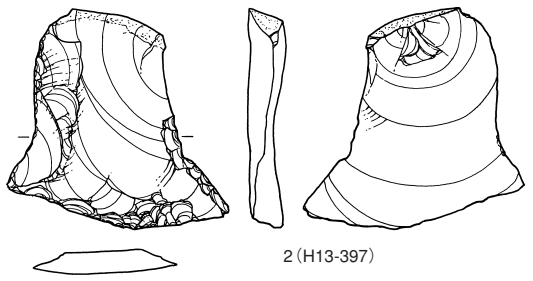


0　1m
（1：40）

SP777
1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山粒を少量含み、炭化粒、植物根含む
2　10YR1.7/1　黒色粘質シルト　地山を斑に含み、炭化粒、植物根含む

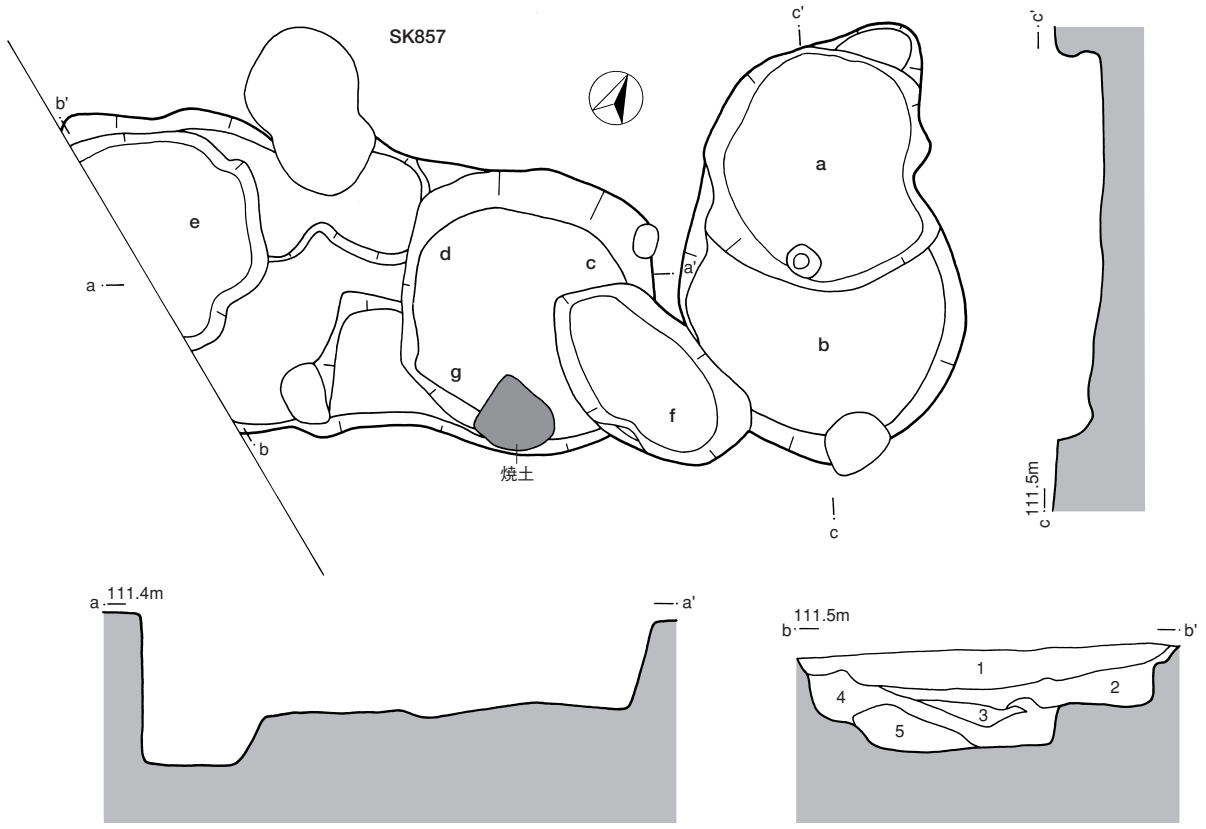
SP778
1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山を斑に含み、植物根含む
2　10YR3/3　暗褐色粘質シルト　地山粒を多量に含み、遺物含む





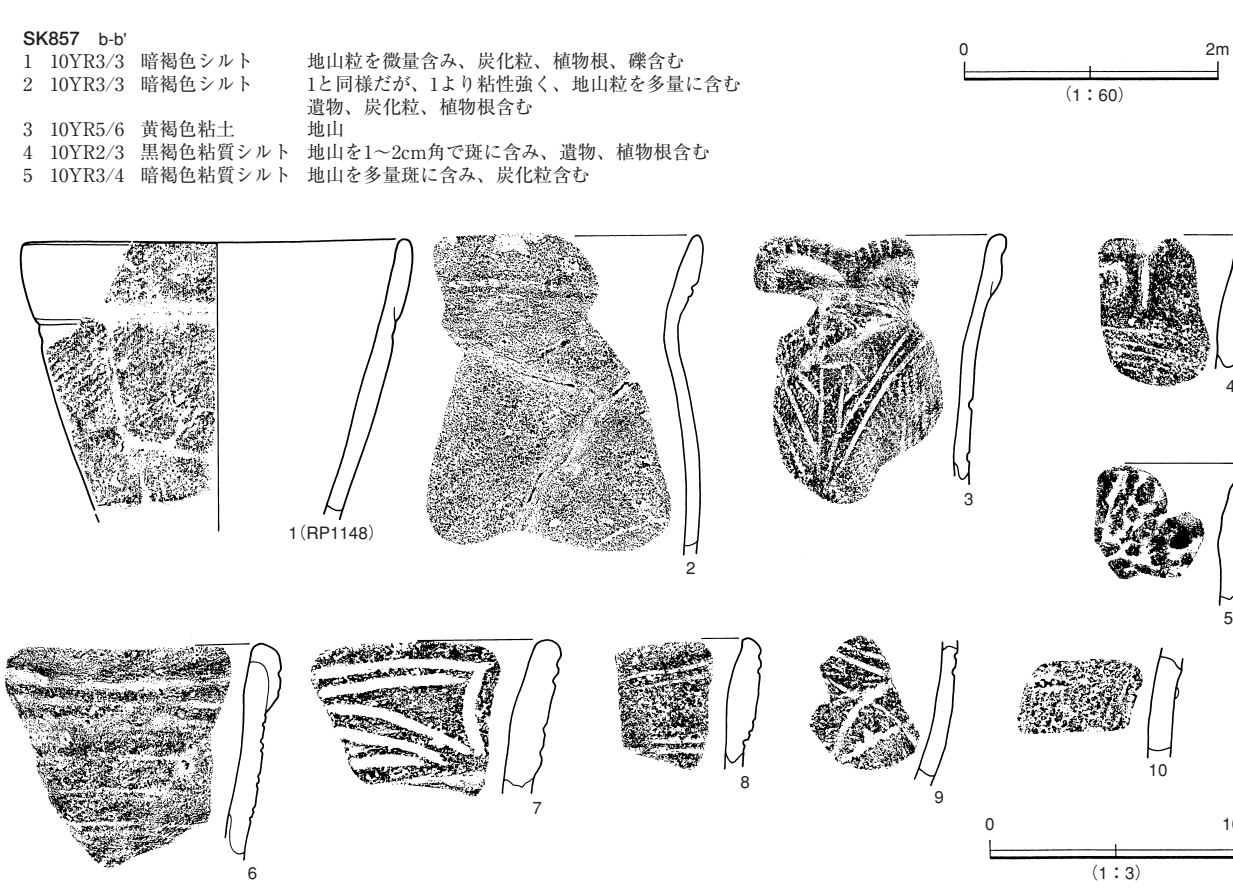
SP778
0　1　10cm
（1：3）
0　2　10cm
（1：2）

第364図　SK836 土坑出土遺物・SP777・778 柱穴・出土遺物



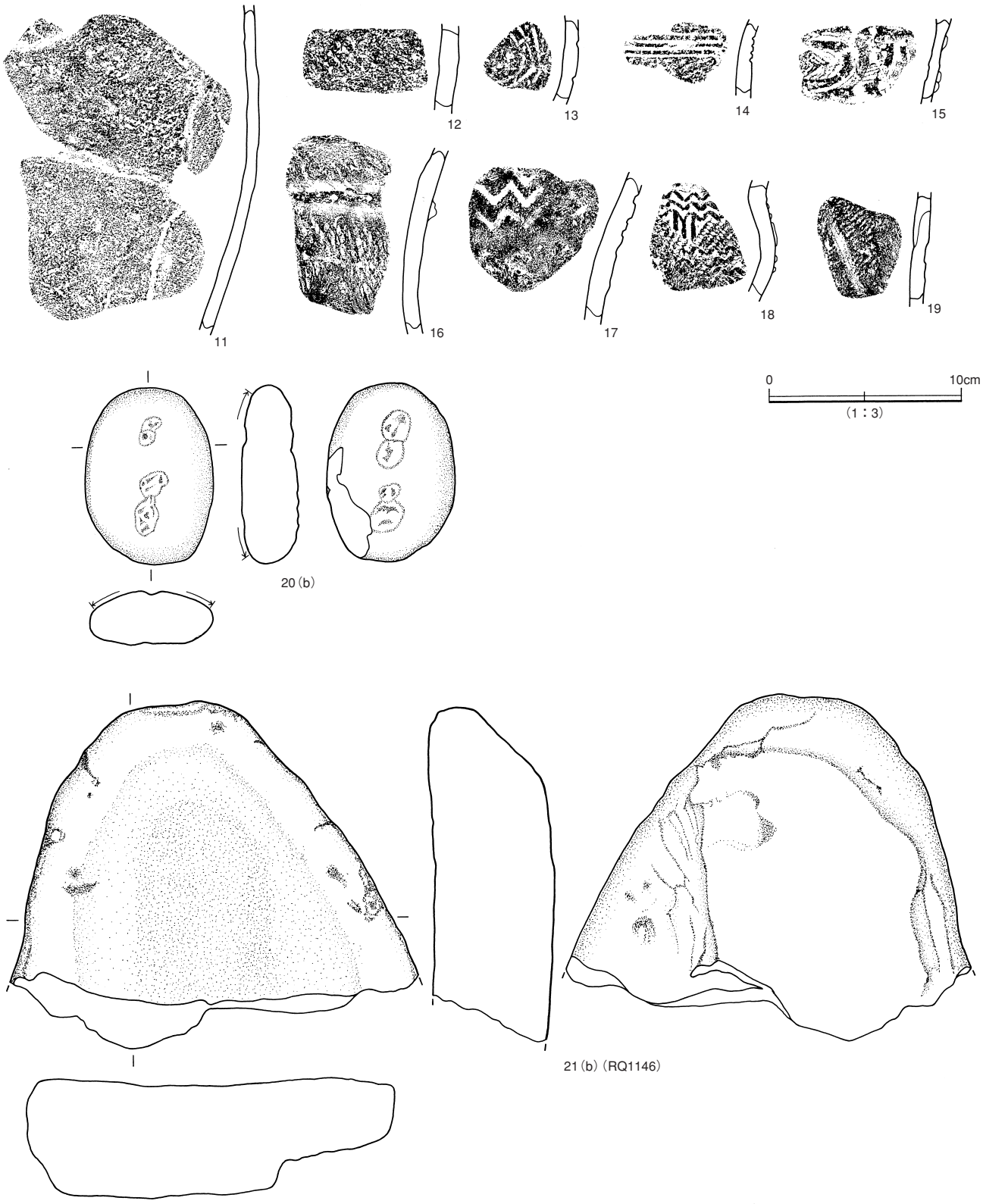
SK857 b-b'

1	10YR3/3	暗褐色シルト	地山粒を微量含み、炭化粒、植物根、礫含む
2	10YR3/3	暗褐色シルト	1と同様だが、1より粘性強く、地山粒を多量に含む 遺物、炭化粒、植物根含む
3	10YR5/6	黄褐色粘土	地山
4	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	地山を1～2cm角で斑に含み、遺物、植物根含む
5	10YR3/4	暗褐色粘質シルト	地山を多量斑に含み、炭化粒含む



第365図　SK857 土坑・出土遺物（1）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:421 Date: 2005/03/18 Fri 19:32:14



第366図　SK857 土坑出土遺物（２）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:422 Date: 2005/03/19 Sat 09:55:50

50cmを測る。2次調査では焼土の存在から周辺の柱穴と合わせて住居跡と考えられたが、3次調査では単独土坑と判断した。炉と考えられた焼土は薄いため、一時的な火の使用とみられる。

覆土は一括堆積で北半部分の壁は緩やかに傾斜するが、南半部の壁はオーバーハングする。平面形は円形を呈し、底面は平坦である。周辺には柱穴やフラスコ状土坑が多数検出されている。

遺物は土器片少量と石鏃・掻器・削器・磨石が出土している。

ＳＫ881（第371・372図　写遺構－176）

グリッド16－89に位置する。ＳＴ1854・1903と重複し、これらを切る。径５ｍの円形を呈し、深さ60cmを測る。壁は西壁で垂直、東壁でやや傾斜している。底面はやや摺鉢状を呈する。

覆土に礫があまりにも大量に混入していたため、当初撹乱と考えたほどであった。遺物は凹石が多数出土し、18の石棒片や17の石皿片など多数が出土している。

石　棒　片

ＳＫ892（第373図　写遺物－27・117）

グリッド18－91に位置する。西側への斜面上に所在し、ＳＫ891・893と重複する。平面形は小判形ないし楕円形を呈し、墓壙様である。規模は長径2.1m、短径1.2m、深さ20cmを測る。覆土は地山土を斑に含む黒褐色シルトである。人為的に埋め戻した可能性がある。断面形はＵ字形を呈し、底面は平坦である。

土　偶

遺物は土偶や石匙、円盤状石製品が出土している。

ＳＫ871（第374図）

グリッド18－88に位置する。西にＳＴ856と重複する。平面形は楕円形を呈し、長径2.1m、短径1.2m、深さ30～40cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。墓壙様である。

遺物は土器片が少量出土している。

ＳＫ894（第374図　写遺構－176）

グリッド20－84・85の調査区南端に位置する。平面形は円形を呈し、整ったフラスコ状土坑である。規模は上面1.2m、底面1.55m、確認面からの深さ1.3mを測る。底面は褐色砂層まで掘り込まれ、平坦である。壁は平坦な底面から大きくオーバーハングして立ち上がる。北側の壁際で小ピットが検出されている。深さ15～20cmである。

本址は耕作土下層の3層上面から掘り込まれている。覆土は表土を含め10枚の土層が確認され、大半は自然堆積であるが、10層の粘土層は壁の崩落によるものである。下層ほど堅く締っている。4～9層で遺物が出土している。底面からは大型の礫が出土している。

遺物は１・2は縄文時代中期大木８ａ式、３・4は８ｂ式の深鉢土器片が出土している。

ＳＫ902・1277（第375図　写遺構－177）

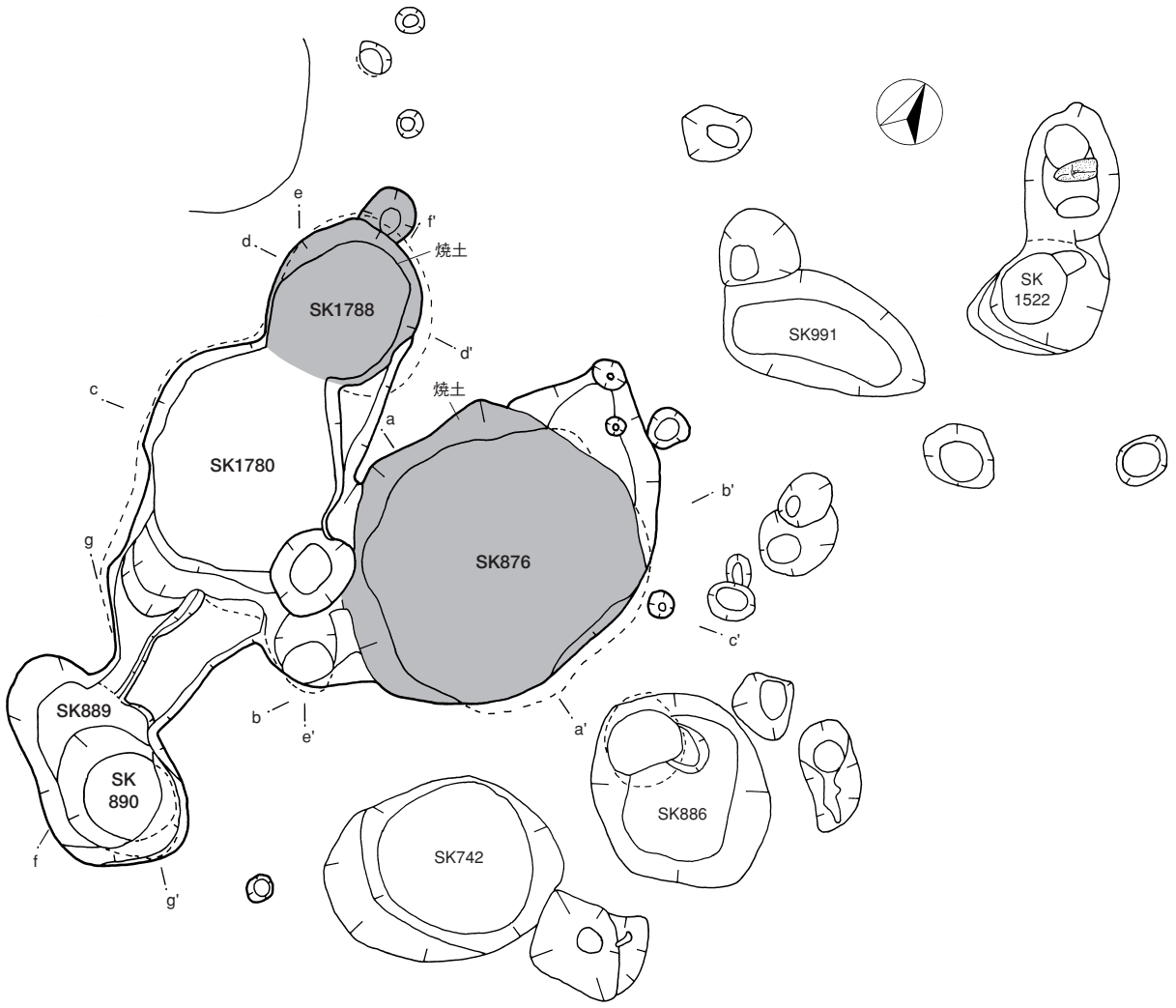
グリッド11－88に位置する。環状集落中央広場の中央やや北東部に所在する。2基の土坑が重複し、新旧関係はＳＫ1277が古く、ＳＫ902が新しい。

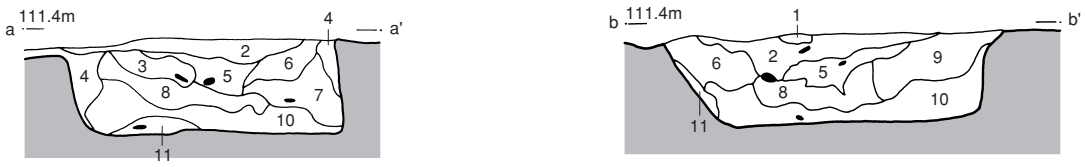
ＳＫ902の平面形は小判形を呈し、規模は長軸1.48m、短軸78cm、深さ28cmを測る。底面はＵ字状と考える。壁面には礫が配置される部分と、上位の配置されない部分がある。一部に礫配石の空白地があり、土坑は2段に掘り込まれていた形跡がある。

礫　が　配　置

覆土は6層まで確認した。1層は撹乱を受け、表土が混入している。2層は黒ボク土に近い。

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:423 Date: 2005/03/18 Fri 19:36:33





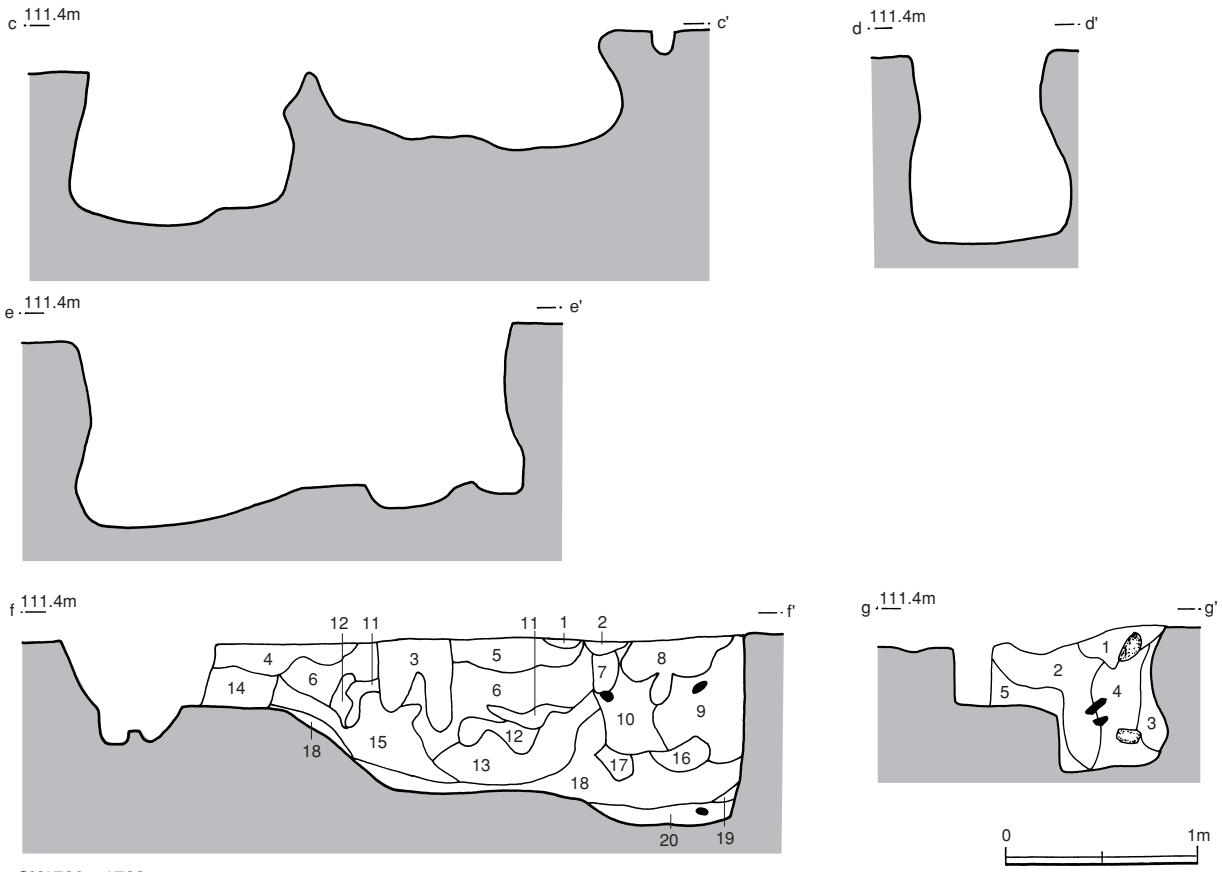
0　1m
（1：40）

SK876

1	5YR5/6	明赤褐色砂質シルト	焼土
2	7.5YR4/4	褐色シルト	焼土粒を含み、遺物、炭化粒、礫含む
3	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	粗砂混じり、黄褐色シルトを粒状に含み、遺物、焼土粒、植物根、礫含む
4	10YR6/6	明黄褐色シルト質粘土	地山土、黒褐色シルト粒を含み、植物根含む
5	10YR4/4	褐色シルト	色調やや赤っぽい、焼土粒、炭化粒含み、礫含む
6	10YR4/4	褐色シルト	5と同様だが、色調は赤っぽくない
7	10YR2/2	黒褐色シルト	地山土を粒状、点状で多量含み、遺物含む
8	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	3と同様だが、3よりも黄褐色シルトを多量に含み、遺物、炭化粒含む
9	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	8と同様だが、8よりも黄褐色シルト粒が小さく、遺物含まない
10	10YR5/6	黄褐色粘質シルト	地山、10YR8/2灰白色粘質シルトを点状に多量含み、炭化粒含む
11	10YR6/6	明黄褐色粘質シルト	灰白色粘質シルト、地山土を点状に含み、遺物含む

第367図　SK876・889・890・1780・1788 土坑

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:424 Date: 2005/03/18 Fri 19:42:19



SK1780・1788 f-f'

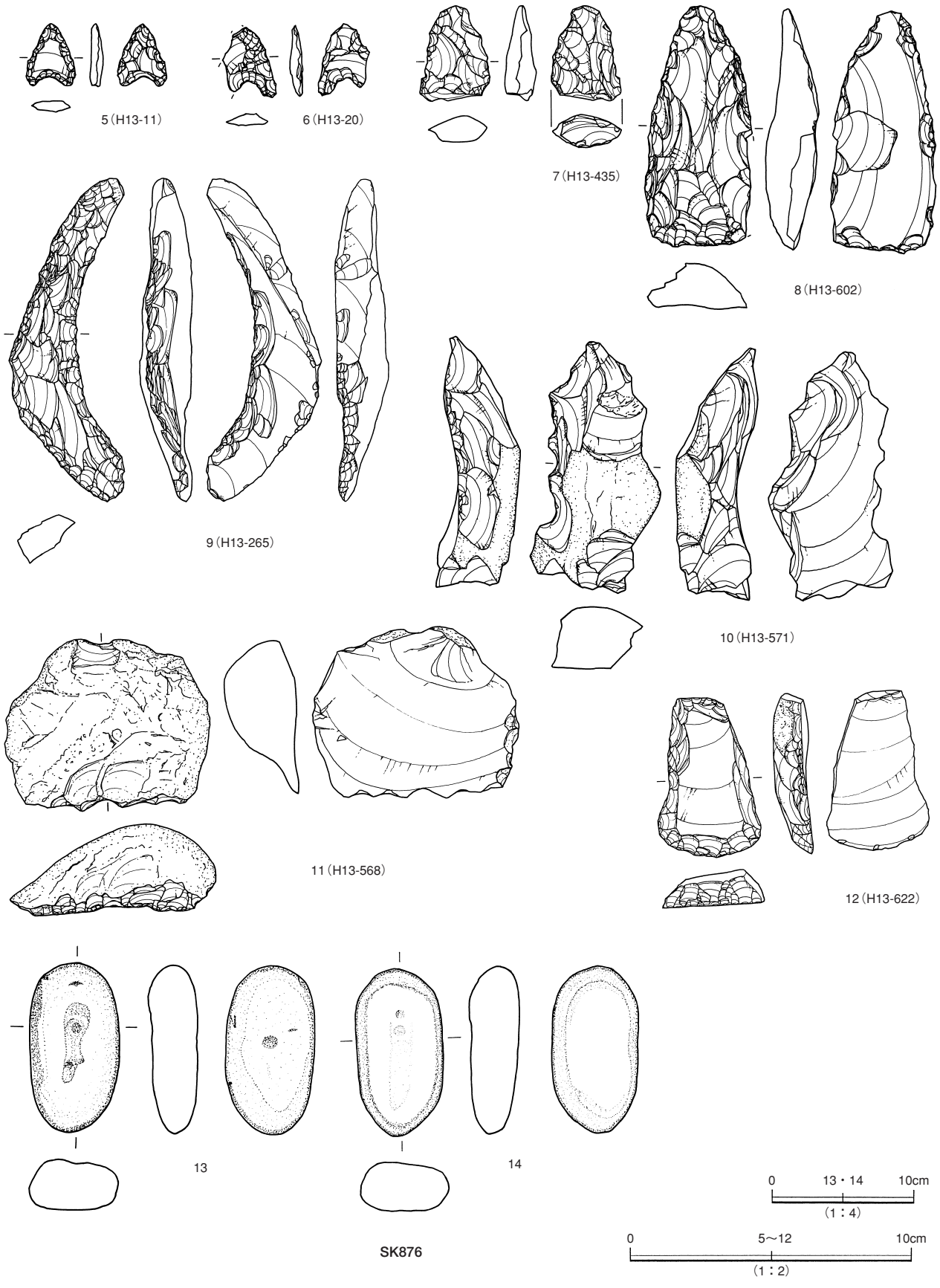
1	5YR7/4	にぶい橙色砂質シルト	焼土
2	10YR4/4	褐色砂質シルト	炭化粒、礫、微量含む
3	10YR3/3	暗褐色シルト	遺物を含み、焼土、炭化物、炭化粒、植物根、礫含む
4	7.5YR4/3	褐色砂質シルト	下層に14を少量斑に含み、炭化物、植物根、礫含む
5	10YR6/6	明黄褐色シルト	暗褐色砂質シルトを少量含み、炭化物、植物根、礫含む
6	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	にぶい黄橙色シルト質粘土、黄褐色シルト質粘土を点状に含み、炭化粒微量、植物根含む
7	10YR3/4	暗褐色シルト	黄褐色シルト質粘土を粒状に少量含み、炭化粒、植物根、礫含む
8	10YR2/3	黒褐色シルト	炭化物、炭化粒含み、植物根含む
9	10YR4/4	褐色粘質シルト	10を斑、にぶい黄橙色と黄褐色シルト質粘土を点状に含み、遺物、炭化粒、礫含む
10	10YR4/6	褐色砂	炭化物含み、植物根、礫含む
11	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	6と同様だが、6よりもにぶい黄橙色・黄褐色シルト質粘土を多く含み、黒褐色シルトを含まない
12	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	6と同様だが、黒褐色粘質シルトを縞状に含み、焼土、炭化粒含む
	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	12と同様だが、遺物含む
13	10YR6/6	明黄褐色シルト質粘土	黒褐色粘質シルト、にぶい黄橙色シルト質粘土を斑に含み、炭化粒、植物根含む
14	10YR7/3	にぶい黄橙色シルト質粘土	
15	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	3を斑、14、黄褐色シルト質粘土を点状に含み、炭化粒含む
16	10YR3/4	暗褐色粘質シルト	明褐色粘質シルトを小ブロック状に含み、炭化物、炭化粒含む
17	10YR5/6	黄褐色粘質シルト	14、18を斑に含み、炭化粒含む
18	10YR4/6	褐色砂	色調やや黄色っぽい、炭化物、炭化粒、植物根、礫含む
19	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	炭化粒、植物根含む
20	10YR4/4	褐色シルト質砂	植物根、礫含む

SK890 g-g'

1	10YR4/4	褐色シルト	粗砂混じり、焼土粒、炭化粒含み、礫含む
2	7.5YR3/3	暗褐色シルト	黄褐色シルトを小ブロック状に含み、遺物、植物根礫含む
3	10YR5/4	にぶい黄褐色粘質シルト	地山土
4	7.5YR3/3	暗褐色シルト	2より黄褐色シルトを多量に含み、遺物、植物根、礫含む
5	10YR7/3	にぶい黄橙色シルト質粘土	

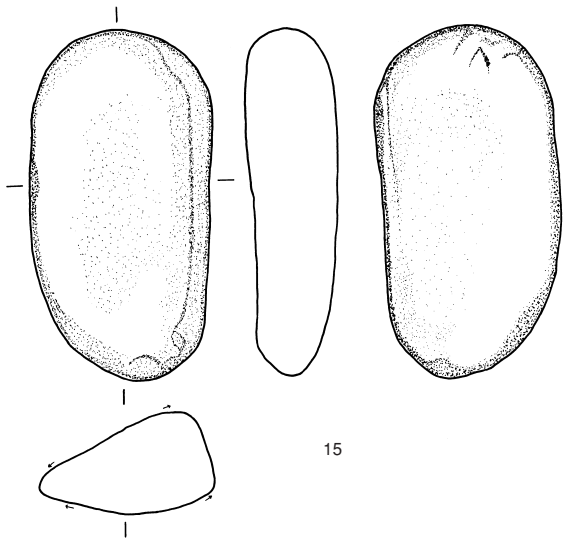
第368図　SK876・889・890・1780・1788 土坑・出土遺物

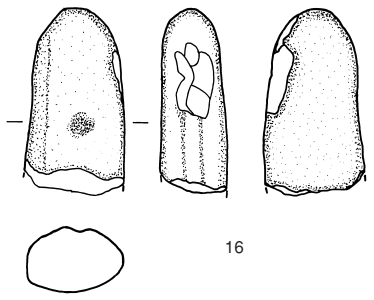
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:425 Date: 2005/03/18 Fri 19:47:39

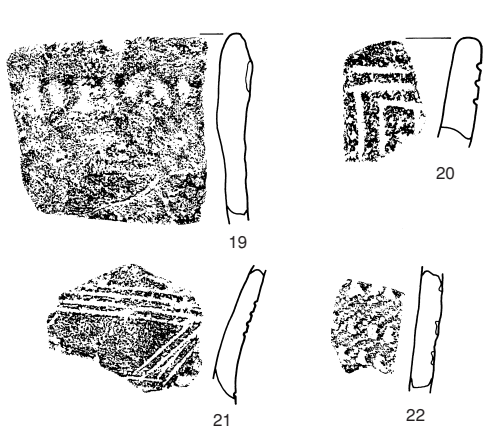


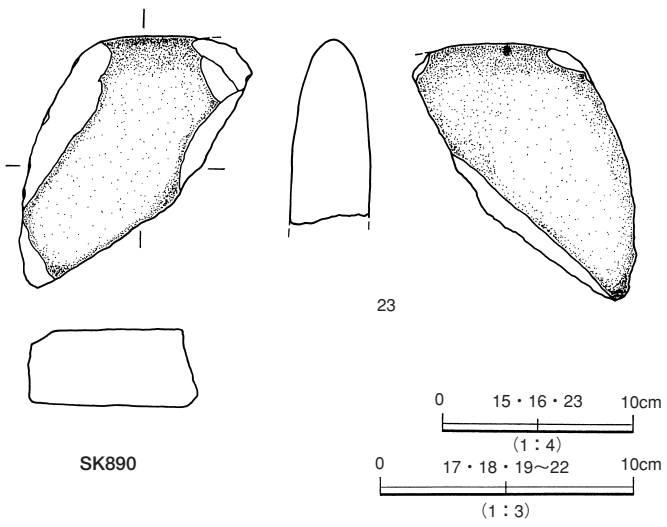
第369図　SK876 土坑出土遺物

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:426 Date: 2005/03/18 Fri 19:49:37



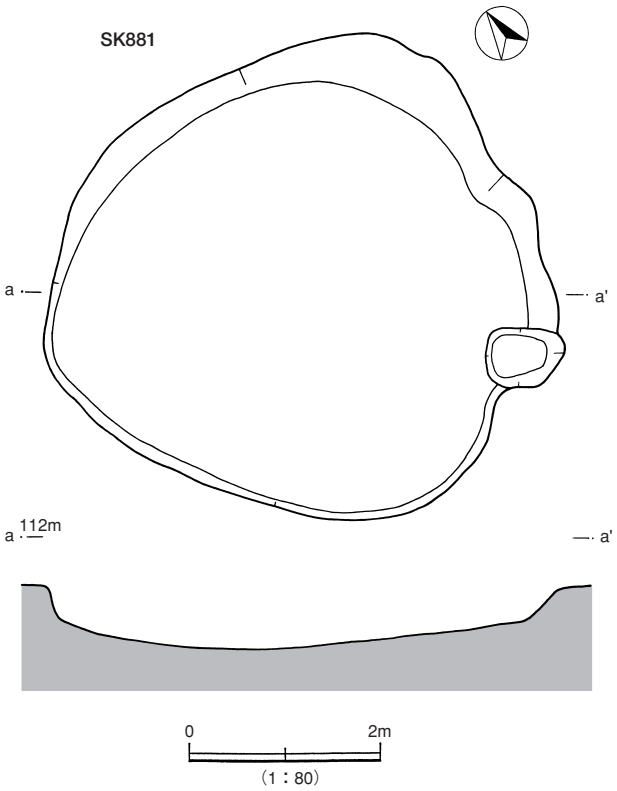


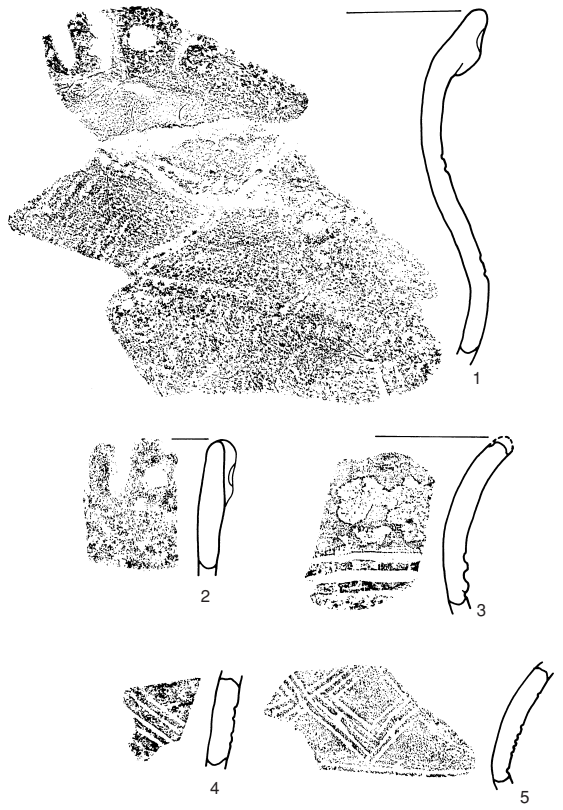


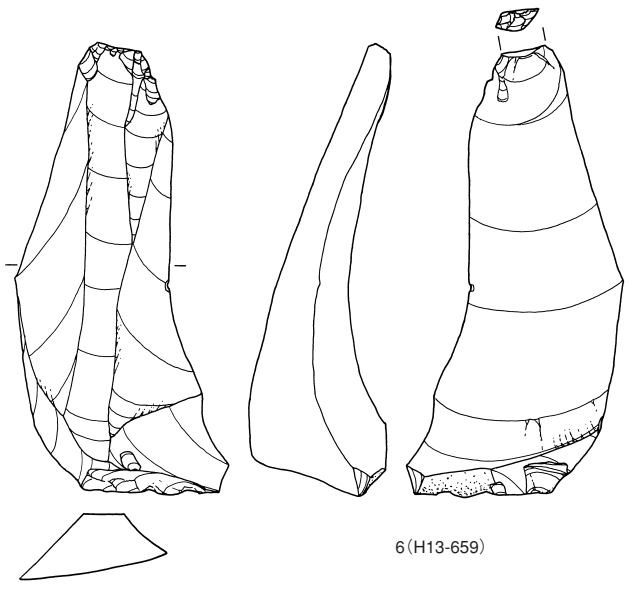


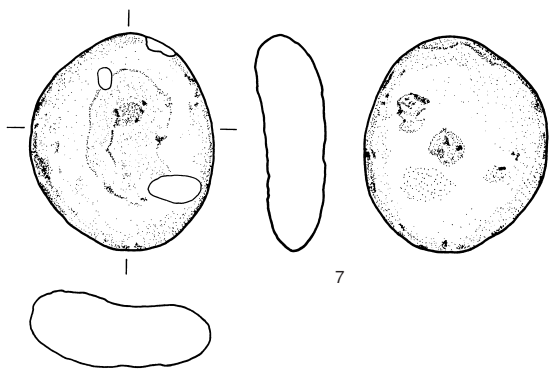
第370図　SK876・889・890 土坑出土遺物

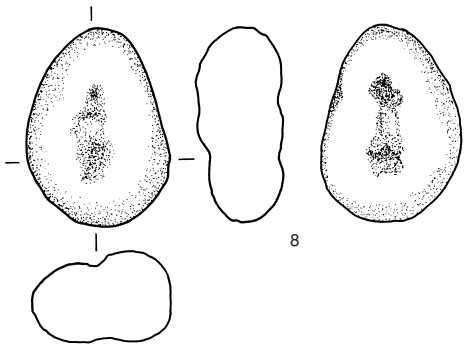
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:427 Date: 2005/03/18 Fri 19:54:14

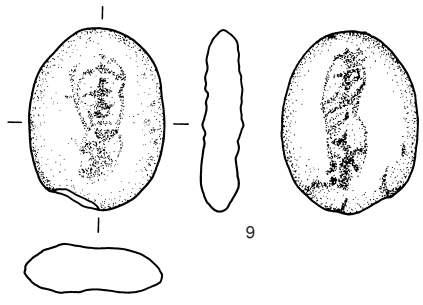


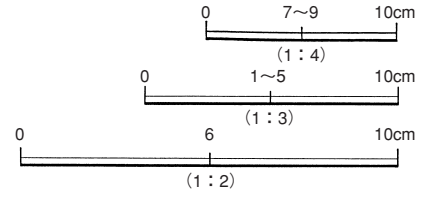






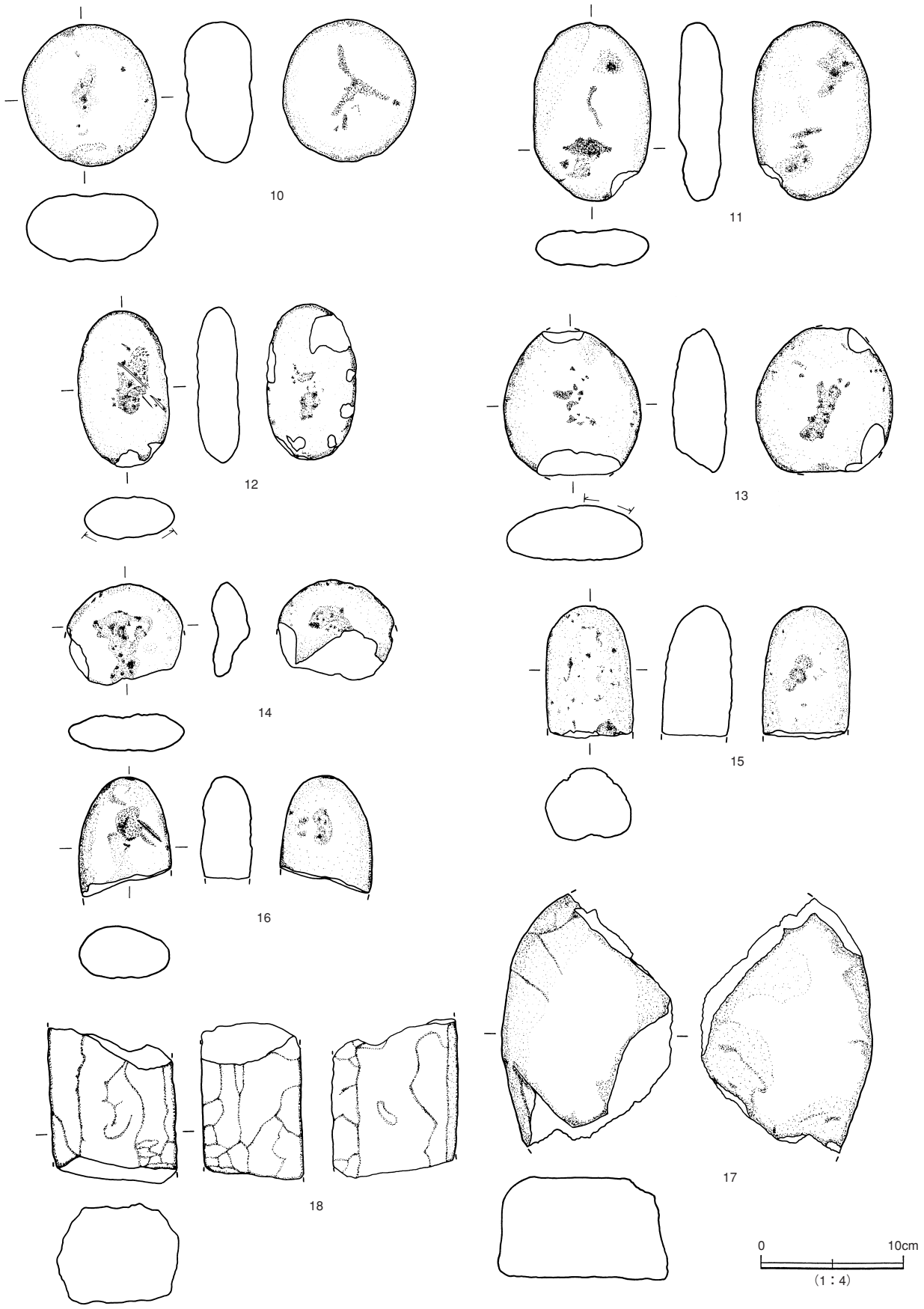






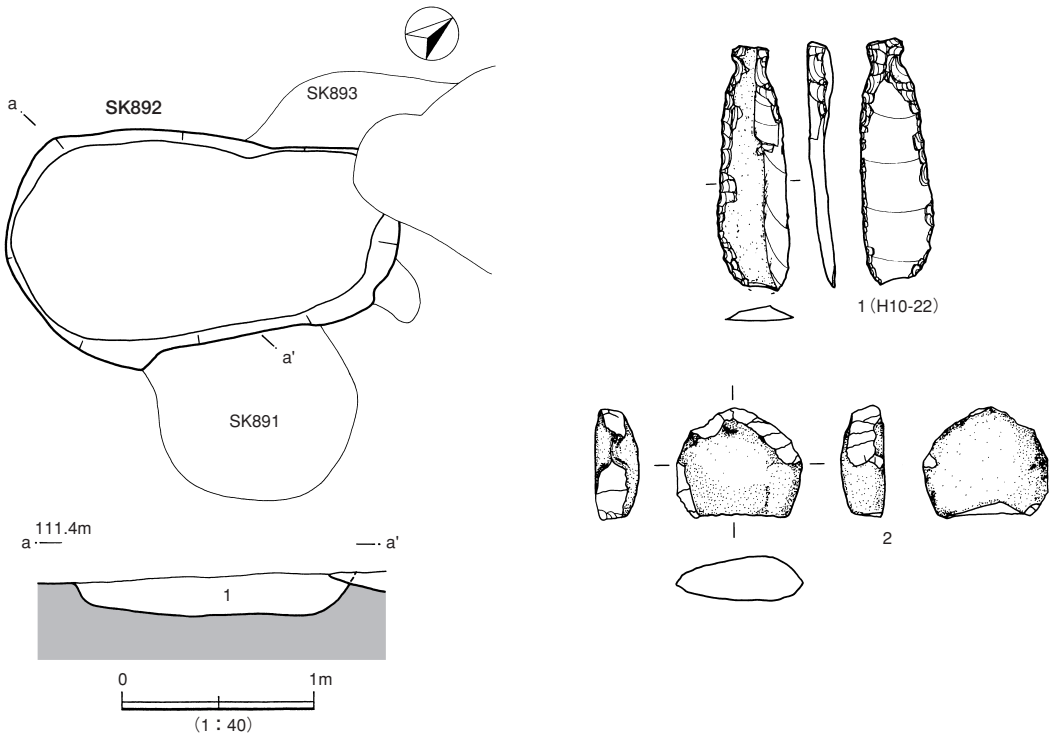
第371図　SK881 土坑・出土遺物（１）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:428 Date: 2005/03/18 Fri 19:57:33



第372図　SK881 土坑出土遺物（２）

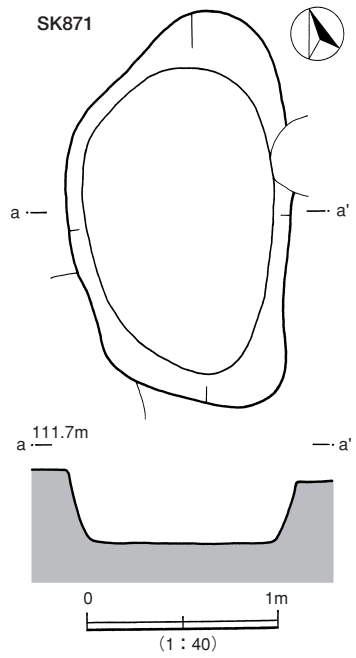
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:429 Date: 2005/03/18 Fri 20:00:55

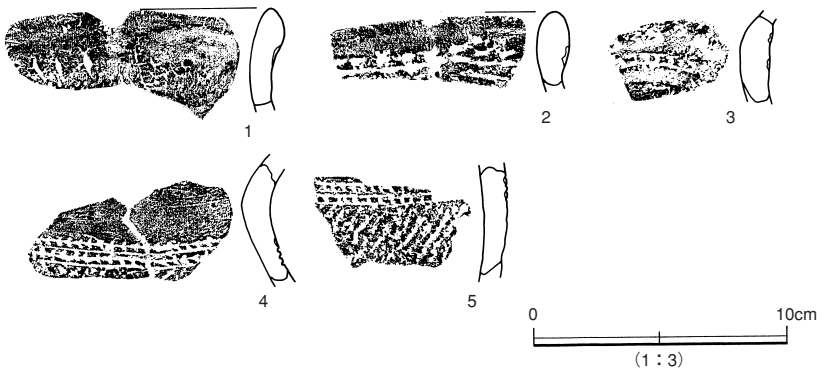


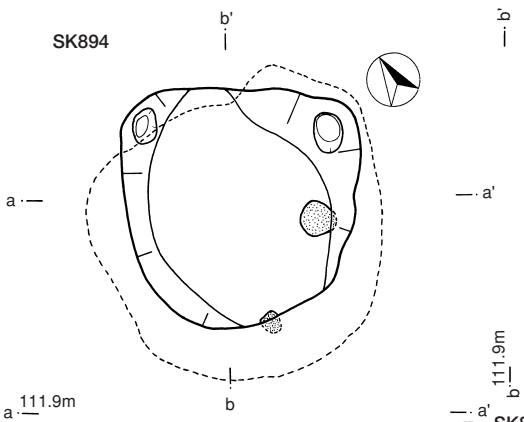
SK892
1　10YR3/2　黒褐色シルト　地山土を点状又は斑に多く含み、遺物、炭化粒を多く含む、しまる

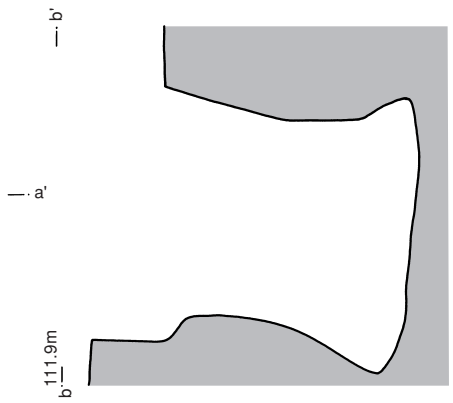
第373図　SK892 土坑・出土遺物

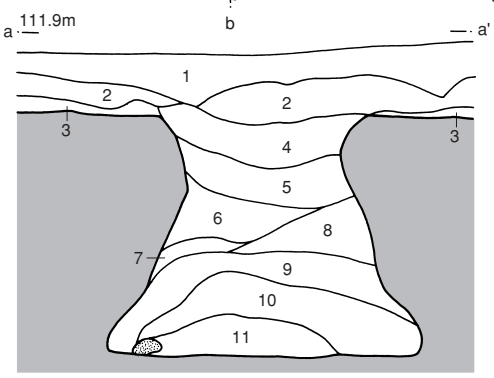
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:430 Date: 2005/03/18 Fri 20:05:52





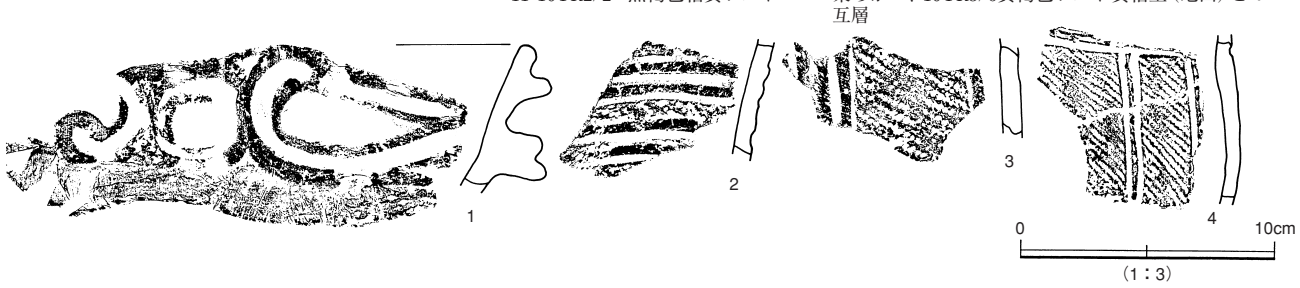






SK894

1	10YR2/3	黒褐色シルト	耕作土、炭化粒、植物根、礫含む
2	10YR2/3	黒褐色シルト	1と同様だが、1よりも色調暗く、植物根、礫少ない
3	10YR4/4	褐色粘質シルト	地山土
4	10YR2/2	黒褐色シルト	粗砂（小礫？）を含み、地山粒、炭化粒を微量含む
5	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	10YR4/4褐色中砂を10×4cmで含み、地山粒を少量炭化粒を微量含む、植物根含む
6	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	10YR4/4褐色中砂を斑に含み、地山炭化粒を少量含む
7	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	6と同様だが地山、10YR2/2黒褐色粘質シルトを縞状に含む
8	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	柔らかい、地山を10×5cm小ブロックで含み、褐色中砂を縞状に含む、炭化粒含む、遺物を含んだ層（深鉢底部出土）
9	10YR3/4	暗褐色シルト質中砂	地山を斑点状、8を縞状含み炭化物、植物根含む
10	10YR4/3	にぶい黄褐色粗砂	汚れている、8を点状に含み、地山を15×5cmのブロック含む、風化礫含む
11	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	柔らかい、10YR5/6黄褐色シルト質粘土（地山）との互層



第374図　SK871・894 土坑・出土遺物

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:431 Date: 2005/03/19 Sat 09:59:43

パサパサして遺物が出土している。4・6層には地山土が混在する。地山面の粘土層に貼り付くように礫が配置される。礫は花崗岩が多く底から積み上げている様相である。敷石の墓壙であろうか。

ＳＫ1277は平面形は円形を呈し、規模は長径1.13m、短径96cm、深さ45cmである。壁は垂直に掘り込まれ、床は平坦である。

ＳＫ932（第375図）

グリッド８・９－93に位置する。環状集落中央広場の中心部北端に所在する。隅丸長方形又は小判形の土坑である。長軸1.3m、短軸69cmを測り、深さ35cmのやや浅い土坑である。壁は垂直で底面は平坦である。覆土は黒褐色粘質シルトに地山土の黄褐色土を斑に含み堅く締まっている。墓壙の可能性が考えられる。

ＳＫ961（第375図）

グリッド13－90に位置する。環状集落中央広場の中央部に所在する。小型のフラスコ状土坑で、径90cm、深さ44cmを測る。壁は全体でオーバーハングし、底面は平坦である。

小型のフラスコ状土坑

ＳＫ965（第375図）

グリッド13－94に位置する。ＳＴ967の北側に所在する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸77cm、短軸66cm、深さ32cmを測る。底面は平坦で壁はほぼ垂直である。遺物は１～３の縄文時代中期大木８ｂ式土器の深鉢片が出土している。

大木８式土器

ＳＫ966（第375図）

グリッド14－94に位置する。遺存状態は良好で墓壙様である。堆積土の状況は一括堆積である。平面形は隅丸長方形に近い。規模は長軸94cm、短軸54cm、深さ34cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦で北側にピットを有する。

ＳＫ919（第376図　写遺構－177）

グリッド９－94に位置する。ＳＴ3812大型住居跡の東側に隣接する。平面形は不整方形～不整円形を呈し、規模は長径1.22m、短径1.05m、深さ55cmを測る。壁は全体でオーバーハングしている。底面は平坦である。堆積土は黒褐色粘質シルト～暗褐色砂質シルトを主体とする。

遺物は１～３の石器がある。

ＳＫ976（第377図）

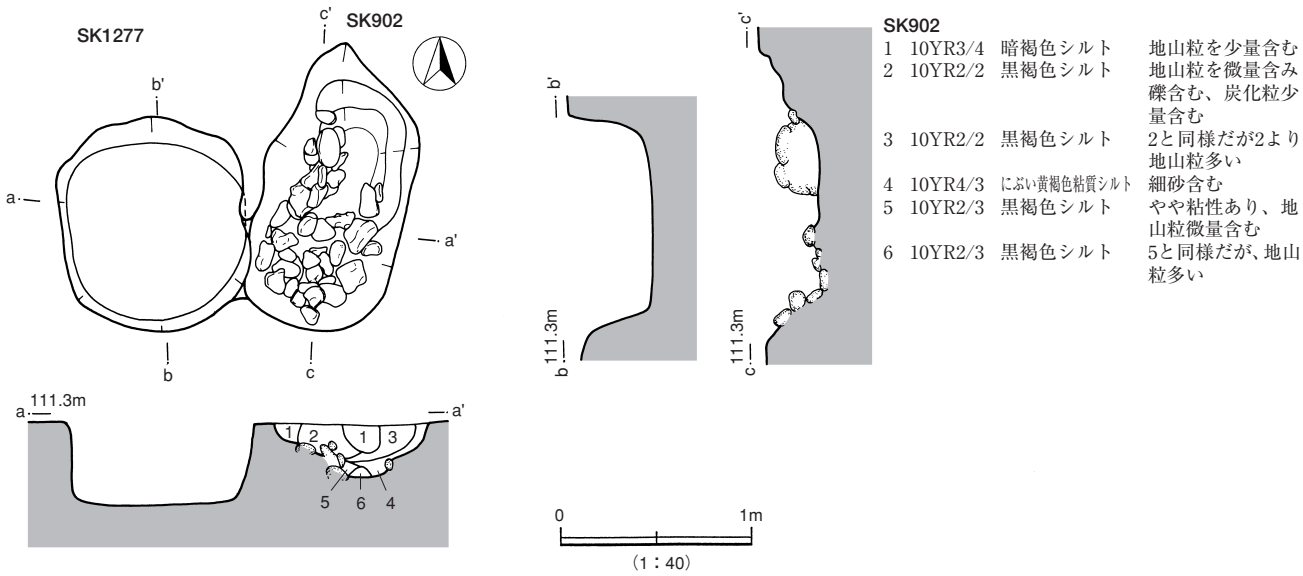
グリッド14－91に位置する。環状集落中央広場の南側に所在する。遺存状態は良好である。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.95m以上、短軸1.36mを測る。壁はオーバーハングするフラスコ状土坑で、確認面からの深さは58cmである。床は平坦だが幅10cm前後の周溝が廻る。重複の可能性もある。

遺物は床面から１・２が出土している。他に石器や５の石棒片が出土している。

石棒片

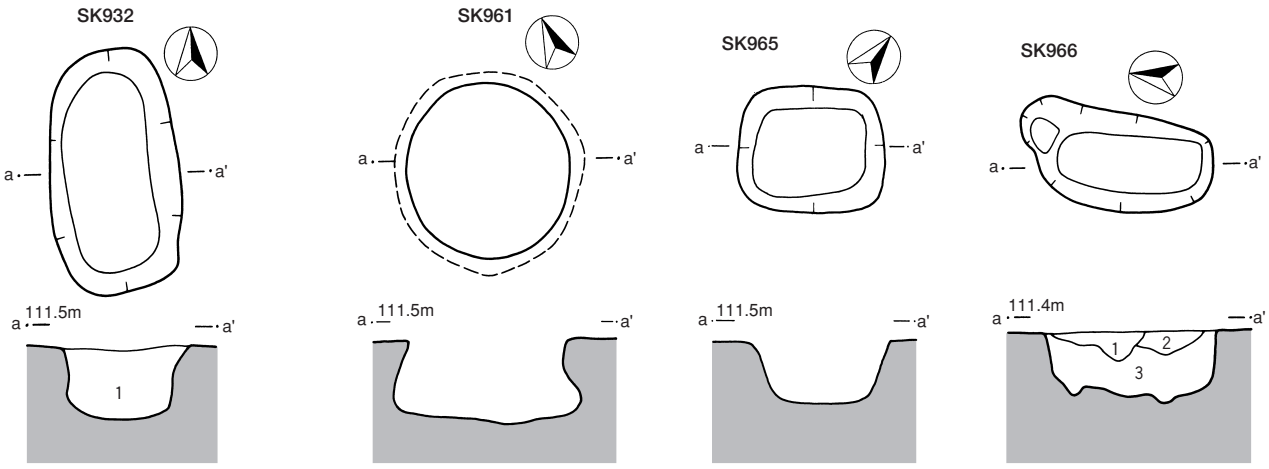
ＳＫ996（第378図）

グリッド15･16－85のＳＴ995の南壁に重複し、これを切っている。平面形は円形を呈し、規模は直径80cm、深さ34cmを測る。壁は平坦な底面からオーバーハングして立ち上がる。小型のフラスコ状土坑である。遺物は縄文土器片を出土している。



SK902

1	10YR3/4	暗褐色シルト	地山粒を少量含む
2	10YR2/2	黒褐色シルト	地山粒を微量含み礫含む、炭化粒少量含む
3	10YR2/2	黒褐色シルト	2と同様だが2より地山粒多い
4	10YR4/3	にぶい黄褐色粘質シルト	細砂含む
5	10YR2/3	黒褐色シルト	やや粘性あり、地山粒微量含む
6	10YR2/3	黒褐色シルト	5と同様だが、地山粒多い

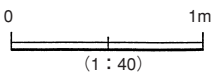


SK932

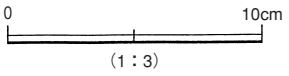
1　10YR2/2　黒褐色粘質シルト　地山土を斑に含み固くしまる

SK966

1	10YR3/2	黒褐色シルト	地山を少量含み、植物根含む
2	10YR4/3	にぶい黄褐色粘質シルト	1を少量含む
3			1と2の混合土で、遺物、炭化粒、植物根含む

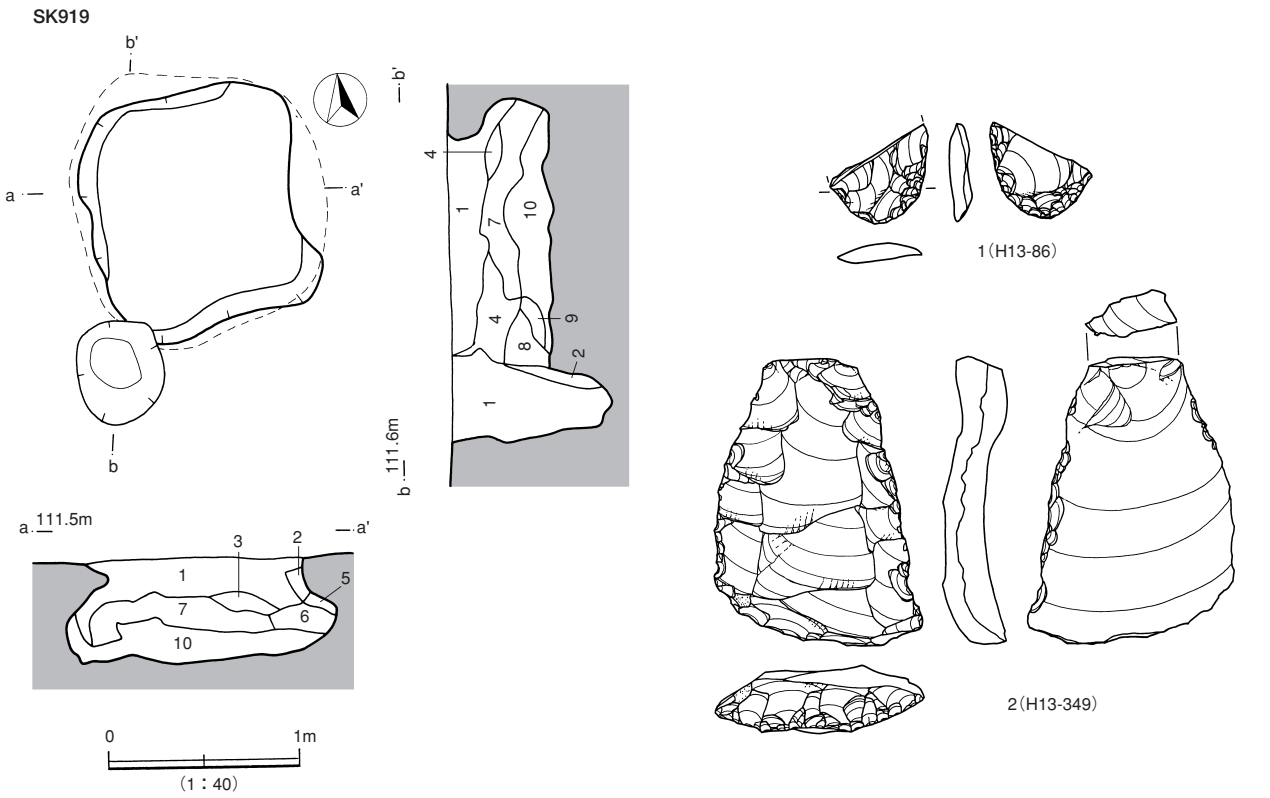


SK965



第375図　SK902・他土坑・出土遺物

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:433 Date: 2005/03/18 Fri 20:15:29

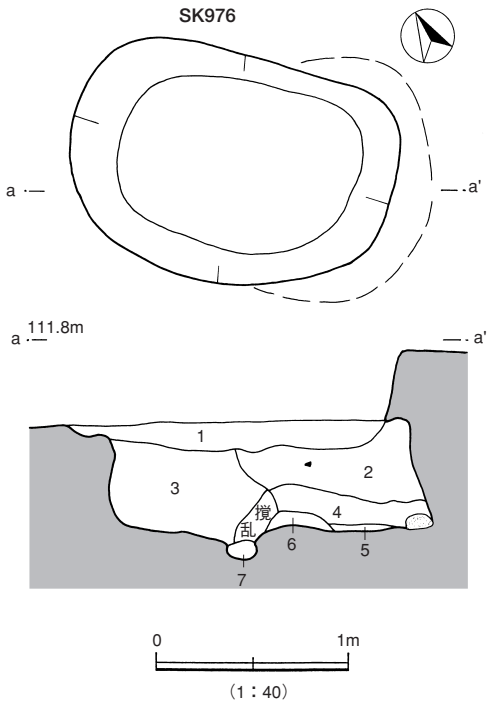


SK919

1	10YR3/3	暗褐色シルト	地山を斑に含み、遺物、炭化粒を少量含む、植物根、礫含み、固い
2	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	地山を多量に含む
3	10YR4/4	褐色砂質シルト	上部に炭化物を薄く縞状に含み、植物根、礫含む
4	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色砂質シルト	地山を斑に含み、炭化粒、植物根少量含む
5	10YR2/2	黒褐色砂質シルト	粘性あり、地山粒を少量含み、植物根含む、柔らかい
6	10YR3/4	暗褐色砂質シルト	地山粒を斑に含み、炭化粒、植物根を少量含む
7	10YR3/4	暗褐色砂質シルト	6と同様だが、地山粒をあまり含まない
8	10YR3/4	暗褐色砂質シルト	粘性あり、地山を斑に含み、黒褐色土を少量含む
9	10YR5/6	黄褐色粘質シルト	
10	10YR3/3	暗褐色砂質シルト	粘性あり、地山を斑に含み、炭化粒含む、植物根含む

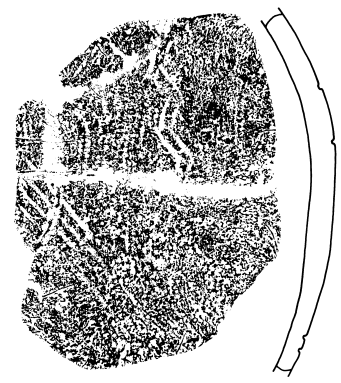
第376図　SK919 土坑・出土遺物

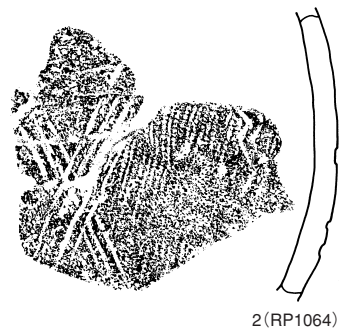
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:434 Date: 2005/03/18 Fri 20:23:08

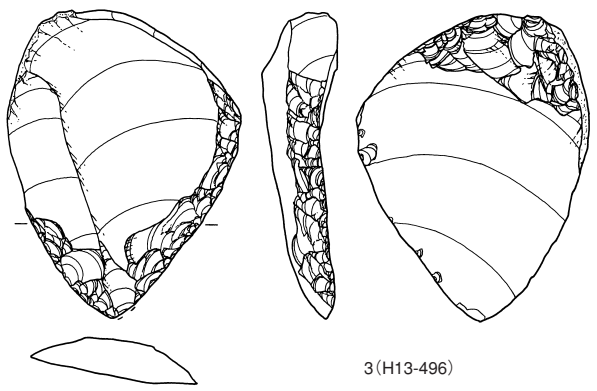


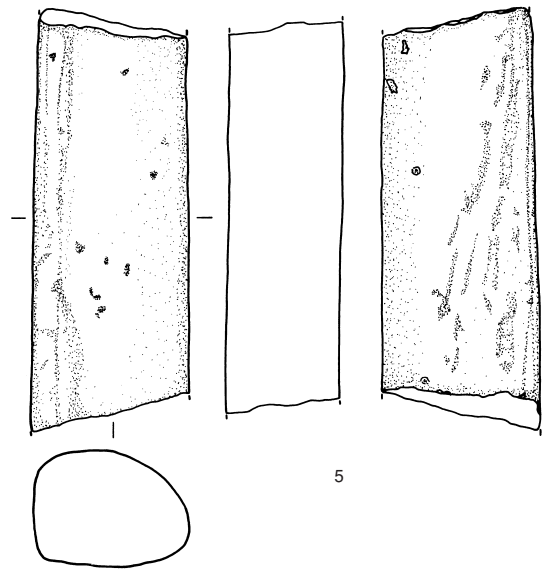
SK976

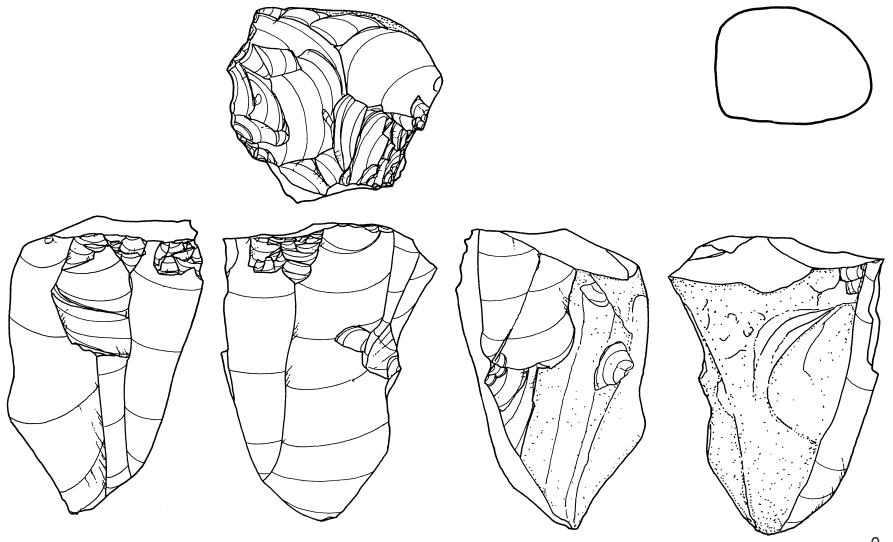
1	10YR3/3	暗褐色シルト	地山粒、炭化粒を少量含み、遺物、植物根含む
2	10YR4/4	褐色シルト質粘土	地山、山礫、炭化粒、植物根含む
3	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	2と7.5YR2/1黒色シルトを斑点状に多量に含み、遺物炭化粒、植物根少量含む
4	7.5YR2/1	黒色粘質シルト	地山を1cm角で少量含み、炭化粒少量含む、柔らかい
5	7.5YR2/2	黒褐色シルト質粘土	地山、炭化粒、少量含む
6	10YR4/4	褐色シルト質粘土	2と同様だが、より粘性があり、柔らかい
7	10YR3/3	暗褐色粘質シルト	炭化粒含む

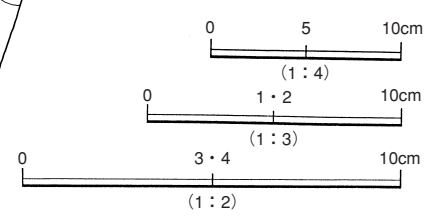

1(RP1064)


2(RP1064)


3(H13-496)

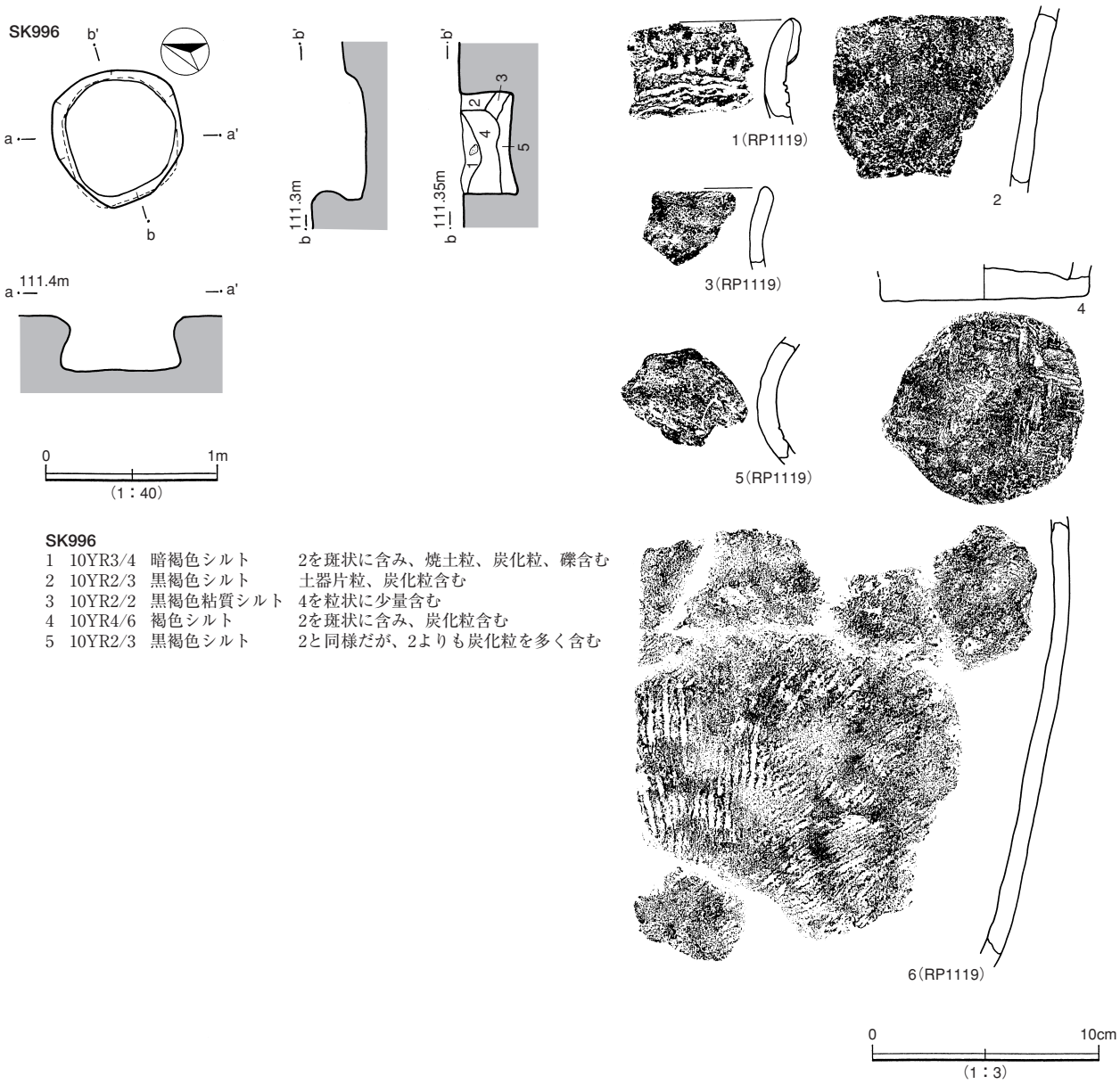

5


4(H13-709)



第377図　SK976 土坑・出土遺物

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:435 Date: 2005/03/18 Fri 20:28:15



SK996

1	10YR3/4 暗褐色シルト	2を斑状に含み、焼土粒、炭化粒、礫含む
2	10YR2/3 黒褐色シルト	土器片粒、炭化粒含む
3	10YR2/2 黒褐色粘質シルト	4を粒状に少量含む
4	10YR4/6 褐色シルト	2を斑状に含み、炭化粒含む
5	10YR2/3 黒褐色シルト	2と同様だが、2よりも炭化粒を多く含む

第378図　SK996 土坑・出土遺物

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:436 Date: 2005/03/19 Sat 10:02:12

ＳＫ1201（第379・380図　写遺物－37）

グリッド10－86・87、環状集落中央広場の北東に位置する。当初、焼土範囲が検出されたため、その周辺を住居跡と考えた。しかし、結果的に土坑群となる。平面形は隅丸長方形を呈し、壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。規模は長軸1.9m、短軸１m、深さ55cmを測る。

遺物は縄文土器・石器・円盤状石製品・磨石などが出土している。

ＳＫ1481（第381・382図　写遺物－37）

グリッド10－86・87に位置する。ＳＫ1201、ＳＰ3100と重複している。土層断面から新旧関係はＳＫ1201→ＳＰ3100→ＳＫ1481とみられる

大型の柱穴

平面形は不整形を呈し、規模は長軸３m、短軸1.4m、深さ22cmを測る。壁は垂直で、床は平坦である。ＳＰ3100は直径60cm、深さ1.4mの大型の柱穴である。周囲にはやや距離があるが、いくつかの大型柱穴が検出されている。ＳＰ2539・1431・1390・1251などで本址から５～８mの距離がある。

遺物は底面で深鉢型土器２・７が出土、他にも縄文土器・凹石などが出土している。

ＳＫ1218（第383図　写遺構－177　写遺物－２・７・86）

グリッド15－88に位置する。環状集落中央広場の南側に所在する。ＳＫ1759に切られる。

上面プランは円形を呈し、規模は径1.4m、深さ80cmを測る。フラスコ状土坑である。覆土は自然堆積で７層が確認されている。３層は木根による腐植土である。

壁は平坦な底面からオーバーハングして立ち上がる。底面にほぼ完形の深鉢型土器１が押し潰された形で出土している。

ＳＫ1215（第385図）

グリッド14・15－85・86に位置する。ＳＫ1225と重複し切られる。平面形は円形を呈し、浅い。規模は径1.1m、深さ16cmを測る。断面形はＵ字形を呈し、底面は平坦である。遺物は土器片や磨石が検出されている。

ＳＫ1222（第385図）

グリッド15－86に位置する。ＳＸ1223・ＳＫ1221と重複し、これらに切られる。上部は木根等により撹乱を受ける。ＳＫ1221は倒木痕と思われる。

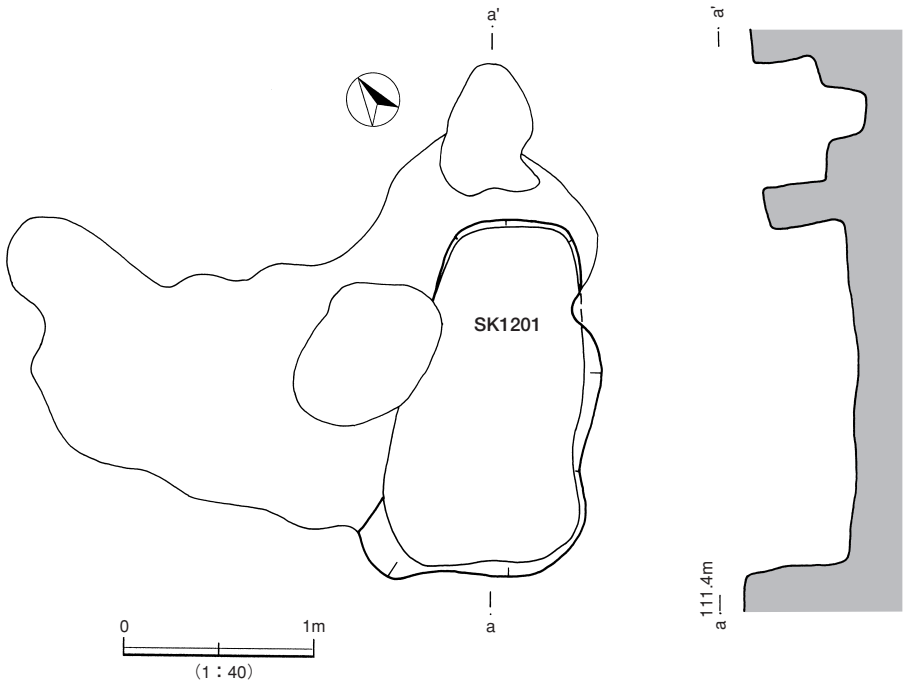
平面形は円形を呈する。上面径1.25mを測り、底面径1.4mで最大幅をもつ。本来の口径は撹乱のため不明。断面フラスコ状を呈し、オーバーハングして立ち上がる。確認面から底面までの深さは約42cmの平坦な底面である。

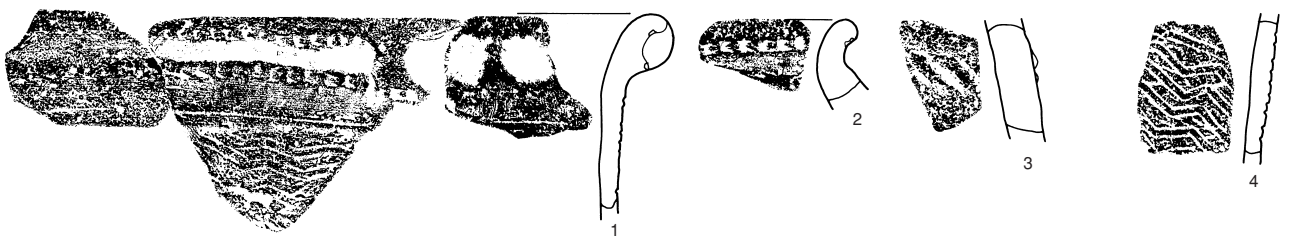
覆土は３層まで確認した。１層は木根跡である。２層は人為的な埋土で、粘土および腐植土がブロック状に斑に堆積する。堅く締り、粘性もある。使用後に人為的に埋められた土坑である。遺物は少量出土している。

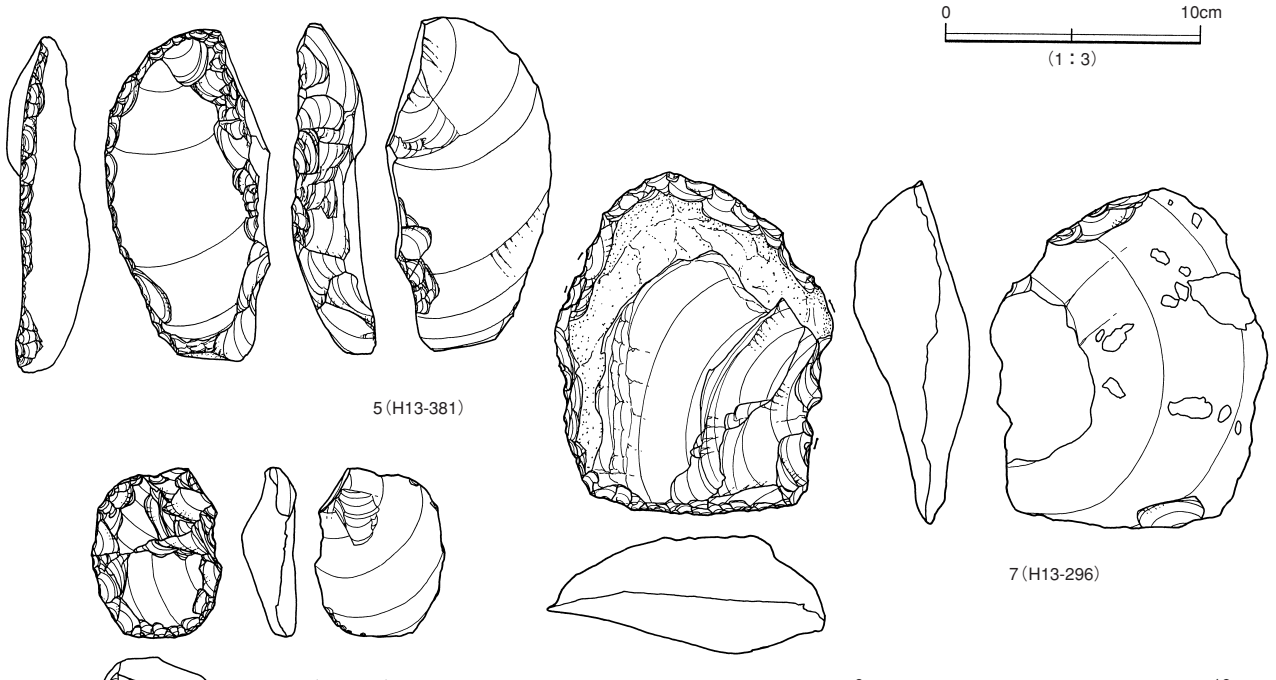
ＳＫ1225（第386図　写遺物－18・86）

グリッド14－85・86に位置する。ＳＫ1215と重複し、これを切る。平面形は楕円形ないし小判形を呈し、規模は長径1.48m、短径1.25m、深さ85cmを測る。断面はフラスコ状で、底面は中央がやや凹み、細部において波状である。立ち上がり面はカーブを描き、北側は中位で袋状に若干広がる。上面は木根の撹乱を受ける。覆土は黒褐色シルト～黒褐色粘質シルトを主体と

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:437 Date: 2005/03/18 Fri 20:30:21

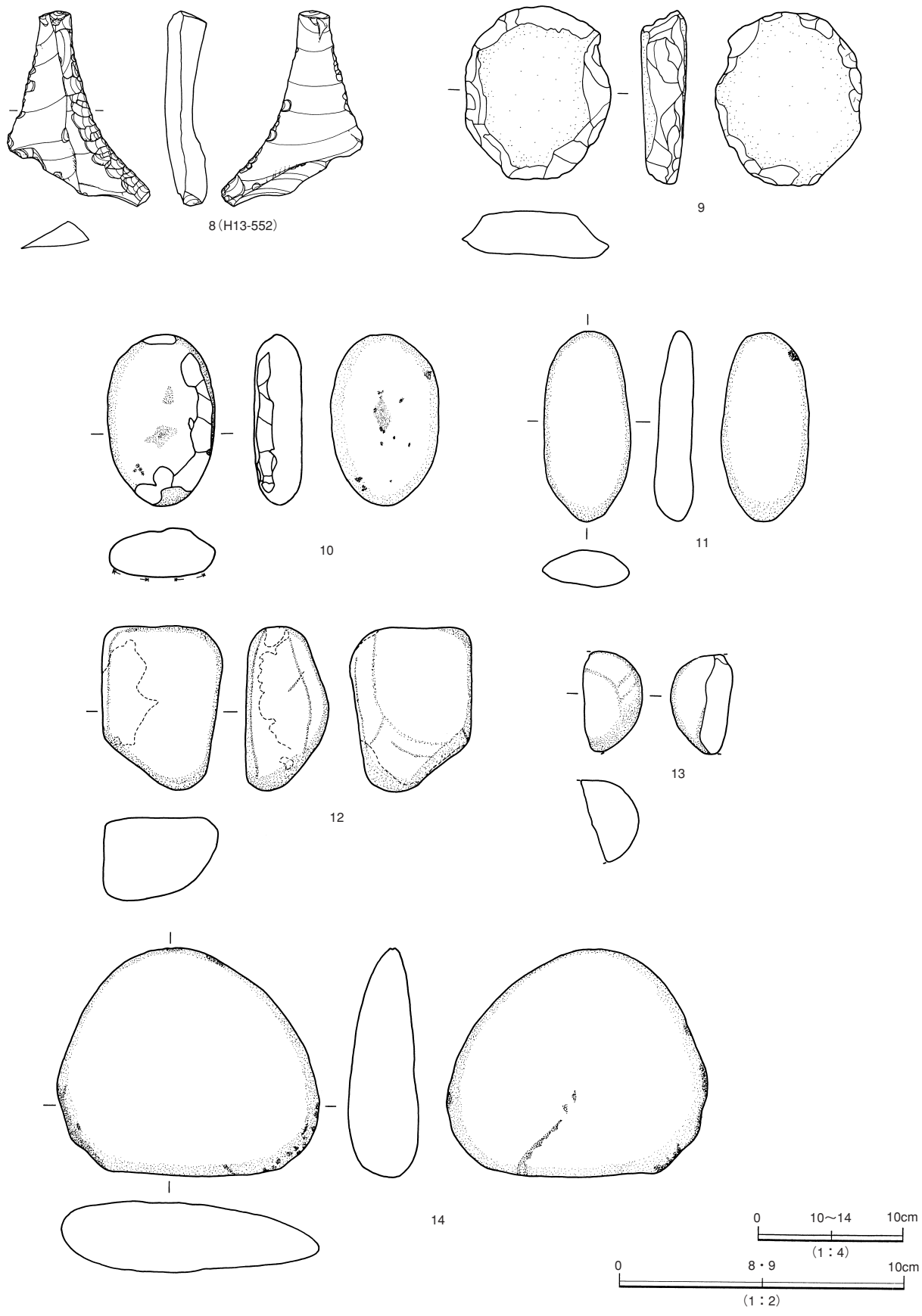






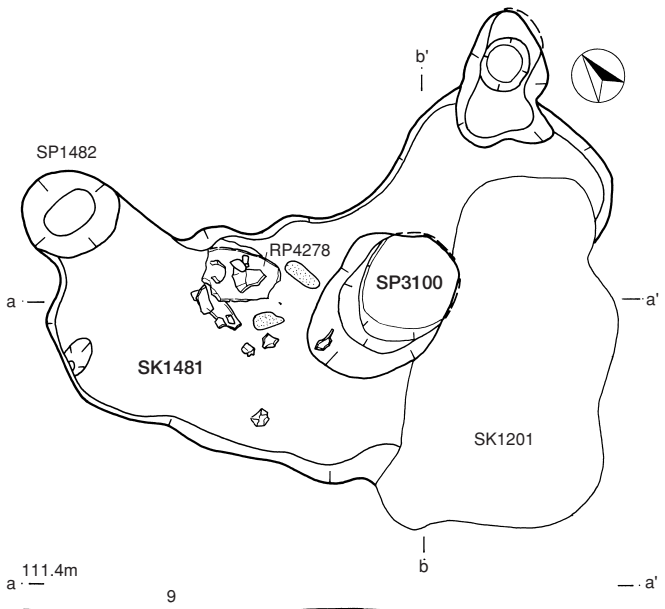
第379図　SK1201 土坑・出土遺物（１）

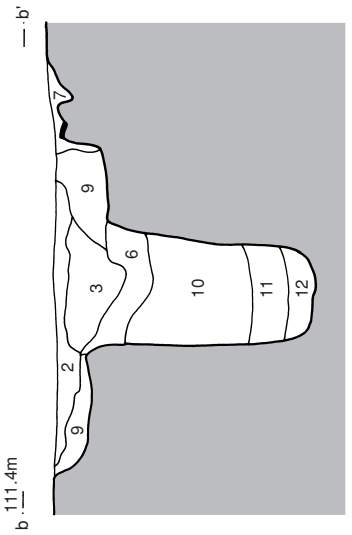
Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:438 Date: 2005/03/18 Fri 20:37:04

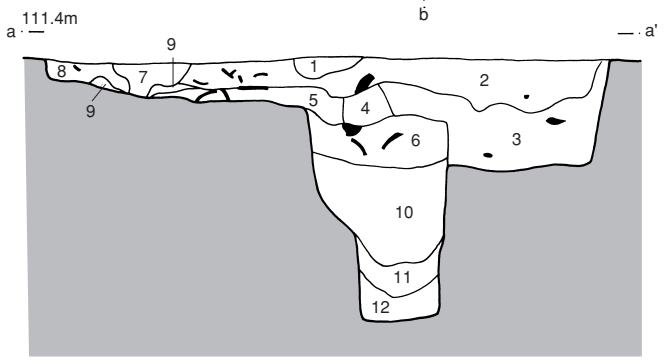


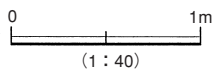
第380図　SK1201 土坑出土遺物（２）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:439 Date: 2005/03/18 Fri 20:49:55



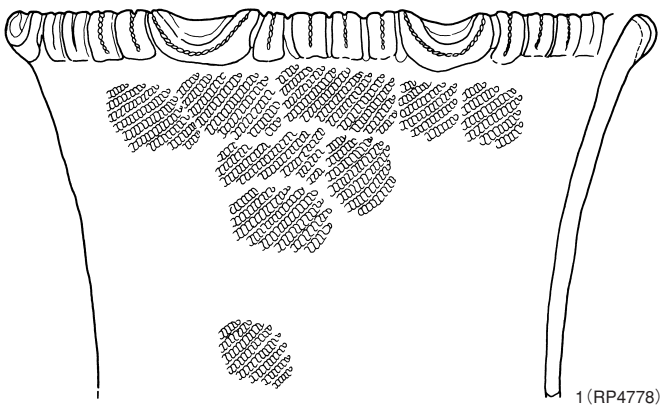


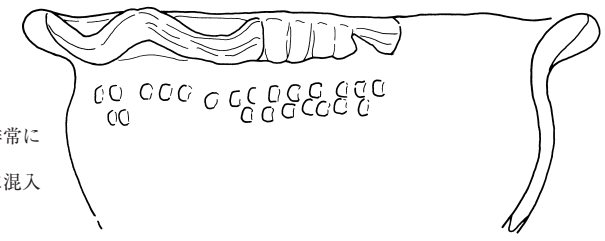


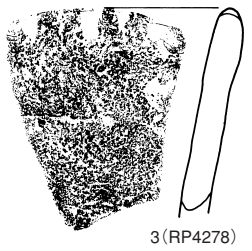


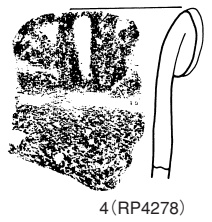
SK1481・SP3100

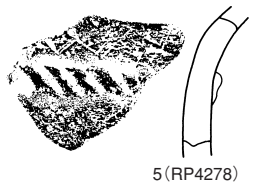
1	焼土	暗褐色土混入
2	黒褐色土	焼土粒を少量、木炭粒、黄白色土粒を多く混入
3	暗褐色土	黄褐色土粒、白色土粒及び同様の小ブロック（1cm）を非常に多量に混入
4	暗褐色土	3と似るが、3よりも黄褐色土ブロック、黒褐色土を多量に混入
5	暗褐色土	4とほぼ同じだが、黒褐色土少ない
6	黒褐色土	木炭粒、黄褐色土粒、多量混入
7	黒褐色土	2と同様だが、やや黒色
8	黒褐色土	黄褐色土ブロック多く混入
9	黄褐色土	ややボソボソした感じ（地山）
10	黒褐色土	6と同様だが、白色土ブロック少量混入
11	暗褐色砂質土	黄褐色砂質土、黄褐色～白色粘質土ブロック多量に混入
12	黒褐色砂質土	黒色土を多く混入

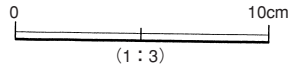




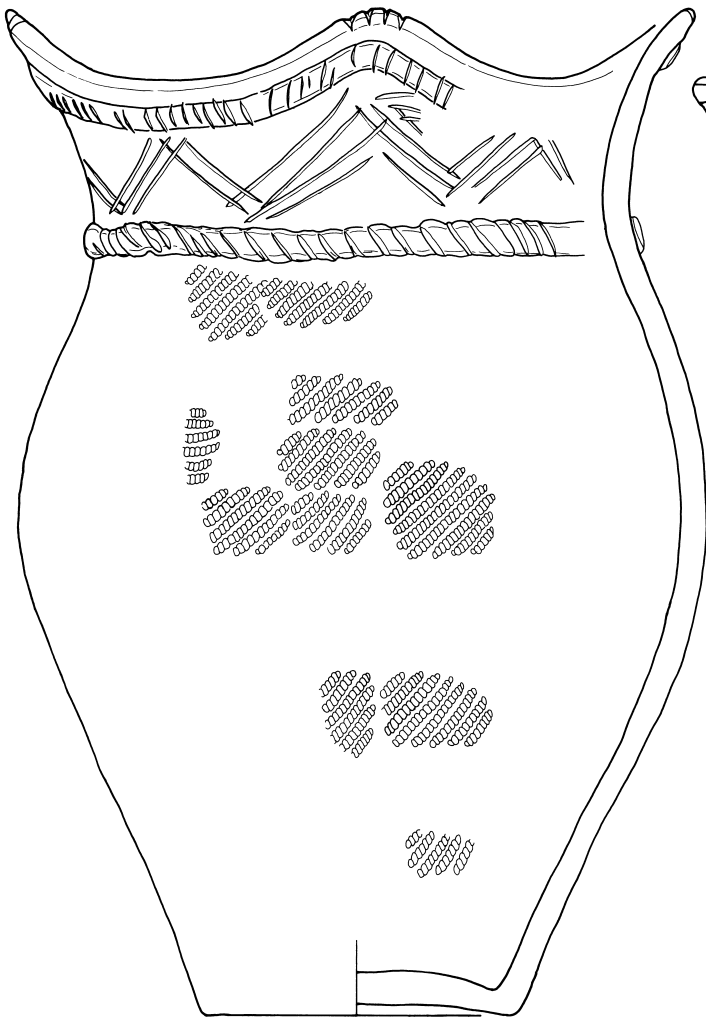




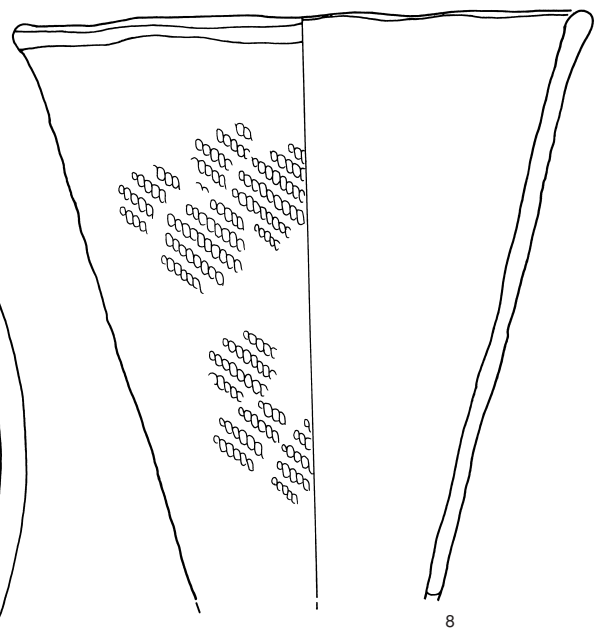




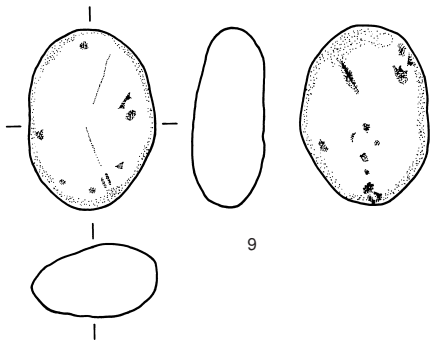
第381図　SK1481 土坑・出土遺物（1）



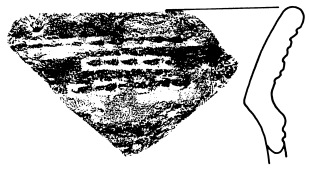
7（RP4278）



8

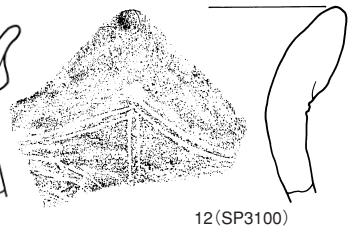


9

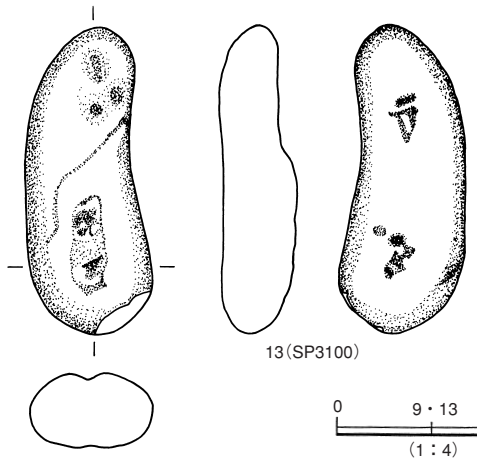


10（SP1482）

11（SP3100）



12（SP3100）



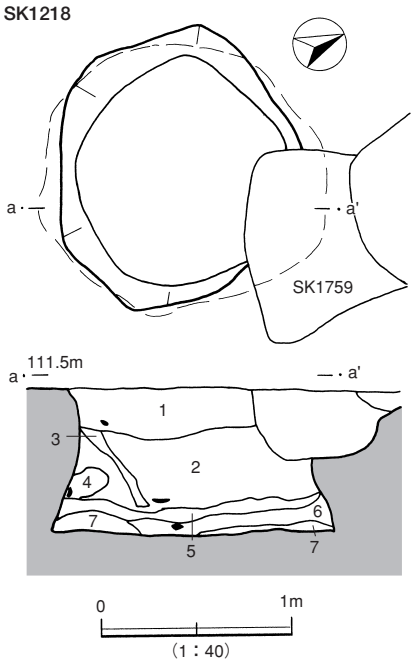
13（SP3100）

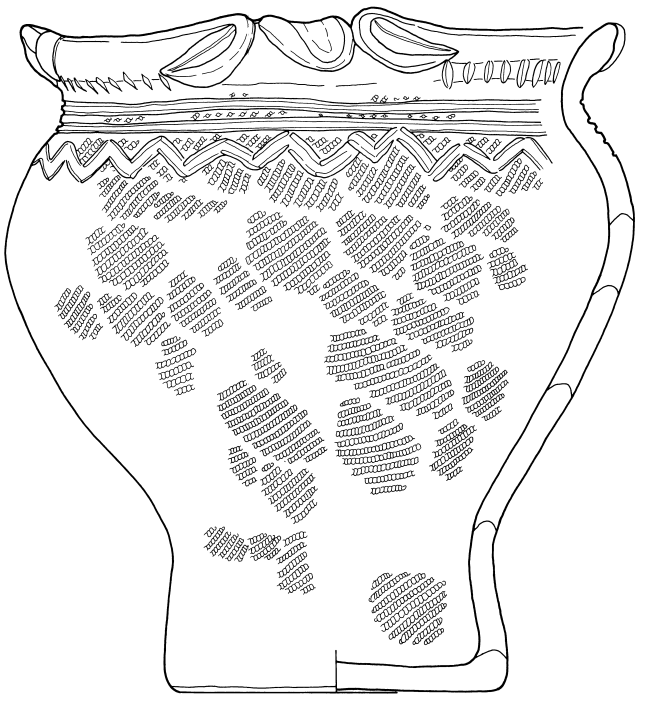
0　9・13　10cm
（1：4）

0　7・8・10～12　10cm
（1：3）

第382図　SK1481 土坑出土遺物（２）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:441 Date: 2005/03/18 Fri 20:54:58





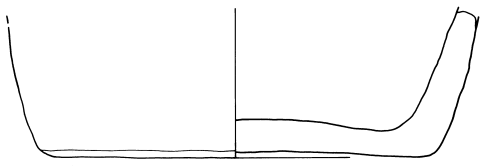
1（RP1076）

SK1218

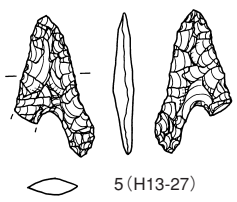
1	7.5YR1.7/1	黒色シルト	地山粒少量含み、遺物、炭化粒、植物根含む、固い
2	10YR1.7/1	黒色粘質シルト	地山粒少量含み、遺物、炭化粒、植物根、礫含む
3	10YR2/1	黒色粘質シルト	10YR5/4にぶい黄褐色シルト、風化礫を多量に含み、礫含む
4	10YR4/6	褐色粘質シルト	地山ブロック
5	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	地山を多量に含み、植物根含む、非常に柔らかい
6	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	地山をごく少量含み、遺物、炭化物、植物根含む、非常に柔らかい
7	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	5よりも粘性があり、炭化物、植物根、粗砂含む

2（RP1150）

3

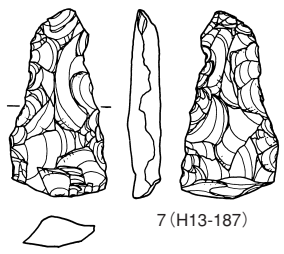


4

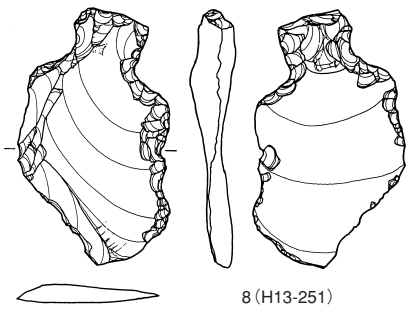


5（H13-27）

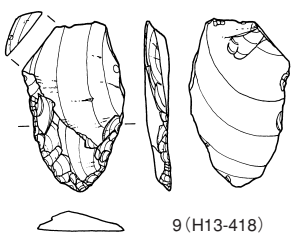
6（H13-15）



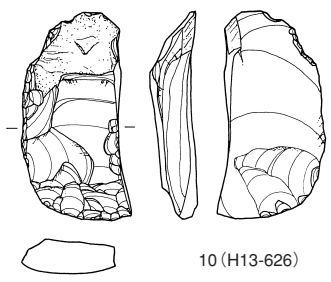
7（H13-187）



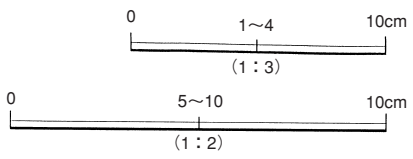
8（H13-251）



9（H13-418）

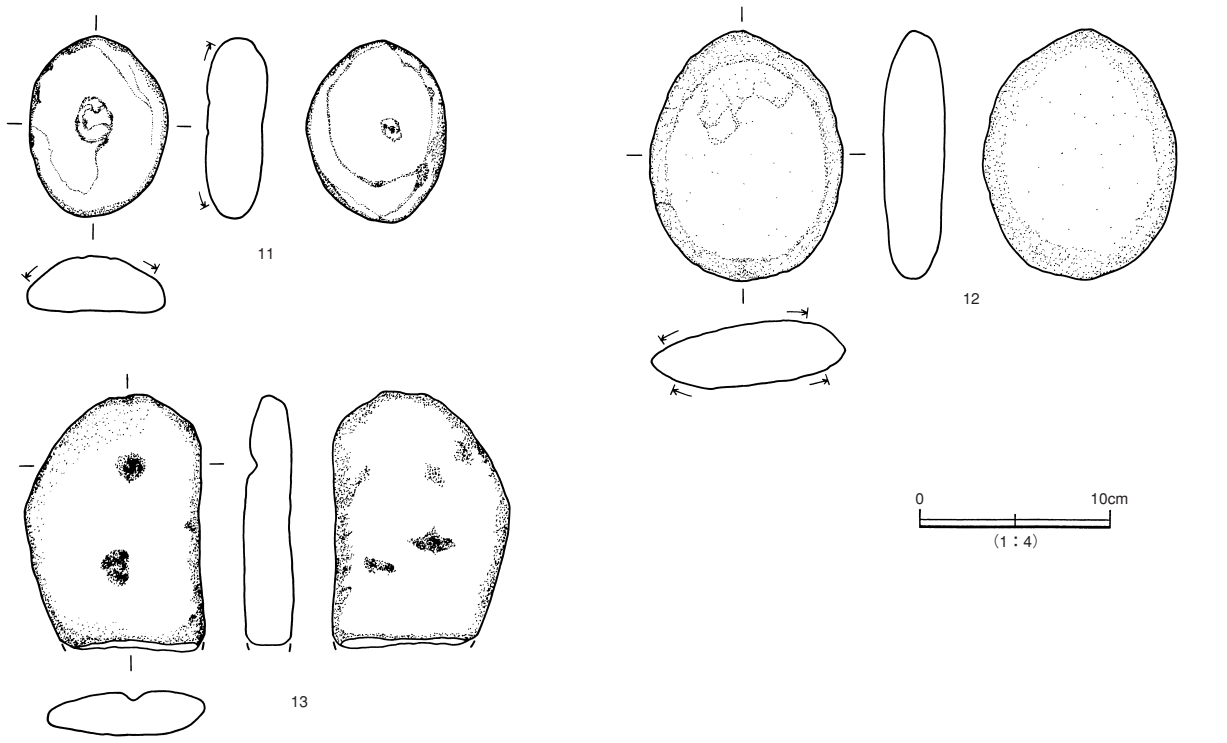


10（H13-626）



第383図　SK1218 土坑・出土遺物（１）

Title:P420-442_縄文時代.ec6 Page:442 Date: 2005/03/19 Sat 10:06:12



第384図　SK1218 土坑出土遺物（２）

している。底面から35cmほど腐植土と粘土混じりの土で人為的に埋められ、その後35cmほど自然堆積し、さらに10cmほどの粘質土で埋められたようだ。

遺物は上層～中層まで多くの遺物が出土した。投げ込まれている深鉢片が主で礫（拳大）が混じる。

ＳＫ1231（第387図）

グリッド14－85に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径1.3m、深さ５cmを測る。低面は平坦で壁面はほとんど残っていない。ピットが２基検出されている。遺物は１の鍋屋町式土器が出土している。

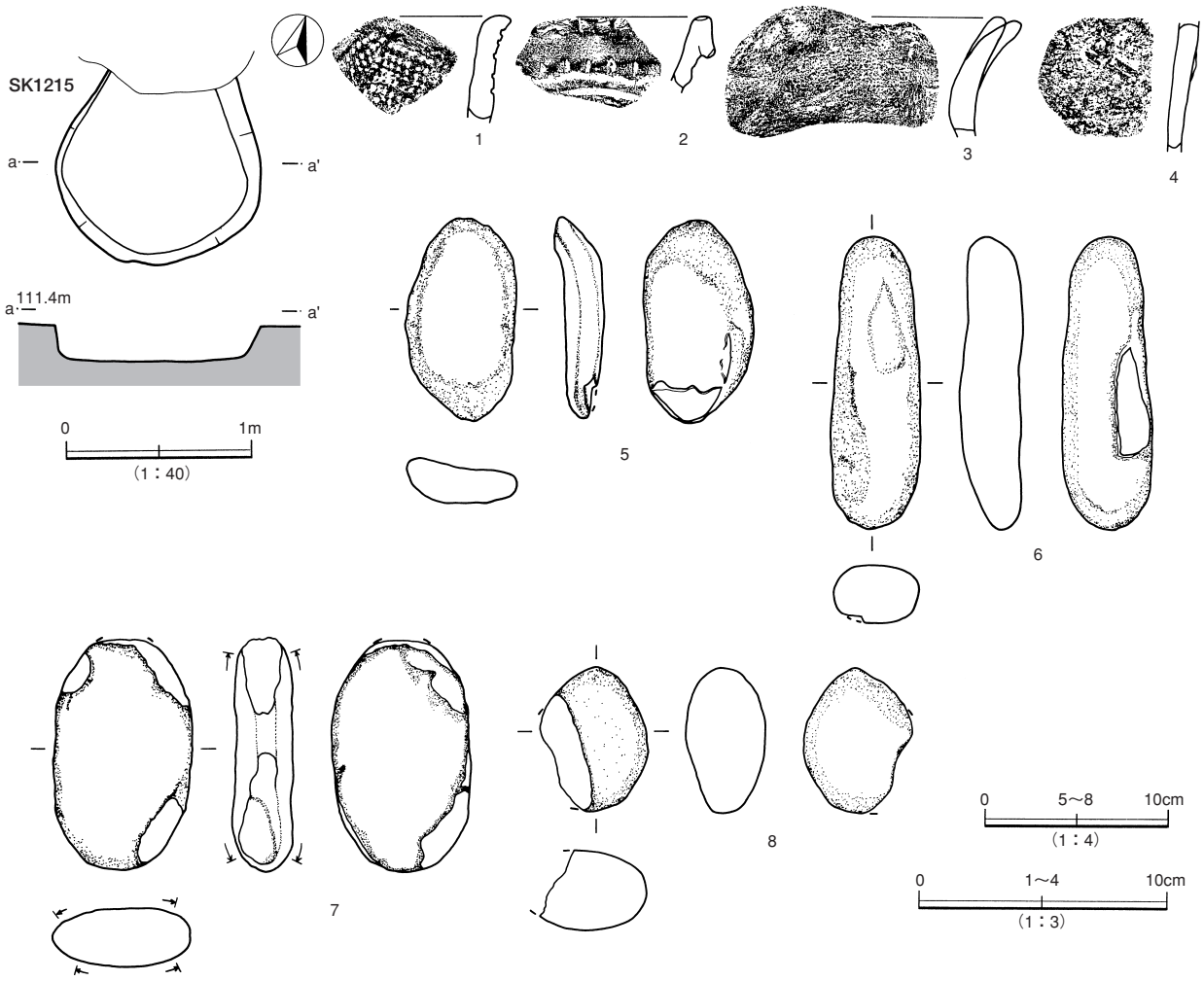
鍋屋町式土器

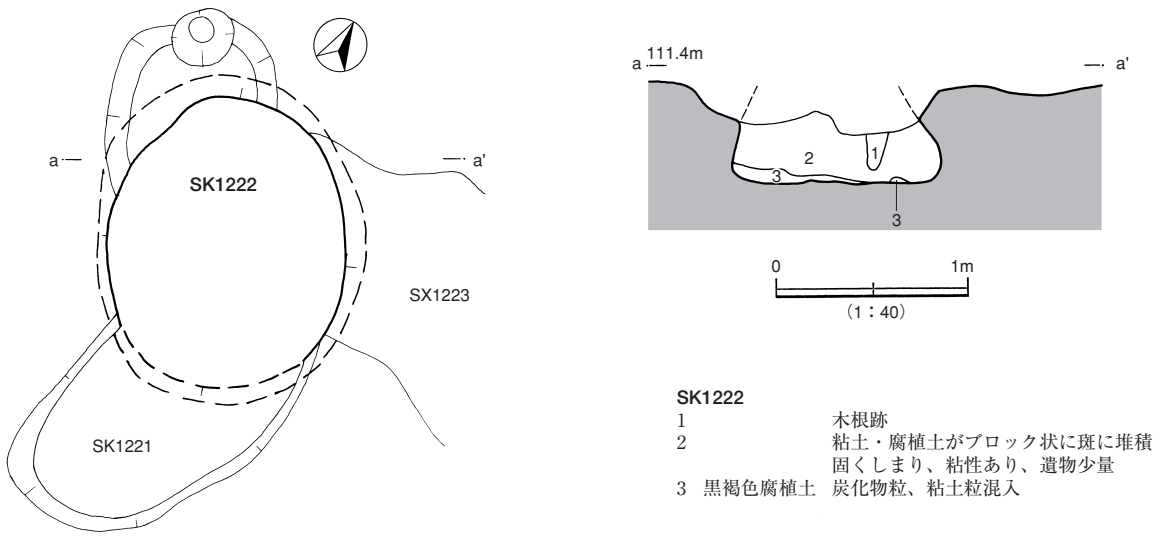
ＳＫ1232（第387図）

グリッド９－89に位置する。環状集落中央広場の北東に所在する。平面形は円形を呈し、断面はフラスコ状を呈する。確認面での規模は直径1.4m、底径1.48m、深さ60cmを測る。壁面が崩れているものの、オーバーハングしてフラスコ状の形態を残す。底面は平坦で底端はカーブする。覆土は６層を確認、２層は褐色粘土層、４・６層は混合土である。

このフラスコ状土坑が埋められた後、１・５層に土坑が掘り込まれている。径80cm、深さ60cmを測る。５層は斑状の混合土で、埋められている。底面は砂質シルトまで掘り込まれる。遺物は底面から深鉢片が出土している。

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:443 Date: 2005/03/18 Fri 20:57:38



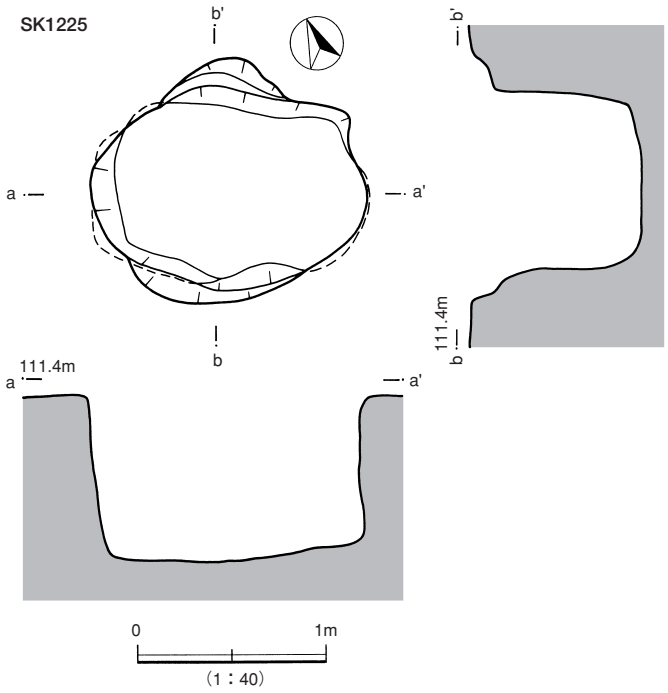


SK1222

1	木根跡
2	粘土・腐植土がブロック状に斑に堆積 固くしまり、粘性あり、遺物少量
3　黒褐色腐植土	炭化物粒、粘土粒混入

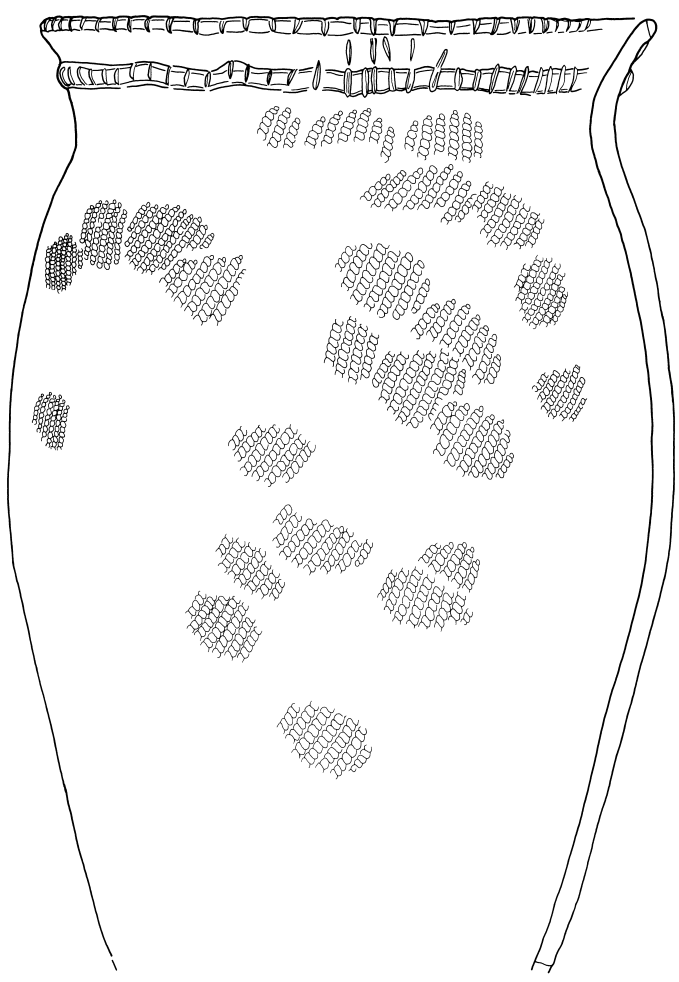
第385図　SK1215・1222 土坑・出土遺物

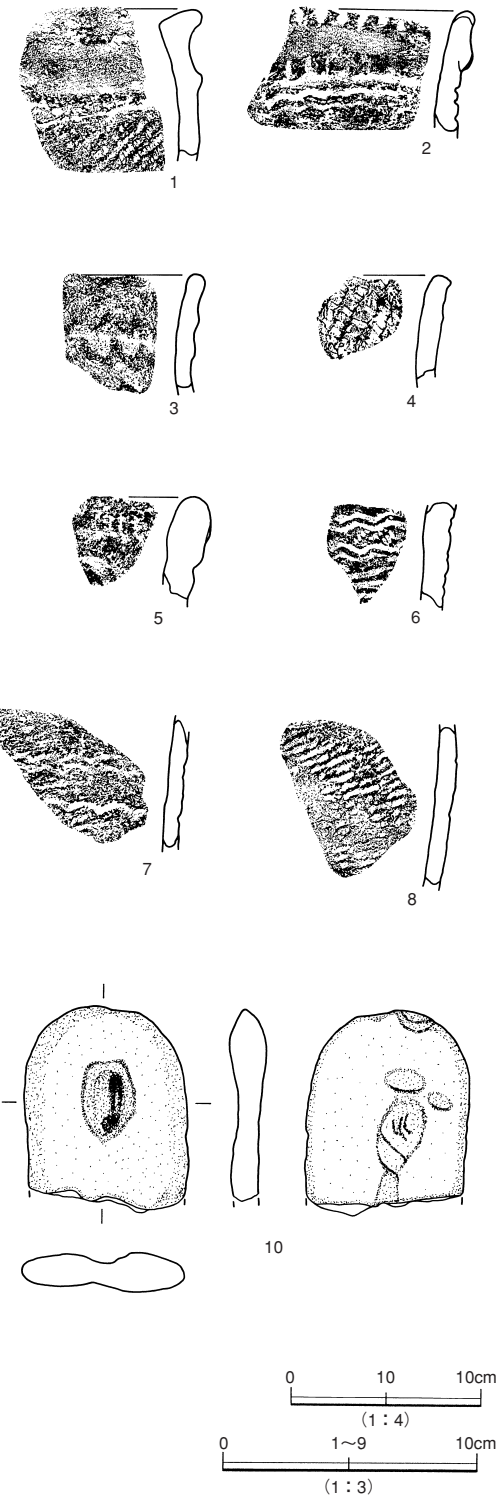
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:444 Date: 2005/03/18 Fri 21:01:27



SK1225

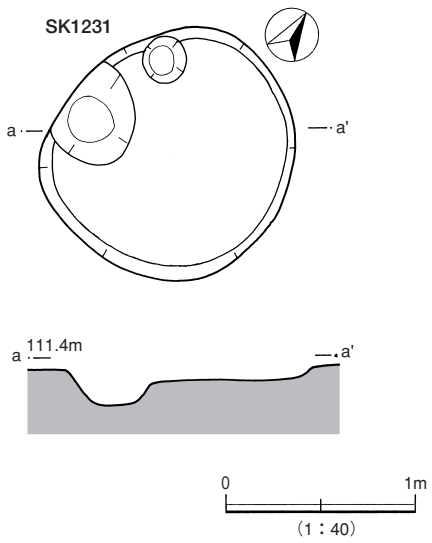
1	10YR2/3	黒褐色シルト	地山粒少量含む
2	10YR4/4	褐色シルト質砂	炭化粒少量含む
3	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	地山粒を斑に含み、炭化粒少量含む、遺物、植物根含む

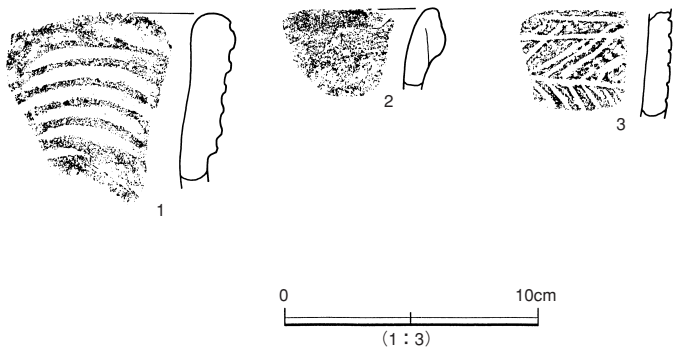


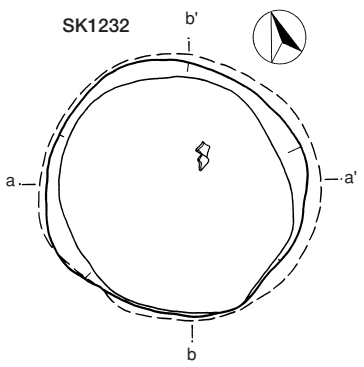


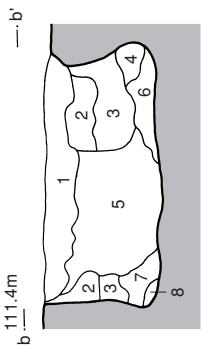
第386図　SK1225 土坑・出土遺物

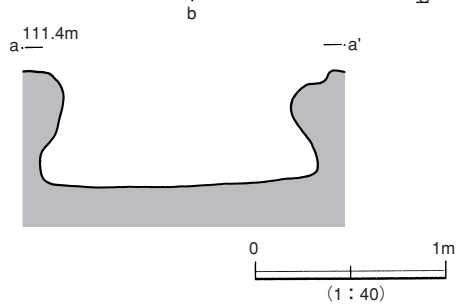
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:445 Date: 2005/03/18 Fri 21:06:14

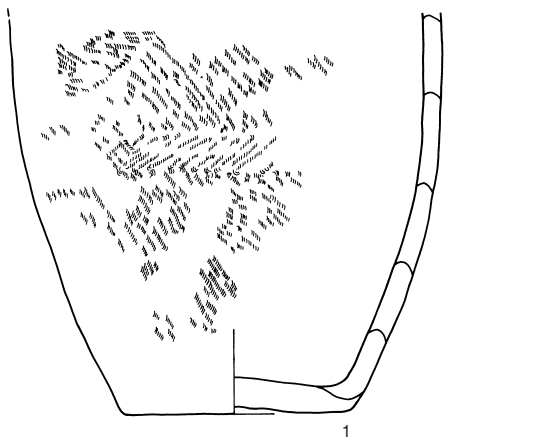


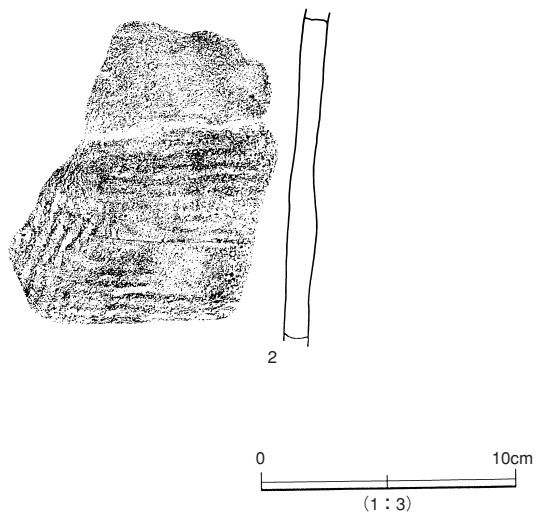












SK1232

1	10YR3/4　暗褐色シルト	地山粒、炭化粒少量含み、植物根含む
2	10YR5/8　黄褐色シルト	1を粒状、斑状に含み、炭化粒少量含む
3	7.5YR3/3　暗褐色砂質シルト	地山を小ブロック、2を小ブロック、粒状で含み、遺物、炭化物、焼土粒含む
4	10YR5/6　黄褐色粘質シルト	3、6地山土を斑に含み、炭化粒少量含む
5	10YR3/3　暗褐色シルト	色調やや赤っぽい、2を粒状、小ブロックで多量斑に含み、焼土粒、炭化粒、礫含む
6	7.5YR2/2　黒褐色シルト	7.5YR2/1黒色シルト地山土を粒～4×1.5cm角で途切れ途切れ縞状に含み、炭化粒含む
7	10YR5/6　黄褐色粘質シルト	4と同様だが、6を縞状に含む
8	10YR5/8　黄褐色粘質シルト	色調赤っぽい、7.5YR2/1黒色シルトを粒状に少量含む

第387図　SK1231・1232 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:446 Date: 2005/03/19 Sat 10:10:57

ＳＫ1245（第388図）

グリッド11－86・87に位置する。掘り方の平面形は不整円形を呈し、底面は北コーナーで歪みをみせる。長径1.5m、短径1.3m、深さ37cmを測る。壁は西側では外反して立ち上がるが、東側ではオーバーハングしている。底面はやや波状である。覆土は底面から約30cmまで人為的に埋められていた。

遺物は少量出土している。３は磨石、４は石皿片である。

ＳＫ1251（第388図）

グリッド11－87に位置する。平面形は円形を呈する柱穴である。規模は直径50cm、深さ1.1mを測る。このＳＫ1251周辺では同様の大型の柱穴が幾つか検出されている。ＳＫ1201・1481に重複しているＳＰ3100などもその一つである。しかし大型住居跡などは確認されていない。

遺物は少量出土している。

ＳＫ1263・1264・2539（第389図）

グリッド10－87・88に位置する。柱穴とフラスコ状土坑の重複遺構である。ＳＫ1263は西壁では垂直に掘り込まれ、東壁ではオーバーハングしている。当初はフラスコ状土坑であったとみられる。ＳＫ1264は土坑とピットの重複遺構。ＳＫ2539は径50cm、深さ1.25mの大型柱穴である。ＳＫ1251などと同様の遺構である。それぞれから遺物が僅かに出土している。

ＳＫ1265（第389図　写遺構－178　写遺物－86）

グリッド10－87に位置する。ＳＫ2539に隣接している。規模は長さ1.5m、幅62cm、深さ20～27cmを測る。不整楕円形で底面は波打っており、中央部がやや低い。東側に小ピットがあり、溝状の張り出しを持つ。本来、小判形ないし隅丸方形であったものと推定される。

遺物は北西コーナーに横位に潰された状態で１の深鉢が出土している。

ＳＫ1281（第390～392図　写遺物－７・87・88・144）

グリッド15－84に位置する。ＳＴ1339に隣接する。ＳＫ1542と切り合い、これを切る。平面形は卵形で、ややフラスコ状の断面を持つ。上半部分は切り合いが不明確ながら上層から遺物が出土している。規模は長径2.18m、短径1.5m、深さ50cmを測る。

底面はほぼ平坦で褐色砂質シルト層まで掘り込んでいる。壁の北側は垂直だが、南側はフラスコ状に内湾している。覆土は５層まで確認した。遺物は１～５層で出土したが、中でも土器は１～３層に集中している。石器は４・５層上面に集中している。１層には大型の土器片の１が投げ込まれた状況がみられ、礫等も混じる。２層には３・４など、まとまった土器が出土している。３・４層東側には17の底部などが出土しており、中央から西側には同一母岩と思われる剥片群が出土している。投げ込まれたと思われる。

同一母岩の剥片群

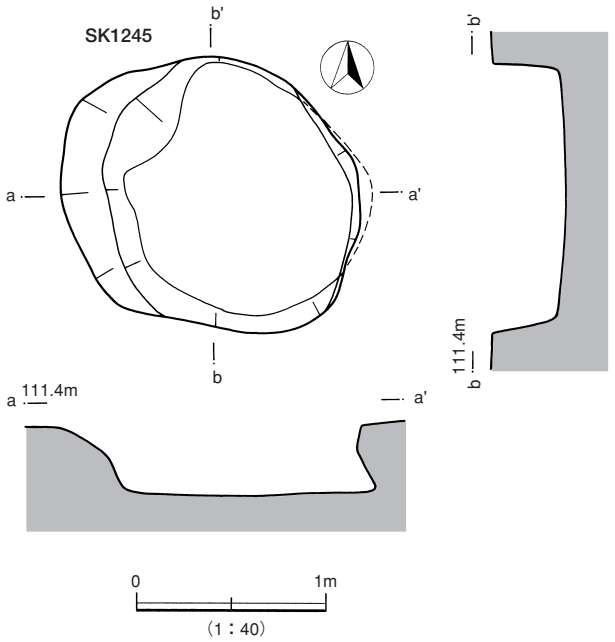
ＳＫ1287（第393図　写遺構－178　写遺物－88）

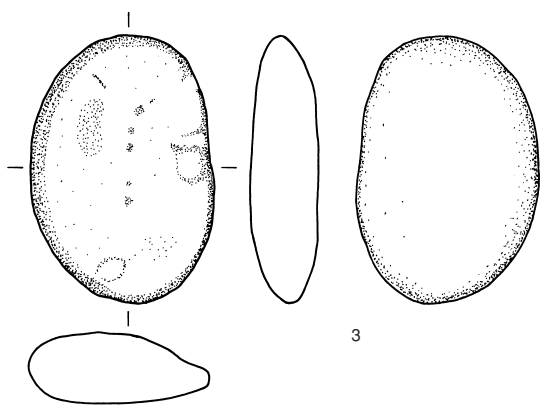
グリッド14－84に位置する。規模は長軸1.05m、短軸92cm、深さ21～24cmを測る。底面は平坦で壁面の立ち上がりは緩やかで浅い。断面は逆台形状を呈する。

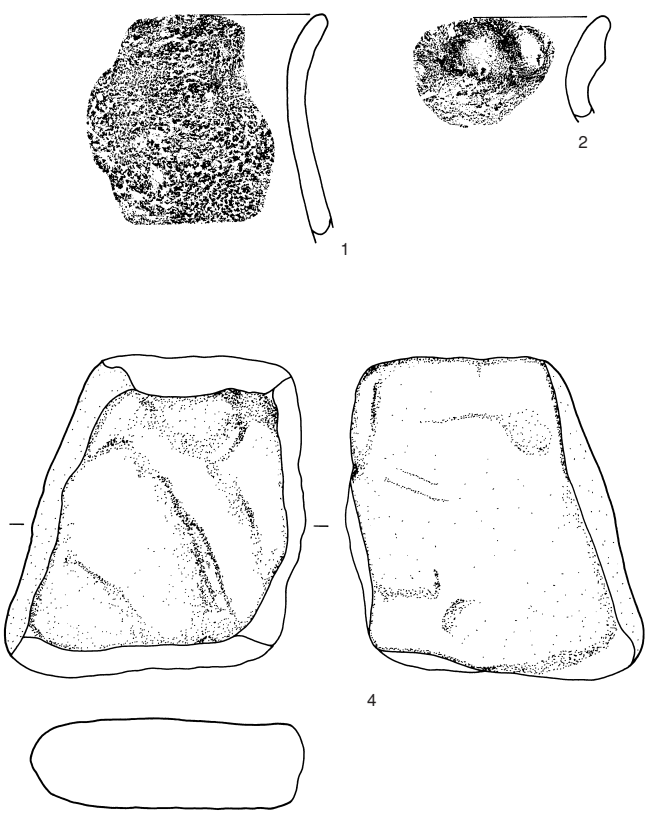
ＳＫ1355（第393図）

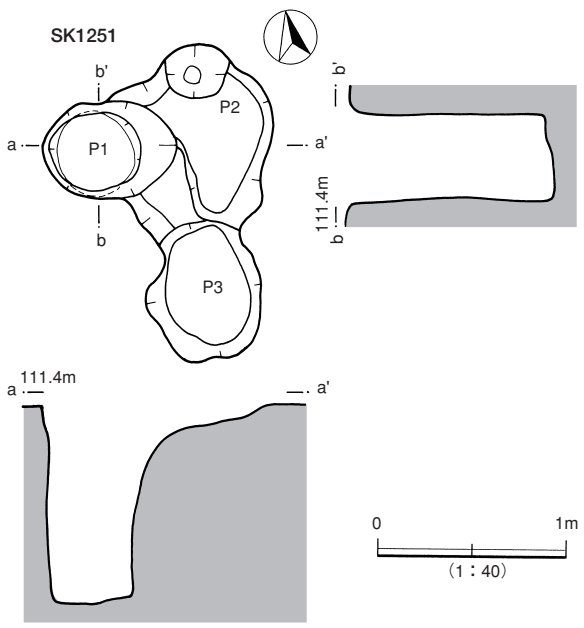
グリッド12－84に位置する。ＳＴ1958の西に所在する。平面形は小判形、断面は台形状を呈する。規模は長径１m、短径53cm、深さ44cmを測る。覆土は黒褐色腐植土で出土遺物は少ない。

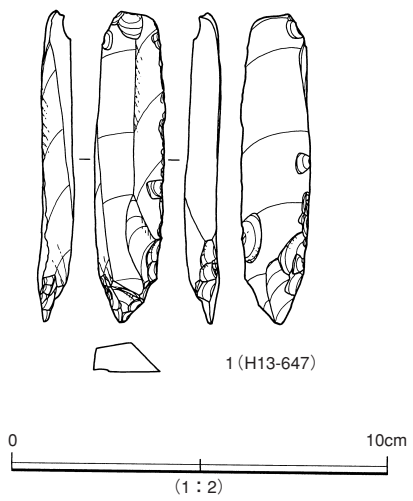
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:447 Date: 2005/03/18 Fri 21:33:49





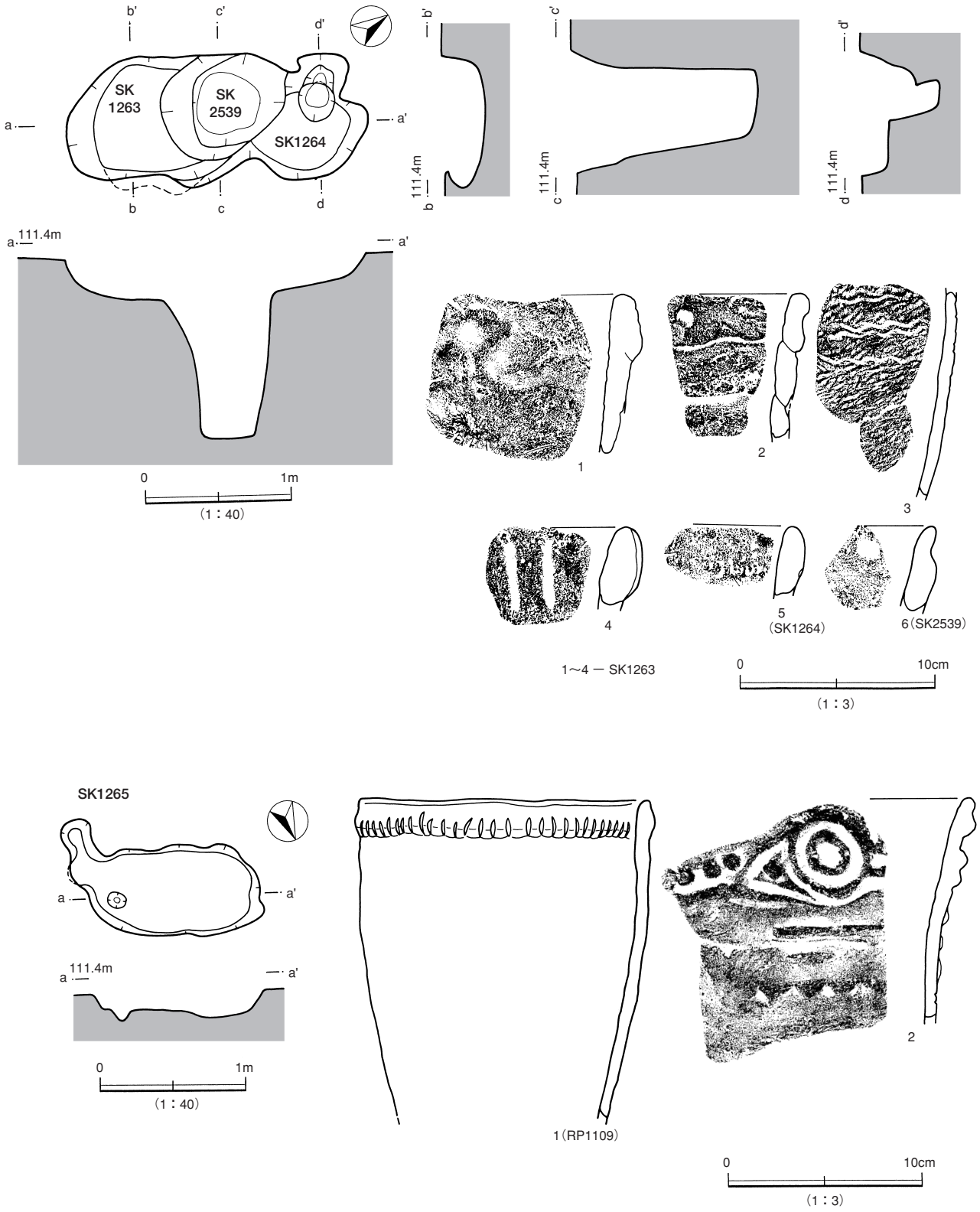






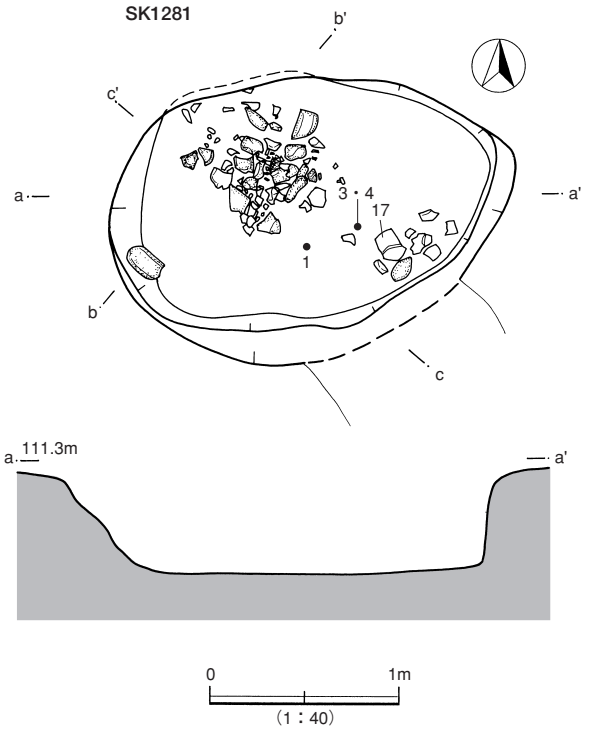
第388図　SK1245・1251 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:448 Date: 2005/03/18 Fri 21:36:52



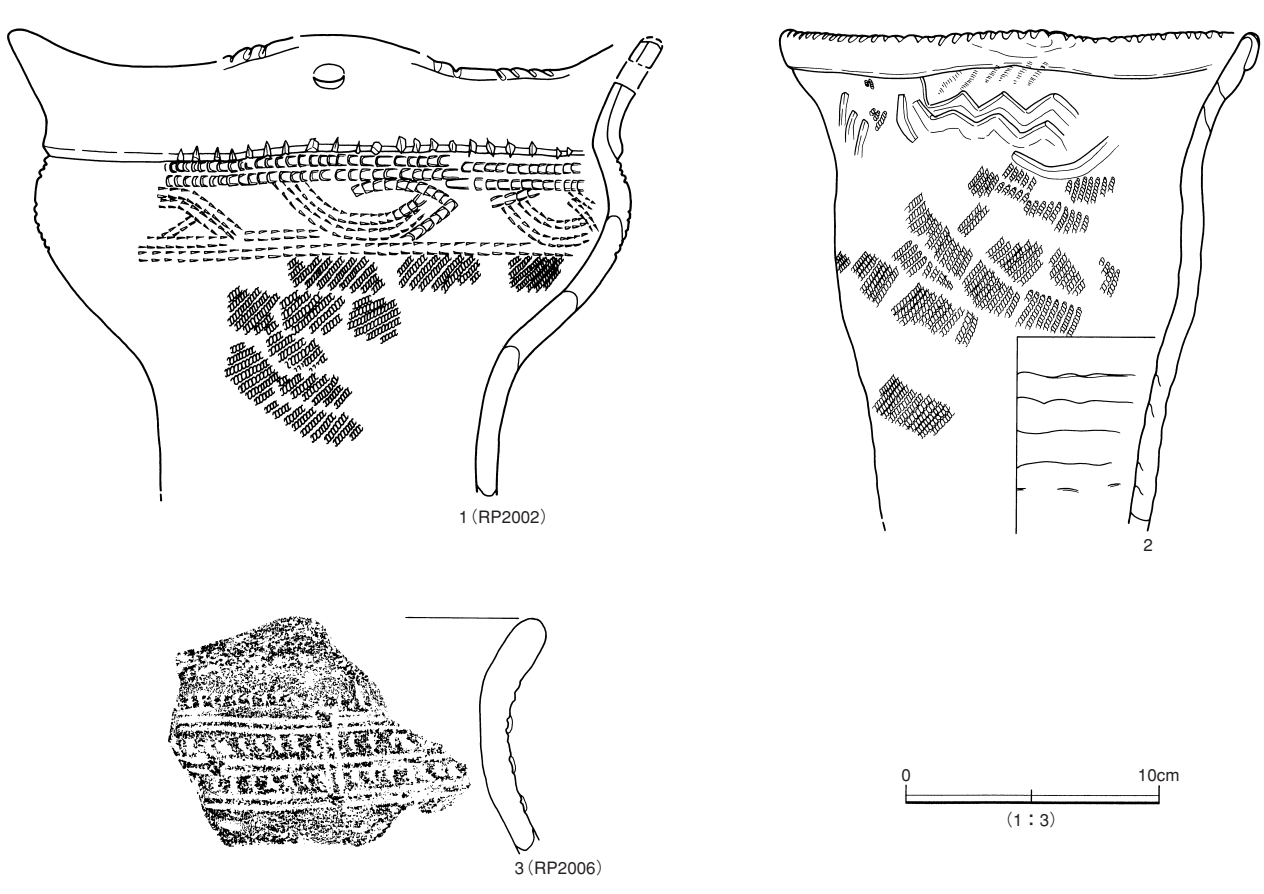
第389図　SK1263・1264・2539・1265 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:449 Date: 2005/03/18 Fri 21:39:48



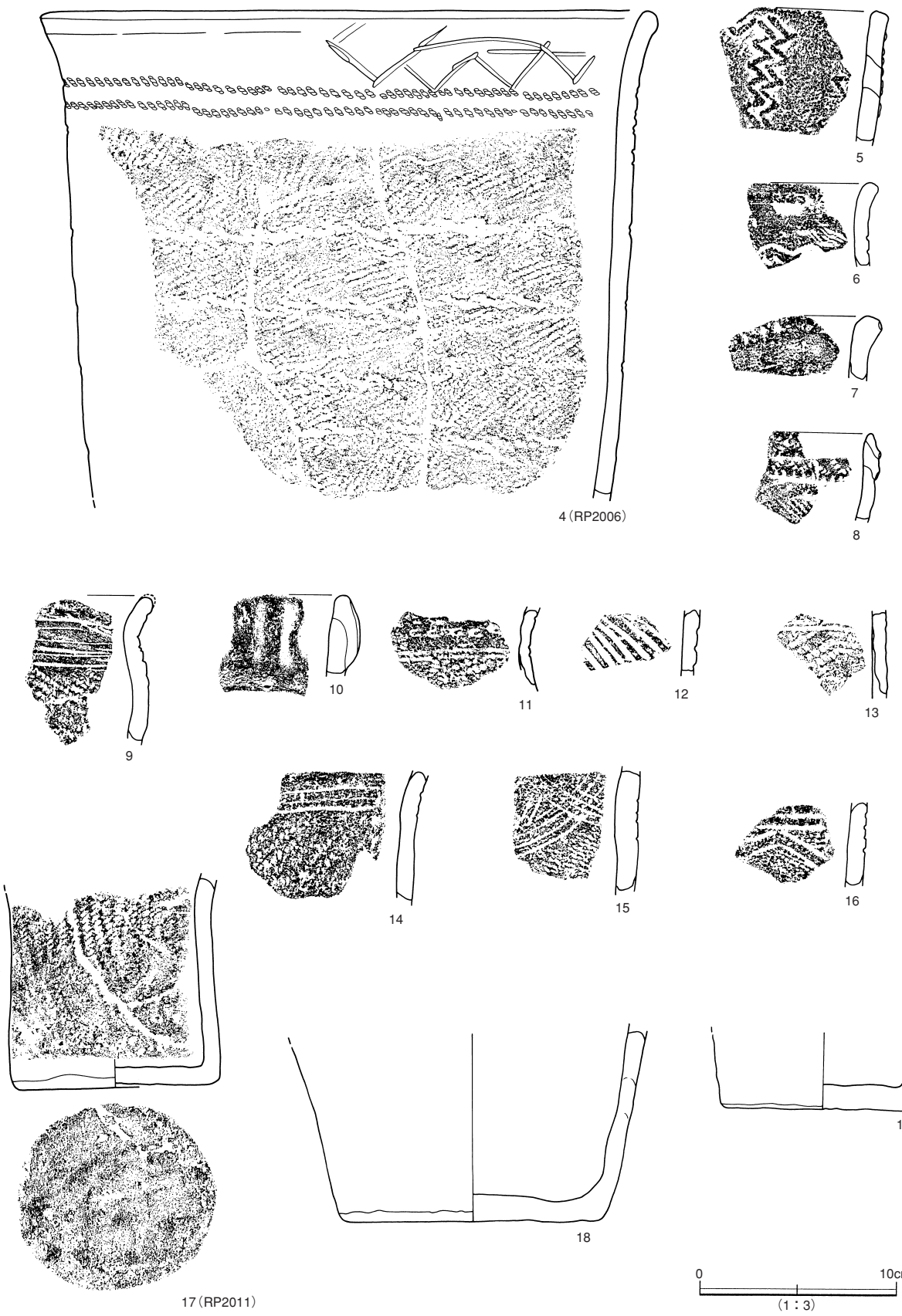
SK1281

1	10YR2/3	黒褐色シルト	粒状を少量点状に含み、遺物、炭化粒小礫、植物根含む
2	10YR4/4	褐色シルト	地山粒を多量点状に含み、炭化粒含む
3	10YR2/3	黒褐色シルト	1と同様だが、色調黄色がかっている 1よりも地山粒、炭化粒共に多く含む
4	10YR2/2	黒褐色シルト	地山粒を少量点状に含み、遺物、炭化物含む
5	10YR3/4	暗褐色粘質シルト	地山粒を斑に含む



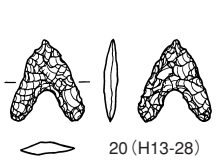
第390図　SK1281 土坑・出土遺物（1）

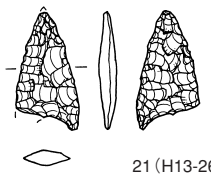
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:450 Date: 2005/03/18 Fri 21:42:05

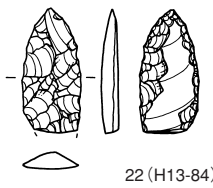


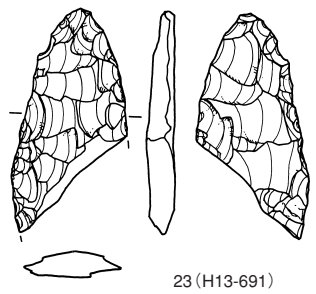
第391図　SK1281 土坑出土遺物（２）

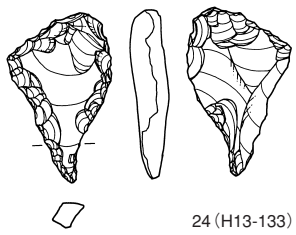
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:451 Date: 2005/03/18 Fri 21:44:11

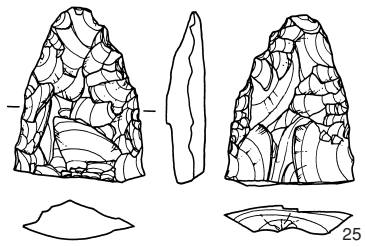

20（H13-28）

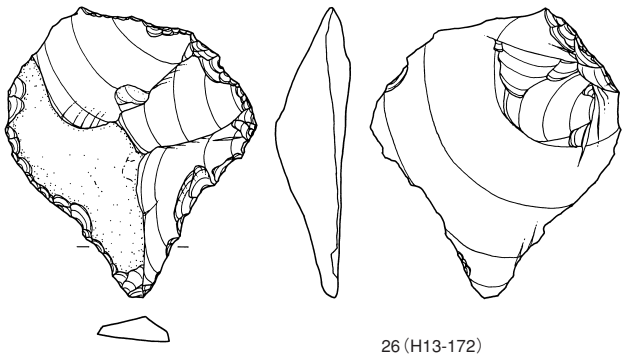

21（H13-26）

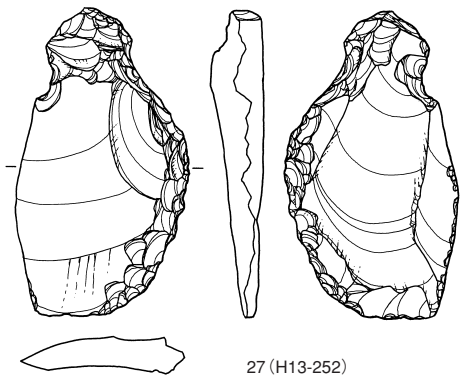

22（H13-84）

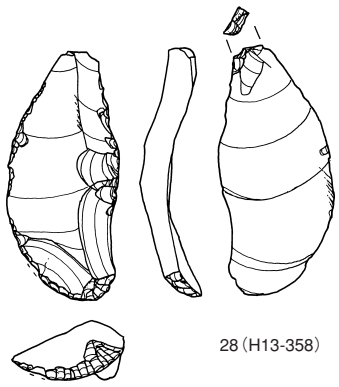

23（H13-691）

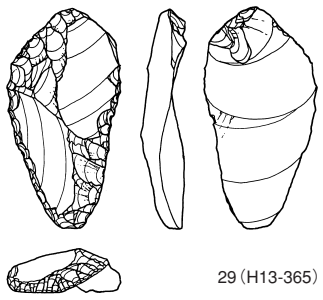

24（H13-133）

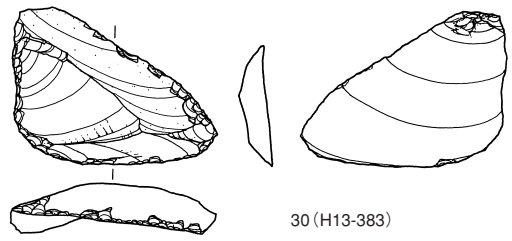

25（H13-681）

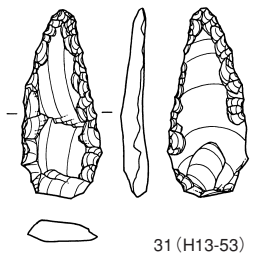

26（H13-172）

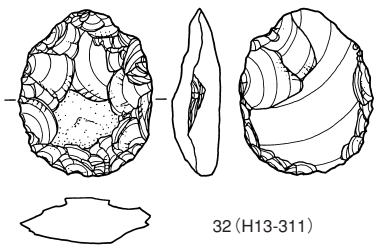

27（H13-252）

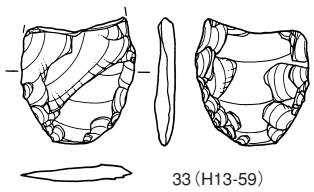

28（H13-358）

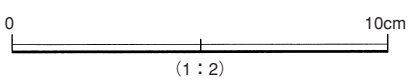

29（H13-365）


30（H13-383）

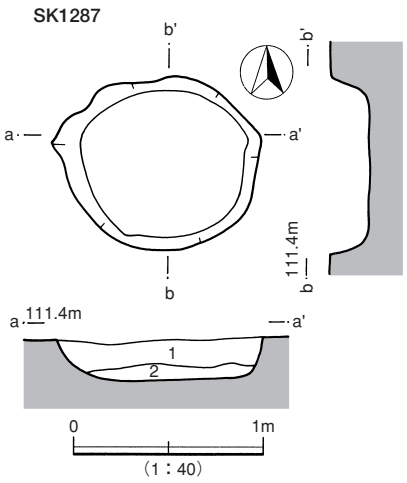

31（H13-53）

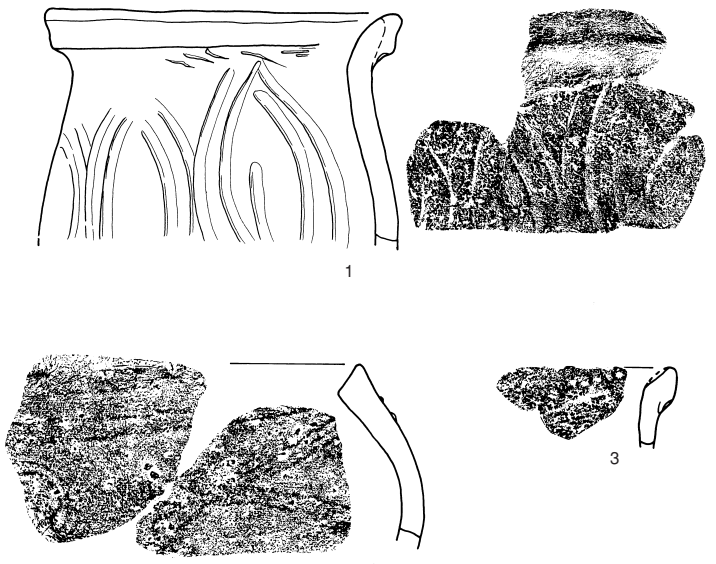

32（H13-311）


33（H13-59）

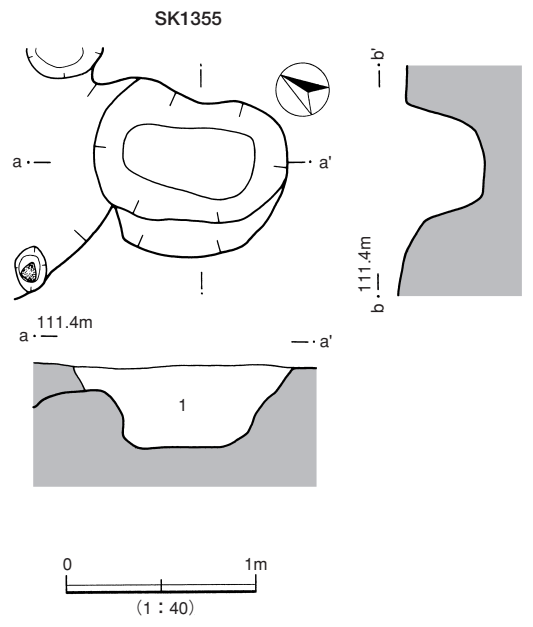


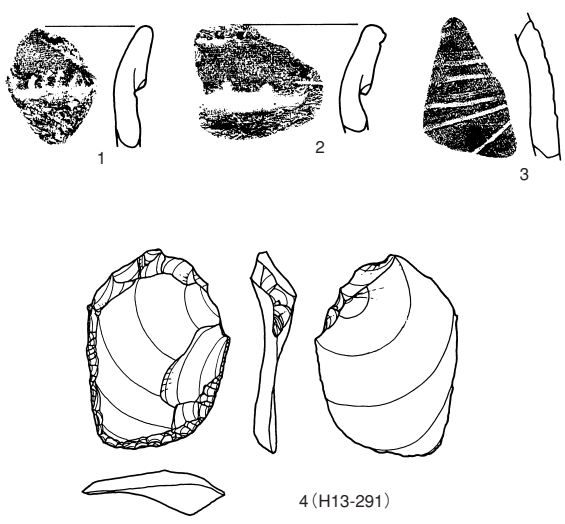
第392図　SK1281 土坑出土遺物（３）





SK1287
1　10YR3/2　黒褐色シルト　地山粒を少量点状に含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　1と同様だが、地山を多量斑に含む





SK1355
1　7.5YR2/3　極暗褐色シルト　地山粒微量含み、遺物、炭化物、植物根含む

第393図　SK1287・1355 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:453 Date: 2005/03/19 Sat 10:12:54

ＳＫ1292（第394図　写遺構－178　写遺物－88）

グリッド14－84に位置する。ＳＴ1339の西に隣接する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径2.0m、短径1.58m、深さ23cmを測る。底面は平坦だが、中央に径30cm、深さ63cmのピットを有する。１層に１の大型深鉢が投げ込まれた状況で出土している。15の石皿片なども出土している。

中央ピット

ＳＫ1306（第395図）

グリッド13－86に位置する。ＳＴ1958の西南に所在する。平面形は小判形ないし隅丸方形を呈する。上面は長軸1.45m、短軸1.16m、深さ38cmを測り、底面は長軸1.2m、短軸84cmを測る。断面は台形で底面は平坦である。

覆土上部に木根の撹乱が入る。覆土は黒褐色腐植土で、パサパサで粒性少ない。遺物は底面に扁平な礫が貼り付き、深鉢片が少量出土している。形態等から墓壙の可能性がある。

ＳＫ1332（第396図）

グリッド14－85に位置する。平面形は、ほぼ円形を呈する。規模は長径95cm、短径８cm、深さ33.5cmを測る。本来はフラスコ状を呈する土坑であったが、壁上面が崩落ないしは削平されたようだ。壁は西壁がオーバーハングし、東壁は垂直に掘り込まれる。底面は平坦である。遺物は少量が出土している。

ＳＫ1338（第396図）

グリッド14－86に位置する。ＳＫ1538と重複し、これに切られる。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.54m、短径1.07m、深さ40cmを測る。壁は垂直で床面は平坦である。覆土は５層まで確認された。人為的埋土である。

ＳＫ1342 ａ・ｂ（第397図）

ＳＫ1342ａはグリッド13－85に位置する。ＳＫ1342ｂと重複し、これを切る。平面形は卵形で墓壙様を呈する。規模は長径95cm、短径56cm、深さ36cmを測る。壁は垂直で、底面は平坦である。覆土は単一層で土器片が全体に混じる。６は円盤状石製品である。

ＳＫ1342ｂは東側にＳＫ1342ａと重複し、これに切られる。平面形は卵形～隅丸方形で墓壙様を呈し、長軸1.05m、短軸55cm、深さ20cmを測る。やや浅い土坑である。底面は凹凸がある。覆土は１層のみで木根の撹乱を受ける。遺物は土器小片が少量出土している。

ＳＫ1347（第397図　写遺物－88）

グリッド12－85に位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸82cm、短軸64cm、深さ16cmを測る。浅い土坑である。周辺にピットが１基検出される。底面は凹凸がみられる。大型土器片、石器が出土している。

ＳＫ1356（第398図）

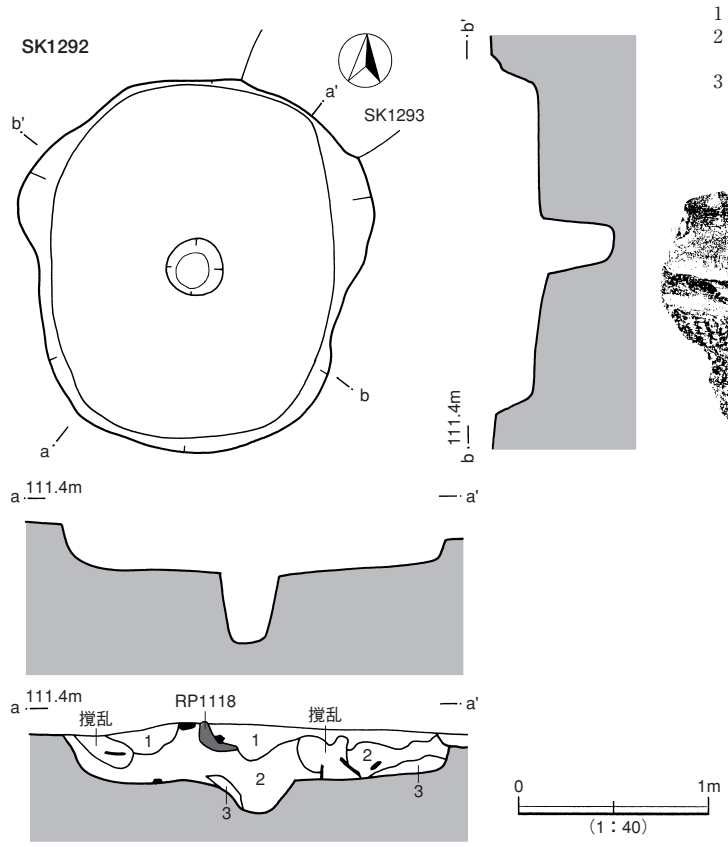
グリッド12－84に位置する。ＳＫ1355と重複し、切られる。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.4m、短軸1.2m、深さ22cmを測る。２基のピットと切り合う。断面Ｕ字形を呈し、底面は平坦である。遺物は１・４・５の鍋屋町２式～福浦上層式土器が出土している。

鍋屋町２式
福浦上層式

ＳＫ1387（第398図）

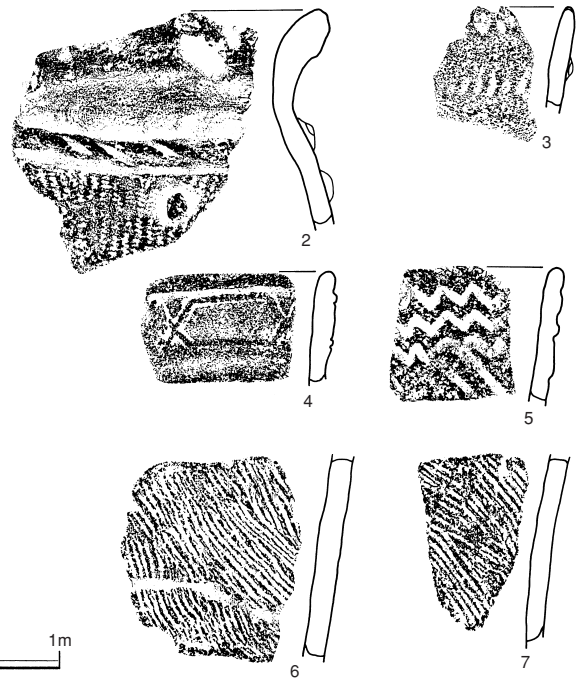
グリッド20－89、ＳＴ857の北に隣接する土坑である。複数の土坑とピットが切り合っている。深さは78cmと深い。底面は凹凸がみられ２・４層から中期大木８ｂ式土器が出土している。

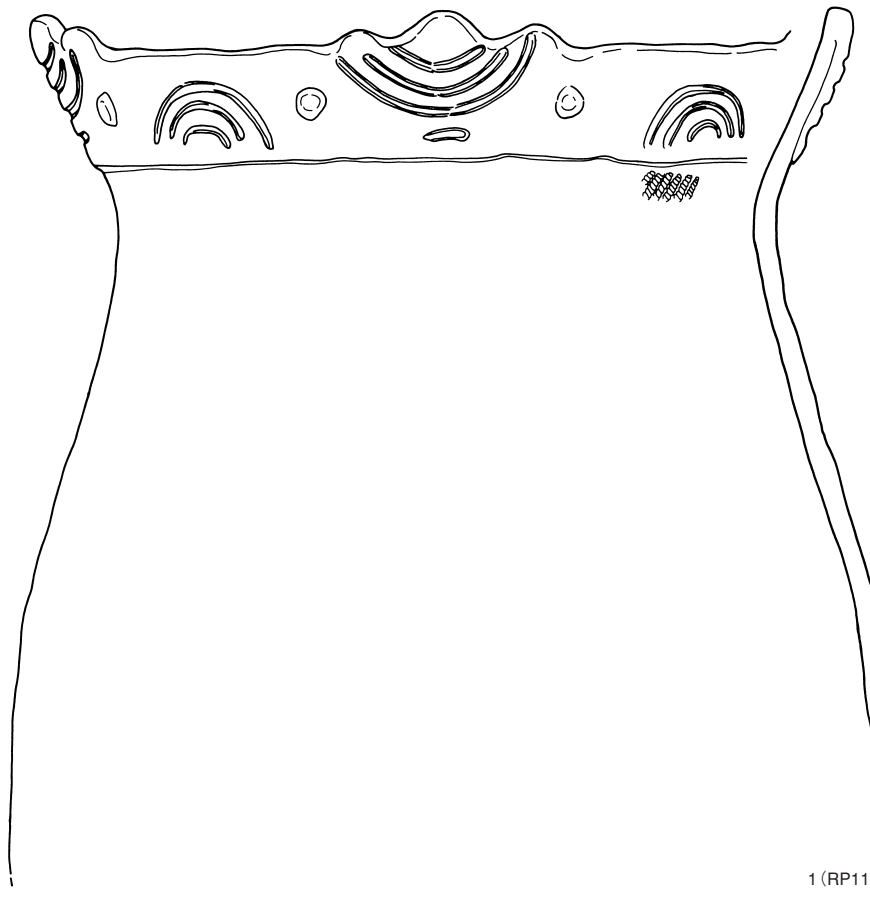
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:454 Date: 2005/03/18 Fri 21:52:20

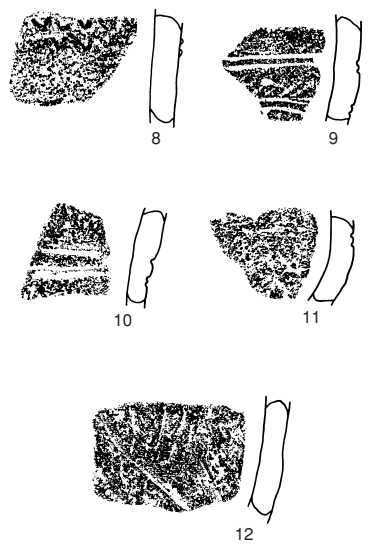


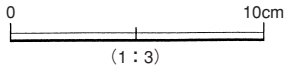
SK1292

1　10YR3/2　黒褐色シルト　土器片、炭化粒含む
2　10YR2/2　黒褐色シルト　炭化物を多量に含み、地山を少量含む
3　10YR2/2　黒褐色シルト　2と同様だが、地山を多く含み、炭化物を少量含む



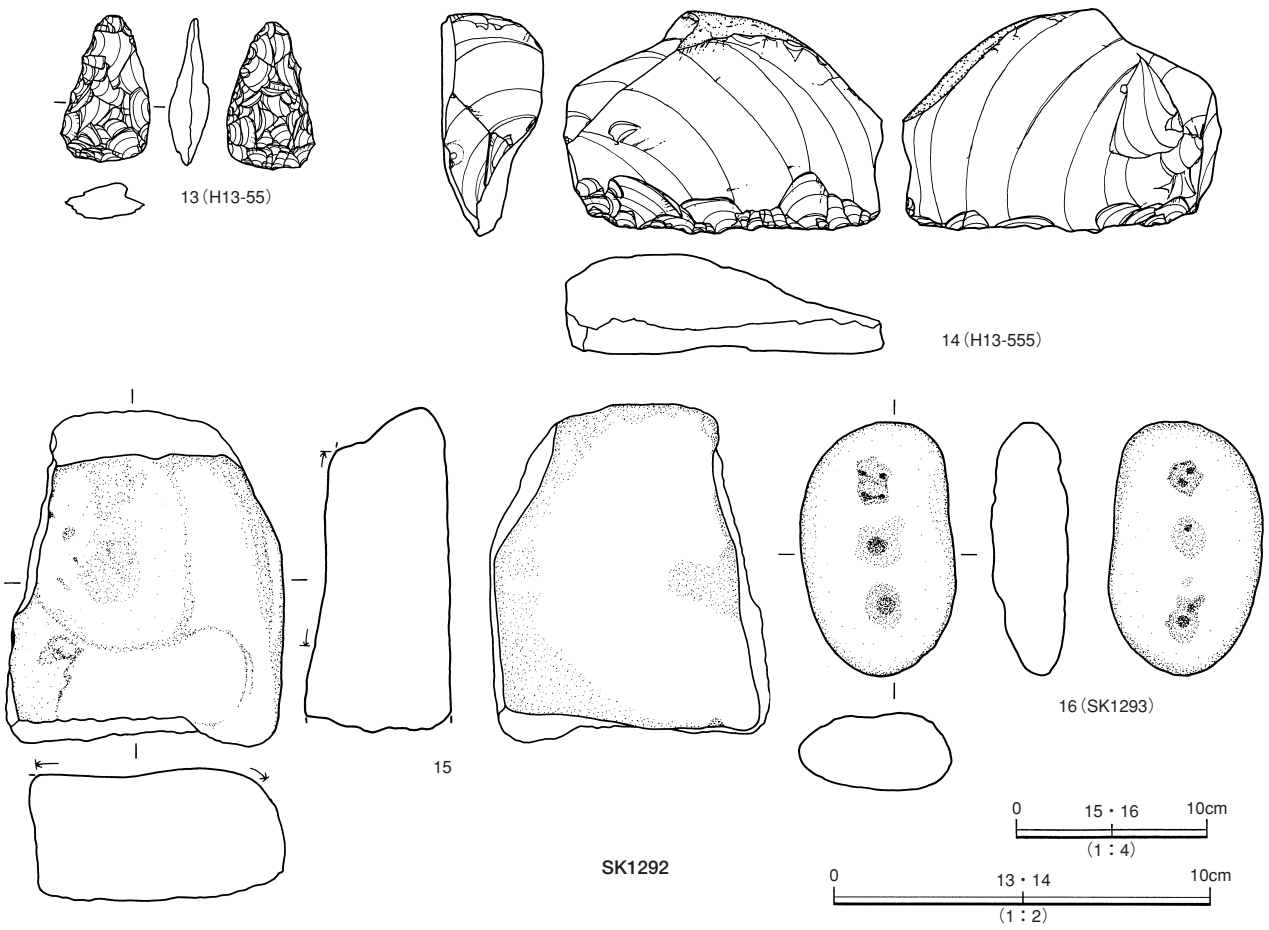


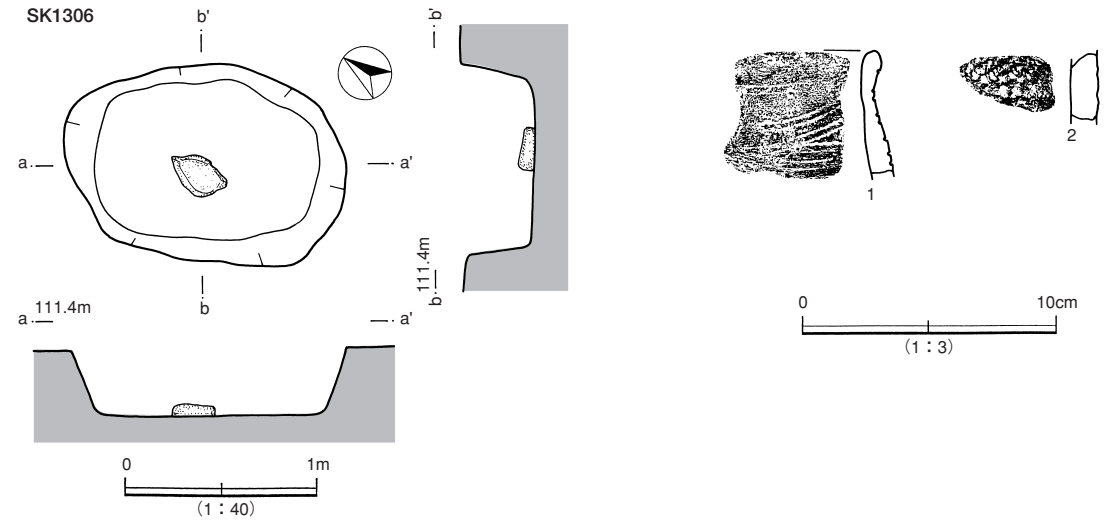




第394図　SK1292 土坑・出土遺物

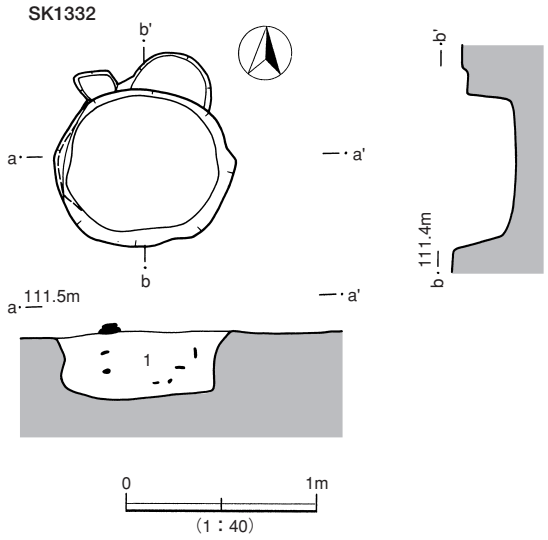
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:455 Date: 2005/03/18 Fri 21:55:37

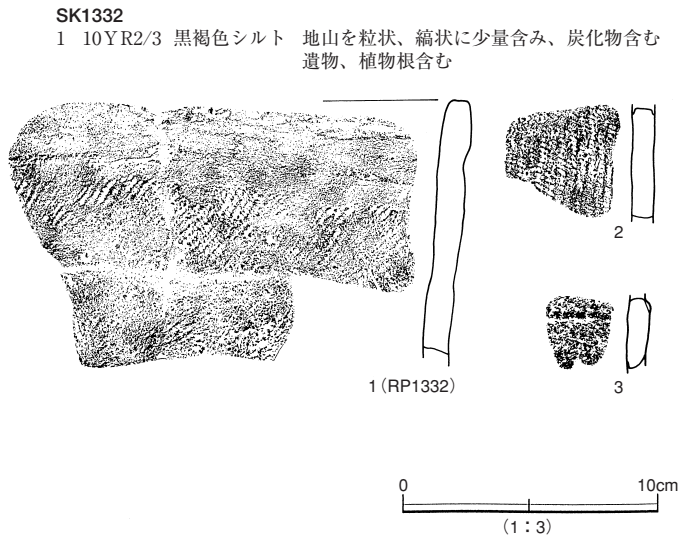


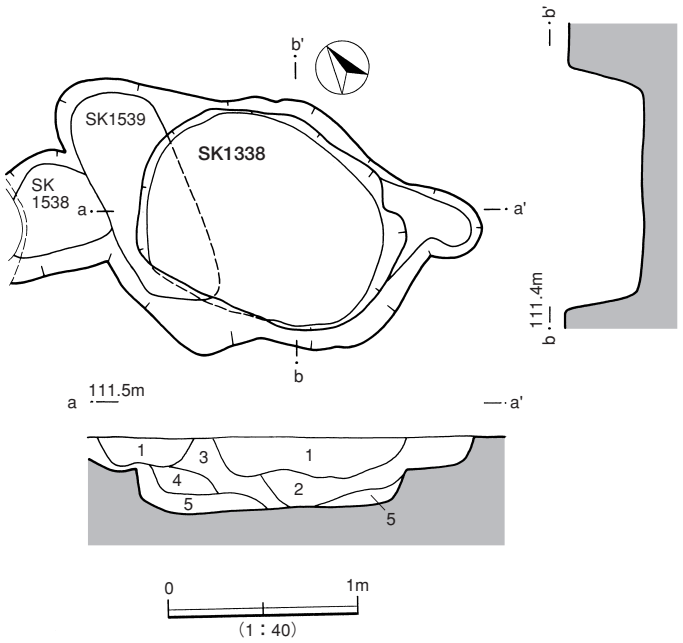


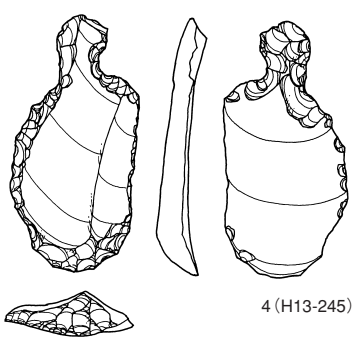
SK1306
1　10YR3/4　暗褐色シルト　地山粒を点状に多量含み、遺物、炭化物、植物根、礫含む

第395図　SK1292・1306 土坑・出土遺物



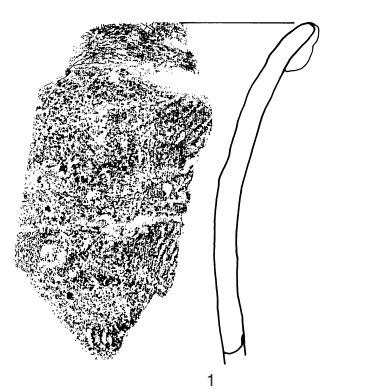


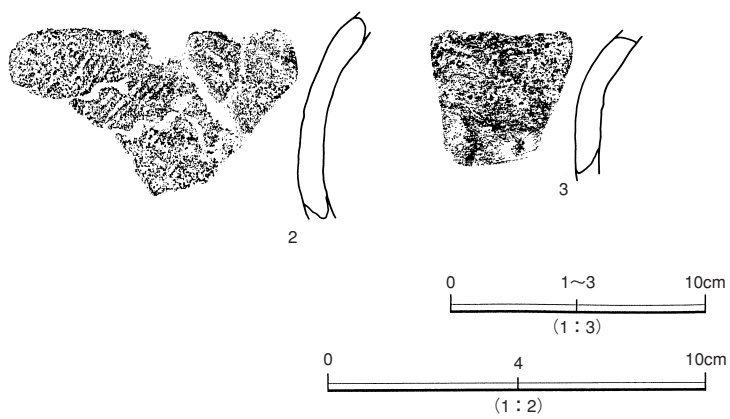




SK1338

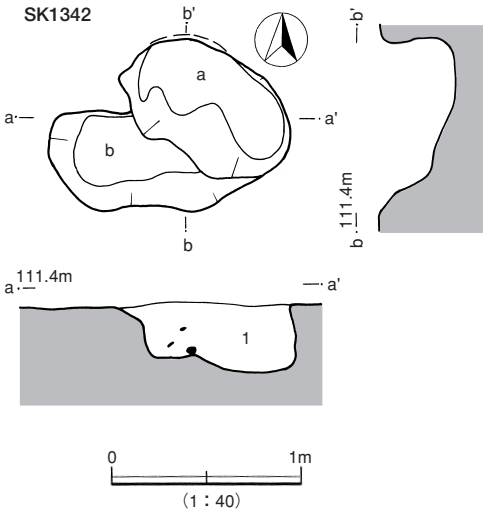
1　10YR3/3　暗褐色シルト　地山粒微量に含み、炭化粒含む、遺物、植物根含む
2　10YR4/4　褐色シルト　黒っぽい、3、地山粒を斑に含み、遺物、炭化粒を含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　地山粒を2より少なく、斑に含み、炭化粒、礫含む
4　10YR2/3　黒褐色シルト　地山を1cm角で含み、炭化粒、植物根含む
5　10YR2/3　黒褐色シルト

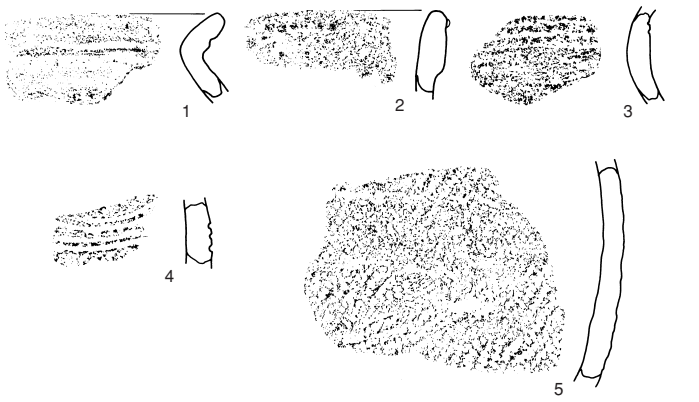


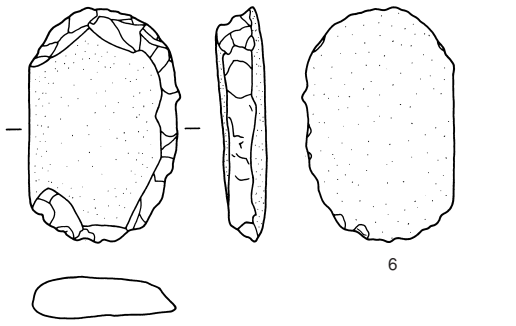


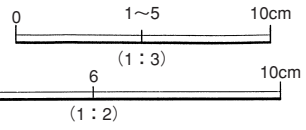
第396図　SK1332・1338 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:457 Date: 2005/03/18 Fri 22:02:04

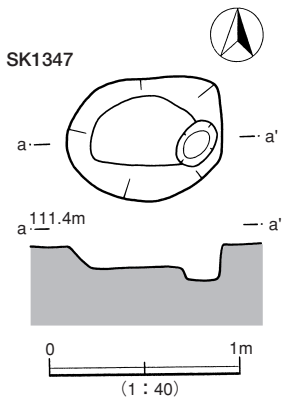


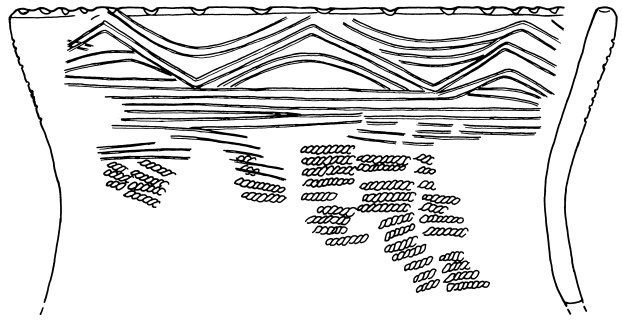


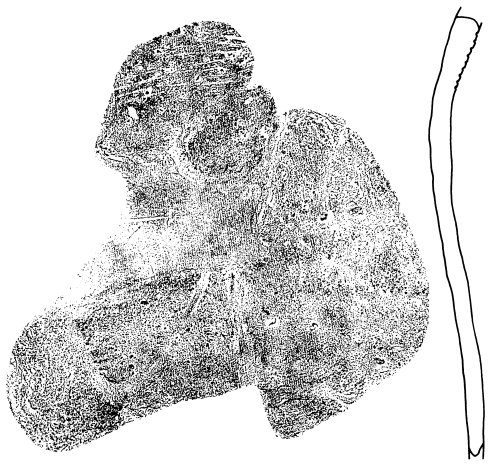


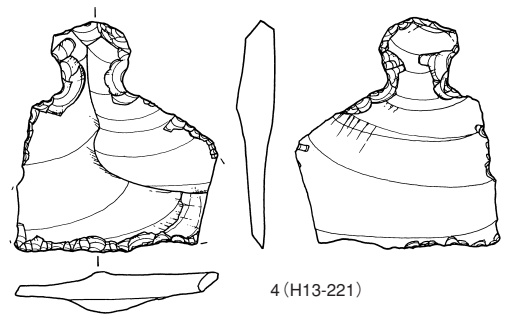


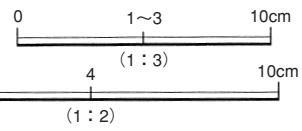
SK1342
1　10YR3/4　暗褐色シルト　地山を少量点状に含み、炭化粒、炭化物遺物、植物根、礫含む





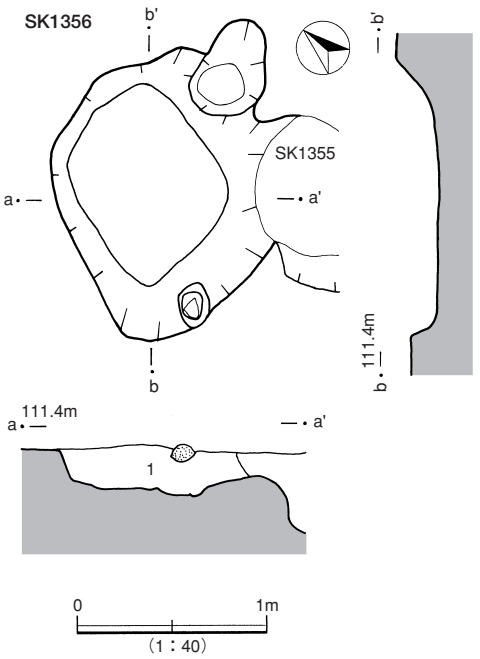


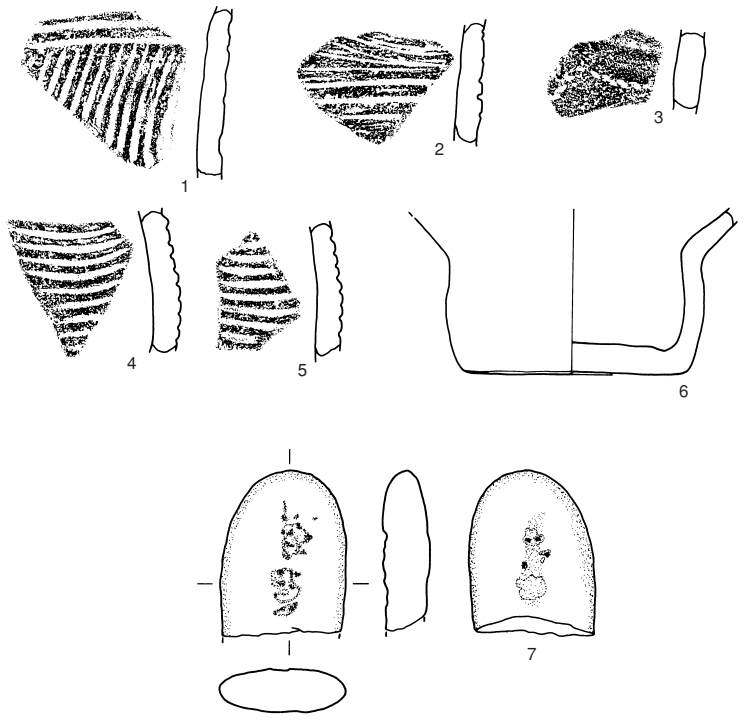


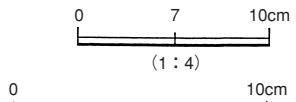


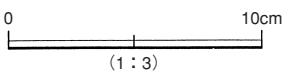
第397図　SK1342・1347 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:458 Date: 2005/03/18 Fri 22:04:14

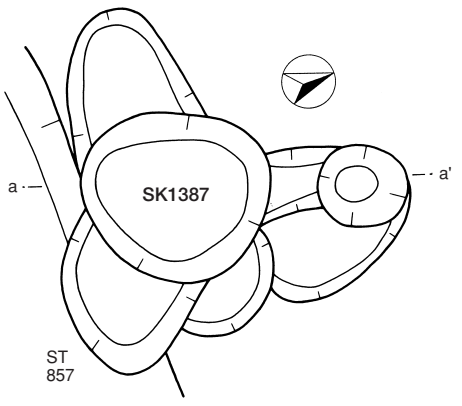


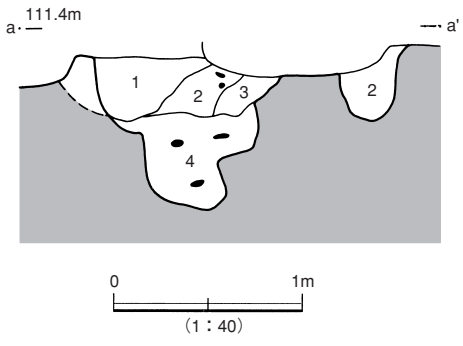






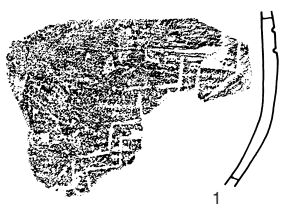
SK1356
1　7.5YR2/2　黒褐色シルト　地山を斑に含み、植物根含む

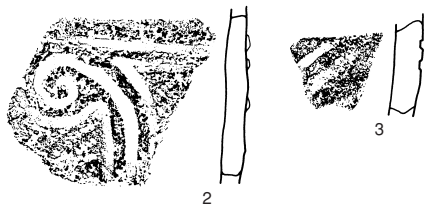


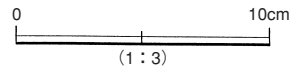


SK1387

1	10YR2/3　黒褐色シルト	炭化粒含み、植物根、礫含む、よくしまる
2	10YR3/3　暗褐色粘質シルト	粗砂混じり、地山を3cm角に含み、遺物、炭化粒植物根、礫含む
3	10YR4/6　褐色中砂	地山を斑に含み、植物根、礫含む
4	7.5YR3/3　暗褐色粘質シルト	地山を2～3cmの点状に含み、炭化物、植物根、礫含む、2よりも粘性あり







第398図　SK1356・1387 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:459 Date: 2005/03/19 Sat 10:14:44

ＳＫ1390（第399図　写遺物－90）

グリッド11－84に位置する。完掘後、ａ・ｂ・ｃの３基の土坑・ピットの切り合っていることが判明した。ｂ・ｃ→ａの順に掘り込まれている。さらに、ＳＫ1390ａ内には小ピットが２基ある。ＳＫ1390ａの規模は、長軸1.10m、短軸１m、深さ1.38mを測る。径44～57cmの柱穴とみられる深い掘り込みが伴う。このような大型柱穴は周辺にＳＫ1431・ＳＰ3100など幾つかみられるが大型住居跡としては認定されていない。

ＳＫ1390ｂは深さ16cm、ＳＫ1390ｃは深さ７cm程で浅い。遺物はＳＫ1390ｂから５・６・７の深鉢が横位に潰れた状況で出土している。

ＳＫ1395（第400図　写遺構－179　写遺物－88）

グリッド14－81に位置する。７区の東端付近に所在している。本址はＳＫ1395ａとＳＫ1395ｂの２つの土坑が重複している。いずれも卵形ながら、ＳＫ1395ａの掘り込みが深い。全体の規模は、長径2.13m、短径１m、深さはａが73cm、ｂが56cmを測る。ＳＫ1395ａは、壁はやや内湾し、底が口縁より広くなる。底面は平坦で、掘り込みはやや傾斜している。ＳＫ1395ｂの底面は凹凸があり、中央部が椀状になる。

ＳＫ1417（第401図）

グリッド13－83に位置する。ＳＴ1415の西７mに所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径2.05m、短径1.55m、深さ50cmを測る。壁はほぼ全体でオーバーハングしている。底面は平坦である。

遺物は１～３の深鉢や４の石皿片がある。

ＳＫ1419（第401図　写遺構－179　写遺物－91）

グリッド12－82に位置する。平面形は小判形ないしは隅丸方形を呈する。規模は長軸1.33m、短軸76cm、深さ32cmを測り、底面には凹凸が多い。

壁はほぼ垂直である。覆土は４層からなり、１・３層は褐色粘土ブロックの混合土で埋められた土層である。覆土に少量の遺物を含む。底面近くに石皿様の大礫が出土する。また端には底部が破損した深鉢が出土。埋設土器とみられる。小判形で長軸１～1.8mで墓壙の可能性がある。

墓壙の可能性

ＳＫ1422（第402図）

グリッド12－82・83に位置する。ＳＴ1505の西に位置しＳＴ1421と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸95cm、深さ56cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。覆土は黒褐色シルトを主体とする。遺物は１～10の深鉢片が出土している。

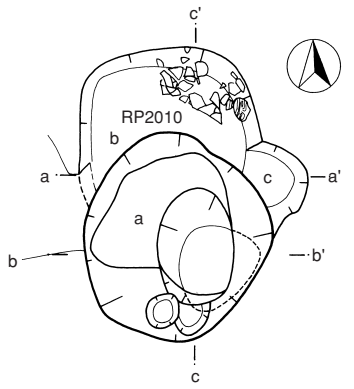
ＳＫ1423（第402図）

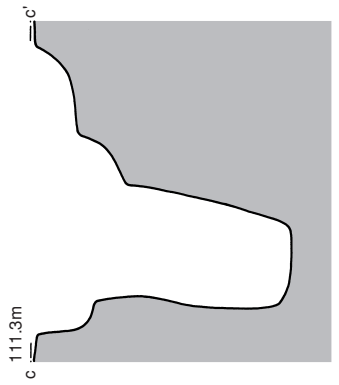
グリッド12－86に位置する。ＳＴ1341大型住居跡の西に所在する。平面形は小判形で長径２m、短径1.56m、深さ33cmを測る。壁は、ほぼ垂直に掘り込まれ底面は平坦である。底面には溝があり、長さ1.16m、幅13～36cm、深さ６～８cmを測る。溝の両端部にピットＰ１・２が配置される。Ｐ１は径18cm、深さ13cm、Ｐ２は径23cm、深さ17cmを測る。溝の堆積土は粘土混じりで堅くしまっている。当初ＳＫ1370とＳＫ1423の２基の遺構の重複として検出されたが１基のようだ。遺物は１、２の深鉢片がある。

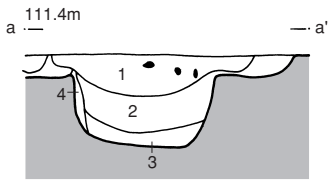
床面に溝とピット

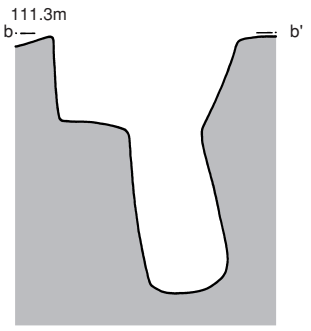
Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:460 Date: 2005/03/18 Fri 22:07:42

SK1390

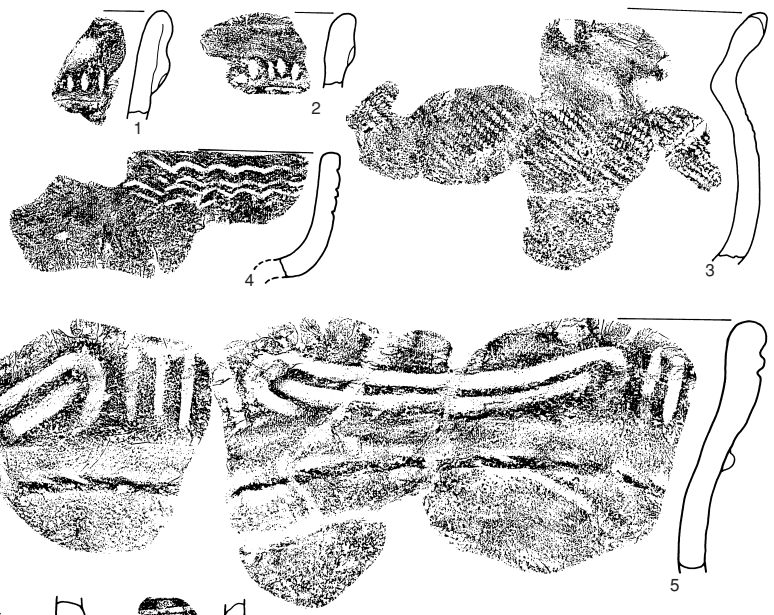


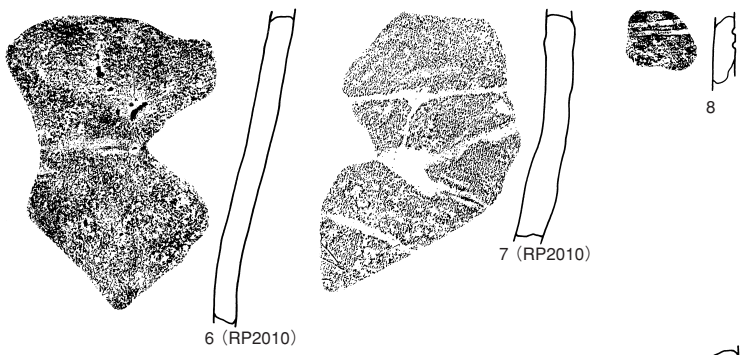


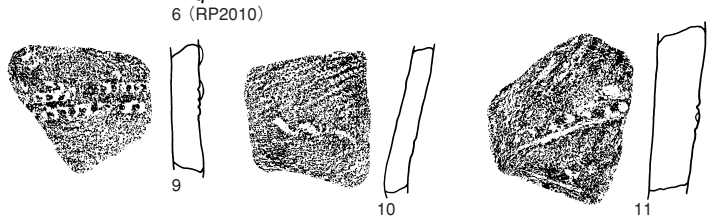


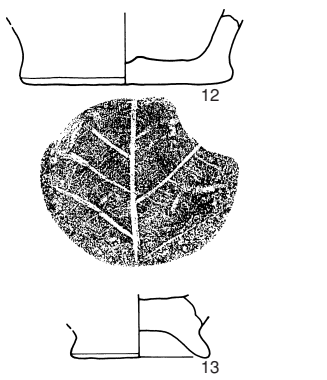


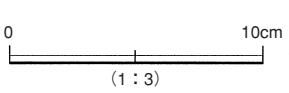
SK1390
1　10YR3/2　黒褐色シルト　　地山粒微量含み、炭化粒含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　　1と同様だが、地山粒径大きく、1より多量に含む
3　10YR2/2　黒褐色シルト
4　10YR3/4　暗褐色砂質シルト　地山粒、炭化粒含む





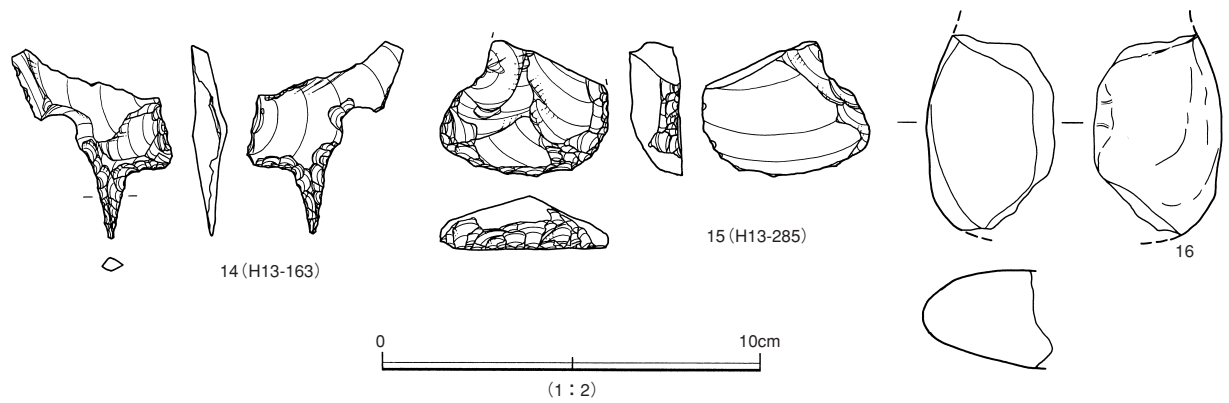




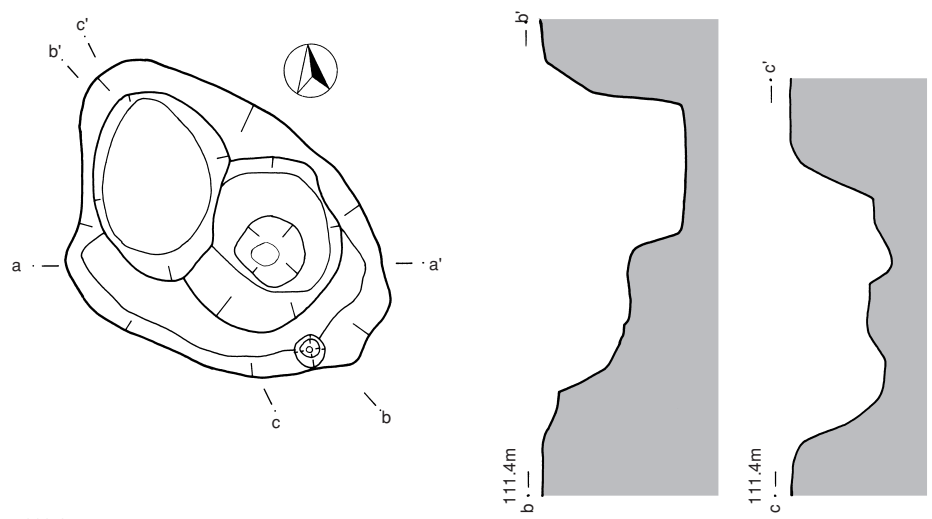


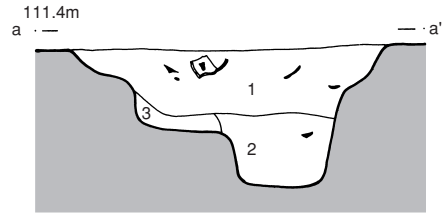
第399図　SK1390 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:461 Date: 2005/03/18 Fri 22:10:54



SK1395

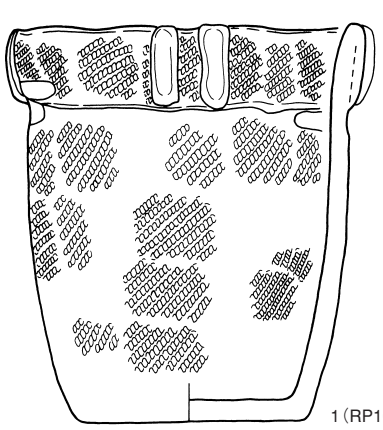


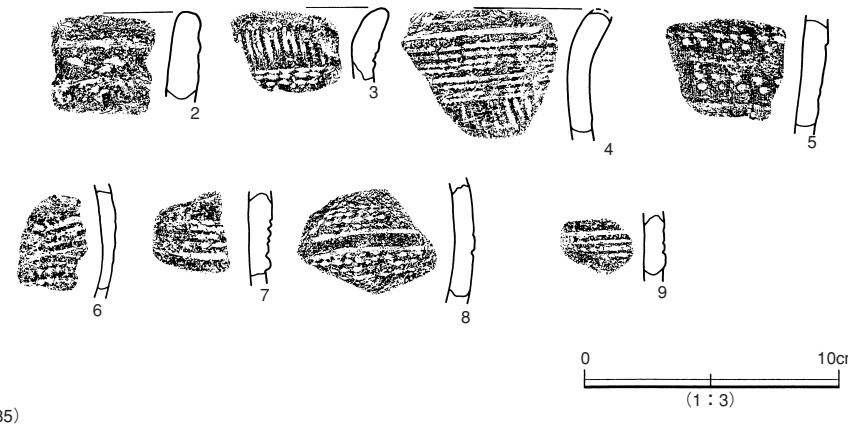


SK1395

1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山粒を点状に含み、遺物、炭化粒、植物根、礫含む
2　10YR2/3　黒褐色シルト　1と同様だが、1より粘性あり、地山を小ブロック（1～2cm角）で斑に含み、遺物含む
3　10YR3/4　暗褐色シルト　1を斑に含み、遺物、炭化粒含む

0　1m
（1：40）

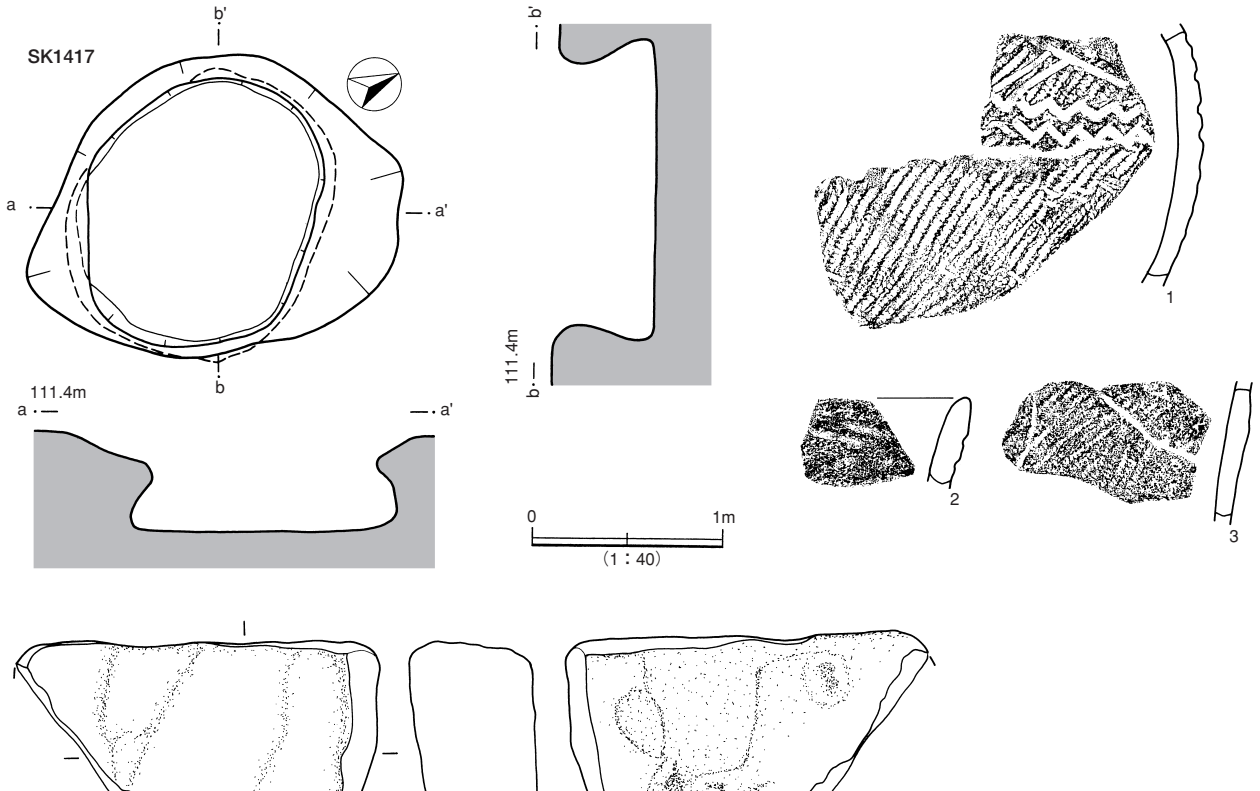


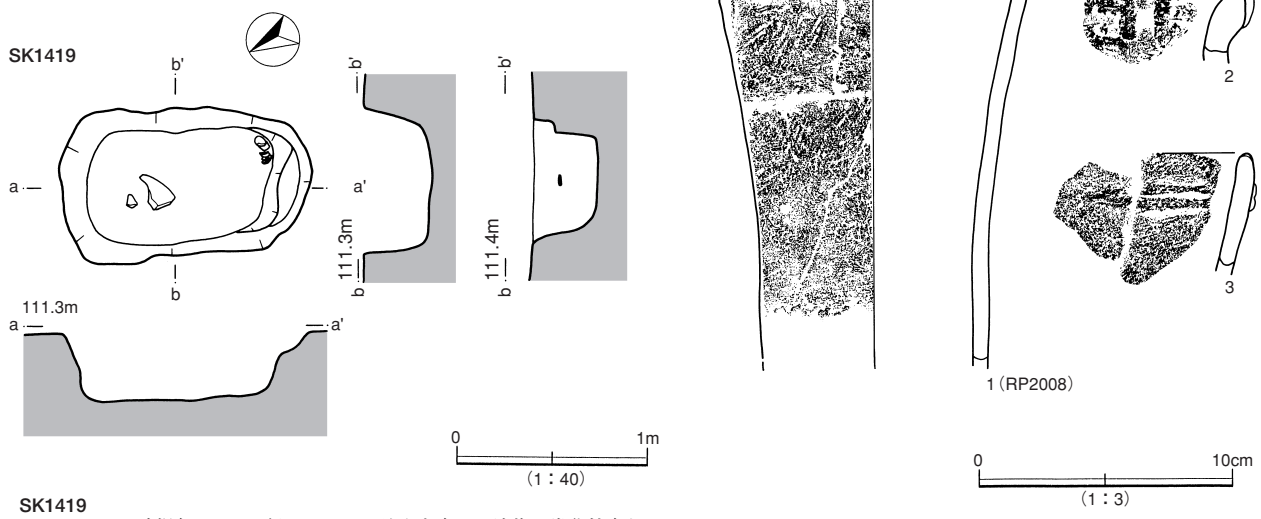


0　10cm
（1：3）

第400図　SK1390・1395 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:462 Date: 2005/03/18 Fri 22:14:33

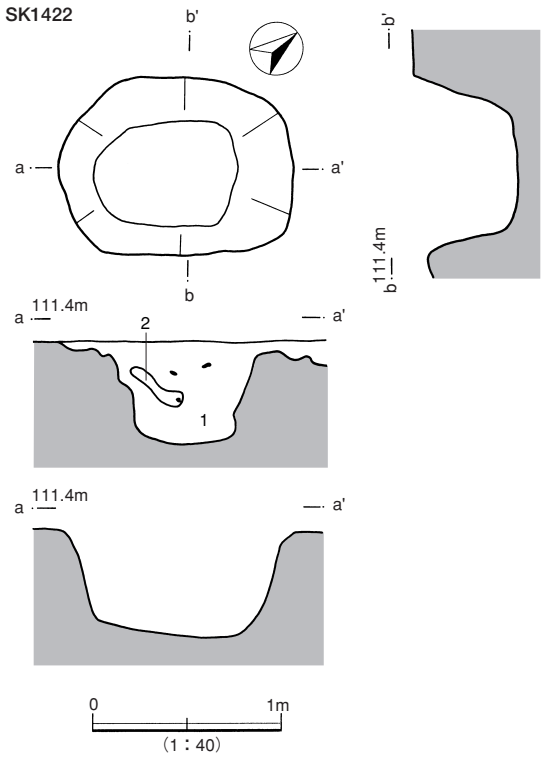


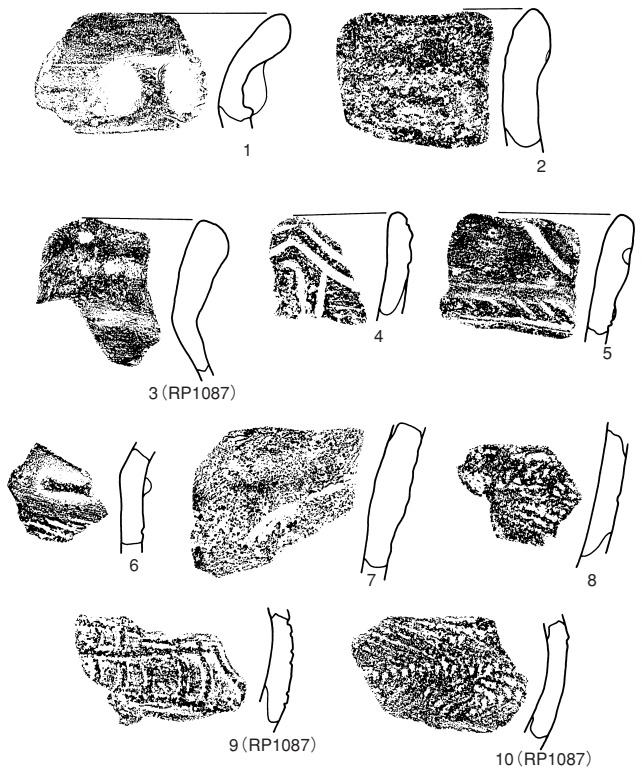


SK1419
1　10YR3/3　暗褐色シルト　径1.5～7cmの地山を含み、遺物、炭化粒含む

第401図　SK1417・1419 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:463 Date: 2005/03/18 Fri 22:16:27

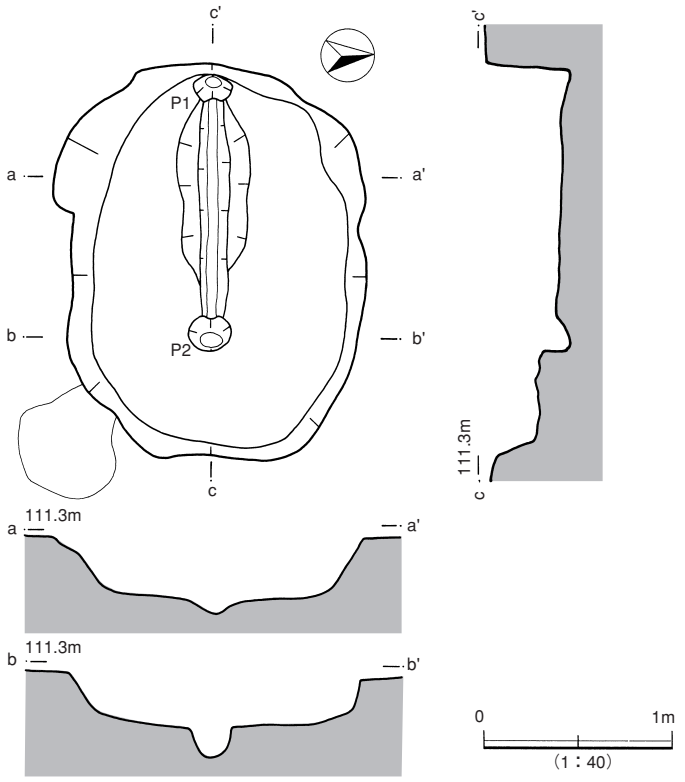


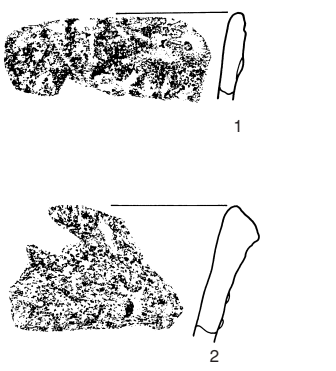


SK1422

1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山を少量点状に含み、焼土粒、炭化物、遺物、植物根含む
2　7.5YR5/6　明褐色シルト　色調やや茶色っぽい、焼土層

SK1423





第402図　SK1422・1423 土坑・出土遺物

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:464 Date: 2005/03/19 Sat 10:16:28

ＳＫ1431（第403図）

グリッド９・10－85に位置する。ＳＴ1341の西に所在する。径60～77cm、深さ1.03ｍの深い柱穴である。周辺には５ｍほど離れて同様の柱穴状遺構ＳＰ3100、ＳＫ1390が検出されている。しかし、建物跡としては確認されていない。

遺物は１～５の深鉢片が出土している。

ＳＫ1459（第403図）

グリッド12・13－87に位置する。環状集落の中央広場東端に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.96m、短径1.46ｍを測る。深さは18cmとやや浅い土坑である。壁は垂直で底面は平坦である。

出土遺物は磨石などがある。

ＳＫ1460（第404図）

グリッド12－86に位置する。環状集落中央広場の東端に所在しＳＫ1461と接する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.25m、短径65cmを測る。深さは20cmでやや浅い土坑である。底面は平坦で覆土は黒褐色シルトを主体とする。

遺物は１・２の深鉢片が出土している。

ＳＫ1461（第404図）

グリッド12－86に位置する。ＳＫ1460と隣接する。平面形は楕円形の土坑で長径1.32m、短径1.24m、深さ35cmを測る。底面は平坦である。覆土は黒褐色シルトを主体とする。南壁はオーバーハングしている。当初はフラスコ状土坑であったとみられる。

遺物は３～５の深鉢片が出土している。

ＳＫ1432・1471（第404図　写遺構－180）

径１ｍのフラスコ状土坑

グリッド10－86に位置する。ＳＴ1341大型住居跡の西側に所在する。平面形は円形で、断面はフラスコ状を呈する。規模はＳＫ1432が径90cm、深さ44cmを測り、ＳＫ1471は長軸97cm、短軸75cm、深さ40cmを測る。壁はオーバーハングし底面は平坦である。覆土は自然堆積である。遺物は少量が出土している。

ＳＫ1478（第405図）

グリッド10－86･87に位置する。平面形は不整形で小ピットが重なる。木根の撹乱を受ける。規模は長軸1.45～1.5m、短軸1.3～1.33m、深さ28cmを測る。底面には凹凸がある。壁は緩やかに立ち上がり、覆土は黒褐色腐植土を主体とする。遺物は深鉢片が少量出土している。

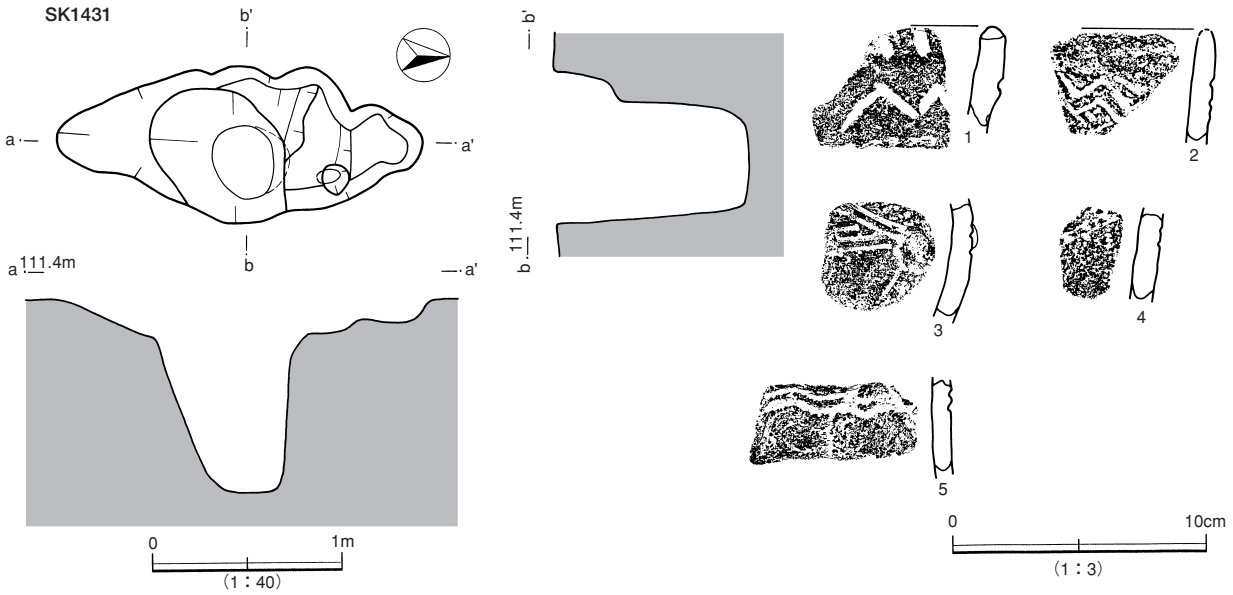
ＳＫ1491・1493・1507（第405図）

グリッド19－85に位置する。ＳＴ822の東に所在する。平面形は円形～楕円形を呈する。ＳＫ1491は長径1.53m、短径1.3m、深さ25cmを測る。ＳＫ1493は長径1.2m、短径1.04m、深さ28cmを測る。ＳＫ1507は径１ｍ、深さ19cmを測る。それぞれ底面は平坦であるがＳＫ1493・1507は底面にピットを有する。ＳＫ1493からは須恵器坏の底部が出土しており、この土坑が奈良時代～平安時代の可能性もある。

ＳＫ1508（第406図）

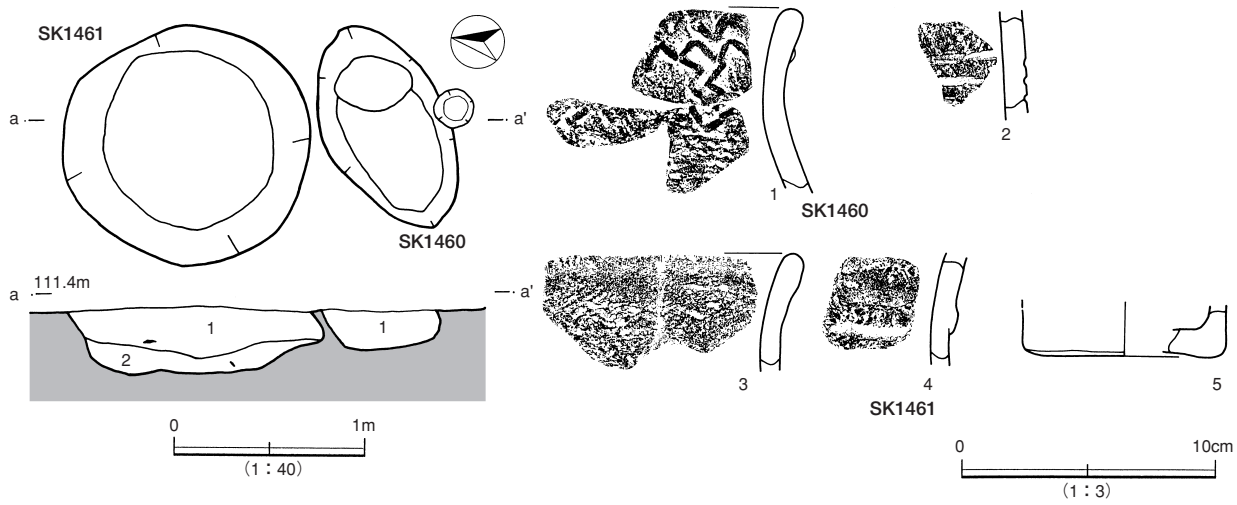
グリッド19－90に位置する。西に傾斜する斜面上に所在する。斜面に位置するため上面が削

Title:P443-466_縄文時代.ec6 Page:465 Date: 2005/03/18 Fri 22:18:27



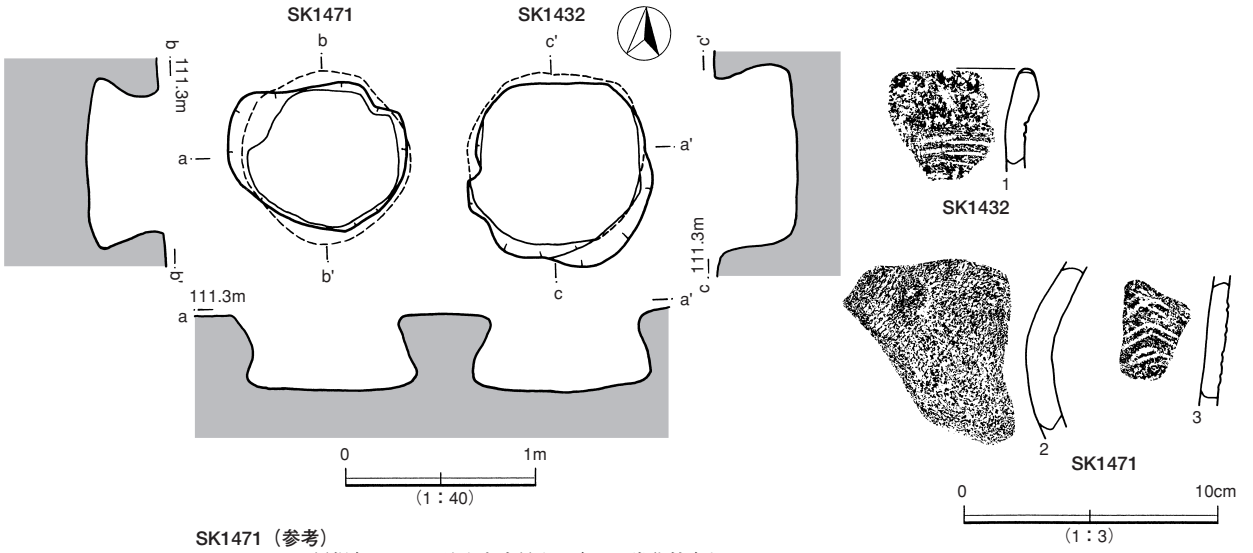
SK1459
1　10YR2/2　黒褐色シルト　遺物を含み、炭化粒含む

第403図　SK1431・1459 土坑・出土遺物



SK1460
1　10YR2/2　黒褐色シルト　炭化粒、植物根、礫含む

SK1461
1　10YR2/2　黒褐色シルト　地山を少量斑に含み、遺物、炭化物、植物根含む
2　7.5YR2/2　黒褐色シルト　地山を多量斑に含み、黒色シルトを薄く縞状に含む、遺物、炭化粒、植物根含む



SK1471（参考）
1　10YR2/3　黒褐色シルト　地山を少量斑に含み、炭化粒含む

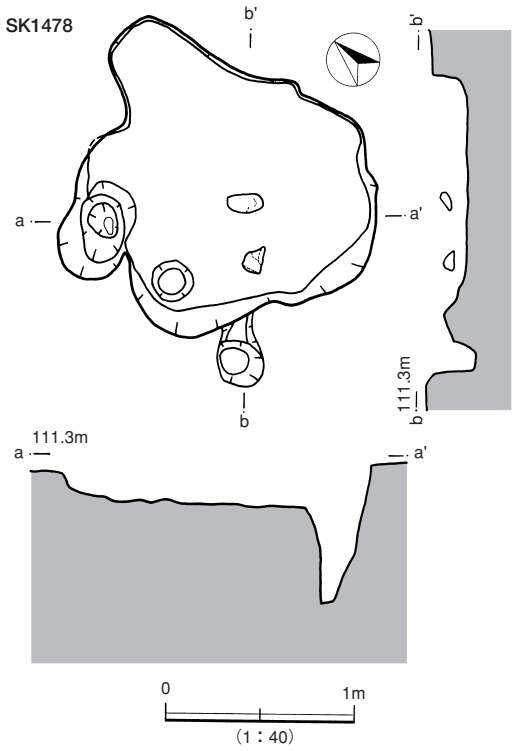
第404図　SK1460・1461・1432・1471 土坑・出土遺物

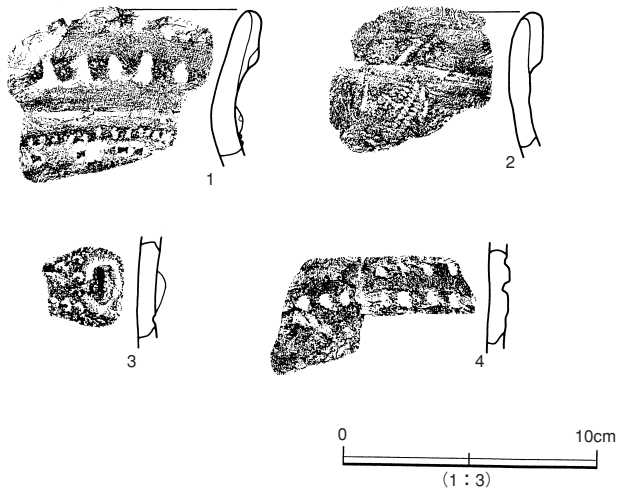
平され、下部のみ残る。平面形は不整形である。規模は長径2.50m、短径1.84m、深さ28cmを測る。床は平坦で北東壁がオーバーハングしている。本址は複数の土坑が重複している可能性がある。覆土は黒褐色シルトを主体とする。遺物が少量出土している。

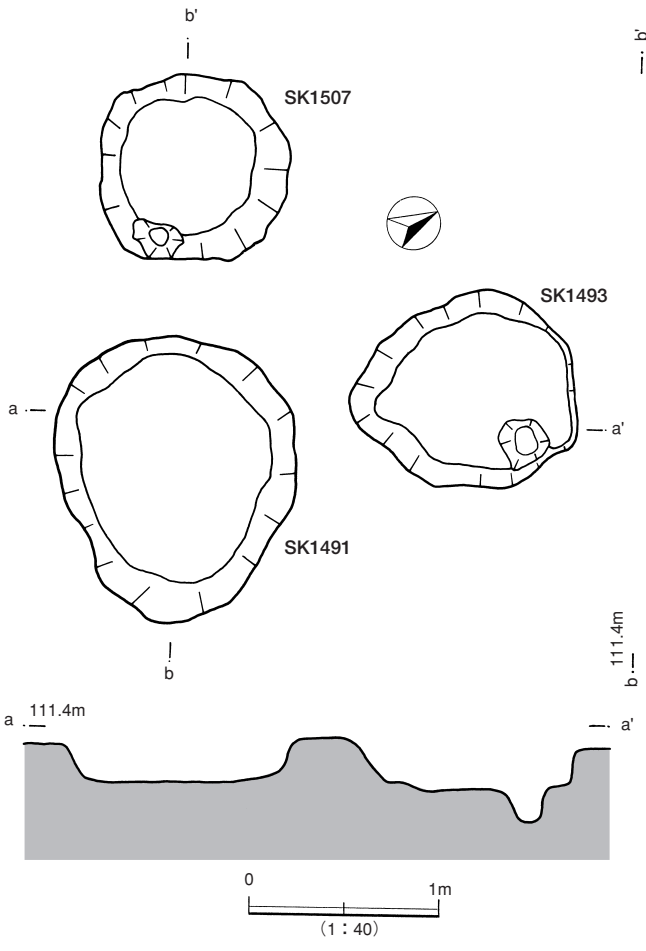
ＳＫ1513（第406図）

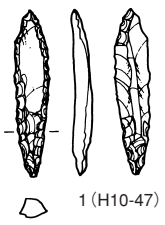
グリッド18－90に位置する。西へ傾斜する斜面上に所在する。平面形は円形を呈し、規模は長径74cm、短径62cmを測り、深さ53cmのやや深い土坑である。壁は全体でオーバーハングし

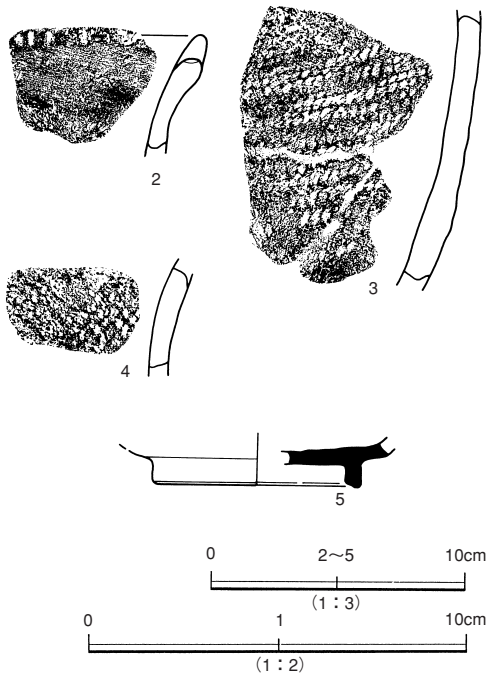
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:467 Date: 2005/03/18 Fri 21:20:11







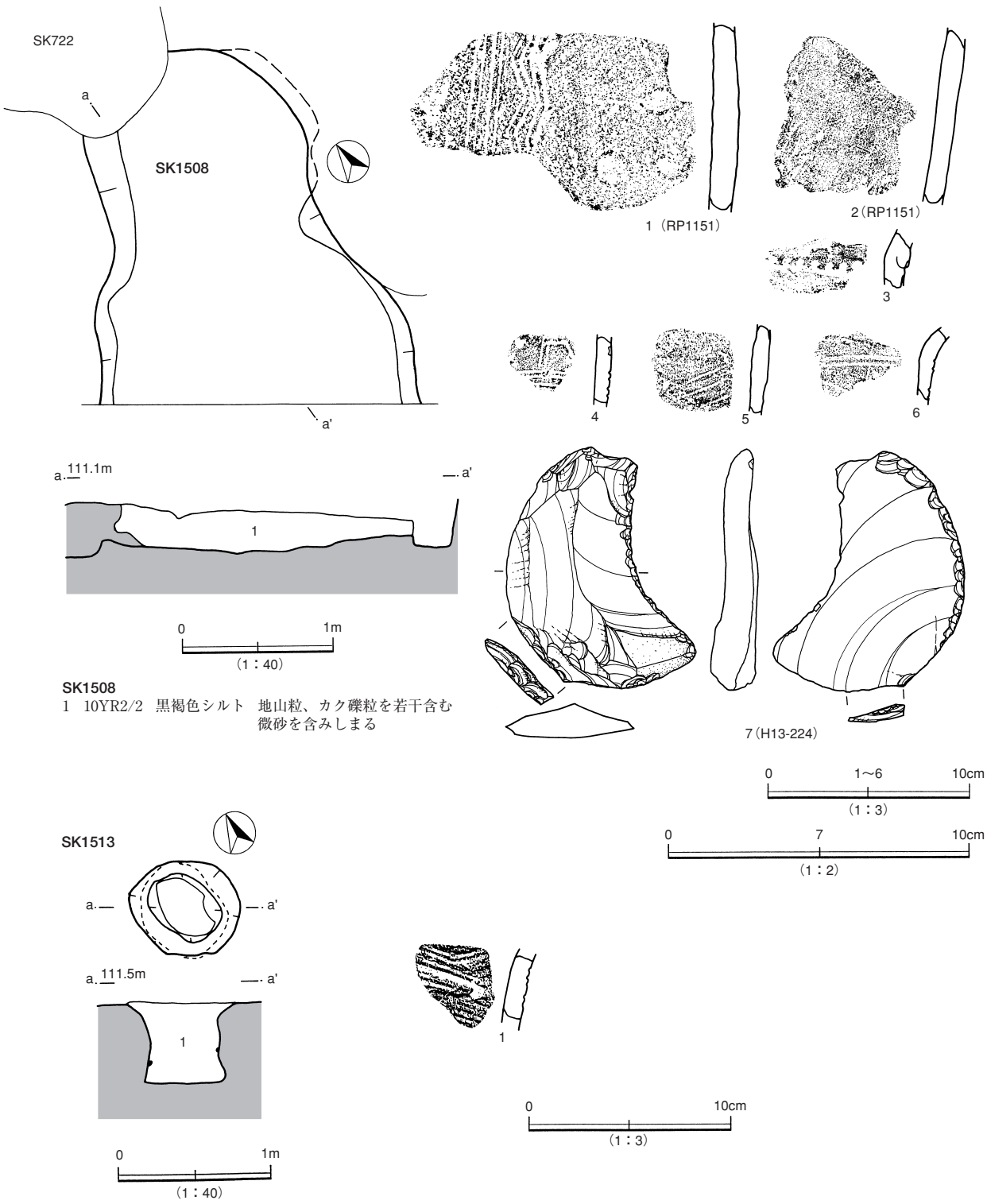




1 ― SK1491
2～5 ― SK1493

第405図　SK1478・1491・1493・1507 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:468 Date: 2005/03/18 Fri 21:25:16



SK1508
1　10YR2/2　黒褐色シルト　地山粒、カク礫粒を若干含む
微砂を含みしまる

SK1513
1　10YR3/3　暗褐色シルト　炭化粒を多く含み、地山土を若干含む、固くしまる

第406図　SK1508・1513 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:469 Date: 2005/03/25 Fri 11:56:18

ており、底面は平坦である。かなり小形だがフラスコ状を呈する土坑である。出土遺物は１の深鉢片がある。

ＳＫ1537（第407図）

グリッド14－86に位置する。ＳＫ1538と重複している。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.4m、短径1.13mを測り、深さ18cmのやや浅い土坑である。底面は平坦である。覆土は暗褐色シルトを主体とする。遺物は１の凹石と２の砥石が出土している。

ＳＫ1550（第407図）

グリッド９－87に位置する。ピットや土坑２基以上の遺構が切り合う。中央の深いピットが一番新しい。このピットは長径74cm、短径71cm、深さ1.1mを測る。大型の柱穴とみられる。このような柱穴は、本址より７～８m南にＳＫ2539やＳＰ3100の大型の柱穴が見つかっている。しかし、大型住居跡などは確認されていない。覆土の２層は斑状の埋土で人為的とみられる。１～５層まで、少量ながら遺物が出土している。底は、砂質シルト層まで及んでいる。上面は撹乱を受けている。遺物は深鉢片が僅かに出土している。

ＳＫ1549（第408図）

グリッド９－88に位置する。環状集落中央広場の東端付近に所在する。平面形は円形を呈し、規模は長径85cm、短径74cmを測る。深さ62cmのやや深い土坑である。断面は円柱形を呈する。底面は平坦である。遺物は１の深鉢がある。

ＳＫ1552（第408図　写遺構－180）

グリッド９－88に位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径90cm、短径83cm、深さ37cmを測る。壁は当初、オーバーハングしていたが崩落したとみられる。底面は平坦でピットを有する。径14～18cm、底面からの深さ40cmを測る。遺物は僅かに出土している。本址は柱穴跡の可能性がある。

ＳＫ1553（第408図）

グリッド９－88に位置する。本址の北側は調査区外に位置し検出されない。推定の長軸1.08m、短軸90cm、深さ67～70cmを測る。２層下部から掘り込んでいる。底面は皿状、西壁は内傾気味で壁上位は外反する。覆土の４層は黒褐色腐植土で締りがあり、遺物を含む。埋めた後掘られた可能性がある。この他、土層断面から本址は人為的に埋め戻されたとみられる。　**人為的埋土**

ＳＫ1555（第409図）

グリッド９－89に位置する。平面形は楕円形を呈し、断面フラスコ状の土坑である。規模は82cm、深さ87cmと深い。底は緩く凹んでおり、壁はオーバーハングする。覆土には２層の人為的埋土がみられる。

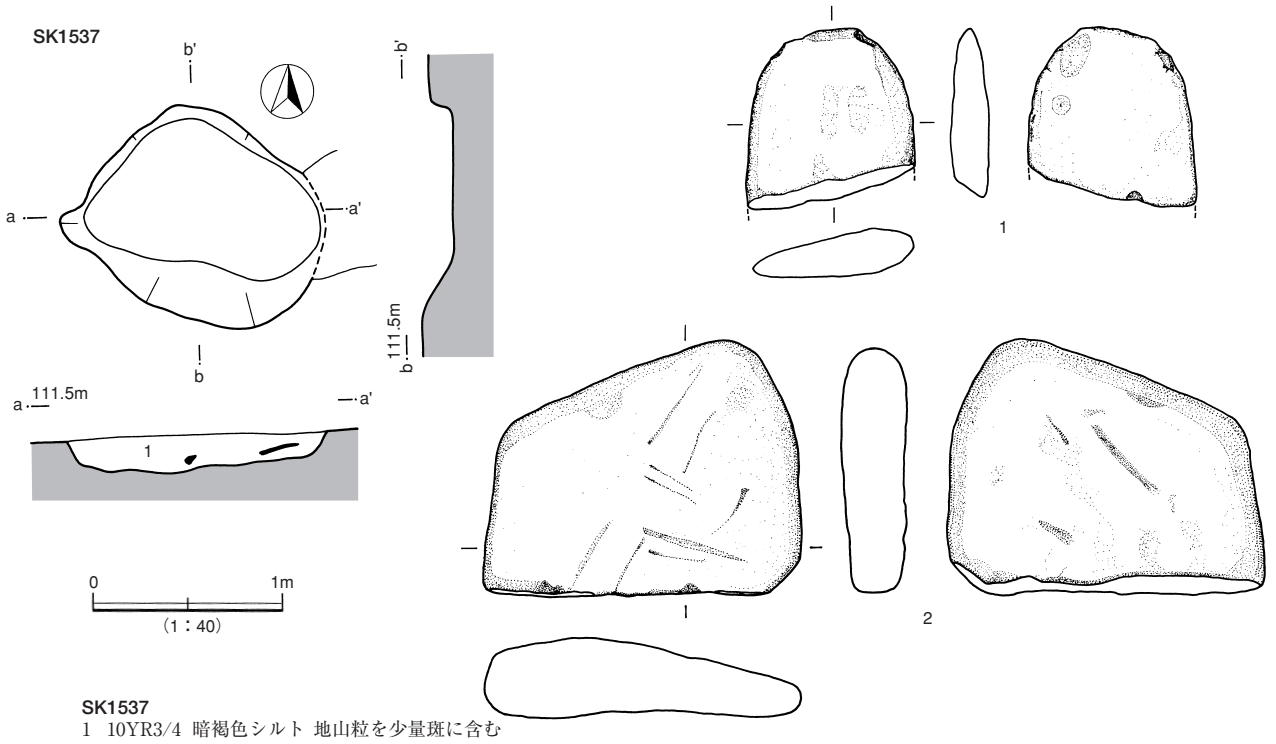
ＳＫ1556（第409図）

平面形は円形で径45～47cm、深さ52cmを測る。ほぼ垂直に掘り込まれている。底面は平坦である。柱穴とみられる。

ＳＫ1580（第409図）

グリッド11－87に位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径1.26m、短径93cm、深さ40cmを測る。底面は平坦である。覆土は黒色腐植土と褐色粘質シルトの斑状で締り強い。遺物は少ない。小判形の墓壙の可能性がある。

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:470 Date: 2005/03/18 Fri 21:29:14



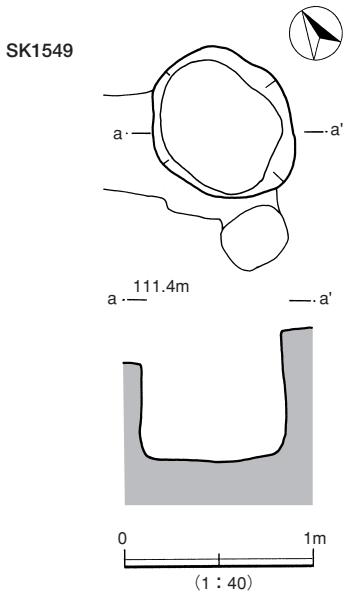
SK1537
1　10YR3/4 暗褐色シルト 地山粒を少量斑に含む

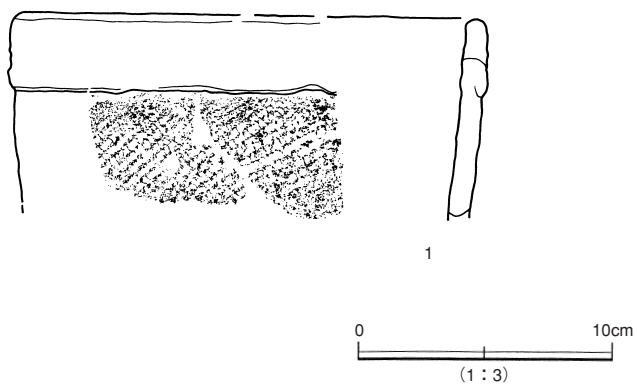
SK1550

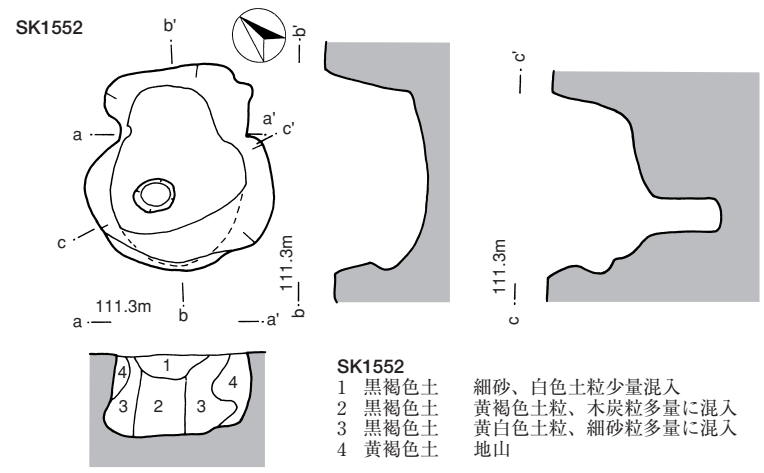
1	黒褐色土	黄褐色土粒少量混入
2	黒褐色土	黄褐色粘質土ブロック、同粒子多量に混入
3	黒色土	
4	黄褐色～白色粘質土	地山
5	黒褐色土	黄褐色土粒多く混入
6	暗褐色土	黄褐色土混入

第407図　SK1537・1550 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:471 Date: 2005/03/18 Fri 22:21:44

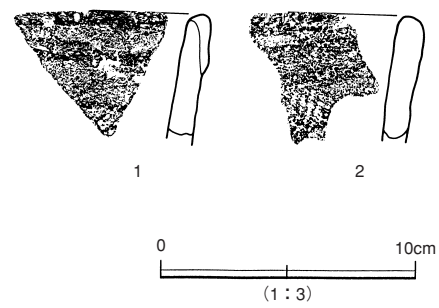


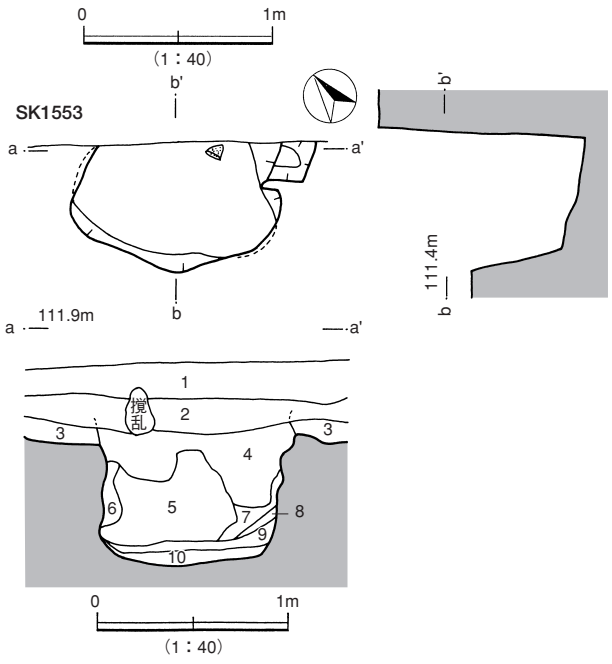




SK1552

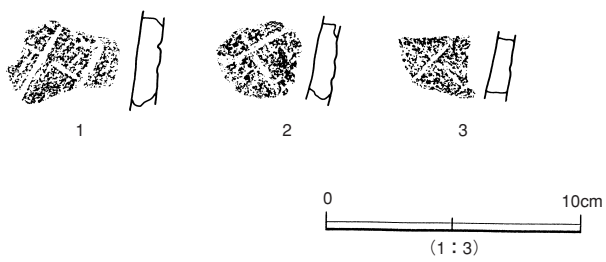
1	黒褐色土	細砂、白色土粒少量混入
2	黒褐色土	黄褐色土粒、木炭粒多量に混入
3	黒褐色土	黄白色土粒、細砂粒多量に混入
4	黄褐色土	地山





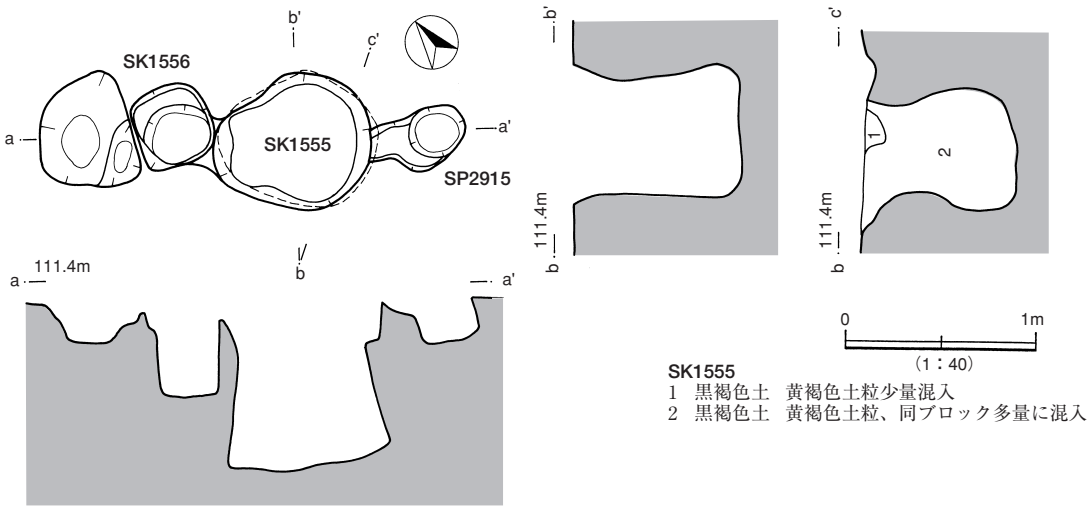
SK1553

1	10YR3/3	暗褐色シルト	表土、根撹乱多い
2	10YR3/2	黒褐色腐植土	撹乱、遺物出土
3	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	粘性強し、しまっている、遺物出土
4	10YR4/2	灰黄褐色粘質シルト	土器片、石器あり、小炭化物片混じり、下部程多い
5	10YR4/2	灰黄褐色粘質シルト	10YR3/2黒褐色シルト、埋土
6	10YR6/6	明黄褐色粘質シルト	10YR4/2灰黄褐色シルト腐植土の混じり土、壁崩れ
7	10YR3/1	黒褐色粘質シルト	しまり強い、遺物出土
8	10YR6/6	明黄褐色シルト	地山流れ込み粘質シルト粒
9	10YR6/6	明黄褐色シルト	薄い粘土の帯、3〜5cm
10	10YR3/1	黒褐色シルト	底面、強くしまり、粘性あり遺物出土

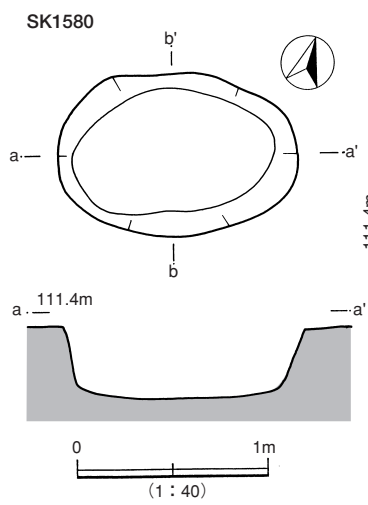


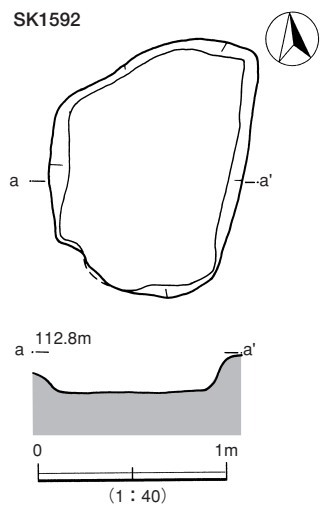
第408図　SK1549・1552・1553 土坑・出土遺物

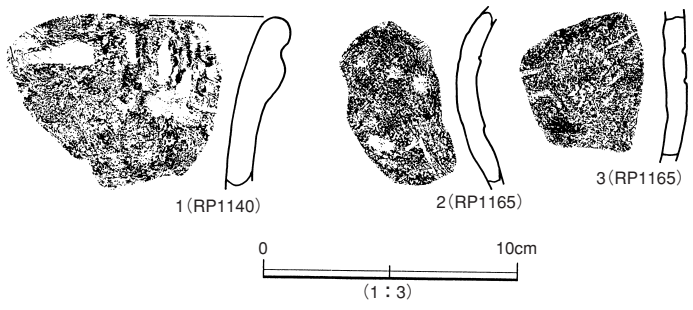
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:472 Date: 2005/03/18 Fri 22:22:51



SK1555
1　黒褐色土　黄褐色土粒少量混入
2　黒褐色土　黄褐色土粒、同ブロック多量に混入







第409図　SK1555・1580・1592 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:473 Date: 2005/03/19 Sat 10:22:11

ＳＫ1592（第409図）

グリッド16－89に位置する。ＳＴ877の南東コーナー付近に重複し、これを切る。不整形の土坑で長径1.35m、短径1.04mを測る。深さ17cmのやや浅い土坑である。南壁の一部はオーバーハングしている。断面Ｕ字形を呈し底面は平坦である。

遺物は底面から１～３の縄文土器が出土している。

ＳＫ1609（第410図）

グリッド17－86に位置する。ＳＧ810の掘り下げ時に確認したフラスコ状土坑である。ＳＧ810の上面から掘り込んでいる。規模は長径80cm、短径70cm、深さ30cmを測る。底面はほぼ平坦であるがコア出土地点は若干凹む。断面・壁はフラスコ状を呈し、上部崩落している。４層下にコアが入る。１層はＳＧ810の落ち込んだ土である。

ＳＫ1642（第410図　写遺構－181）

グリッド16－84に位置する。ＳＴ1340大型住居跡の北西に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径2.25m、短径1.3m、深さ90cmを測る。凹凸のある底面では径24～35cm、深さ25～40cmのピットが３基検出された。北西側の壁はオーバーハングしている。遺物は深鉢・石器・凹石が出土している。

底面に３基のピット

ＳＫ1625・1897（第411図　写遺物－49・104・130）

グリッド11－81、ＳＴ1415付近に位置しＳＫ1897と重複する。ＳＫ1625は平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.2m、短径90cm、深さ60cmを測る。壁は北側でややオーバーハングしている。ＳＫ1897の平面形は不整形を呈し、深さは14cmと浅い土坑である。底面ではＳＫ1897部分は凹凸がみられるが、ＳＫ1625部分は平坦である。遺物はＳＫ1625から半截竹管による施文の深鉢や石器、礫などが出土している。

ＳＫ1650（第412図）

グリッド11－77に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径90～95cm、深さ35cmを測る。底面は平坦で壁は垂直に掘り込まれる。覆土は焼土や焼土ブロックを多量に混入している。

ＳＫ1677（第412図）

グリッド17・18－85に位置する。ＳＧ810と接する。平面形は不整円形を呈し、規模は長径2.52m、短径2.3mを測る。深さ13cmのやや浅い土坑である。底面は平坦だが、ピットが４基検出されている。

遺物は石皿片などが出土している。

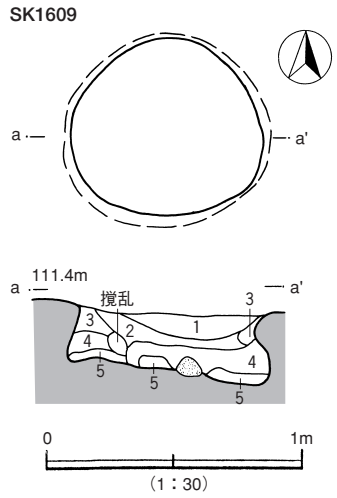
ＳＫ1664（第413図　写遺物－88）

グリッド11－82に位置する。ＳＴ1341・ＳＴ1505ｂの間に所在する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.92m、短径1.37m、深さ31cmを測る。底面は平坦である。遺物は細い粘土紐を貼り付けた１の深鉢口縁部や５～10の石鏃・凹石などが出土している。

ＳＫ1693（第414図）

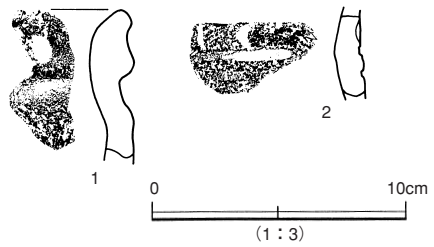
グリッド13－92に位置する。環状集落の中央広場の中央付近に所在する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.28m、短軸78cmを測る。底面は西側で一段深く、壁高は東側で20cm、西側で深さ34cmを測る。

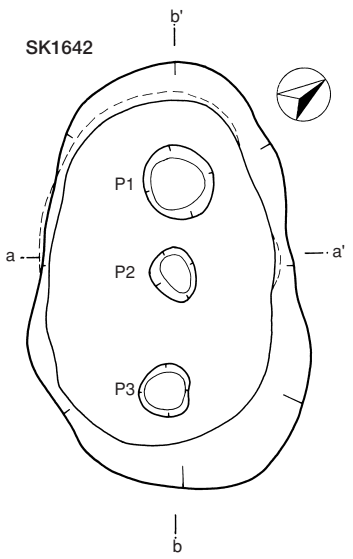
遺物は深鉢が出土している。

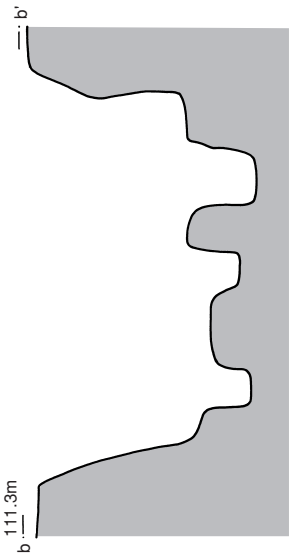


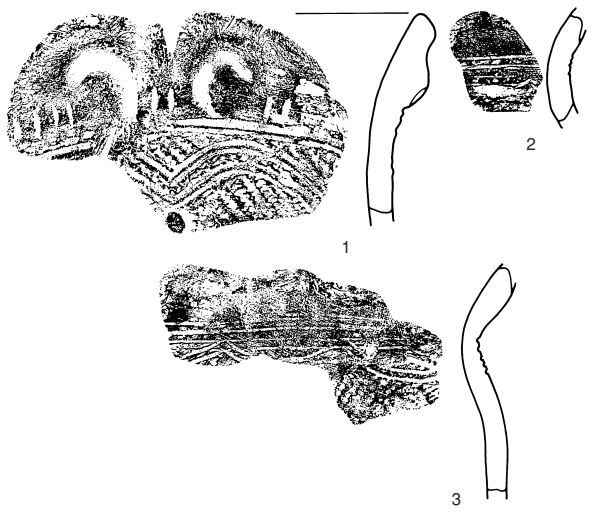
SK1609

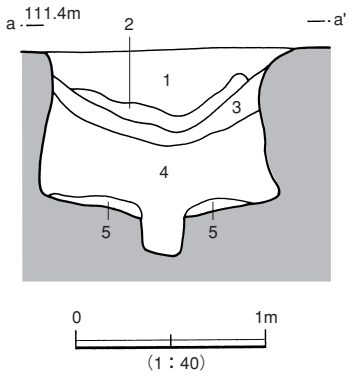
1	10YR3/1	黒褐色シルト	腐植質、細砂含む、遺物含む
2	10YR5/3	にぶい黄褐色粘質シルト	しまりあり
3		粘質シルト	1と2の混合土、粘質シルト、遺物含む、しまりあり
4	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒含み、植物根含む、しまりあり
5			地山との漸移層、10YR6/3にぶい黄橙色粘質シルト、4が上部に混じる

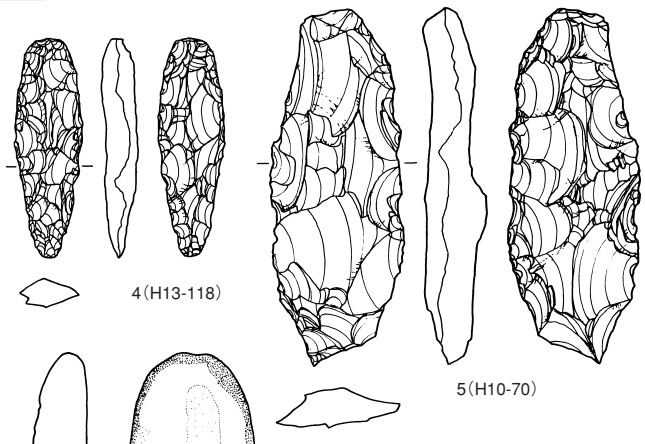


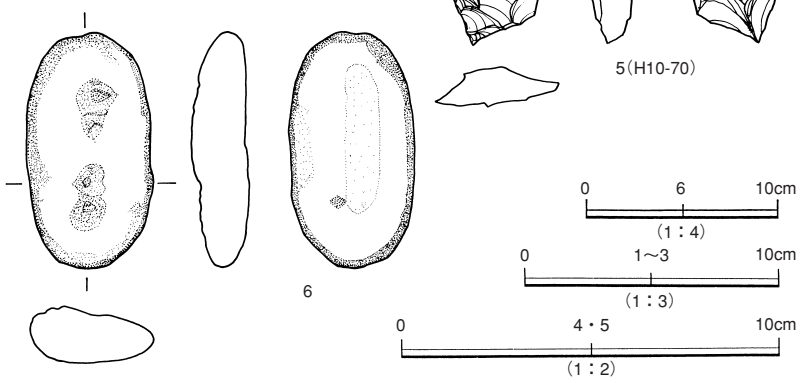










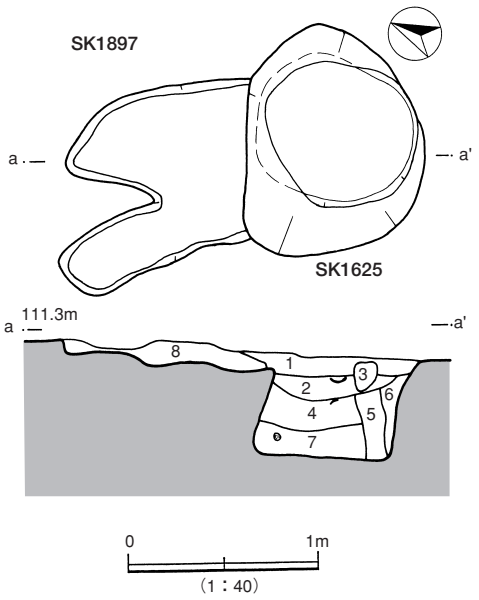


SK1642

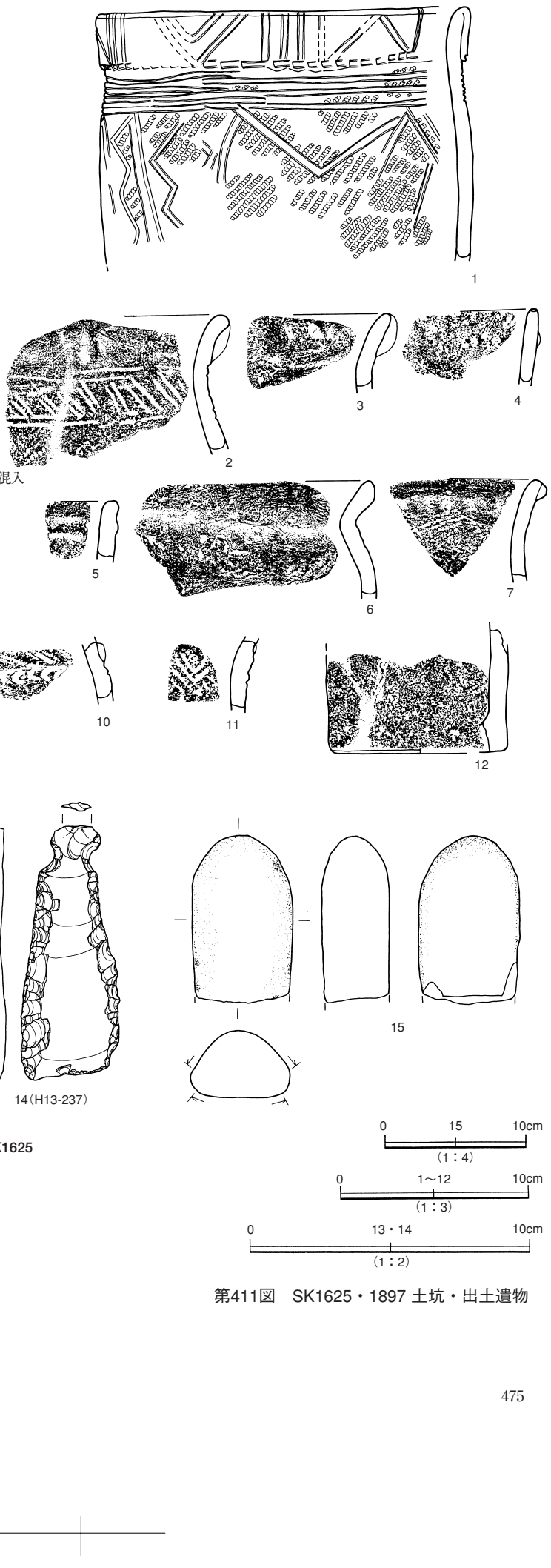
1	10YR2/3	黒褐色シルト	地山粒、炭化粒少量含み、遺物、植物根、礫含む
2	10YR4/6	褐色粘質シルト	1の混合土、炭化粒含む
3	7.5YR2/2	黒褐色粘質シルト	下部に地山粒を含み、遺物、炭化物礫含む
4	10YR5/6	黄褐色シルト質粘土	3を多量に斑に含む
5	10YR6/3	にぶい黄橙色粘土	地山

第410図　SK1609・1642 土坑・出土遺物

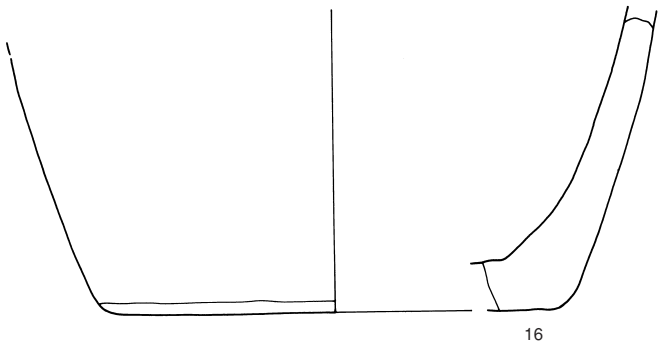
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:475 Date: 2005/03/19 Sat 10:28:52

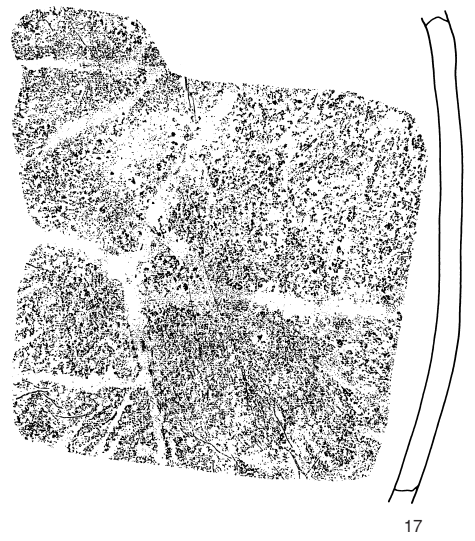


SK1625・SK1897
1　暗褐色土　木炭粒、黄褐色土粒少量混入
2　暗褐色土　木炭粒多く混入、焼土粒、黄褐色土粒わずかに混入
3　黄褐色粘質土ブロック
4　黒褐色土　黄褐色土粒多量に混入、同土を少量混入
5　暗褐色土　黄褐色土粒多く、木炭粒少量混入
6　暗褐色土　黄褐色土ブロック少量混入
7　黒褐色土　木炭多量に混入、黄褐色砂質土粒多く混入
8　黄褐色土　暗褐色土、木炭粒少量混入

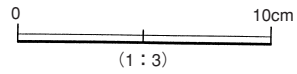


第411図　SK1625・1897 土坑・出土遺物

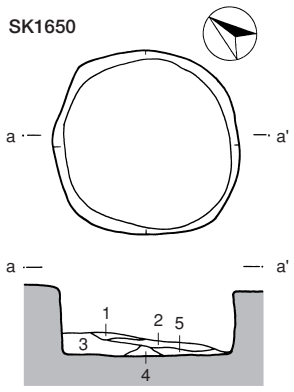




SK1897

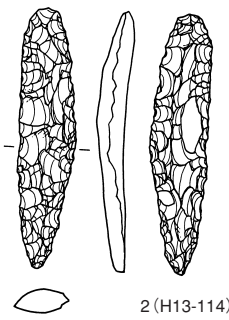


SK1650

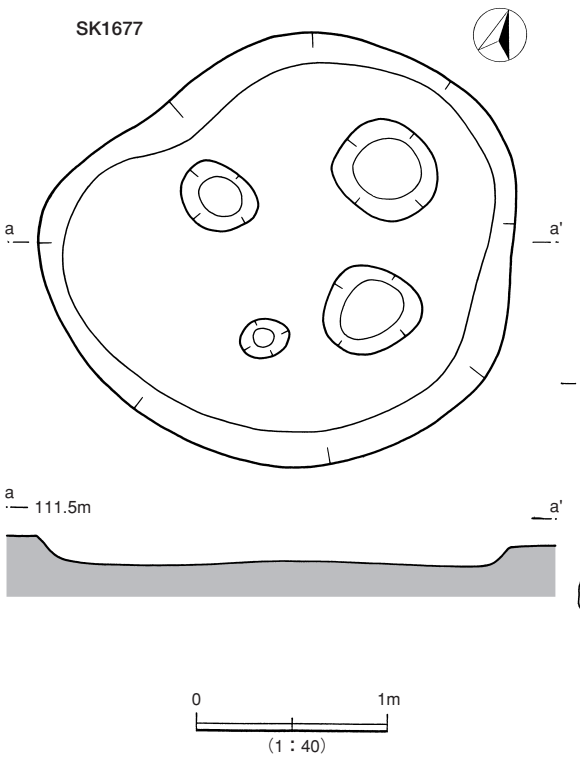


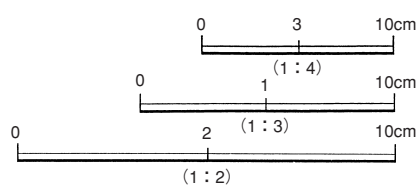
SK1650

1　暗赤褐色土　　焼土を多く混入
2　黒色土　　焼土粒少量混入
3　焼土　　焼土ブロック
4　淡黄褐色砂質粘土　焼土を多く混入
5　淡黄褐色砂質粘土　暗褐色土少量混入



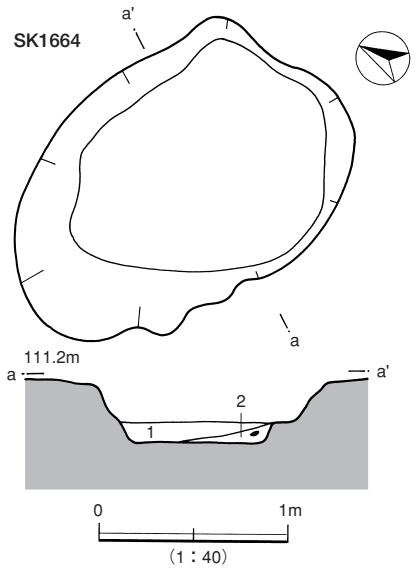
SK1677



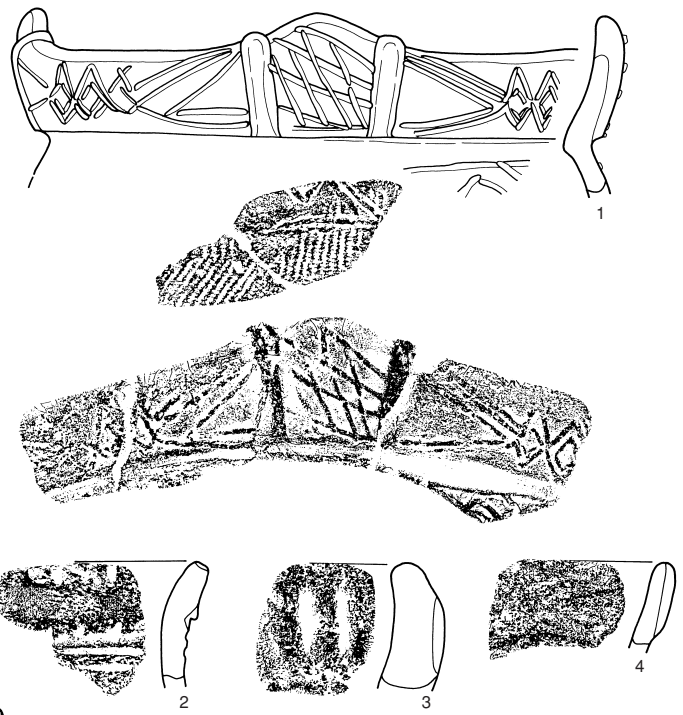


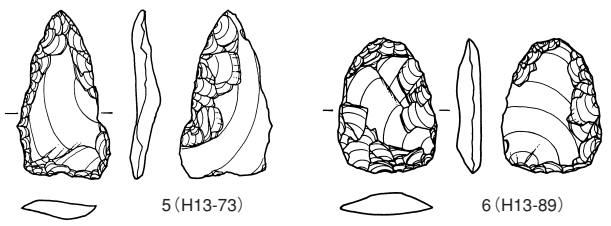
第412図　SK1897・1650・1677 土坑・出土遺物

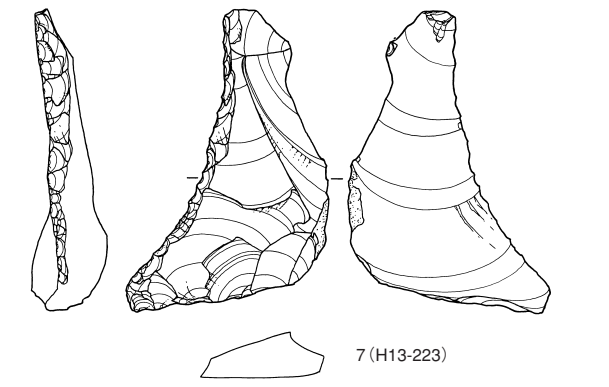
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:477 Date: 2005/03/19 Sat 10:35:54

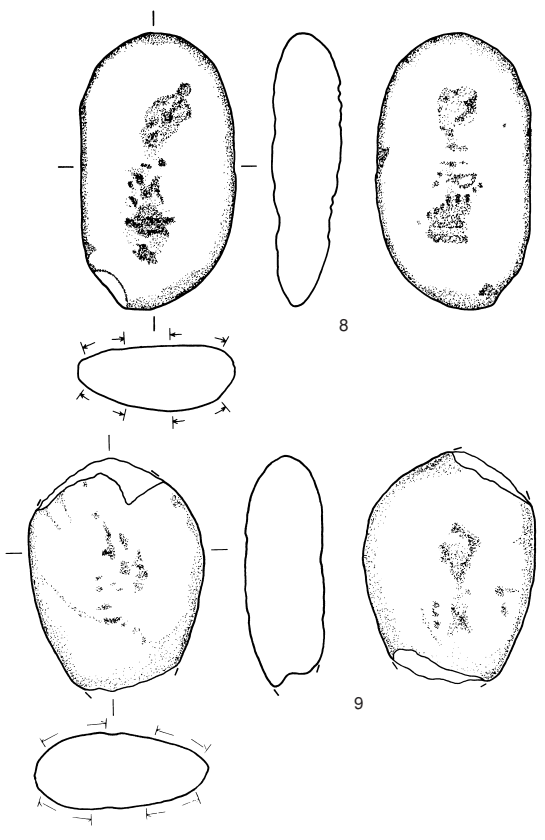


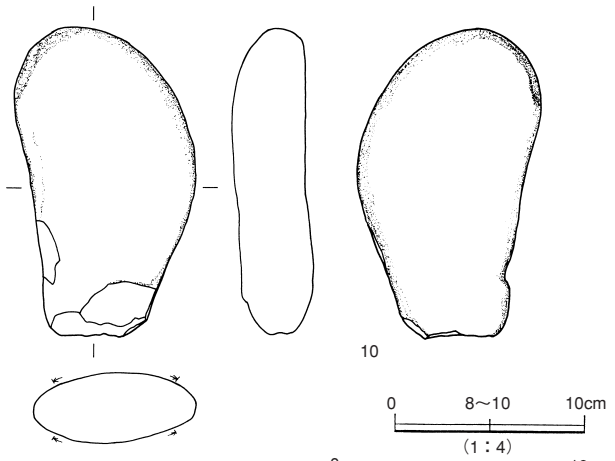
SK1664
1　黒褐色土　黄褐色～白色土ブロック、同粒子多い
2　黒褐色土　黄褐色土粒少量混入

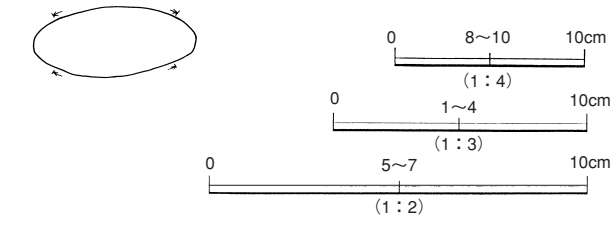




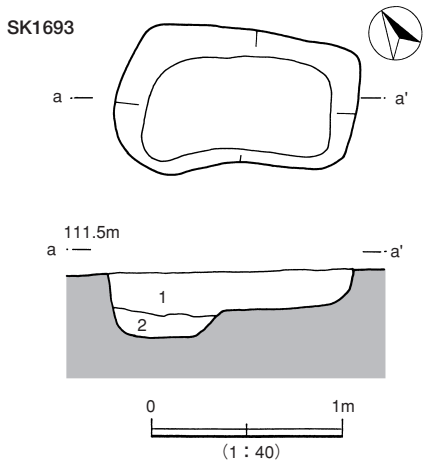






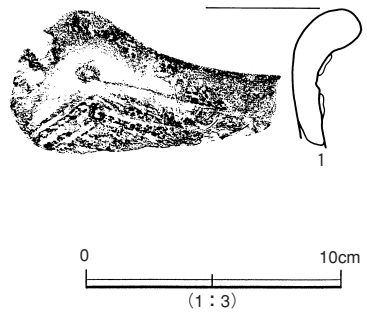


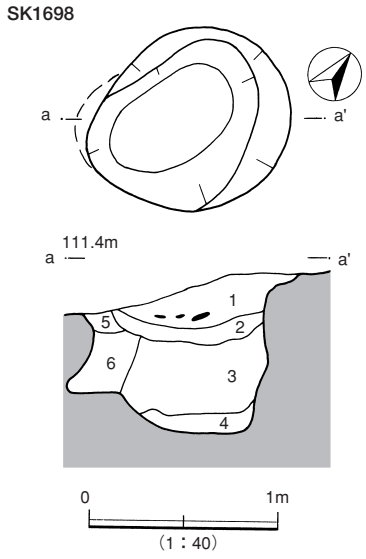
第413図　SK1664 土坑・出土遺物



SK1693

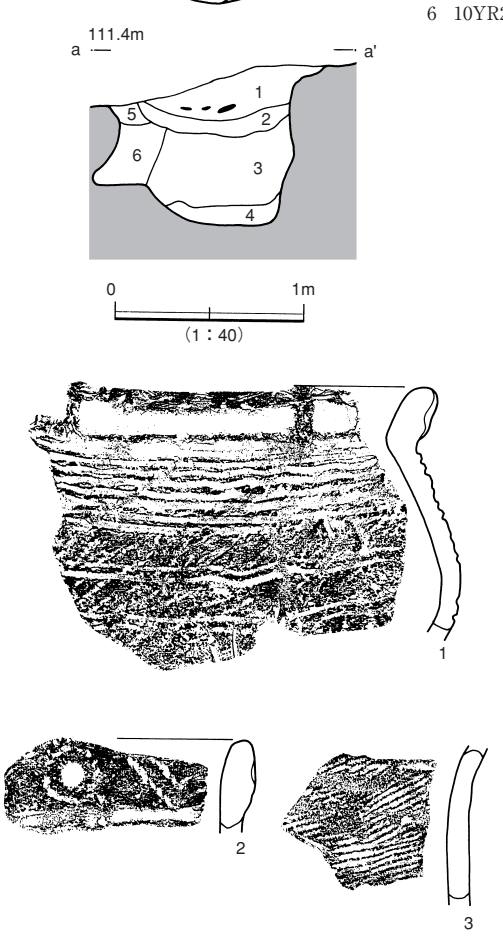
1　10YR3/2　黒褐色シルト　地山土を小ブロックで多く含み、炭化物を含む固くしまる（遺物を含む）
2　10YR2/2　黒褐色シルト　地山ブロックを含む、しまる（遺物を含む）





SK1698

1　10YR3/3　暗褐色シルト　微砂を含み、炭化粒、遺物を含む、固くしまる
2　10YR4/4　褐色微砂　地山土を縞状又は斑に多く含み、細砂を多く含む、しまる
3　10YR2/2　黒褐色シルト　地山土、山礫小ブロックを多く含み、炭化粒を多く含むしまる
4　10YR3/1　黒褐色シルト　細砂、山礫カクを若干斑に含み柔らかい
5　10YR4/3　にぶい黄褐色微砂　炭化粒を若干含み、10YR4/3にぶい黄褐色シルトをブロックで含む、しまる
6　10YR2/2　黒褐色シルト　3と同質で地山土を縞状または斑に含む、しまる



第414図　SK1693・1698 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:479 Date: 2005/03/19 Sat 10:43:02

ＳＫ1698（第414図）

グリッド17・18－91に位置する。西側に傾斜する斜面の縁辺部に所在しＳＫ893と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.1m、短径１ｍを測る。深さは95cmの深い土坑である。壁は南西でオーバーハングしている。当初はフラスコ状を呈していたとみられる。底面は20cm程の段差を有する。覆土は黒褐色シルトを主体とし地山黄褐色土を斑に混入する。

遺物には４の大型の尖頭器がある。他に深鉢などが出土している。　**大型尖頭器**

ＳＫ1738（第415図　写遺物－88）

グリッド16－88に位置する。平面形は円形を呈し、確認面での径は90cm、底面では径1.2m、深さ50cmを測る。底面は中央部分が若干低く、やや凹凸がある。壁は大きくオーバーハングしている。覆土は黒褐色土を主体とする。３・４層には１の台付鉢や深鉢片がみられ50～60cmの範囲に散布している。投げ込まれたものとみられる。

ＳＫ1799（第415図）

グリッド18・19－87・88に位置する。ＳＴ821と重複するフラスコ状土坑である。平面形は不整円形を呈し、規模は長径87cm、短径85cm、深さ48cmを測る。壁は中央から北側でオーバーハングしている。当初は全体でオーバーハングしていたものと推定される。底面には凹凸がある。

遺物は半截竹管文の深鉢片が僅かに出土している。

ＳＫ1849（第416図）

グリッド16・17－88・89に位置する。ＳＴ1903内に所在する。平面形は不整円形を呈し、規模は径１ｍ、深さ45cmを測る。壁は東側でオーバーハングしているが、当初は全体がオーバーハングするフラスコ状土坑と推定される。底面は平坦だが、やや摺鉢状を呈する。覆土は黒褐色粘質シルトを主体とする。出土遺物は僅かである。

ＳＫ1856（第416図　写遺構－181）

グリッド17－89に位置する。平面形は円形のフラスコ状土坑である。ＳＫ861と一部重複する。規模は径80～83cm、深さ60cmを測る。底面は摺鉢状で平坦、壁は大きくオーバーハングし断面はフラスコ状を呈する。覆土は人為的に埋められており、中位に褐色粘土ブロックを含む。径20cmの礫が出土している。遺物は深鉢口縁片や石器が僅かに出土している。

ＳＫ1870（第417図）

グリッド18－88・89に位置する。３基の土坑が切りあっている。ＳＫ1870ａの平面形は不整円形を呈する。規模は径1.25m、深さ１ｍと深い。断面がややフラスコ状の土坑で焼土を含む。１層に遺物が多く混入する。

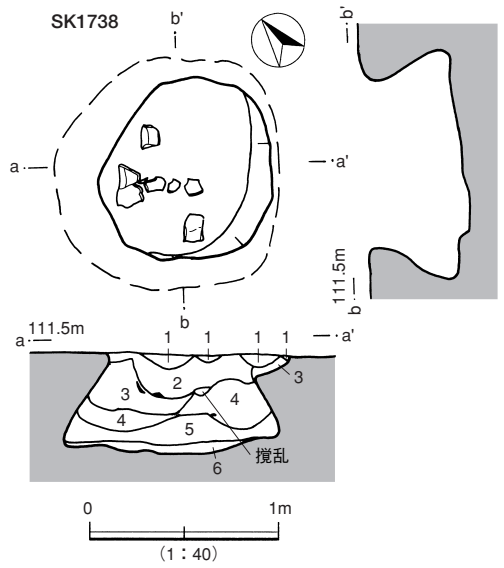
ＳＫ1870ｂの平面形は楕円形を呈し、規模は径1.1m、深さ70cmのフラスコ状土坑である。ＳＫ1870ｃに切られる。１層で土器片が出土している。

ＳＫ1870ｃは長楕円形を呈し、深さ73cmを測る。ＳＫ1870ａに切られる。人為的に埋められ、周辺にピットが数カ所検出されている。遺物は深鉢や石鏃などが出土している。

ＳＫ1899（第418図　写遺物－92）

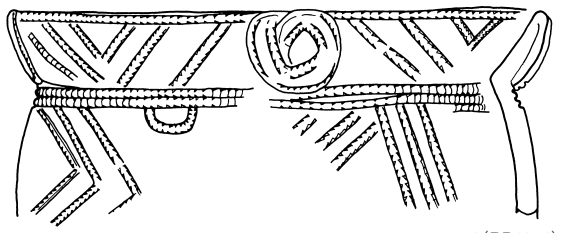
グリッド14－82に位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.9m、短軸1.5m、深さ36cmを測る。２つの遺構が重複しているとみられる。底面は多数の重複で凹凸が激しく、遺構内に

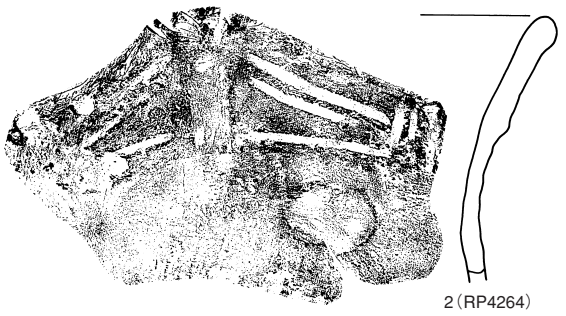
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:480 Date: 2005/03/19 Sat 10:47:05

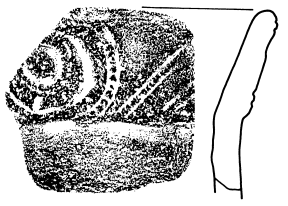


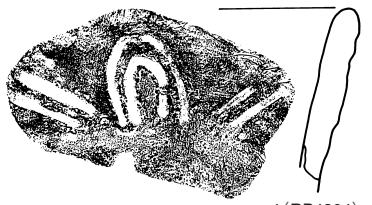
SK1738

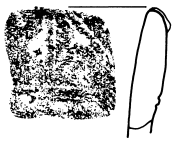
1	10YR2/3 黒褐色シルト	地山粒、炭化粒微量含む
2	7.5YR3/2 黒褐色シルト	地山を粒状、4×3cmのブロック状で含み、焼土、炭化粒を少量、遺物含む
3	7.5YR3/1 黒褐色シルト	やや粘性あり、炭化物を多量、焼土を少量含み、遺物、凝灰岩粒、植物根含む
4	10YR3/2 黒褐色シルト	やや粘性あり、地山を粒状、小ブロック状に多量に含み、炭化物、焼土、植物根含む
5	10YR3/2 黒褐色粘質シルト	地山粒少量含み、炭化物、焼土含む
6	10YR5/8 黄褐色粘質シルト	（地山土）2を少量含む、砂多い

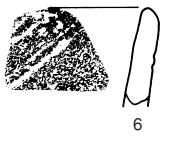

1（RP4264）

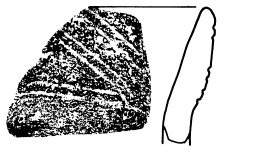

2（RP4264）

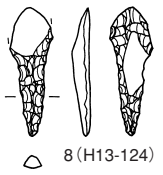

3（RP4264）

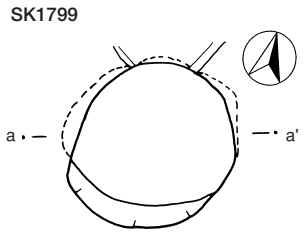

4（RP4264）

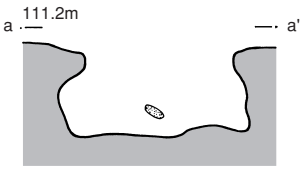

5

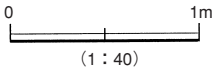

6


7（RP4264）

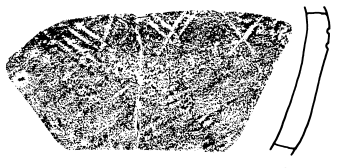

8（H13-124）

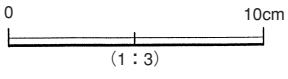


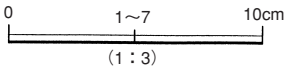


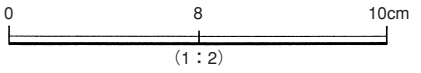


1


2

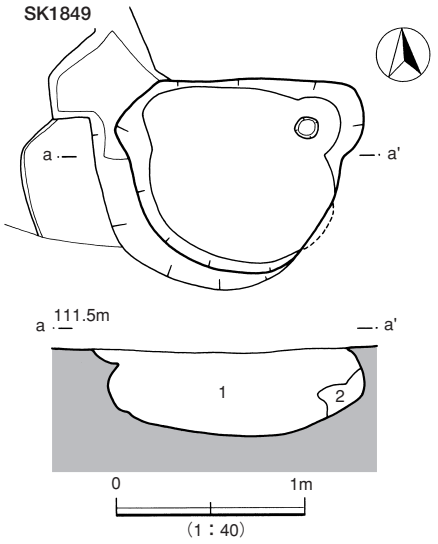


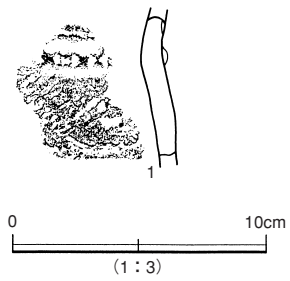




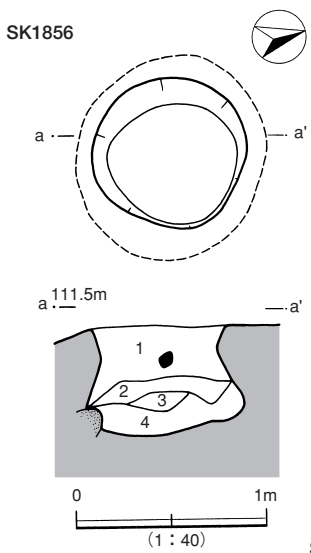
第415図　SK1738・1799 土坑・出土遺物

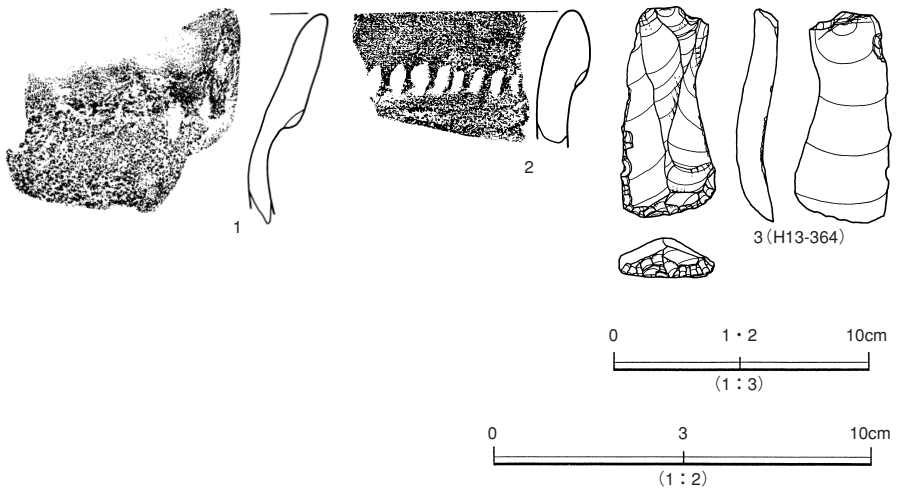
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:481 Date: 2005/03/25 Fri 14:32:17





SK1849
1　10YR2/2　黒褐色粘質シルト　地山を上部に縞状に含み、地山粒を斑に含む
2　10YR5/6　黄褐色粘質シルト





SK1856
1　10YR2/3　黒褐色シルト　　地山粒を少量含み、炭化粒含む、遺物、植物根、礫含み、しまる
2　10YR4/6　褐色粘質シルト　　炭化物含む、地山土か？
3　7.5YR3/2　黒褐色粘質シルト　地山粒、炭化粒少量含み、植物根含む、非常に柔らかい
4　10YR2/3　黒褐色粘質シルト　下部に炭化物を縞状に含み、地山粒少量、植物根含む

第416図　SK1849・1856 土坑・出土遺物

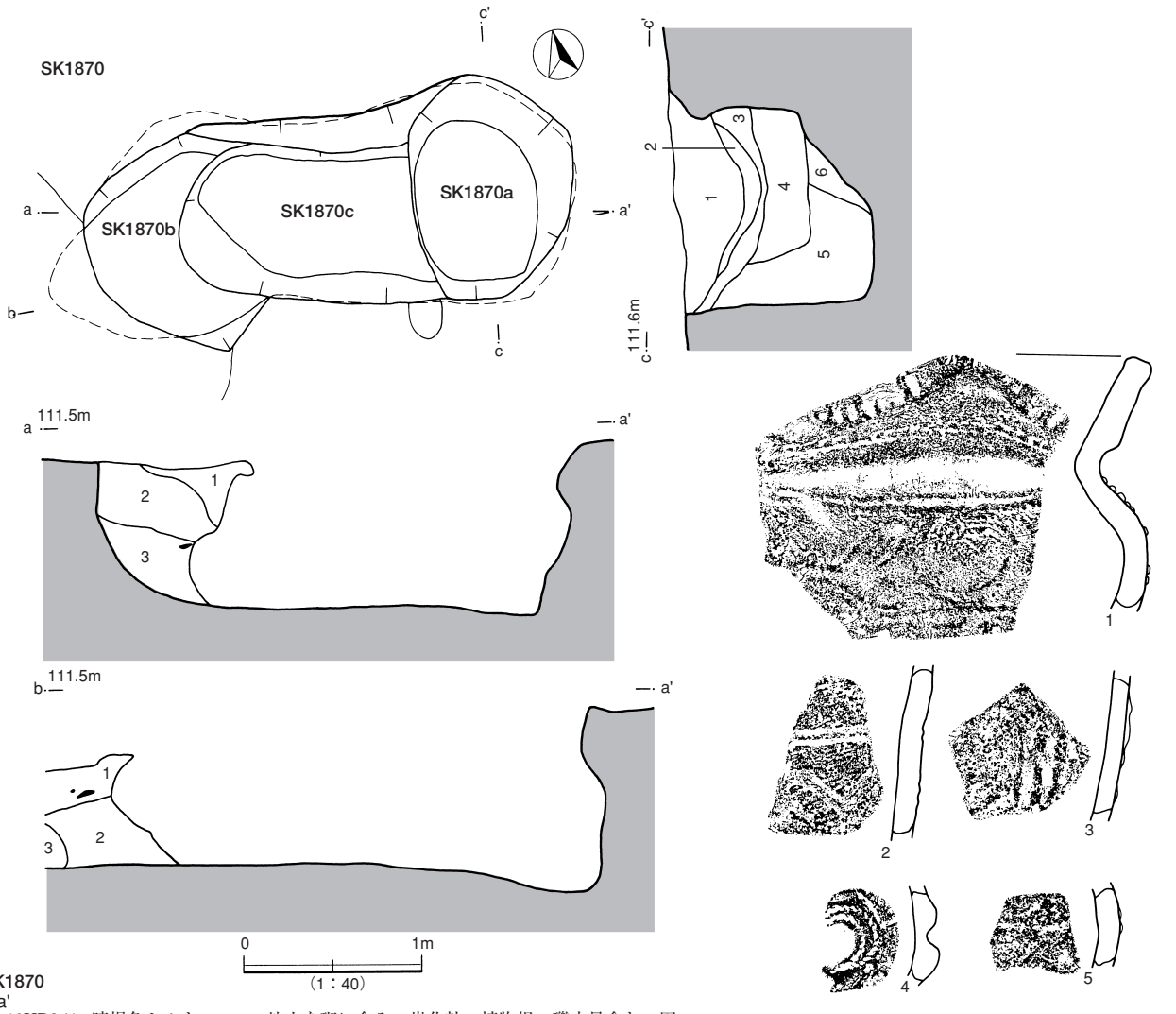
焼土が多く散布するエリアが存在する。近くのＳＴ1393に付属する屋外炉の可能性もある。大型の深鉢片１（ＲＰ2071）や石器が出土している。

屋外炉の可能性

ＳＫ1937（第419図）

グリッド17－83に位置する。ＳＴ1340大型住居跡と重複し貼床される。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.6m、短径1.3m、深さ55cmを測る。底面は平坦である。覆土は黒褐色土を主体とする。出土遺物は深鉢片少量と４～10の凹石や磨石、石皿片などがある。

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:482 Date: 2005/03/19 Sat 10:52:24



SK1870

a-a'

1	10YR3/4 暗褐色シルト	地山を斑に含み、炭化粒、植物根、礫少量含む、固い
2	10YR2/3 黒褐色シルト	地山ブロック（4～7cm）遺物を含み、炭化粒、植物根、礫含む 1より礫多い
3	10YR4/4 褐色粗砂	5cm角が地山ブロックを斑に含み、炭化粒、植物根、礫含む ＊1～3になるにつれて、礫が大きくなり量も増える

b-a'

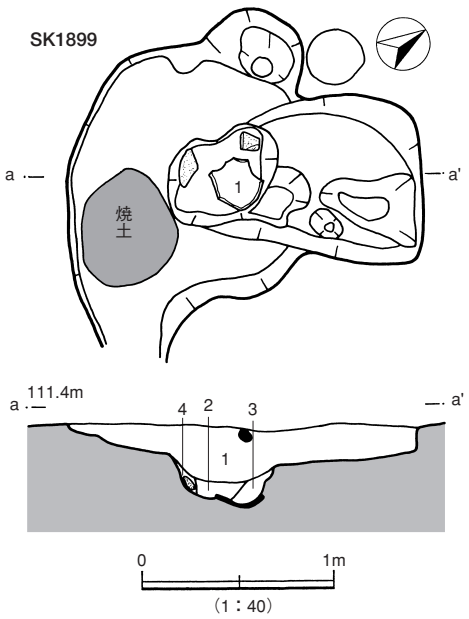
1	10YR4/6 褐色粘土	ST859の貼床
	10YR7/3 にぶい黄橙色粘土	
	10YR3/4 暗褐色シルトの混合土	
2	10YR3/4 暗褐色砂質シルト	小礫混じり、地山土をブロックで多量含み、礫多量、植物根含む
3	10YR3/2 黒褐色シルト	地山粒を含み、7×2cmのブロック含む、遺物、炭化粒、植物根含む

c-c'

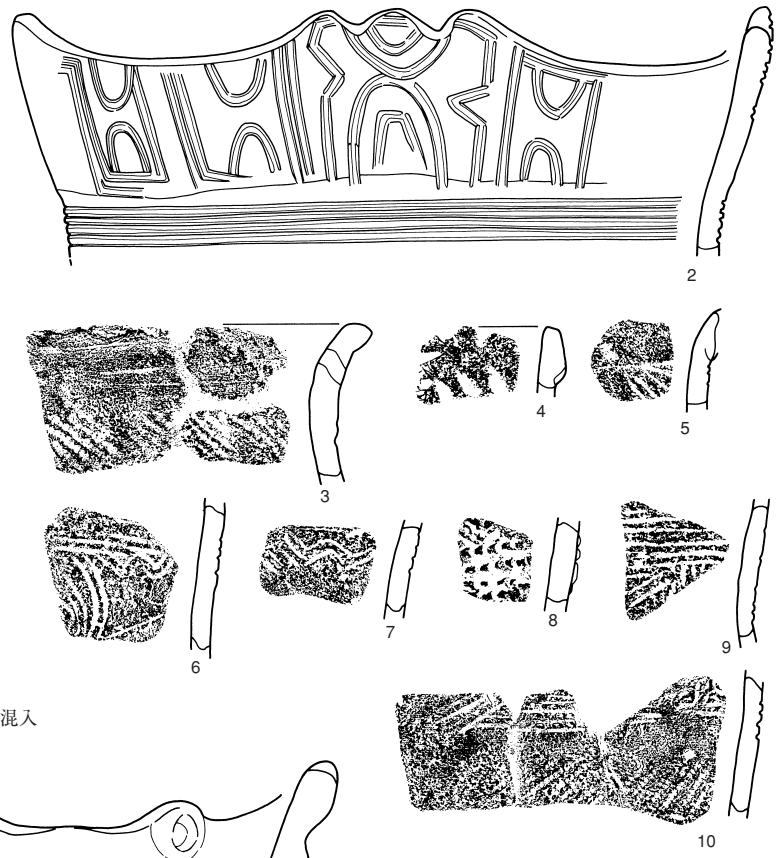
1	10YR2/3 黒褐色シルト	地山粒を微量と炭化物を斑に含む（下部は2cm角で多く含む）遺物 礫含む、固い
2	7.5YR3/3 暗褐色シルト	5YR4/6赤褐色シルトの混合土、焼土層、山礫カク、植物根含む
3	7.5YR3/2 黒褐色粘質シルト	焼土粒少量、炭化粒少量、山礫カク微量含み、植物根含む
4	10YR3/3 暗褐色粘質シルト	中砂混じり、地山粒、山礫カクを斑に含み、炭化粒を少量斑に含む
5	10YR3/4 暗褐色粘質シルト	地山ブロック（4cm角～15×6cm角）を多量に含み、礫多量に含む
6	7.5YR3/2 黒褐色粘質シルト	3と同様だが、3より粘性なし、礫含む

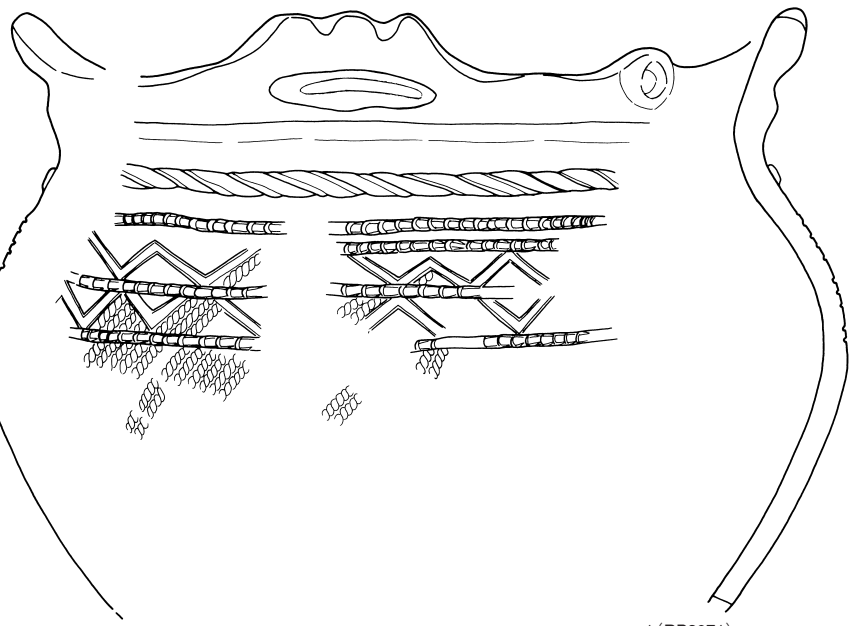
第417図　SK1870 土坑・出土遺物

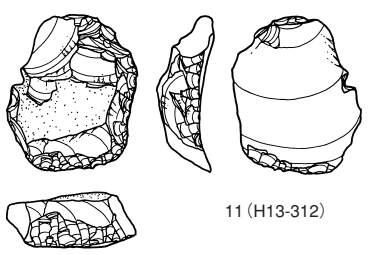
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:483 Date: 2005/03/19 Sat 10:55:47

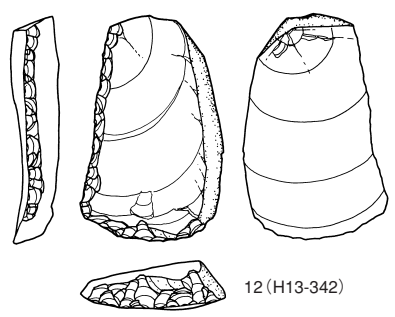


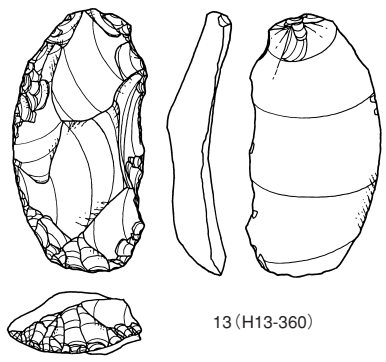
SK1899
1　黒褐色土　黄褐色土粒、木炭粒少量混入
2　黒褐色土　黄褐色土粒、木炭粒多く含む
3　黄褐色土　黒褐色土を少量混入
4　黒褐色土　黄褐色土粒少量混入、黄褐色土粒多量に混入

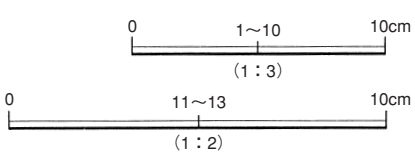



1（RP2071）


11（H13-312）

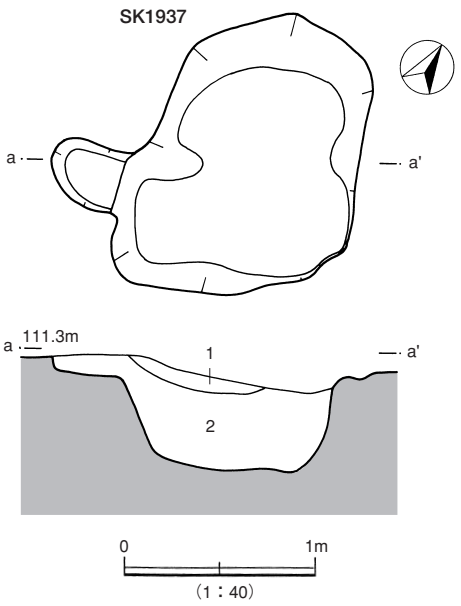

12（H13-342）

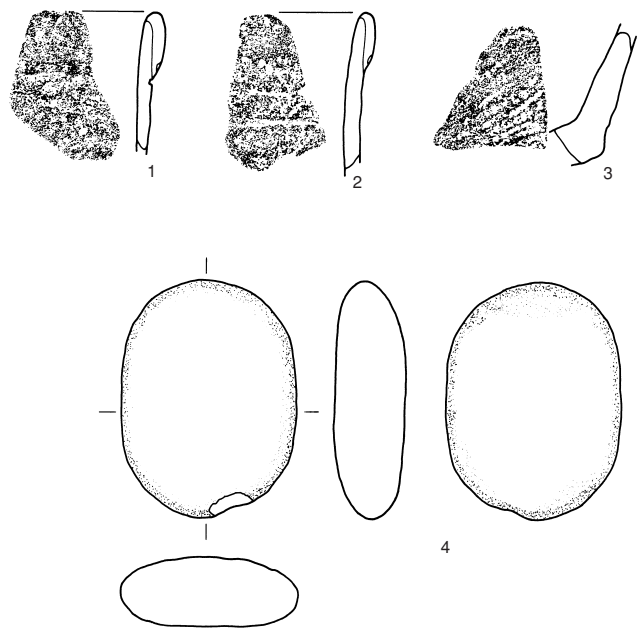

13（H13-360）



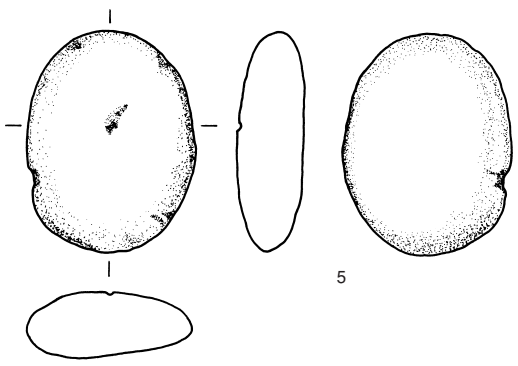
第418図　SK1899 土坑・出土遺物

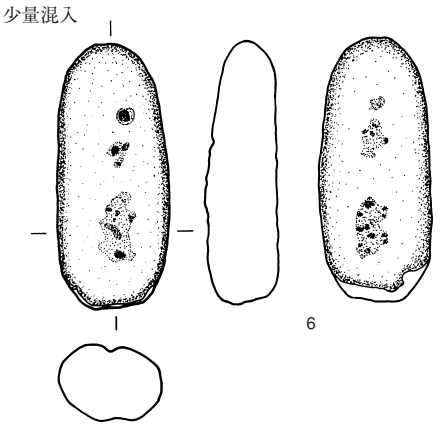
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:484 Date: 2005/03/19 Sat 10:59:02

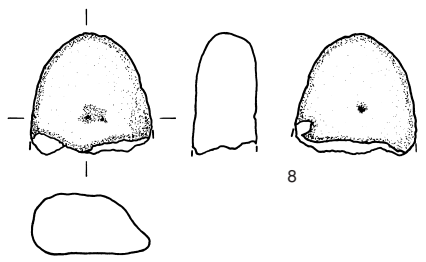


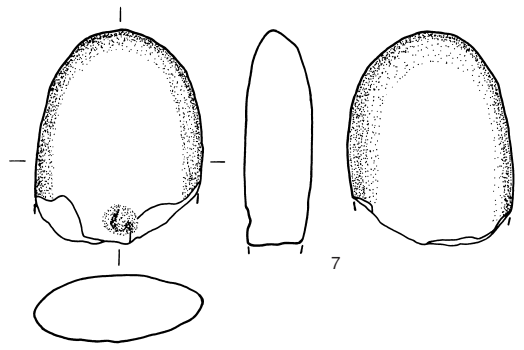


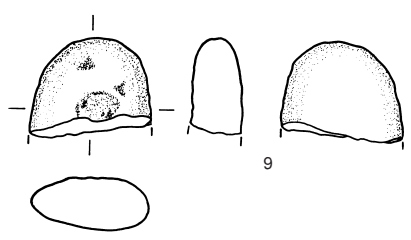
SK1937
1　黒褐色土　黄褐色～白色土ブロック混入、貼床
2　黒褐色土　黄褐色土粒多量に混入、木炭粒も比較的多く混入、黄褐色土ブロック少量混入
　　＊1は貼床、この土坑を貼床して、住居を構築

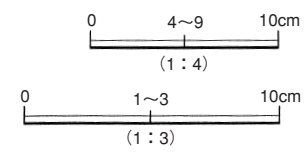






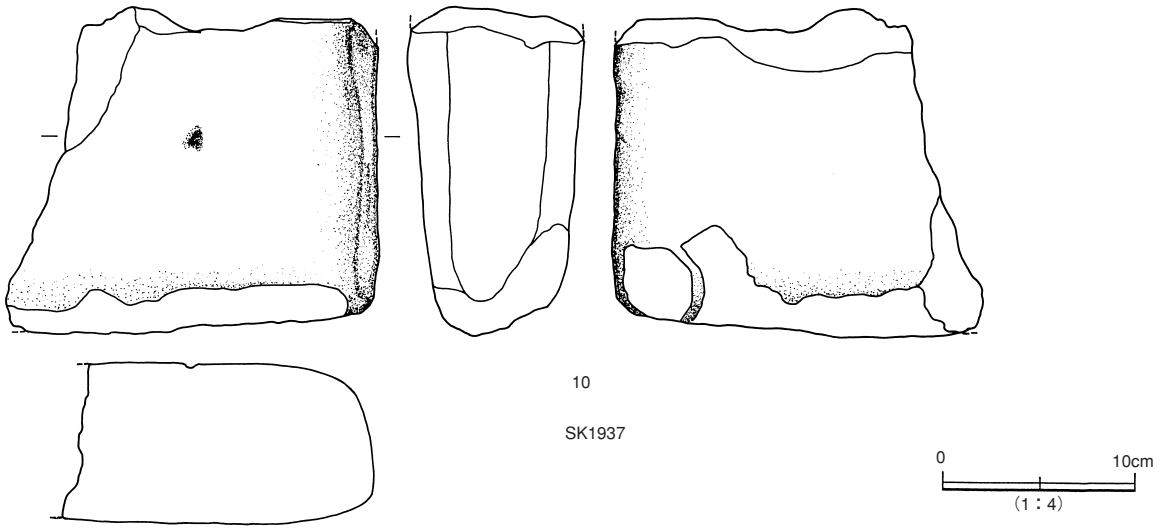


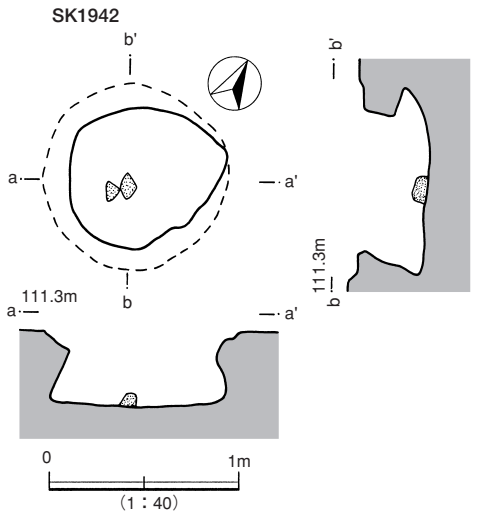


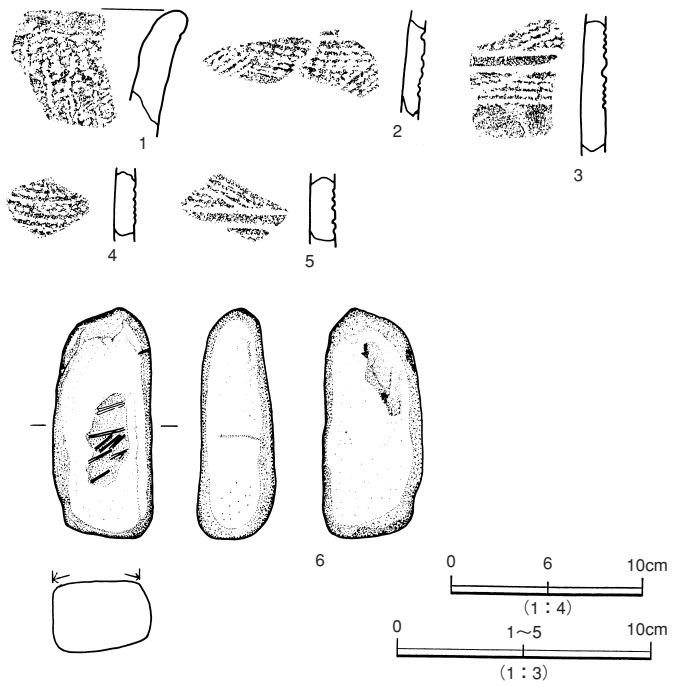


第419図　SK1937 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:485 Date: 2005/03/19 Sat 11:02:00







第420図　SK1937・1942 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:486 Date: 2005/03/19 Sat 11:21:04

ＳＫ1942（第420図　写遺構－182）

グリッド16－82に位置する。ＳＴ1340大型住居跡の東に隣接する。平面形は円形を呈し、規模は長径80cm、短径75cm、深さ40cmを測る。壁は全体でオーバーハングし、底面は平坦である。フラスコ状土坑である。遺物は１～５の興津式系の土器がある。

興津式系土器

ＳＫ1943（第421図）

グリッド16－82に位置する。２基のピットを切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長径80cm、短径72cm、深さ60cmを測る。断面は円柱形を呈する。底面は平坦で壁は垂直に掘り込まれる。覆土は２・３層に焼土粒が多く、６層は腐植土や粘土が混じる。１・２層に木根の撹乱がみられる。遺物は深鉢片の他、凹石・石皿等が出土している。

ＳＫ1999（第421図　写遺構－182）

グリッド17－83に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径78cm、深さ38cm、底径92cmを測る。口の大きいフラスコ状土坑である。底面は比較的平坦で、大きくオーバーハングし底端は丸カーブで立ち上がる。覆土は１層の単純層と思われるが、土器の入り方などから数回にわたり人為的に埋められたことが想定される。底面は白色粘土層に相当する。比較的上位から土器片が出土しており、縦に突き刺さる状況などから投げ込まれたものと推測される。遺物は僅かに深鉢片が出土している。

ＳＫ1996・2698（第422図　写遺物－48）

グリッド９－82に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径1.3m、深さ22cmを測る。ＳＫ2698及びＳＴ1341大型住居跡と切り合う。底面はやや凹凸がみられ、覆土は暗黄褐色土～黒色土を主体とし、木炭を多く混入している。ＳＫ2698は人為的に埋められている。遺物は半截竹管文の台付鉢が出土している。

ＳＫ1997（第422図　写遺物－129）

グリッド９－81、ＳＴ1341内に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.56m、短径85cm、深さ25cmの比較的浅い土坑である。底面は平坦である。遺物は深鉢片や石器、円盤状石製品が出土している。

ＳＫ2533（第423図　写遺物－27・117）

グリッド15－88に位置する。平安時代のＳＴ879住居跡に重複する。上部はＳＴ879の構築により削平を受けるが下部の遺存状態は良好である。平面形はやや丸みを帯びた方形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸1.14m、深さ94～97cm、底径1.38mのフラスコ状土坑である。底面はやや凹凸がみられ、壁の上半部が壊され崩落している状況である。

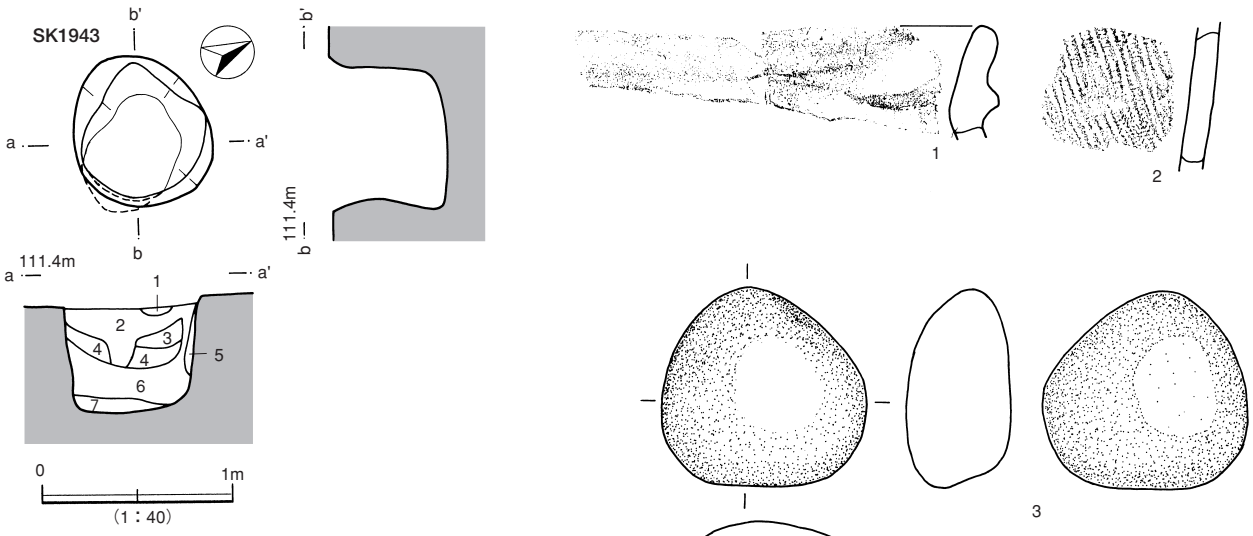
遺物は上半部に集中しており、２・３層に礫が投げ込まれている。堆積土は自然堆積で断面の観察により地山黄褐色土の崩落がみられる。よって使用時にはもっと入口（上端）は狭かったものと考えられる。遺物は縄文土器片多数と剥片等が出土しており、10は土偶である。

土偶出土

ＳＫ2617（第424図）

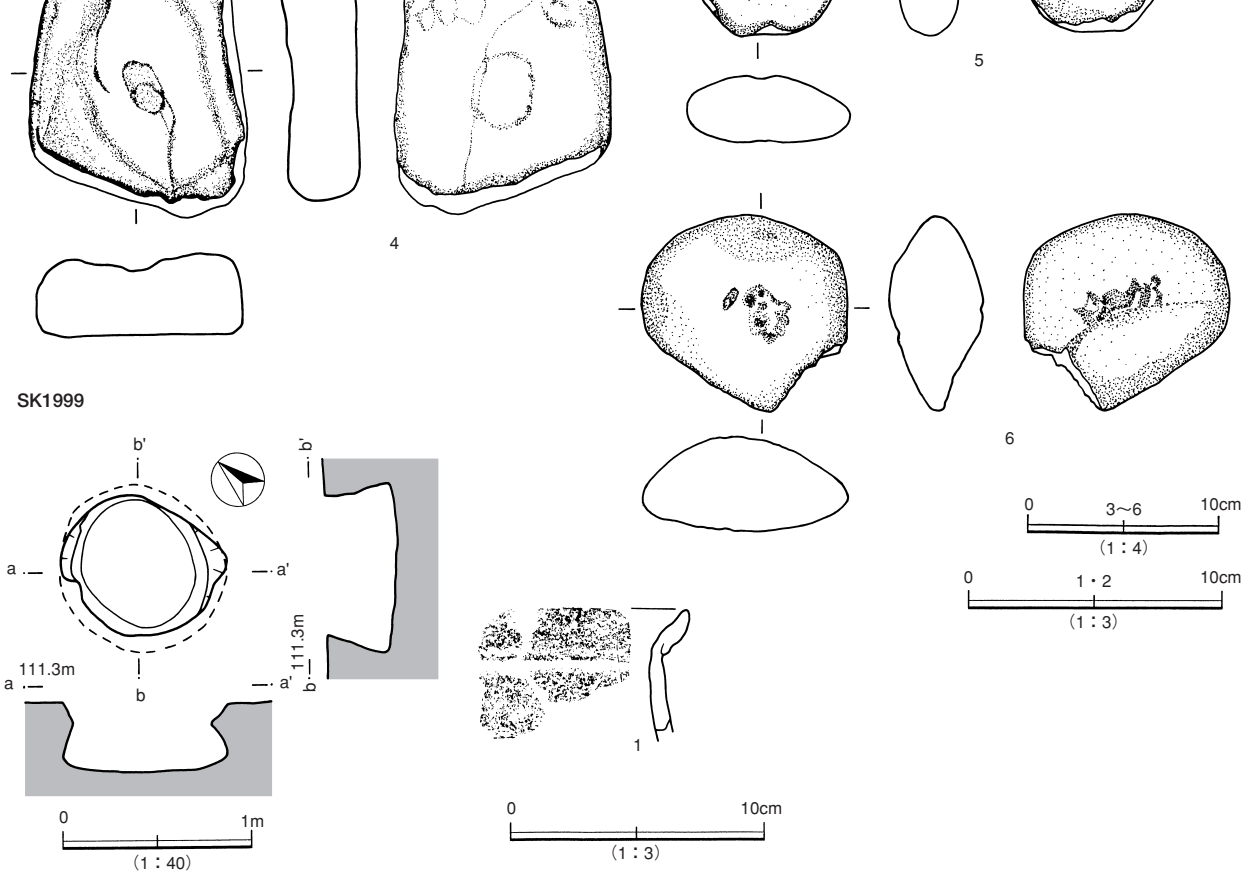
グリッド11・12－82・83に位置する。ＳＴ1505の西に隣接する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.18m、短径95cm、深さ35cmのやや浅い土坑である。底面は平坦である。当初はフラスコ状を呈していたとみられる。覆土は暗褐色土を主体とする。

遺物は石器や５の土製品が出土している。

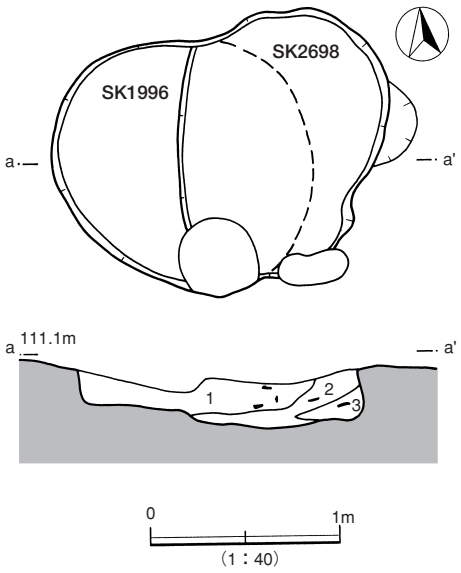


SK1943

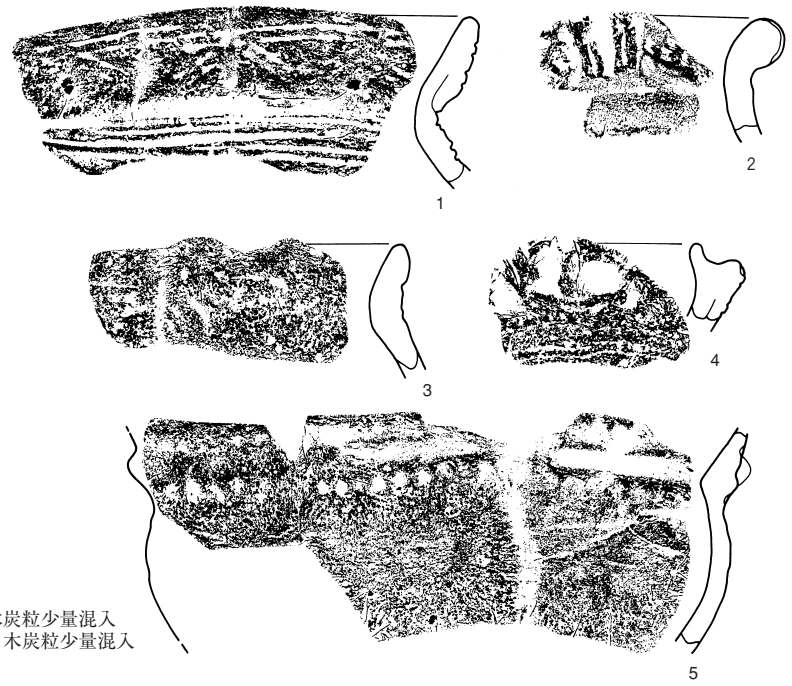
1　黒褐色土　　黄褐色土粒わずかに混入
2　黒褐色土　　黄褐色土粒多量に混入
3　黒褐色土　　焼土を多量に混入
4　黒色土　　黄褐色土粒わずかに混入
5　黄褐色粘質土
6　黒褐色土　　黄褐色土粒多量に混入、2よりも黄褐色土粒多い
7　黒褐色土　　黄褐色土粒多く、黄褐色土を少量混入する

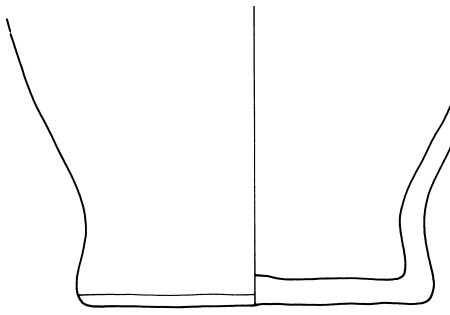


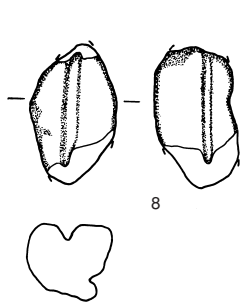
第421図　SK1943・1999 土坑・出土遺物

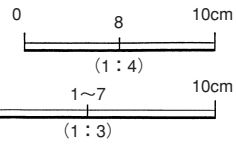


SK1996
1　黒褐色土　黄褐色土粒、木炭粒多量に混入
2　黄褐色土　黄褐色土粒、黄褐色土を多量に混入、木炭粒少量混入
3　黒褐色土　黄褐色土ブロック、同粒子多量に混入、木炭粒少量混入

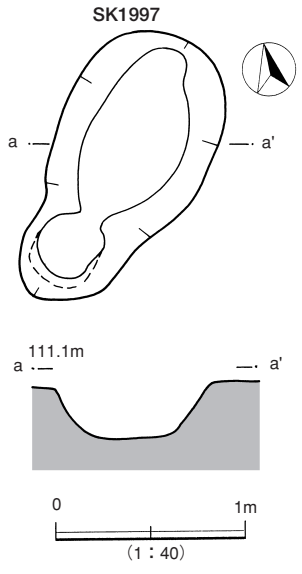


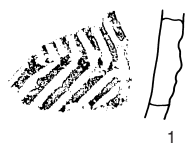


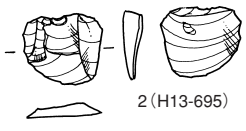


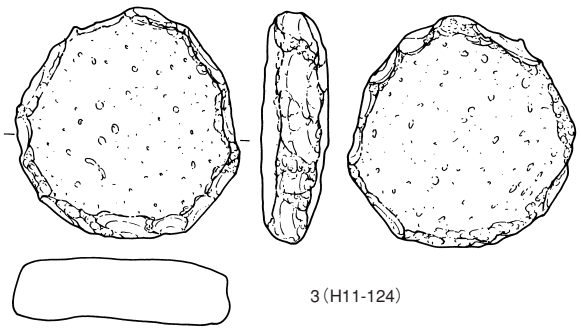


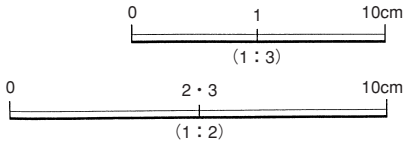
1～8 ― SK1996





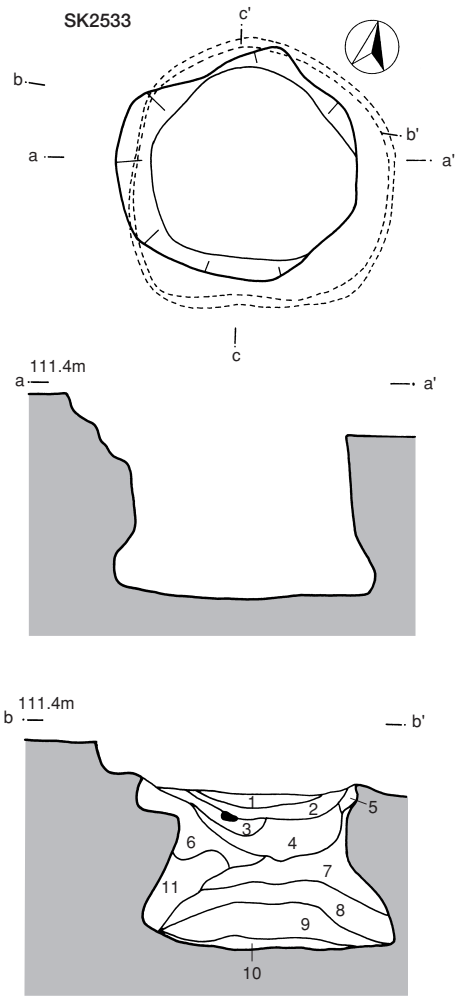


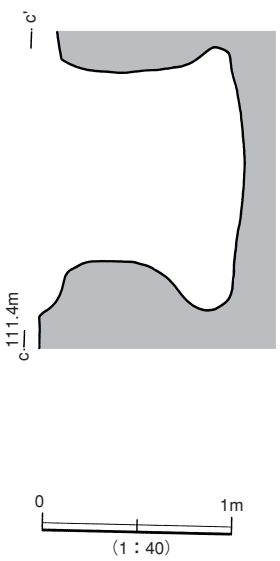




第422図　SK2698・1996・1997 土坑・出土遺物

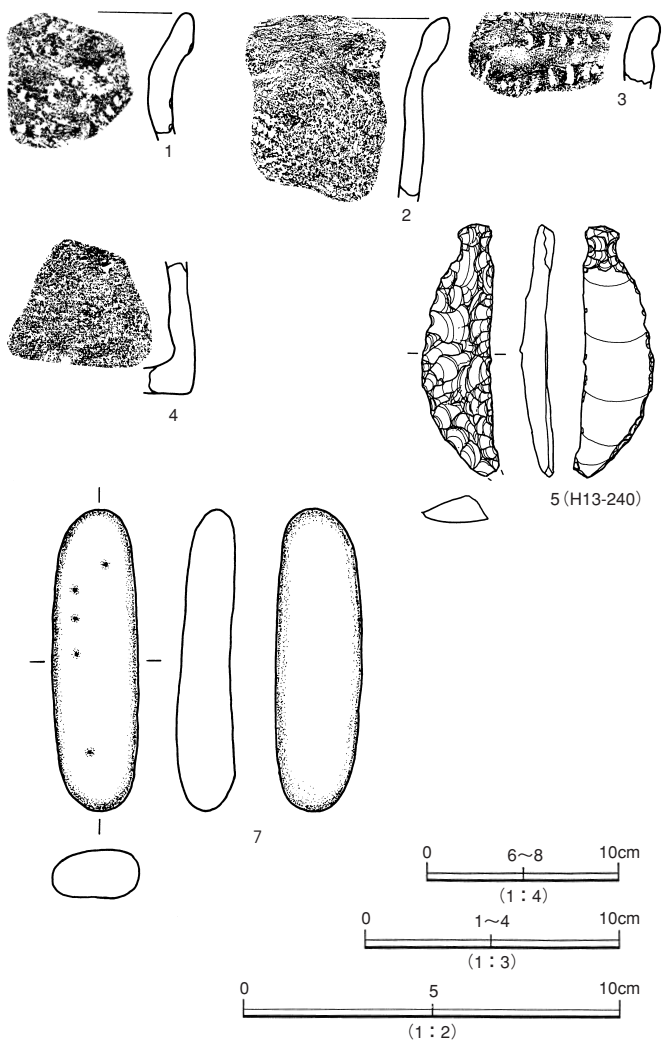
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:489 Date: 2005/03/25 Fri 14:56:21



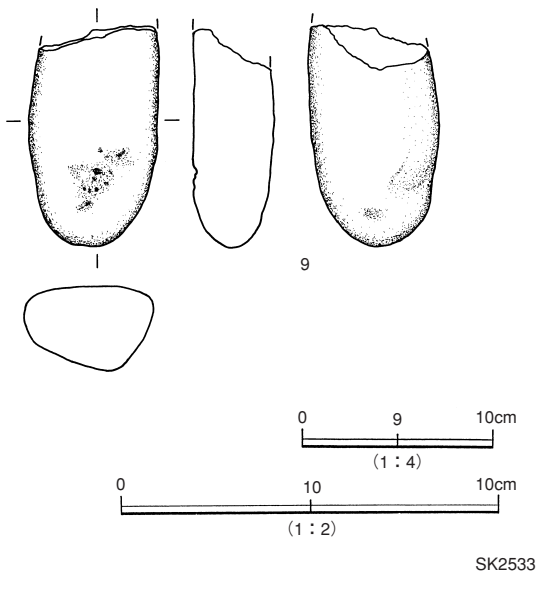


EK2533

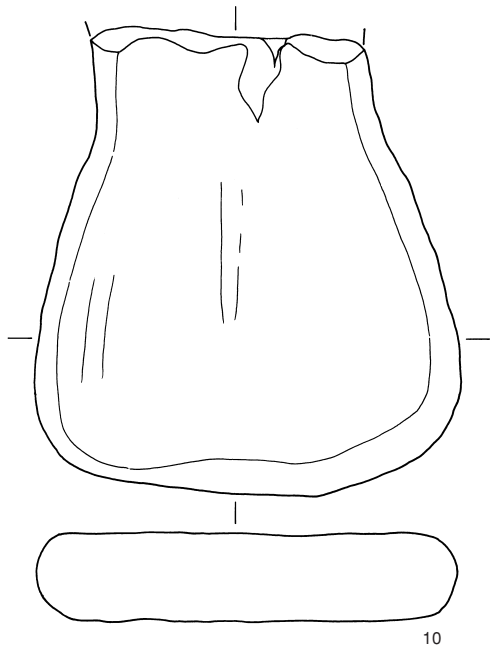
1	10YR2/3	黒褐色シルト	地山粒を少量含み、遺物、焼土粒、植物根含む、柔らかい
2	10YR2/3	黒褐色シルト	1と同様だが､地山を斑に含み炭化物、植物根含む
3	10YR2/3	黒褐色粘質シルト	地山粒、炭化粒少量含み（1よりは多量）遺物、植物根含む
4	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	地山粒を少量、炭化物を多量含み、植物根含む、柔らかい
5	10YR3/3	暗褐色砂質シルト	
6	10YR2/2	黒褐色粘質シルト	4と同様だが､炭化物含まない
7	5YR2/1	黒褐色粘質シルト	炭化粒少量含み、植物根含む非常に柔らかい
8	5YR2/1	黒褐色粘質シルト	7と同様だが､地山を斑に含む
9	7.5YR2/2	黒褐色粘質シルト	粗砂混じり、地山を少量含み炭化物、植物根含む
10	10YR4/4	褐色中砂	9との混合土
11	10YR4/4	褐色粘質シルト	



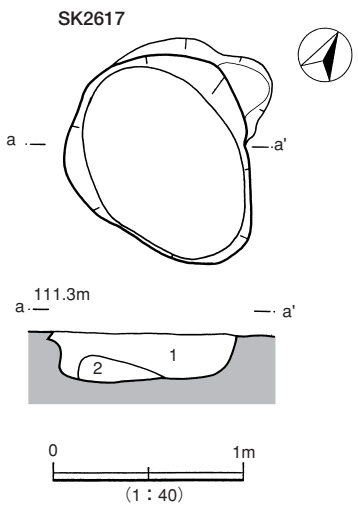
第423図　SK2533 土坑・出土遺物



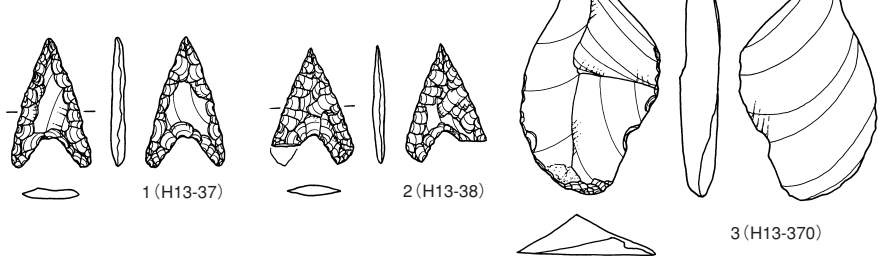
SK2533

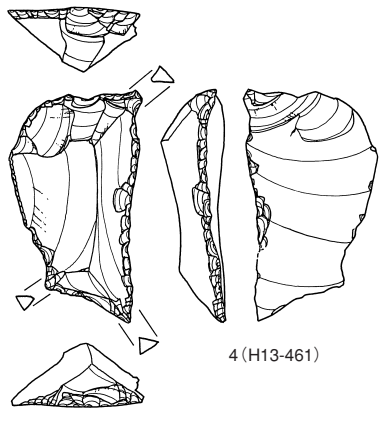


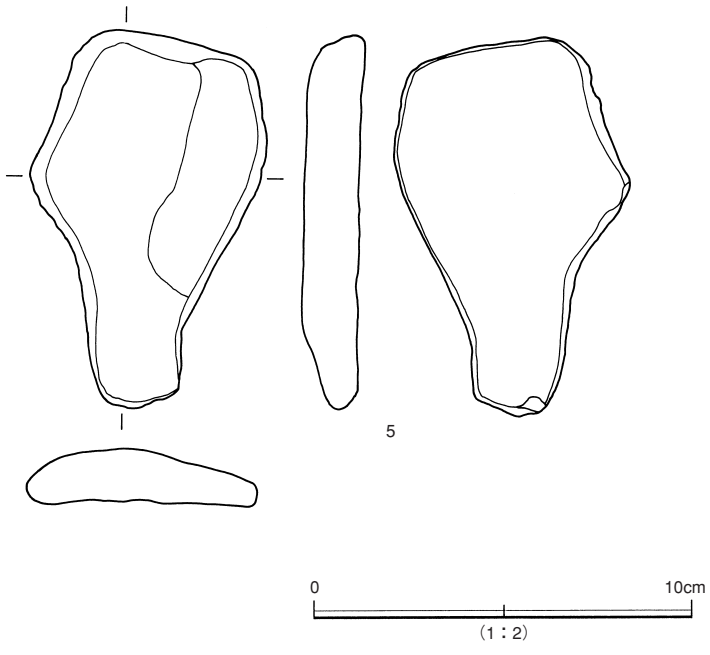
SK2617



SK2617
1　暗褐色土　黄褐色土粒、木炭粒、焼土粒を少量混入
2　暗褐色土　黄褐色土粒多量に混入







第424図　SK2533・2617 土坑・出土遺物

Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:491 Date: 2005/03/19 Sat 11:14:32

ＳＫ2616（第425図）

グリッド11・12－82・83に位置する。ＳＫ2617に隣接する。平面形は円形を呈し、規模は長径58cm、短径55cmを測る。深さ68cmのフラスコ状土坑である。壁は全体でオーバーハングし底面は平坦である。覆土は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。

遺物は深鉢片が僅かに出土している。

ＳＫ2626（第425図　写遺構－183）

グリッド13－83に位置する。平面形は不整円形で確認面ではやや卵形を呈する。確認面の規模は長径2.05m、短径1.56m、深さ52cm、口径1.2～1.4mを測る。底径は長径1.52m、短径1.14mで、底は袋状に広がる。壁はオーバーハングしており、くびれ部は崩れている。底面は平坦で上部は木根の撹乱を受けている。覆土は黒褐色腐植土を主体とし、１層には深鉢片、２層には炭化物が多く含まれる。石器も１点出土している。遺物は土坑埋没後に入り込んだものと推測される。

ＳＫ2632（第426図）

グリッド13－86に位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径2.07m、短径1.75m、深さ88cmを測る。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は人為的に埋められたもので、１層は上層の落ち込み、２～４層は埋土である。遺物は深鉢底部や掻器・削器などの石器が出土している。

ＳＫ2630（第427図）

グリッド14－83に位置する。平面形は不整円形を呈し、規模は長径81cm、短径77cm、深さ40cmのフラスコ状土坑である。小ピット２基が近接し、浅い土坑をフラスコ状土坑が切り、より深く掘り込んでいる。底部は袋状に広がる。底面は平坦、断面は台形で、壁上位は木根の撹乱を受け変形し崩れている。覆土は黒褐色シルトを主体とし、粘性があり締まっている。地山黄褐色土混じりの土で埋められている。１層は包含層の落ち込みと思われる。遺物は深鉢片、凹石が出土している。

ＳＫ2634（第428図）

グリッド13・14－87に位置する。環状集落中央広場の南東端に所在する。不整楕円形のフラスコ状土坑である。規模は長径1.45m、短径1.2m、深さ57cmを測る。壁はほとんどがオーバーハングし底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は１～７の深鉢片や８～10の掻器がある。

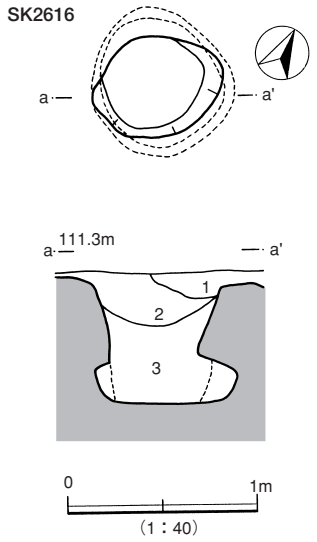
ＳＫ2650（第429図　写遺物－49）

グリッド12－81に位置し、ＳＴ1415大型住居跡内で検出されたフラスコ状土坑である。覆土から、ＳＴ1415（古）→ＳＫ2650（新）と判断される。平面形は円形を呈し、規模は長径57cm、短径46cm、深さ65cm、底面径96cmを測る。底面は平坦で大きくオーバーハングして立ち上がる。覆土は自然堆積とみられる。遺物は覆土中に深鉢片、石器片を含む。

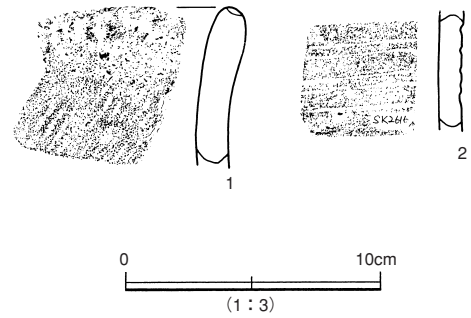
ＳＫ2661（第429図　写遺物－38）

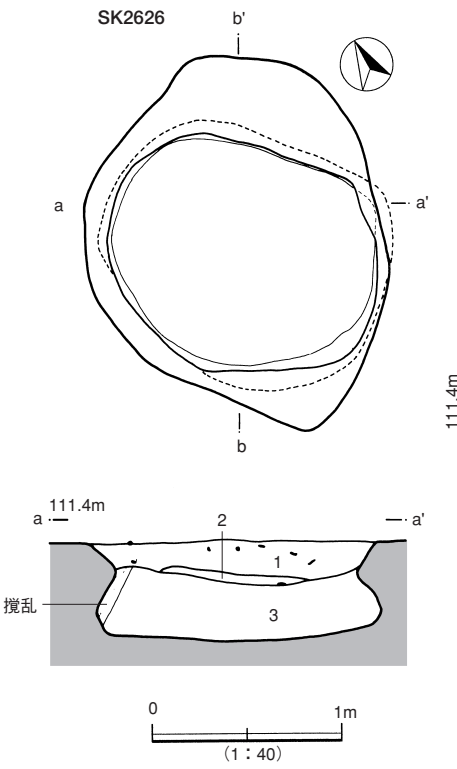
グリッド14－82に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径80cm、深さ36cm、底面長径90cm、短径78cmを測る。小型で浅いフラスコ状土坑である。底面はやや凹凸がありオーバーハングして立ち上がる。壁の一部が木根の撹乱で崩れている。３・４層は埋土で１・２層に遺物の投げ込みがみられる。遺物は深鉢が横につぶれた状況で出土している。

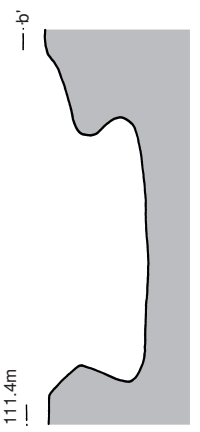
Title:P467-492_縄文時代.ec6 Page:492 Date: 2005/03/19 Sat 11:17:32

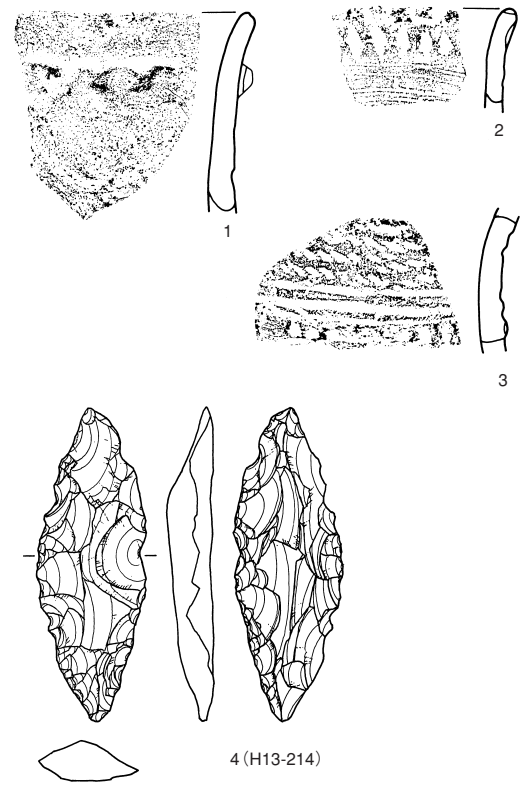


SK2616
1　黒色土　　黄褐色土粒、焼土粒少量混入
2　黒褐色・暗褐色土　木炭粒やや多く、黄褐色土粒、焼土粒少量混入
3　黒褐色・暗褐色土　黄褐色土粒多量に混入、木炭粒、焼土粒やや多し







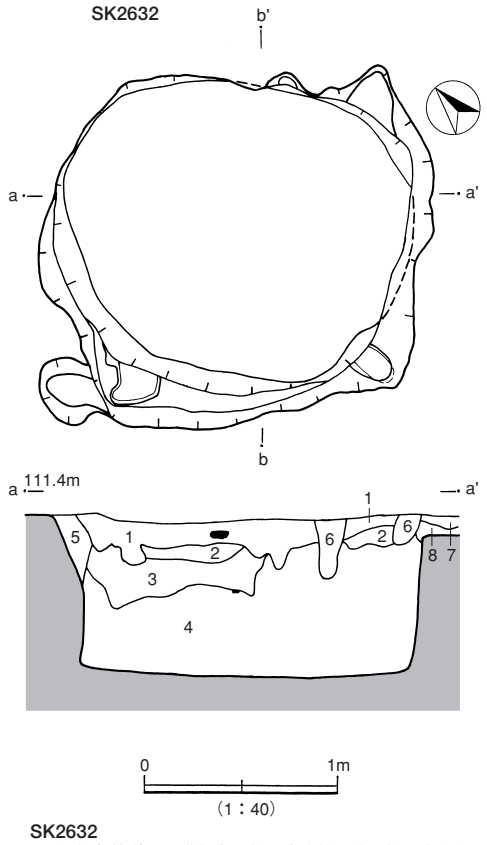


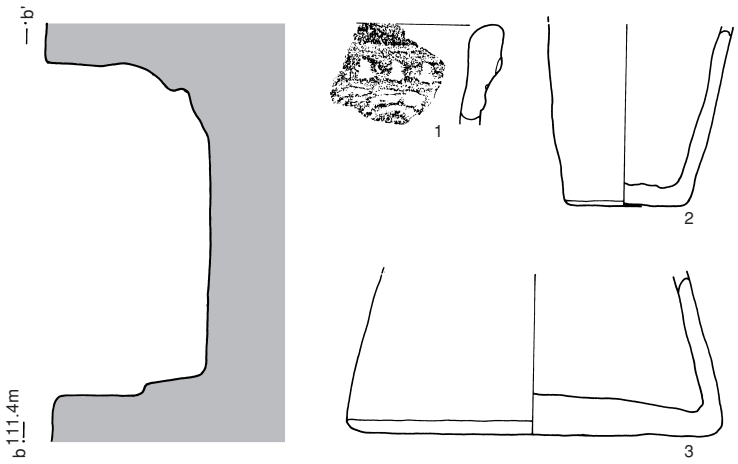
SK2626
1　10YR2/3　黒褐色シルト　　地山を粒状、20×8cmのブロックで含み、遺物、炭化粒少量含むよくしまる
2　10YR2/3　黒褐色シルト　　1と同様だが、炭化粒多量に含み、柔らかい
3　10YR4/3　にぶい黄褐色粘質シルト　地山土との混合土

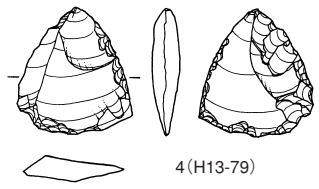
0　1～3　10cm
（1：3）
0　4　10cm
（1：2）

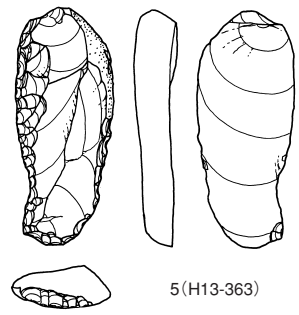
第425図　SK2616・2626 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:493 Date: 2005/03/18 Fri 14:57:31



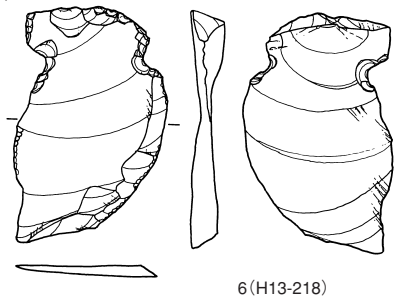


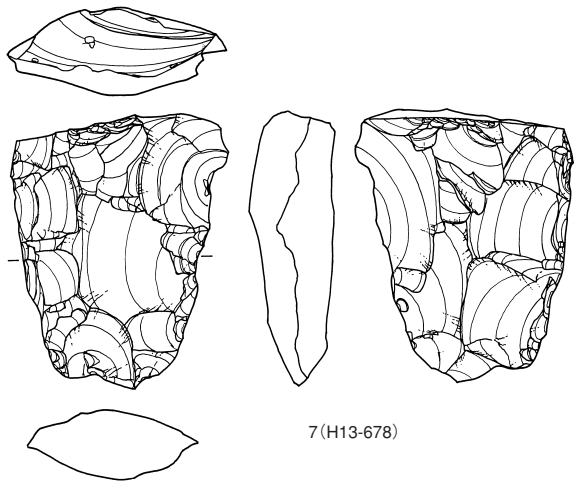


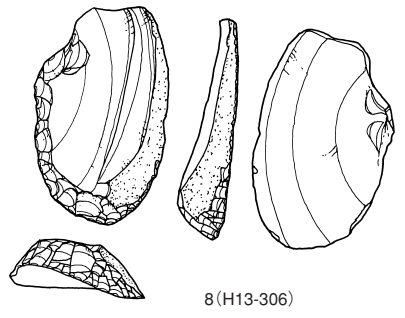


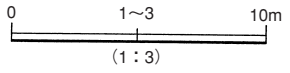
SK2632

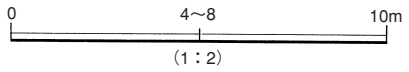
1　黒褐色粘質土　黄褐色土粒、木炭粒、焼土粒を少量混入、細砂粒混入
2　暗黄褐色土　黄褐色土ブロック、細砂粒混入
3　暗黄褐色土　黄褐色土ブロック多量に混入、暗褐色土も多く混入、黒色土ブロック少量混入
4　暗褐色土　黄褐色土ブロック、同粒子、白色粘質土ブロック、同粒子を多量に混入
5　黄褐色粘質土　地山？
6　黒褐色粘質土　1と似るが、黒色土を多く混入
7　黒褐色粘質土　細砂粒、ほとんど混入していない
8　黄褐色粘質土　地山？暗褐色土少量混入



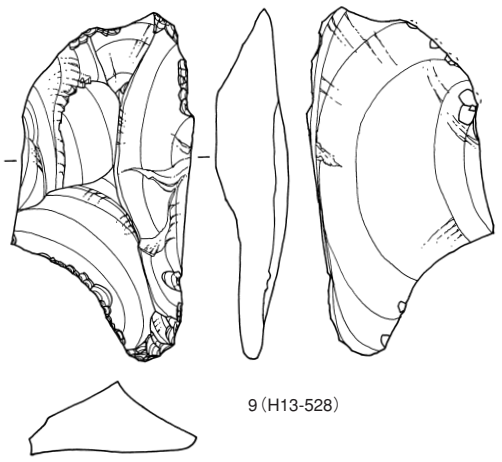


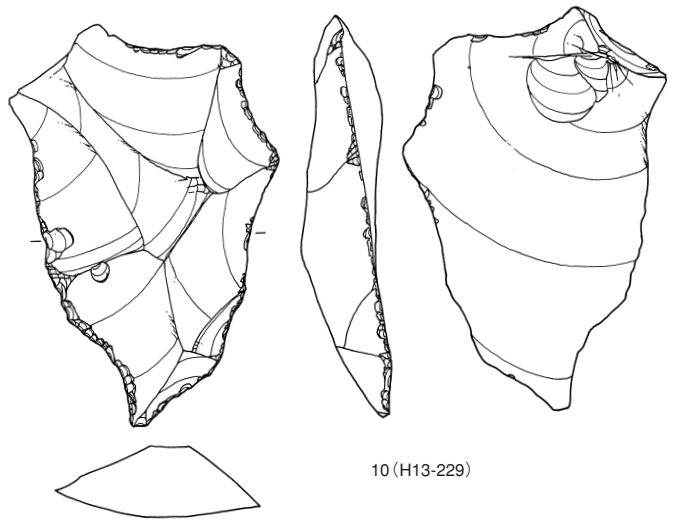


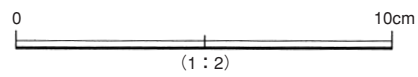


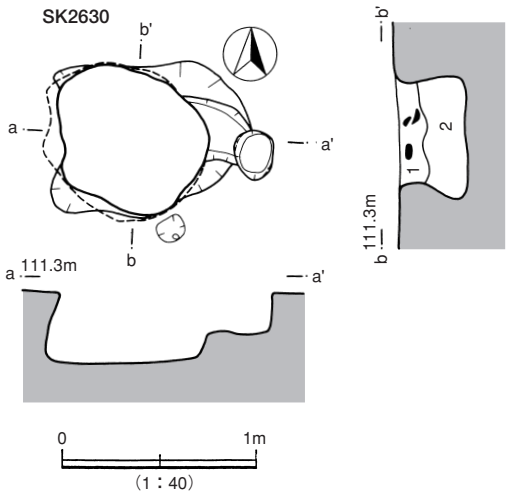


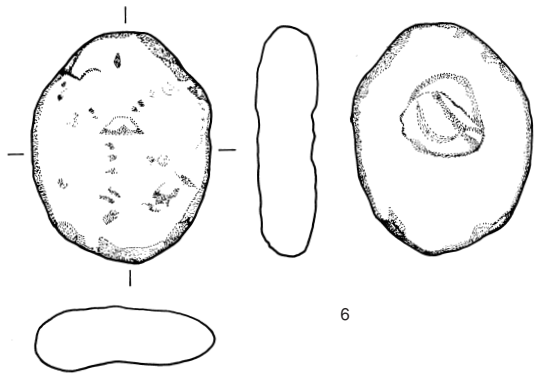
第426図　SK2632 土坑・出土遺物





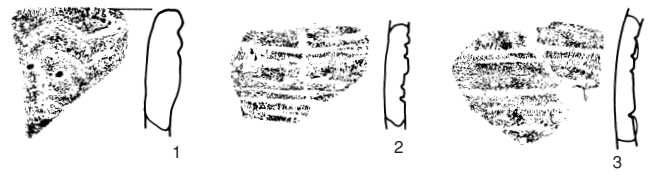


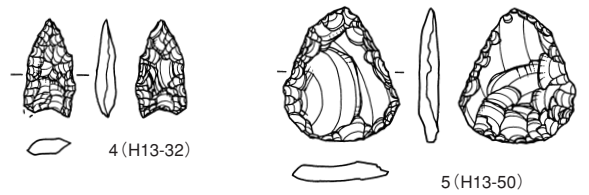


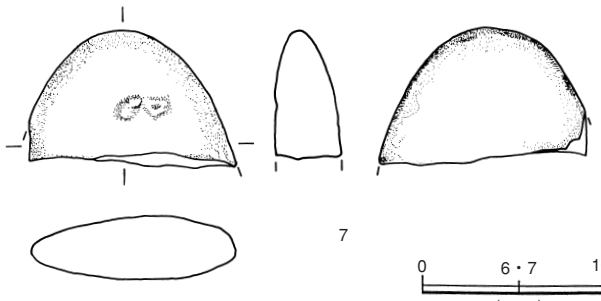


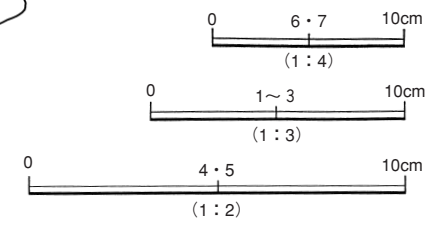
SK2632

SK2630
1　10YR2/3　黒褐色シルト　　地山粒少量含み、遺物、炭化粒含む
2　10YR3/4　暗褐色粘質シルト　地山土との混合土



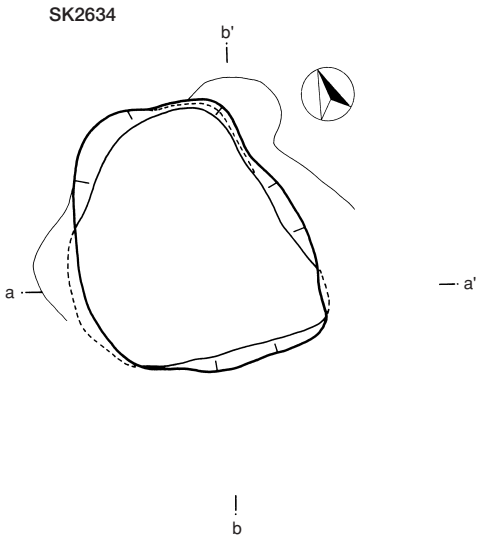






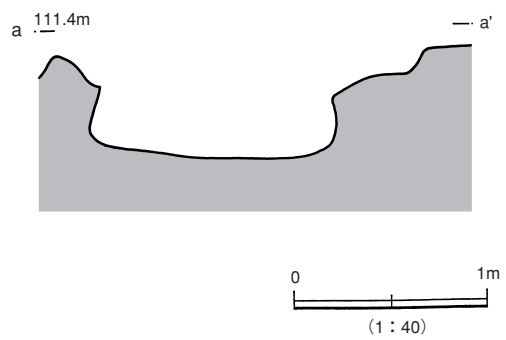
第427図　SK2632・2630 土坑・出土遺物

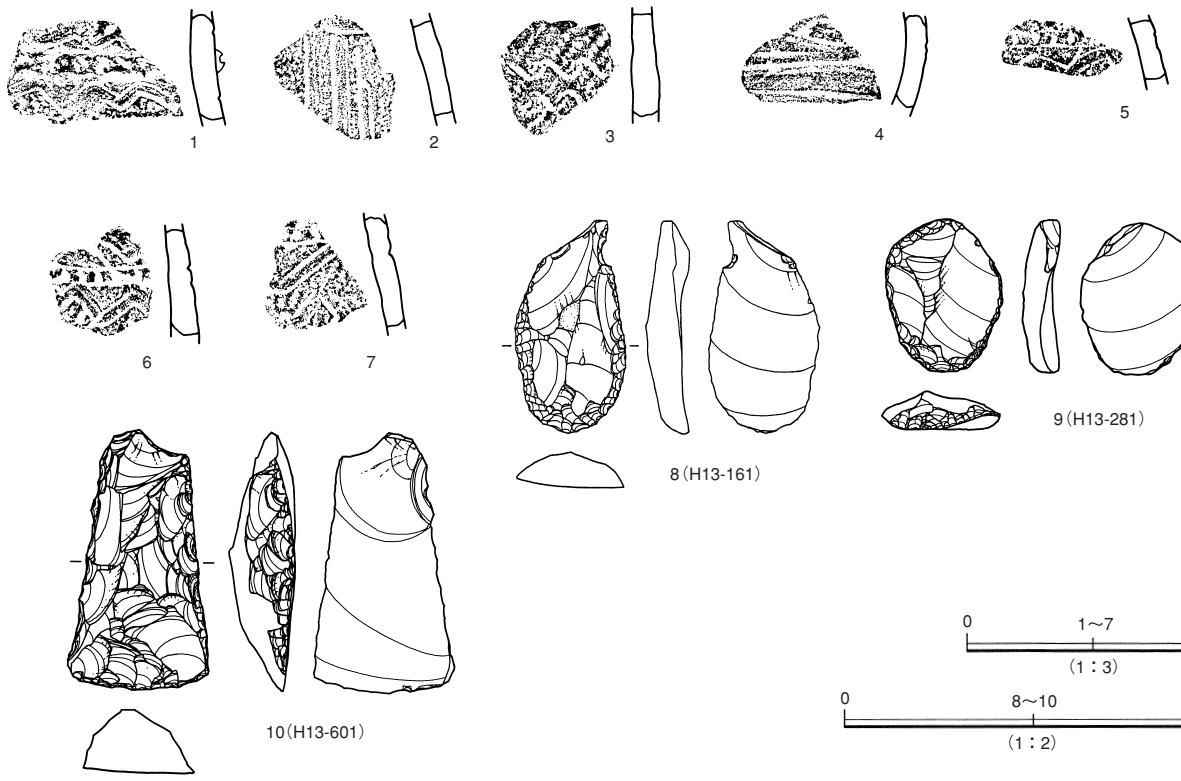
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:495 Date: 2005/03/18 Fri 15:01:00



SK2634

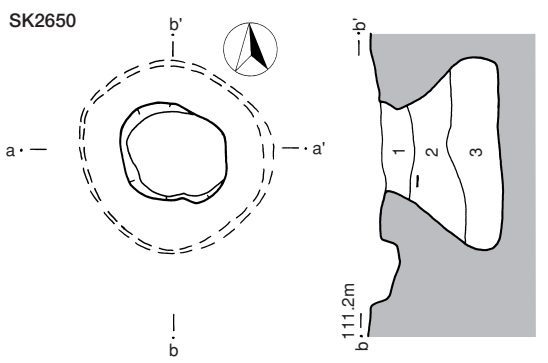
1 10YR3/2 黒褐色腐植土	シルト質、炭化物少量、遺物含む
2 10YR4/2 灰黄褐色シルト	小粒粘土、1～2cm混じり、しまり強い、遺物含む
3 10YR3/2 黒褐色シルトブロック	10YR6/6明黄褐色シルト1～4cmブロック斑に混じる、しまり強く遺物含む



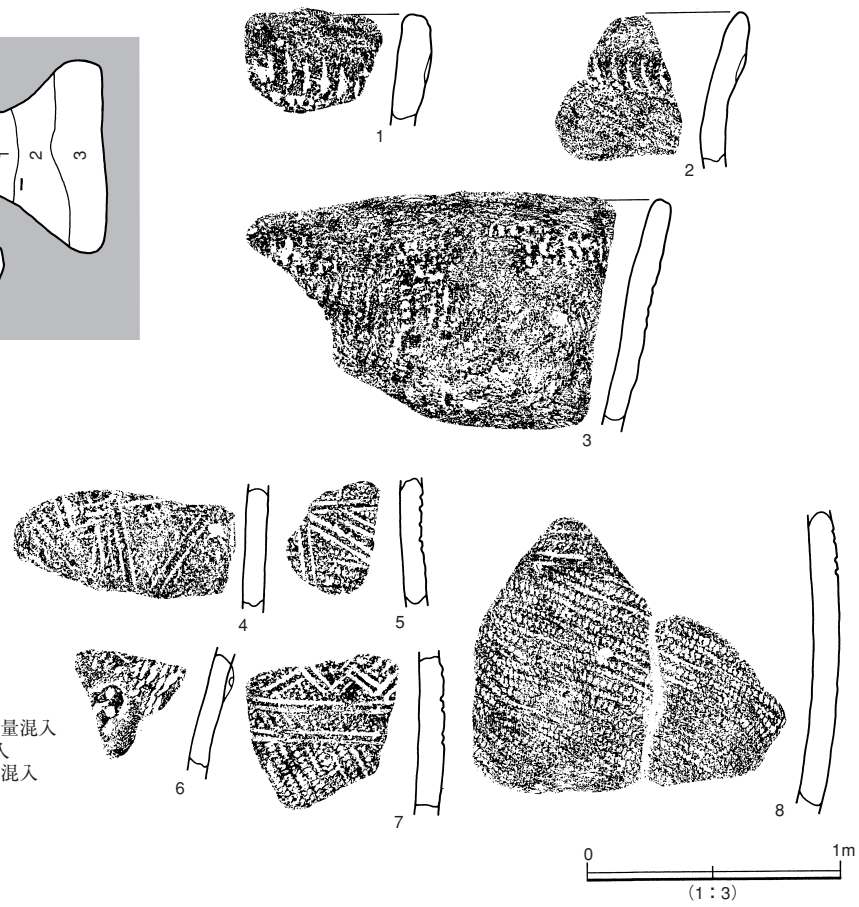


第428図　SK2634 土坑・出土遺物

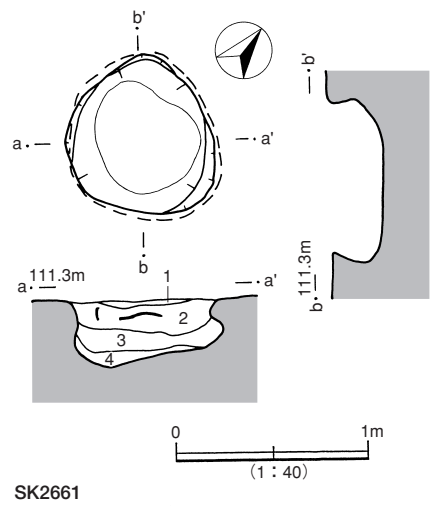
SK2650



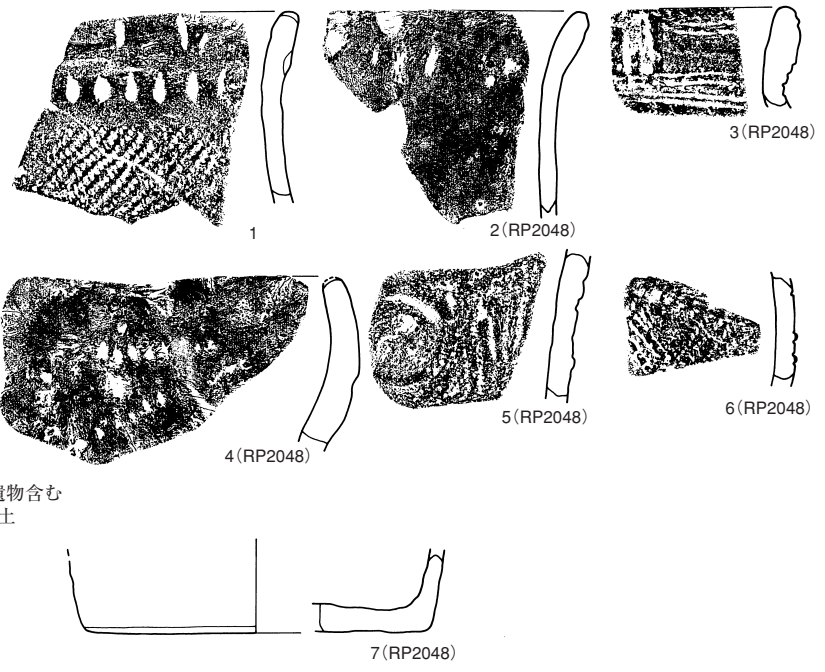
SK2650
1 黒褐色土　　黄褐色土粒多く、木炭粒少量混入
2 黒褐色土　　1より黄褐色土粒多量に混入
3 灰白色砂質土　黄褐色土ブロック、木炭粒混入



SK2661



SK2661
1 10YR2/3 黒褐色シルト
2 7.5YR2/2 黒褐色粘質シルト　地山少量含む、遺物含む
3 7.5YR2/2 黒褐色粘質シルト　2と地山との混合土



第429図　SK2650・2661 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:497 Date: 2005/03/19 Sat 11:23:36

ＳＫ2737（第430図　写遺物－42）

グリッド17－81、ＳＴ1340大型住居跡内に位置する大型土坑である。土坑に重複するピットはＳＴ1340の柱穴である。平面形は不整円形を呈し、規模は長径2.7m、短径2.26m、深さ72cmを測る。底面は凹凸があり、ピットの深さは１ｍを測る。覆土は黒褐色土を主体とし住居跡の覆土と似ることから、住居跡と同時期ないしは時期差はあまりないものと推測される。最後の段階には２層までの土が埋められて１層までの浅い姿であった。焼土が確認面から50cm下層で検出されている。多数の深鉢片・石斧・石皿片が出土している。

ＳＫ2754（第431図）

グリッド23－82に位置する。ＳＫ2758が重複し上位が破壊されており、柱穴は内部からは検出されていない。平面形は隅丸方形であるが、当初は円形であったと推測される。規模は長軸1.38m、短軸1.1m、深さ64cmのフラスコ状の土坑である。壁はほとんどなく、底面はやや凹凸があり摺鉢状を呈する。深鉢片や石斧が出土している。

ＳＫ2755（第432図　写遺構－183　写遺物－22・93）

グリッド23－83に位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径93cm、短径83cm、深さ42cm、底面長軸1.02m、短軸96cmのフラスコ状土坑である。周辺にピットが２基ある。底面は平坦である。壁は当初は全体にオーバーハングしていたものとみられる。覆土の堆積状況から人為的に埋められており、中位～下位に土器、礫が集中していることから墓址転用の可能性がある。遺物は縄文時代中期大木９式の深鉢が多数出土しており、石匙・凹石も出土している。

墓址転用の可能性

ＳＫ2758（第433図）

グリッド23－82に位置し、前述のＳＫ2754を切る土坑である。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸2.54m、短軸1.7m、深さ20cmを測る。覆土は８層まで確認された。木根の撹乱が多い。壁はほとんどが緩い斜面状に、なだらかなスロープ状を呈する。底面に径60cmのピットがある。

遺物は深鉢片、石鏃など少量が出土している。

ＳＫ2790（第433図）

グリッド23－82に位置する。ＳＴ2759と重複する。平面形は円形を呈し、径70cmを測る。深さは1.3mでかなり深い土坑である。壁は全体でオーバーハングしているフラスコ状土坑である。底面は平坦だが中央部に径25cm、深さ14cmのピットを有する。覆土は暗褐色土～黒褐色土を主体とする。

遺物は１の深鉢底部などが出土している。

ＳＫ2785（第434図　写遺物－94）

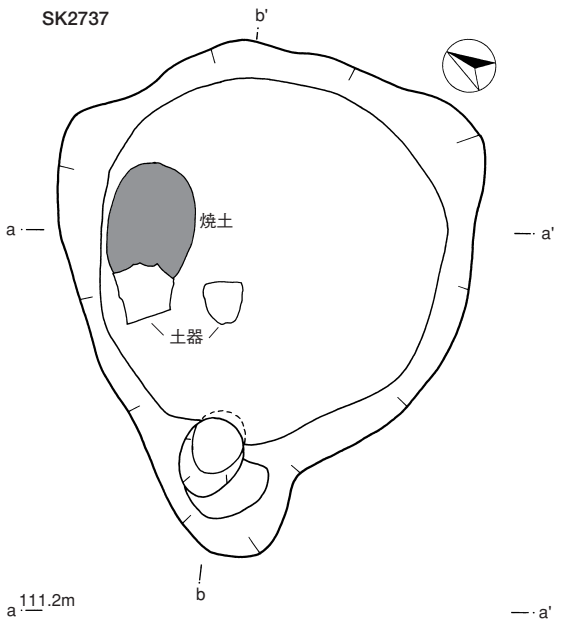
グリッド20－87に位置する。ＳＫ824の南側に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.08m、短径80cmを測る。深さ63cmのやや深い土坑である。壁は東側で僅かにオーバーハングするが、他は垂直に掘り込まれる。底面は平坦である。覆土は暗褐色シルト～褐色粘質シルトを主体とし地山黄褐色粘土を斑に混入する。このような覆土の堆積状況から人為的に埋め戻された土坑と推測される。

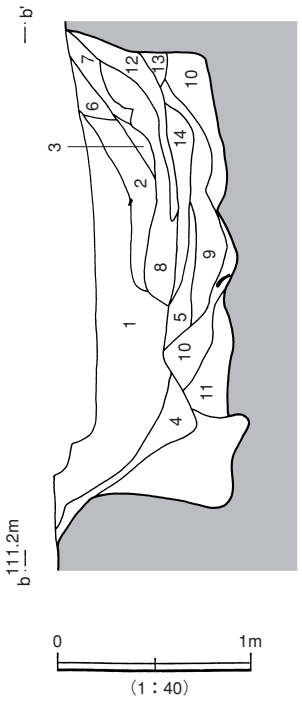
人為的埋土

遺物は１～13の深鉢片や14の凹石がある。

ＳＫ2839（第435図）

グリッド９－78に位置する。ＳＴ1415大型住居跡の東端に重複して所在する。平面形は楕円

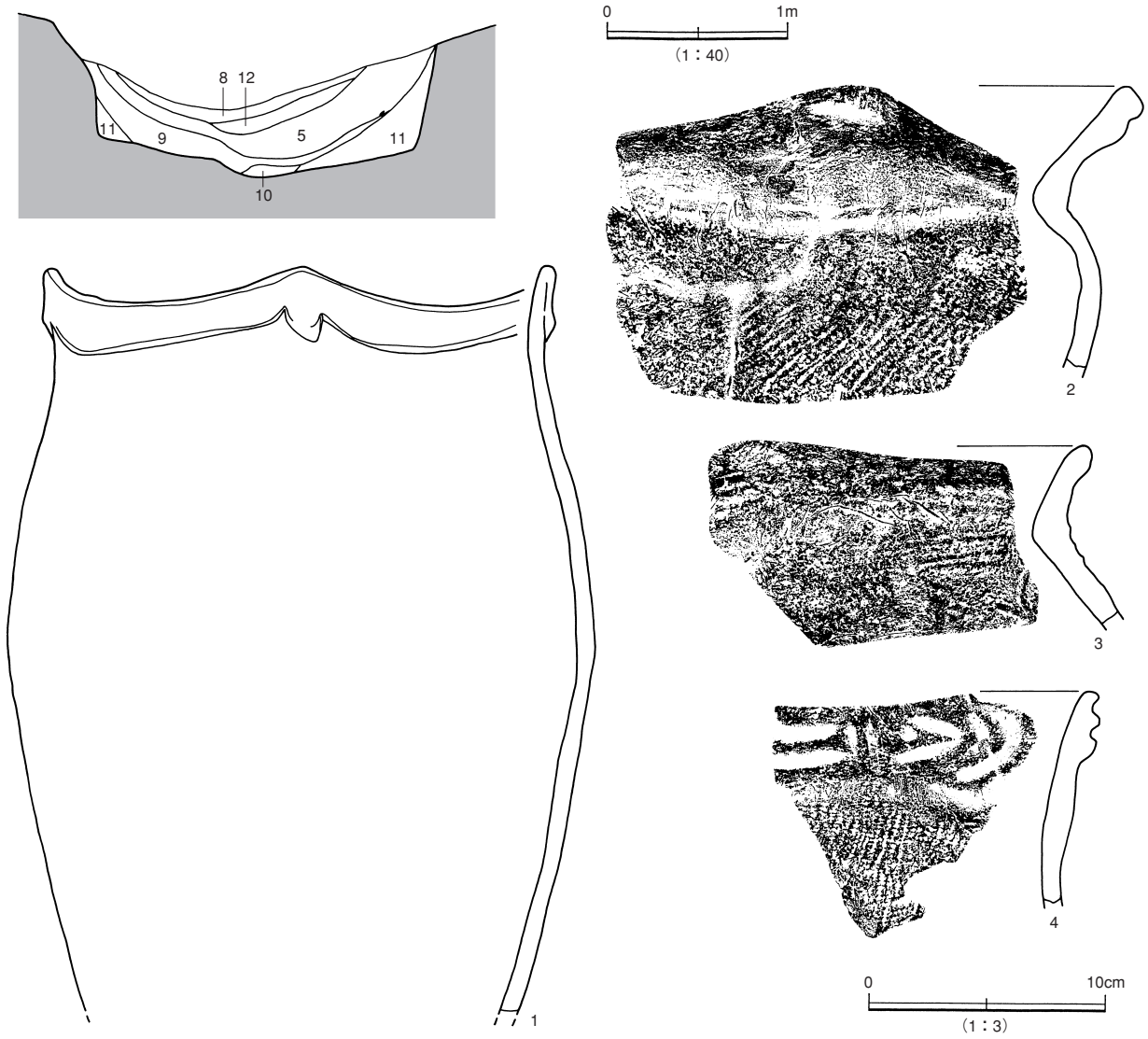




SK2737

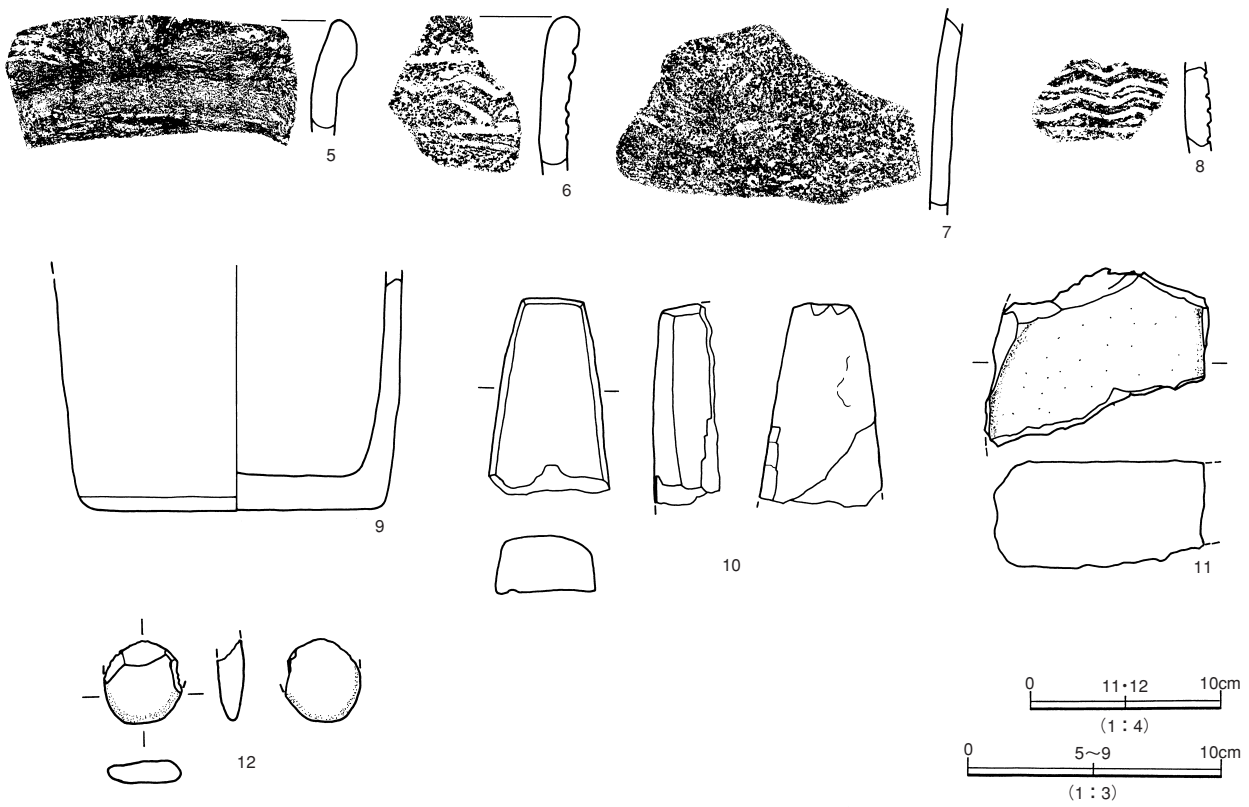
1　黒褐色土　木炭、木炭粒、黄褐色土粒子を多量に混入
2　黒色土　黄褐色土粒多量に混入、木炭少量混入、1と似るが1より黒色で木炭少ない
3　黒色土　黄褐色土ブロック、同粒子少量混入
4　黒褐色土　黄褐色土粒子、木炭、木炭粒を多量に混入し、黄褐色土ブロックを少量混入
5　黒褐色土　黄白色土、黄褐色土粒多く混入、木炭粒少量混入
6　黒褐色土　黄褐色土粒わずかに混入
7　黒色土　黄褐色土ブロック及び黄褐色土多く混入
8　暗褐色土　黄褐色土ブロック、同粒子多量に混入
9　黒色土　黄褐色土粒、木炭、同粒子多量に混入
10　暗褐色土　黄褐色土ブロック多量に混入
11　黄褐色土　黒褐色土粒、同ブロックを少量混入
12　黒色土　3と似るが木炭粒少量混入
13　黄褐色砂質土　暗褐色土多く混入
14　5、8と似るが木炭多く混入

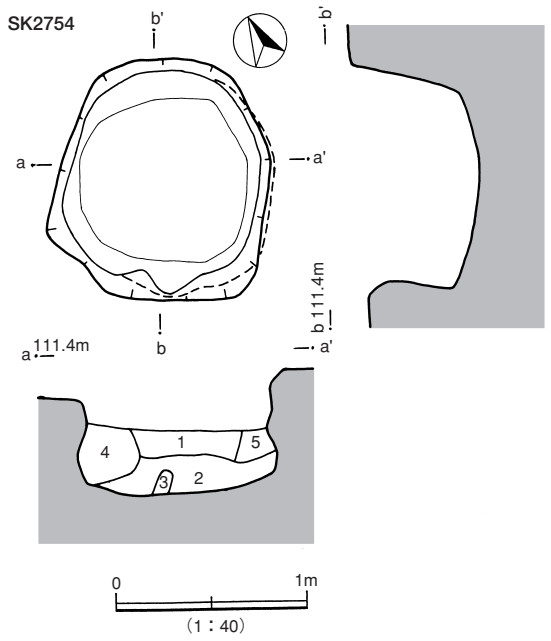
0　1m
（1：40）



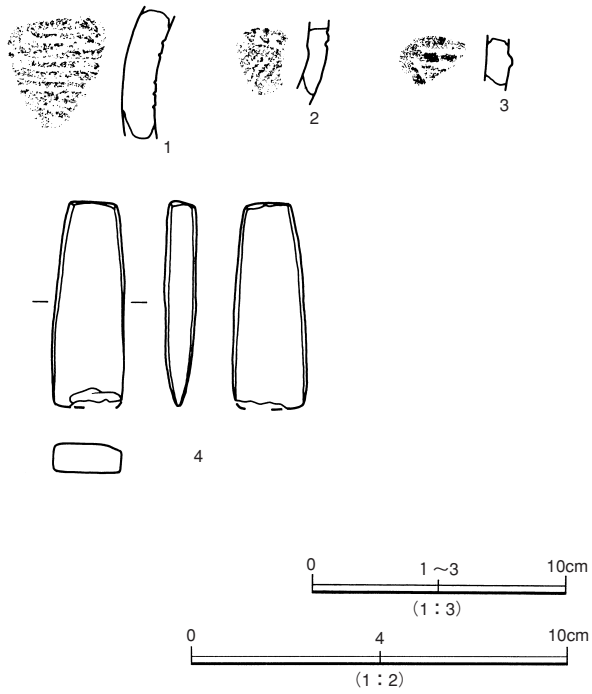
第430図　SK2737 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:499 Date: 2005/03/18 Fri 15:13:54



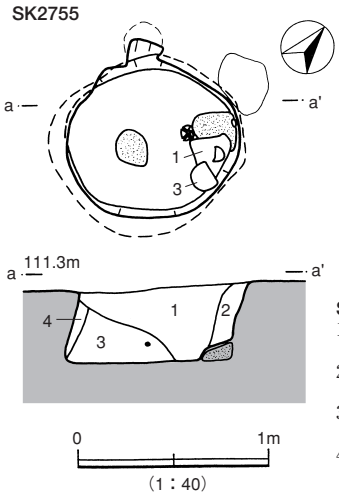


SK2754
1　黒褐色土　　黄褐色土粒少量混入
2　黒褐色土　　1より黄褐色土粒わずかに混入（1よりしまっている）
3　黒褐色土　　黄褐色土多量に混入
4　黒褐色土　　黄褐色土ブロック多量に混入
5　黒褐色土　　黄褐色土粒多量に混入



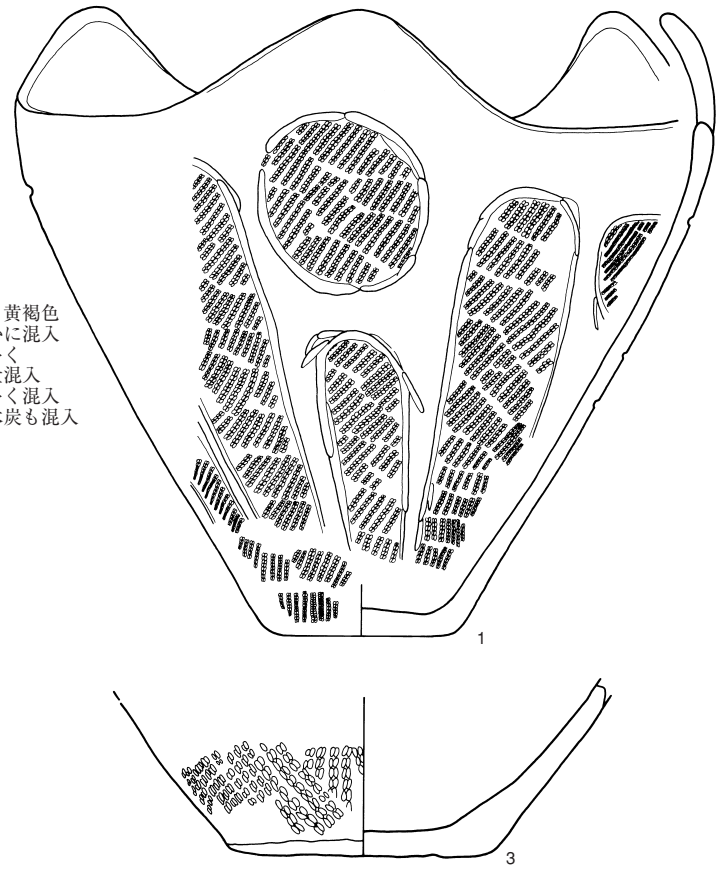
第431図　SK2737・2754 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:500 Date: 2005/03/18 Fri 15:16:00



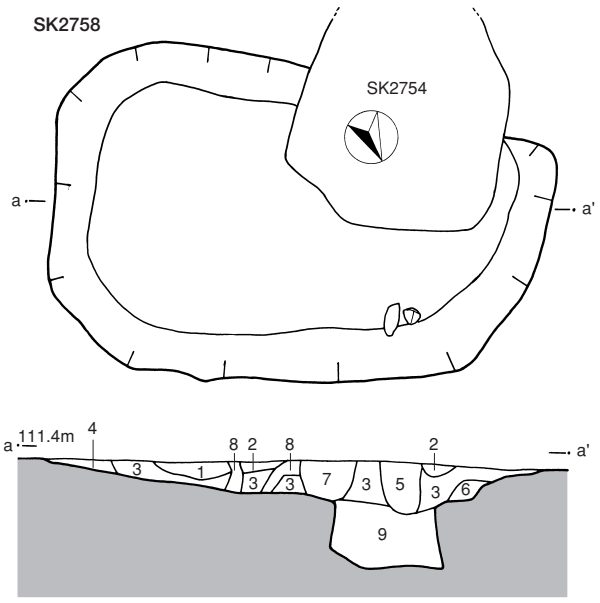
SK2755

1 黒褐色土　木炭多く、黄褐色土粒わずかに混入
2 黒褐色土　黄褐色土多く 木炭粒少量混入
3 黒褐色土　黄褐色土多く混入 焼土粒、木炭も混入
4 黄褐色土　地山



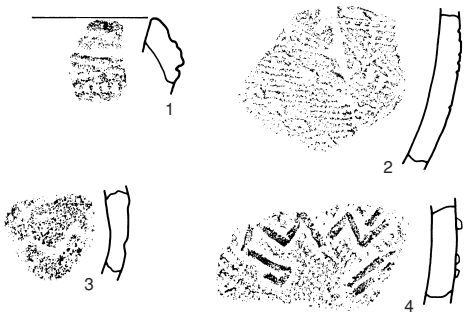
第432図　SK2755 土坑・出土遺物

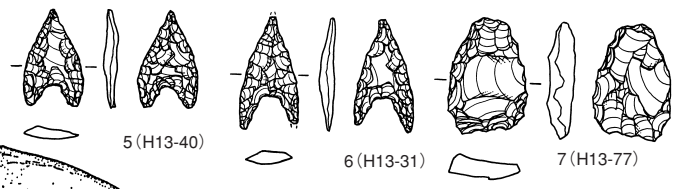
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:501 Date: 2005/03/18 Fri 18:41:40

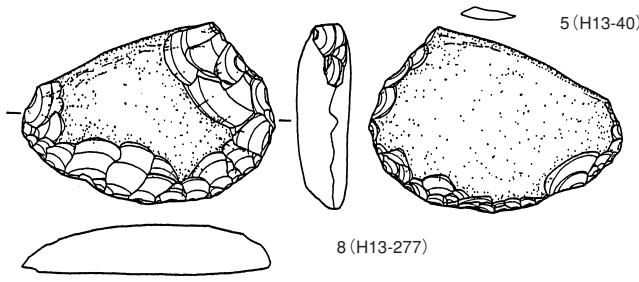


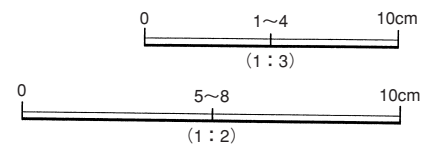
SK2758

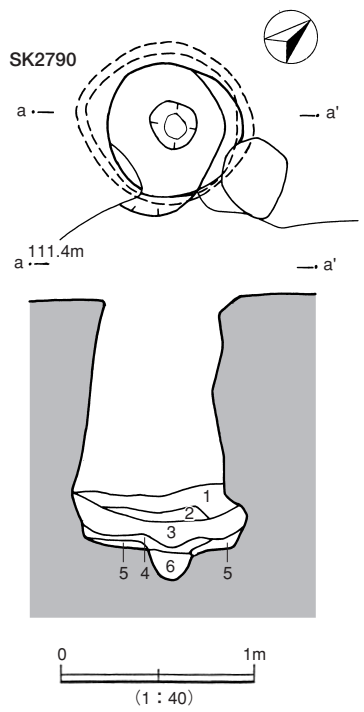
1	黒褐色土	黄褐色土粒多く、木炭粒少量混入
2	黒褐色土	黄褐色土多く混入
3	黒褐色土	黄褐色土粒、木炭粒多く混入
4	黒褐色土	黄褐色土粒多く混入、軟弱、木根撹乱受ける
5	黒褐色土	黄褐色土粒多量に混入、他は3と似ている
6	黒褐色土	4と同様だが、4より黄褐色土粒多く混入
7		アンカーの撹乱
8	暗褐色土	黄褐色土粒多量に混入、木根撹乱
9		SK2754の壁





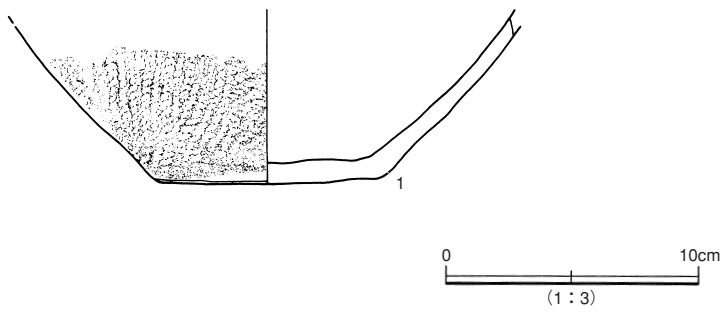






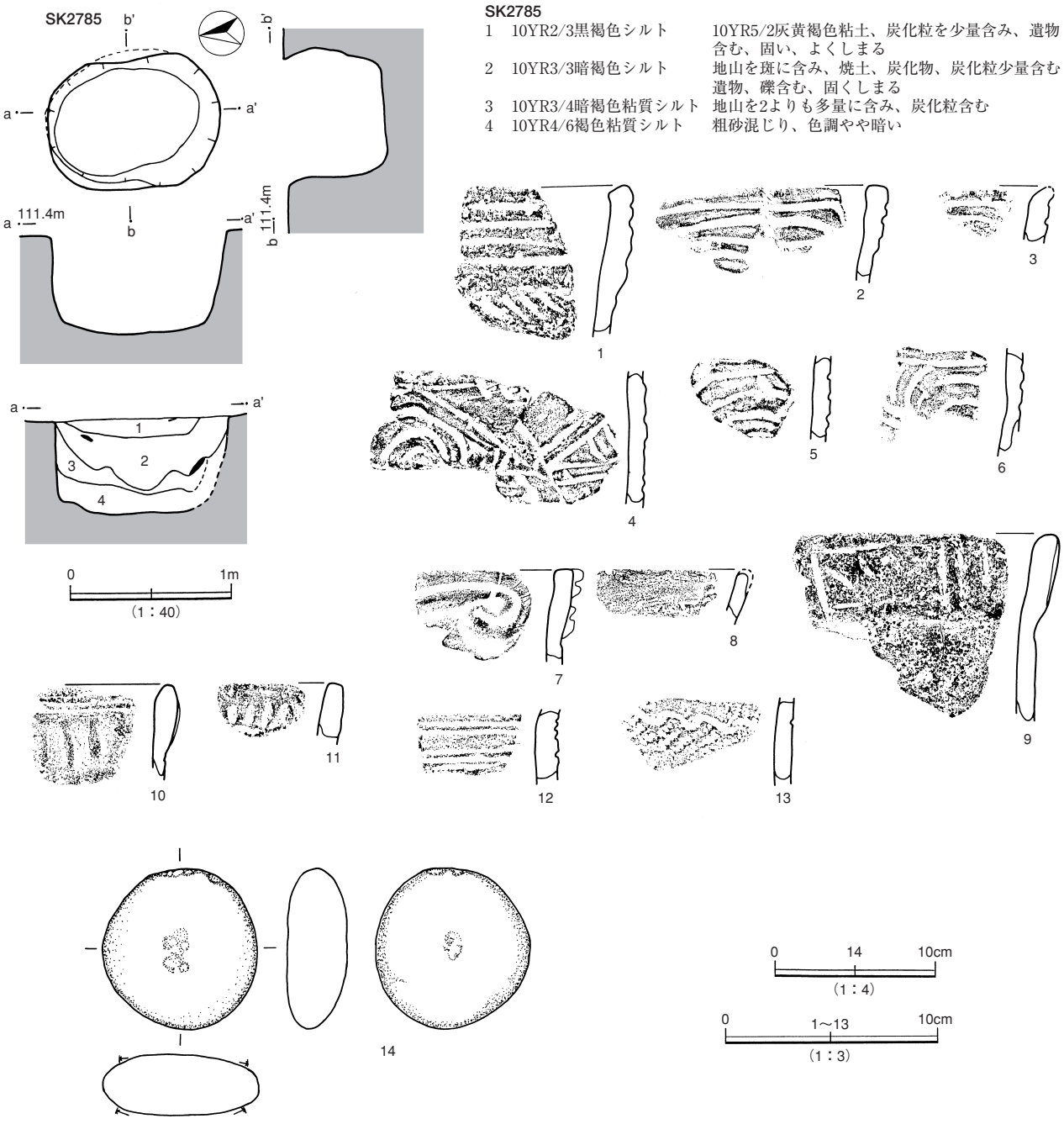
SK2790

1	暗褐色土～黒褐色土	黄褐色土ブロック多量、木炭多量に混入
2	黄褐色土	黄褐色～白色土ブロック
3	暗褐色土～黒褐色土	白色～黄褐色土粒、木炭多量に混入
4	暗褐色土	黄褐色～白色土多く、木炭粒少量混入
5	暗褐色土	黄褐色～白色土粒少量混入
6	暗褐色土	黄褐色～白色土多量に混入



第433図　SK2758・2790 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:502 Date: 2005/03/21 Mon 16:21:25



SK2785

1	10YR2/3黒褐色シルト	10YR5/2灰黄褐色粘土、炭化粒を少量含み、遺物含む、固い、よくしまる
2	10YR3/3暗褐色シルト	地山を斑に含み、焼土、炭化物、炭化粒少量含む遺物、礫含む、固くしまる
3	10YR3/4暗褐色粘質シルト	地山を2よりも多量に含み、炭化粒含む
4	10YR4/6褐色粘質シルト	粗砂混じり、色調やや暗い

第434図　SK2785 土坑・出土遺物

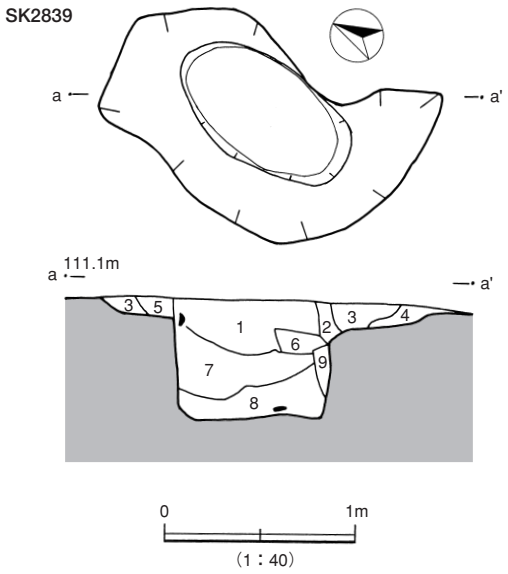
形を呈し、規模は長径1.61m、短径86cmを測る。深さ62cmのやや深い土坑である。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。覆土は黒褐色土を主体とする。

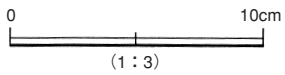
遺物は深鉢片が僅かに出土している。

ＳＫ2845（第435図）

グリッド14－87に位置する。環状集落中央広場の南東に所在する。平面形は不整円形～隅丸方形を呈し、規模は径1.15m、深さ70cmを測る。壁は東壁でオーバーハングしている。本来は

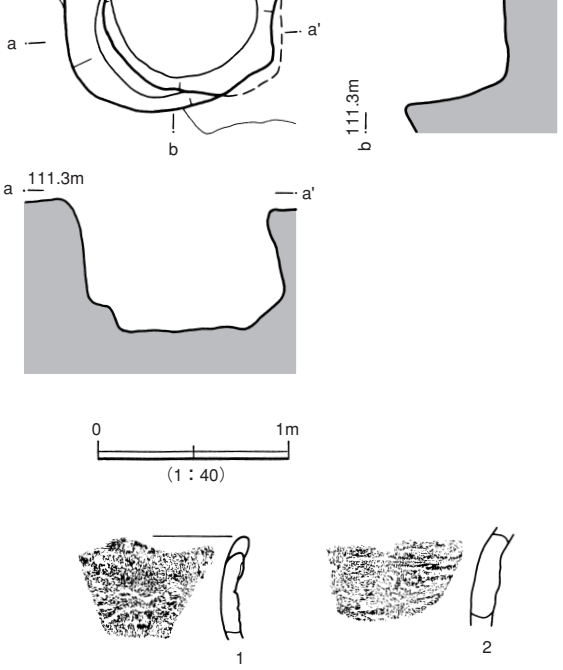
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:503 Date: 2005/03/18 Fri 18:46:59

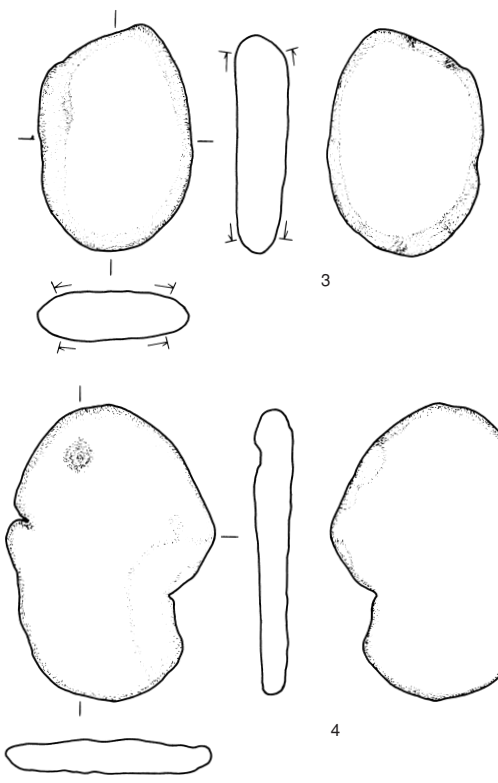


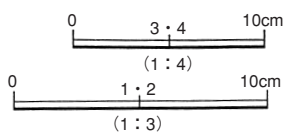


SK2839

1	黒褐色土	黄褐色土粒、焼土粒少量混入
2	黒褐色土	黄褐色土粒多く、やや軟弱な部分あり、撹乱風
3	黒褐色土	黄褐色土多く、焼土粒少量混入
4	暗褐色土	黄褐色土多量に混入
5	黒褐色土	黄褐色土ブロックわずかに混入
6	黒褐色土	3とほぼ同じだが、やや黄褐色土多い
7	黒褐色土	黄褐色土粒多量に混入、木炭粒、黄褐色土少量混入
8	黒褐色土	白色?黄褐色土ブロック、木炭粒、黄褐色土多量







第435図　SK2839・2845 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:504 Date: 2005/03/19 Sat 11:25:02

全体でオーバーハングしていたフラスコ状土坑とみられる。底面は比較的平坦である。深鉢片や磨石が出土している。

ＳＫ2847（第436図）

グリッド13－86に位置する。ＳＫ2845の南に所在する。平面形は楕円形（小判形）を呈し、規模は長径1.44m、短径1.09m、深さ65cmを測る。底面中央に細長い溝を有する。規模は長さ82cm、幅26cm、深さ10cmを測る。北壁・南壁・東壁で３基のピットが検出されている。深さは45～54cmを測る。底面は凹凸がみられ、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土は埋められており、堅くしまっている。

床面に溝状遺構

ＳＫ2860（第436図）

グリッド19－85に位置する。ＳＧ810内の南端付近に所在する。平面形は円形を呈し、北側に大きくオーバーハングしているフラスコ状土坑である。ＳＧ810底面精査中に確認した。規模は長径41cm、短径37cm、深さ40cmを測る。底面は中央部若干凹む。下部に斜位に深鉢が潰れた状況で出土している。埋設土器と思われる。また土器下に挙大の礫、フレーク数点が出土している。

径５０ｃｍのフラスコ状土坑

ＳＫ2862（第436図）

グリッド18－85に位置する。ＳＧ810内南端に所在する。平面形は隅丸方形ないしは円形を呈し、ＳＫ2878と重複し切られている。

規模は長軸1.35m、短軸1.15m、深さ23cmを測る。断面は浅い皿状を呈し、底面は中央がやや凹んでいる。底面でピットが３基検出されている。２層まで粘土が混じり堅くしまっている。人為的な埋め土である。遺物は深鉢等の小片が出土している。

ＳＫ2878は径60～70cmの円形のフラスコ状土坑で深さは40cmほどである。

ＳＫ2848（第437図）

グリッド13－87に位置する。環状集落中央広場の周辺部に所在する。平面形は楕円形を呈し、南側でＳＫ2632と切り合っている。ほとんどの壁面でオーバーハングするフラスコ状土坑である。規模は長径1.7m、短径1.1m、深さ50cmを測る。断面は台形を呈し、底面は平坦で壁は崩れている。覆土は４層までが確認された。３層は人為的埋土、２層は腐植した自然堆積土で礫が潜り込んでいる。１層は後に掘り込まれたと考えられる。

自然堆積土と人為的埋土

遺物は、中央部に多く、特に後で掘られた１層内に土器が多く、石匙・石皿・凹石が出土している。

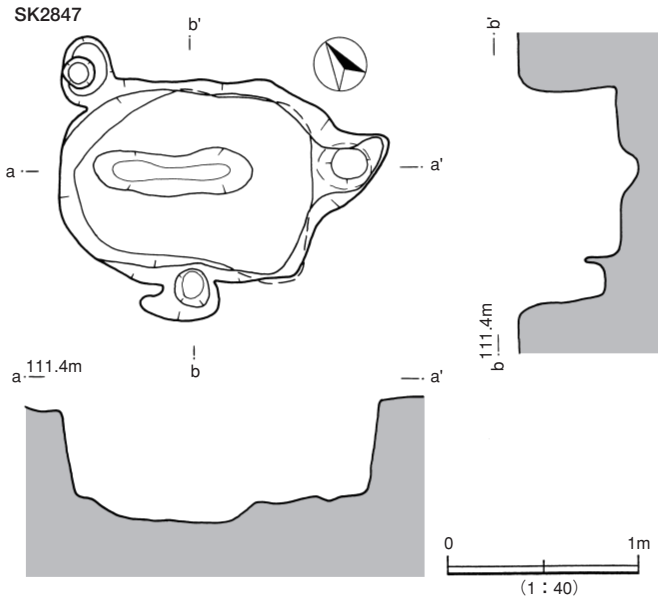
ＳＫ2864（第438図）

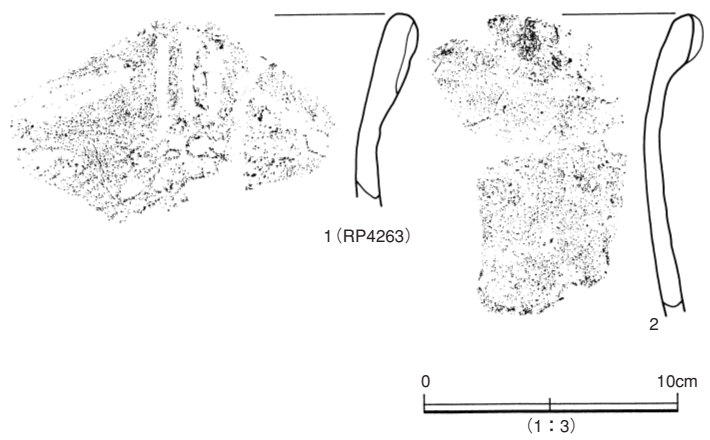
グリッド18－85に位置する。ＳＧ810精査後プランを確認した。２基の土坑が切り合う遺構とみられる。ＳＫ2864ａは北半部を重複する浅い土坑に壊されている。ａはＳＧ810の上から掘り込んでいる。平面形は円形を呈し、規模は径１m、深さ70cmを測る。断面は袋状を呈し西に大きくオーバーハングしている。底面は凹凸がある。覆土は自然堆積と思われ、土器が捨てられている（ＲＰ4269）。一括土器は、鉢の大形片が横位に出土している。遺物は深鉢片や掻器（ＲＱ4272・4271）が出土している。

ＳＫ2865（第438図　写遺物－105）

グリッド14－87に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.38m、短径55cm、深さ15cm

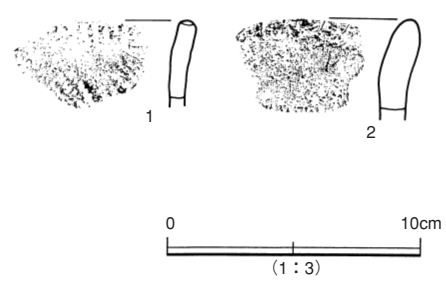
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:505 Date: 2005/03/18 Fri 18:50:27



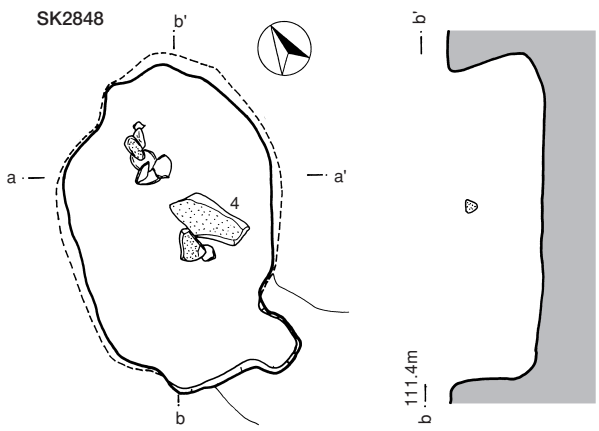


SK2862

1　10YR3/2　黒褐色腐植シルト
　　粘性あり、しまりあり
2　10YR6/2　明黄褐色粘質シルト
　　10YR3/2黒褐色腐植質シルト粒混じり
　　炭化物少量含む、細砂混じり、遺物出土、しまりあり
3　10YR6/6　明黄褐色粘質シルト
　　2よりもしまりがあり、10YR3/2黒褐色粘質シルトが多い、遺物出土、砂混じり、炭化物粒あり

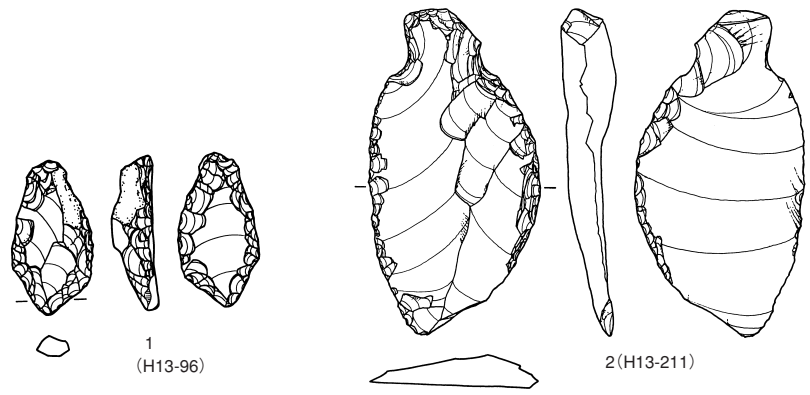


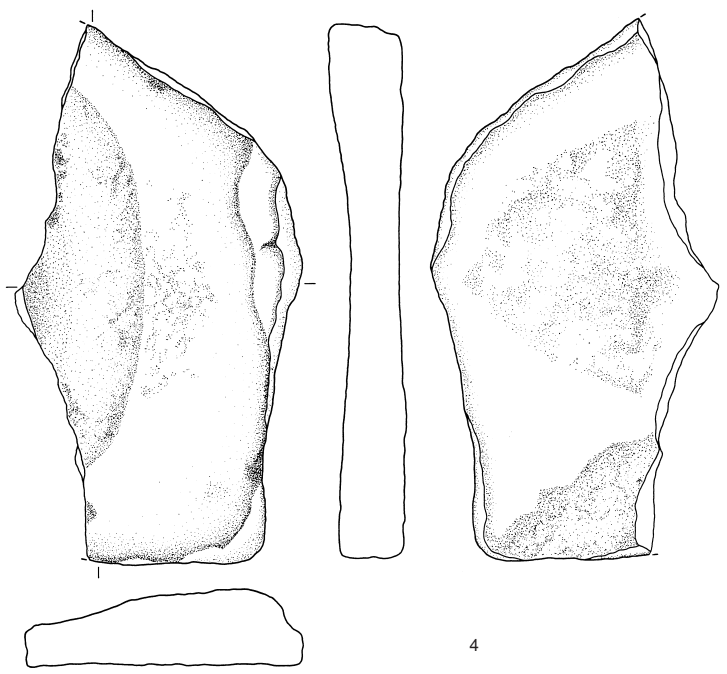
第436図　SK2847・2860・2862 土坑・出土遺物

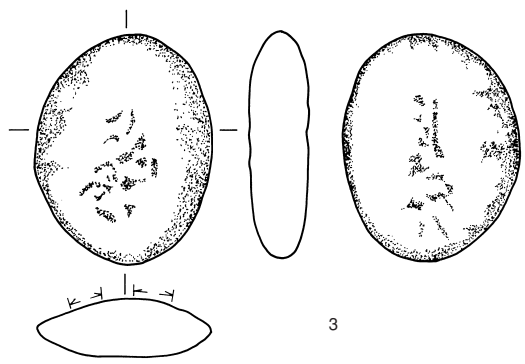


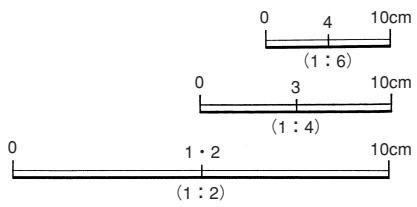
SK2848

1	黒色土	木炭粒わずかに混入
2	黒褐色粘質土	やや黒色
3	暗黄褐色土	黄褐色土、同粒子、白色土粒子多量に混入 埋め戻した土
4	黄褐色土	地山？暗褐色土少量混入



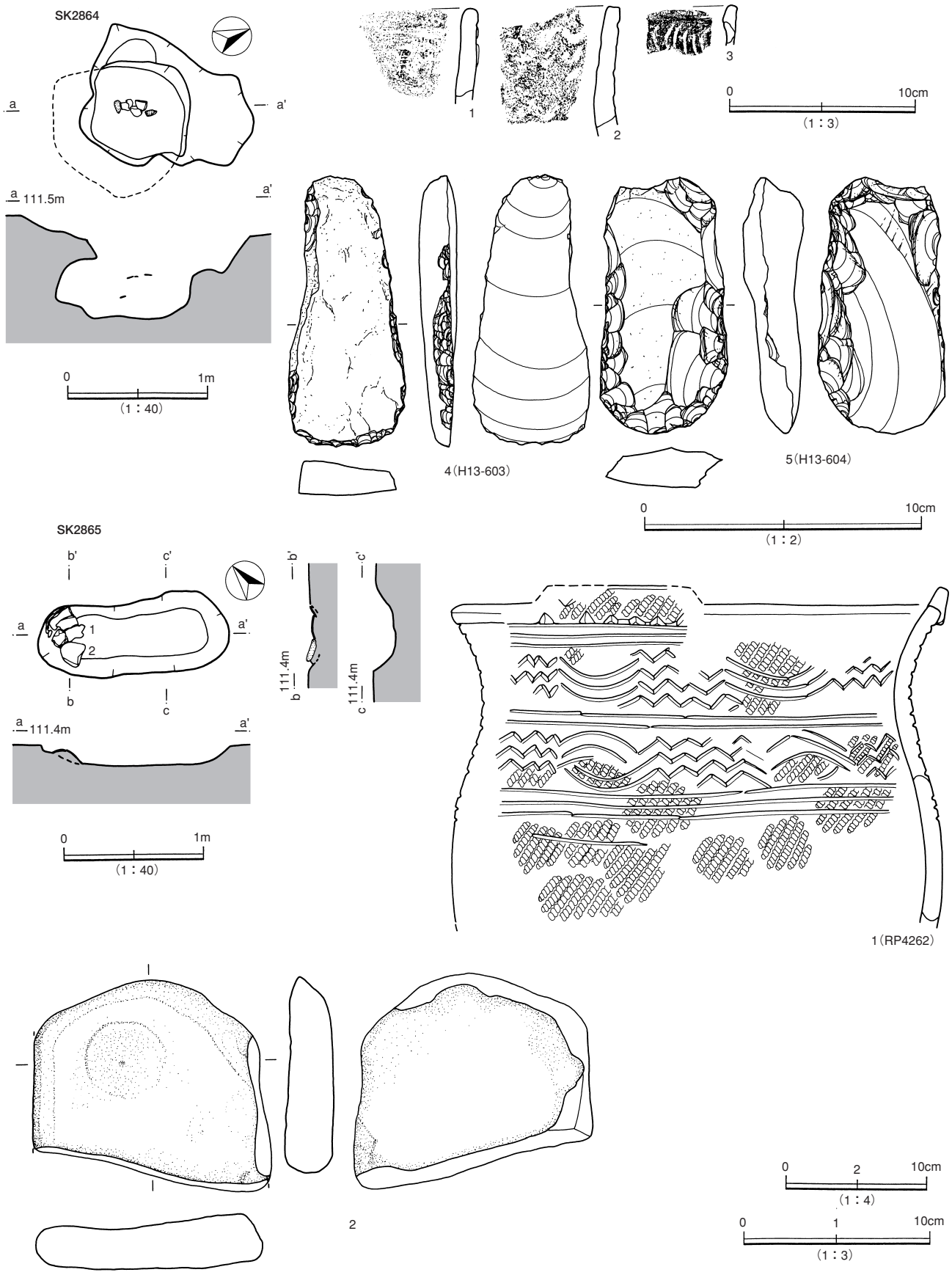






第437図　SK2848 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:507 Date: 2005/03/18 Fri 18:55:30



第438図　SK2864・2865 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:508 Date: 2005/03/19 Sat 11:26:56

を測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩く傾斜している。北西端に一括土器１（ＲＰ4246）が押し潰されて検出され、石皿も出土している。本址は墓壙とみられる。

墓　　壙

遺物は平行沈線による連続山形文や弧状文などが施される深鉢や小形の石皿である。

ＳＫ2867（第439図）

グリッド18－85に位置する。ＳＧ810内南端で検出された。平面形は円形を呈し、規模は長径1.58m、短径1.21m、深さ51cmを測る。断面はＵ字形を呈し、底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土上面はＳＧ810の底面で、木根の撹乱を受ける。遺物は凹石の他、深鉢の小片が少量出土している。

ＳＫ2870（第439図）

グリッド17－86に位置する。ＳＧ810の底面で検出されたが、ＳＧ810との新旧関係は不明である。平面形は円形を呈し、規模は径1.4m、深さ30cmを測る。断面は僅かにフラスコ状を呈し、東にオーバーハングしている。開口部は当初張り出していたとみられるが、壁が崩れほぼ垂直である。底面は平坦である。

覆土は９層まで確認された。１・７層は後にピット状に掘り込まれ、そこに石が入り込んだとみられる。８・９層は褐色粘土ブロックの混合土である。土器片が出土している。

一度埋められて再度掘り込まれた土坑である。遺物は深鉢片が少量出土している。

ＳＫ2892（第439図）

グリッド20－85に位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.35m、短径1.15m、深さ65cmのフラスコ状の土坑である。断面は台形を呈し、底面はほぼ平坦で壁が崩れている。覆土は埋土で８層まで確認された。１層は粘土層で貼っている。他は人為的に埋められた土である。上面は木根の撹乱を受けている。

人為的埋土

ＳＫ2886（第440図　写遺物－12・93）

グリッド９－91に位置する。ＳＧ810内の北端で検出された。ＳＧ810の上から掘り込まれており、墓壙と推測される。平面形はやや不整だが隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.05m、短軸73cm、深さ30cmを測る。断面は皿状で底面はやや凹凸がみられる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は１の深鉢型土器（ＲＰ4267）が出土している。出土レベルは底面よりやや上位で検出された。

ＳＫ2891（第440図）

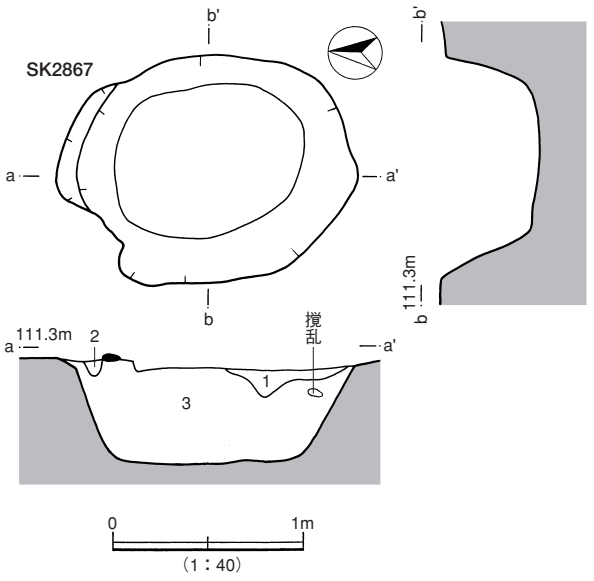
グリッド９－89に位置する。環状集落中央広場の外縁部北東端に所在する。平面形は不整円形を呈する。確認面の規模は上面で長径80cm、短径66cm、深さ98cm、底面では長径1.46m、短径1.32mの非常に深いフラスコ状の土坑である。断面は台形を呈し、底面は平坦で端が丸味を帯びて立ち上がる。また底面は砂層まで達している。壁はオーバーハングが著しい。

遺物は深鉢口縁部片が少量出土している。

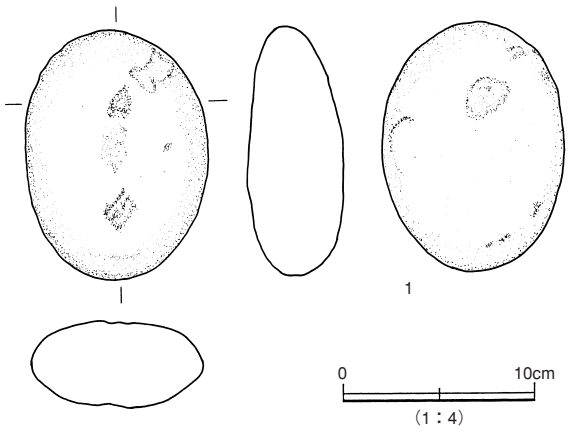
ＳＫ2893（第441図）

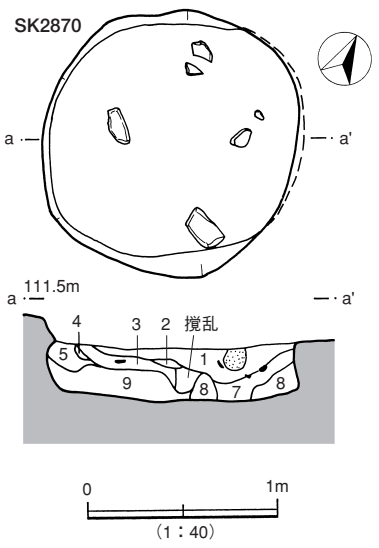
グリッド16－86に位置する。ＳＴ835とＳＫ834の間に所在する。平面形は不整円形を呈し、規模は径70cm、深さ47cmを測る。断面は摺鉢状を呈する。遺物は鉢型土器体部片（ＲＰ2461）が出土している。

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:509 Date: 2005/03/18 Fri 18:58:44



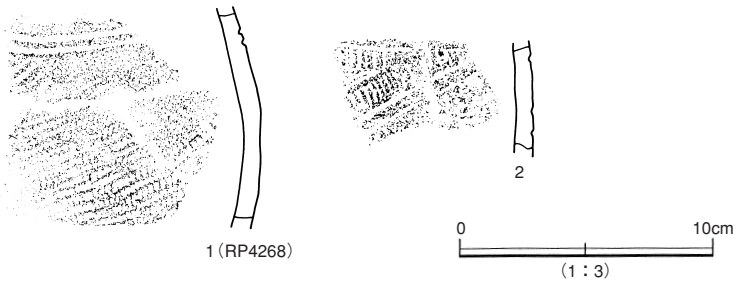
SK2867
1　10YR3/3　暗褐色粘質シルト　しまりあり、粘性あり、遺物出土
2　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　しまりあり、粘性あり、遺物出土
3　10YR3/3　黒褐色・10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック混合土
　　遺物出土、3～5cmの粒状ブロックまじり

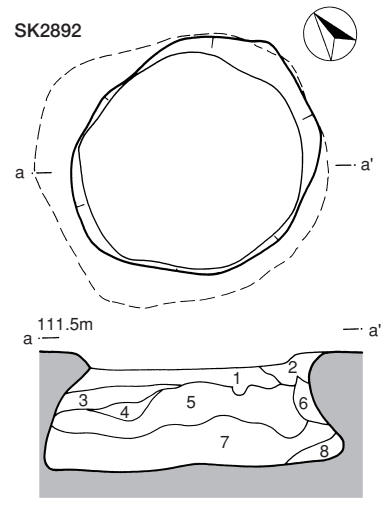




SK2870

1	10YR3/2　黒褐色シルト	遺物含む、炭化物粒あり、礫含む
2	10YR6/6　明黄褐色粘質シルトブロック	
3	10YR3/2　黒褐色シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロックの混合土 しまりあり、遺物出土、礫片入る
4	10YR6/6　明黄褐色粘質シルトブロック	2と同じブロック土
5	10YR3/2　黒褐色シルト	3よりやや10YR3/2黒褐色土が多い、炭化粒含む
6	10YR3/2　黒褐色シルト	根による撹乱、3と同じ土質
7	10YR4/1　褐灰色シルト	炭化物粒混じり、土器片あり、しまりあり
8	10YR4/1　褐灰色シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトの混合土、粘質シルトブロックが多い
9	10YR4/1　褐灰色シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトの混合土、粘質シルトブロックが多い

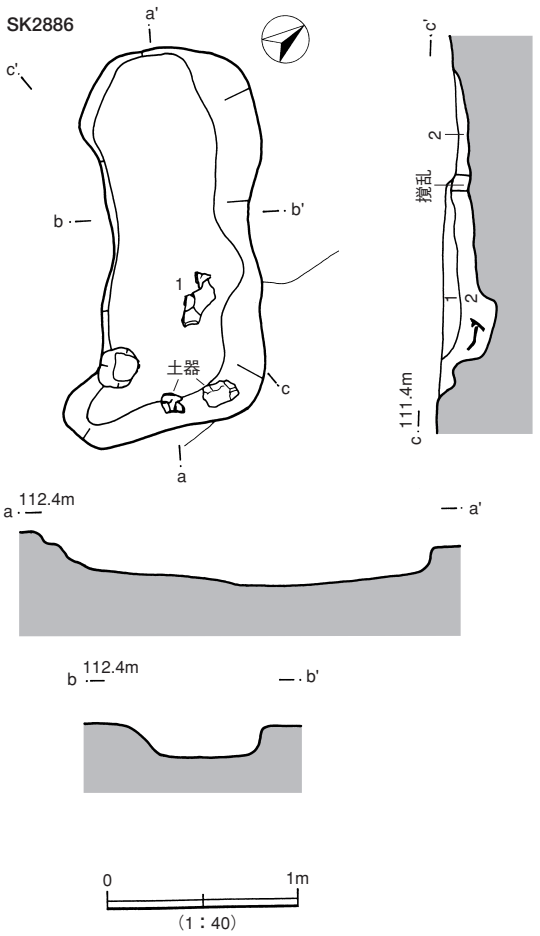




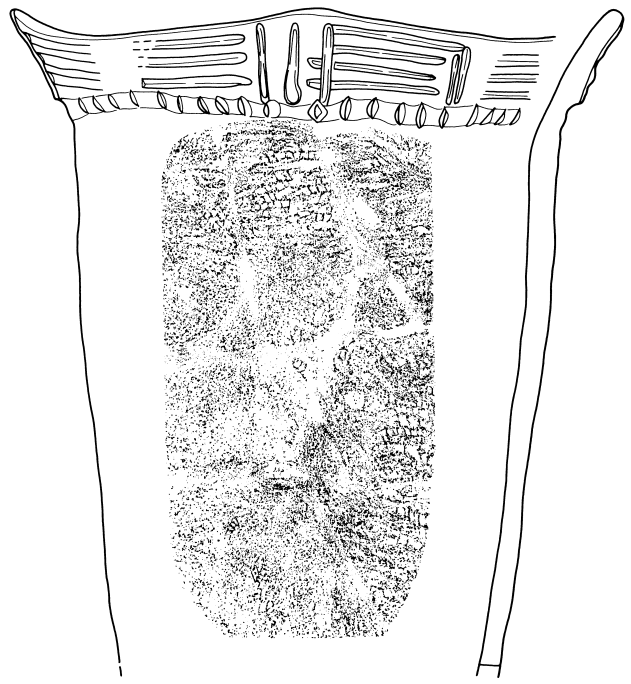
SK2892

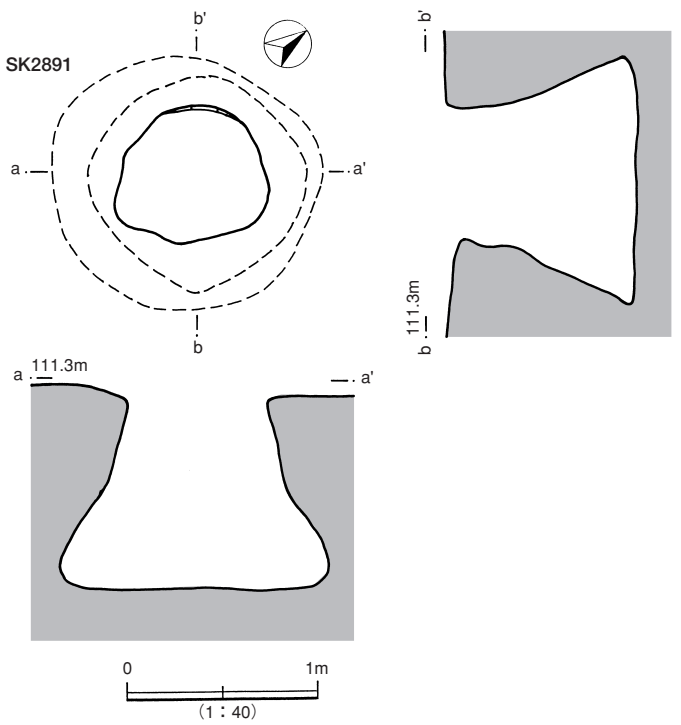
1	10YR6/6　明黄褐色粘質シルト	
2	10YR3/1＋10YR6/6　黒褐色+明黄褐色粘質シルト	
3	10YR6/6　明黄褐色粘質シルト	灰白色粘土粒まじり、炭、焼土が混じる
4	10YR5/3　にぶい黄褐色粘質シルト	しまりあり
5	10YR4/3　にぶい黄褐色粘土	しまり、粘性あり、遺物出土、砂含む
6		5よりも粘土粒多い、炭化物少量
7		5よりもしまりあり
8	10YR4/1　褐灰色粘質シルト	砂多く含む

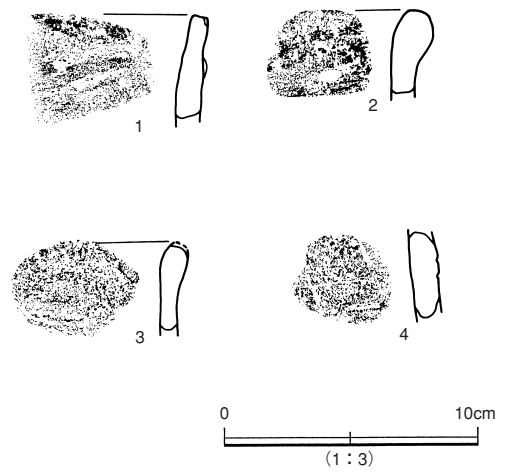
第439図　SK2867・2870・2892 土坑・出土遺物



SK2886
1　10YR3/2　黒褐色シルト　微砂、しまり少ない
2　10YR3/2　黒褐色シルト　微砂、10YR6/6明黄褐色シルトブロック粒混じり、炭少量混じる、粘性あり

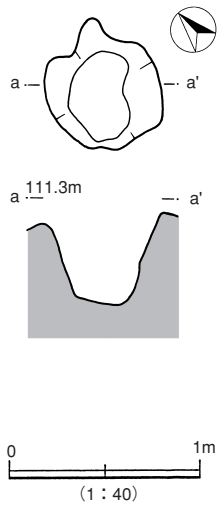




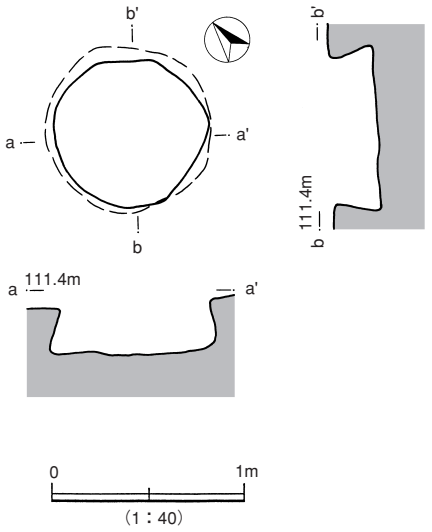


第440図　SK2886・2891 土坑・出土遺物

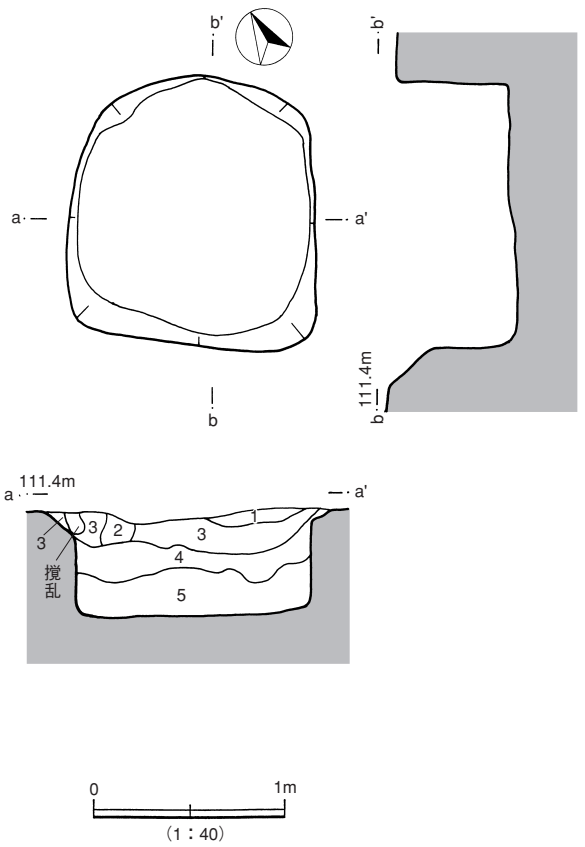
SK2893



SK2900

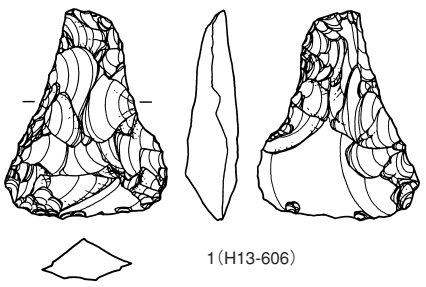


SK3002



SK3002

1	10YR3/2 黒褐色シルト	砂礫が多い、遺物出土
2	10YR3/2 黒褐色シルト	砂礫少ない
3	10YR6/6 明黄褐色粘質シルト	10YR3/2黒褐色シルト、小粒が混じる、強いしまりあり
4	10YR6/6 明黄褐色粘質シルト	3よりブロックの粒が大きい、遺物出土、強いしまりあり
5	10YR6/6 明黄褐色粘質シルト	3よりブロックの粒が細かい、強いしまり、下部に砂が入る



第441図　SK2893・2900・3002 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:512 Date: 2005/03/19 Sat 11:28:42

ＳＫ2900（第441図　写遺構－184）

グリッド17－86に位置する。平面形は円形を呈する。規模は径80cm、深さ25cmを測るフラスコ状土坑である。断面は台形を呈し、底面は平坦である。

ＳＫ3002（第441図）

グリッド14－86に位置する。東側に立ち木があり撹乱を受け精査が困難であった。平面形は円形～隅丸方形で上部は撹乱を受けている。規模は長軸1.4m、短軸1.3m、深さ56cmを測る。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。上部は緩やかに傾斜していく。赤褐色砂層まで掘り込まれており、堅い砂地になっている。

人為的埋土と自然堆積

覆土は５層まで確認された。３～５層は人為的埋土で斑状に堅くしまる。２層は木根痕、１層は凹みへの自然堆積と思われる。遺物は土器片、小礫、石器が覆土上位から出土する。

ＳＫ3006（第442図）

グリッド14－87に位置し、環状集落中央広場周辺部の東端に所在する。前記ＳＫ2848と切り合う。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.55m、短径1.2m、深さ50cmを測る。

断面は方形を呈し、底面は平坦で壁は垂直に立ち上がっている。覆土は３層まで確認された。２・３層は人為的埋土である。

遺物は主に１層から検出され、深鉢口縁部片や多数の凹石・磨石が出土している。

ＳＫ3053（第443図）

グリッド20－86に位置する。平面形は不整形を呈し、南側にややオーバーハングしている。規模は長軸1.23m、短軸94cm、深さ23cmの土坑である。断面は皿状、底面は中央がやや低くなる。当初、浅いフラスコ状土坑であったとみられる。

覆土は６層まであり、２・３層は撹乱を受けている。遺物は僅かに出土している。

ＳＫ3082（第443図　写遺構－184）

グリッド15－87に位置する。ＳＧ810東に隣接する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.12m、短径1.02m、深さ65cm、底面は長径1.34m、短径1.24mを測るフラスコ状土坑である。断面は台形を呈し、底面はほぼ平坦である。覆土は３層に分けられ、黒褐色シルトを主体としている。

人為的埋土

人為的に埋められ堅くしまっている。１層から石器、土器片、凹石が出土している。

ＳＫ3110（第443図　写遺構－185）

グリッド７－96に位置する。平面形は円形を呈し、北側にオーバーハングしているフラスコ状土坑である。規模は径１m、深さ44cmを測る。底面に径40cm、深さ30cmのピットを１基有する。底面は平坦である。

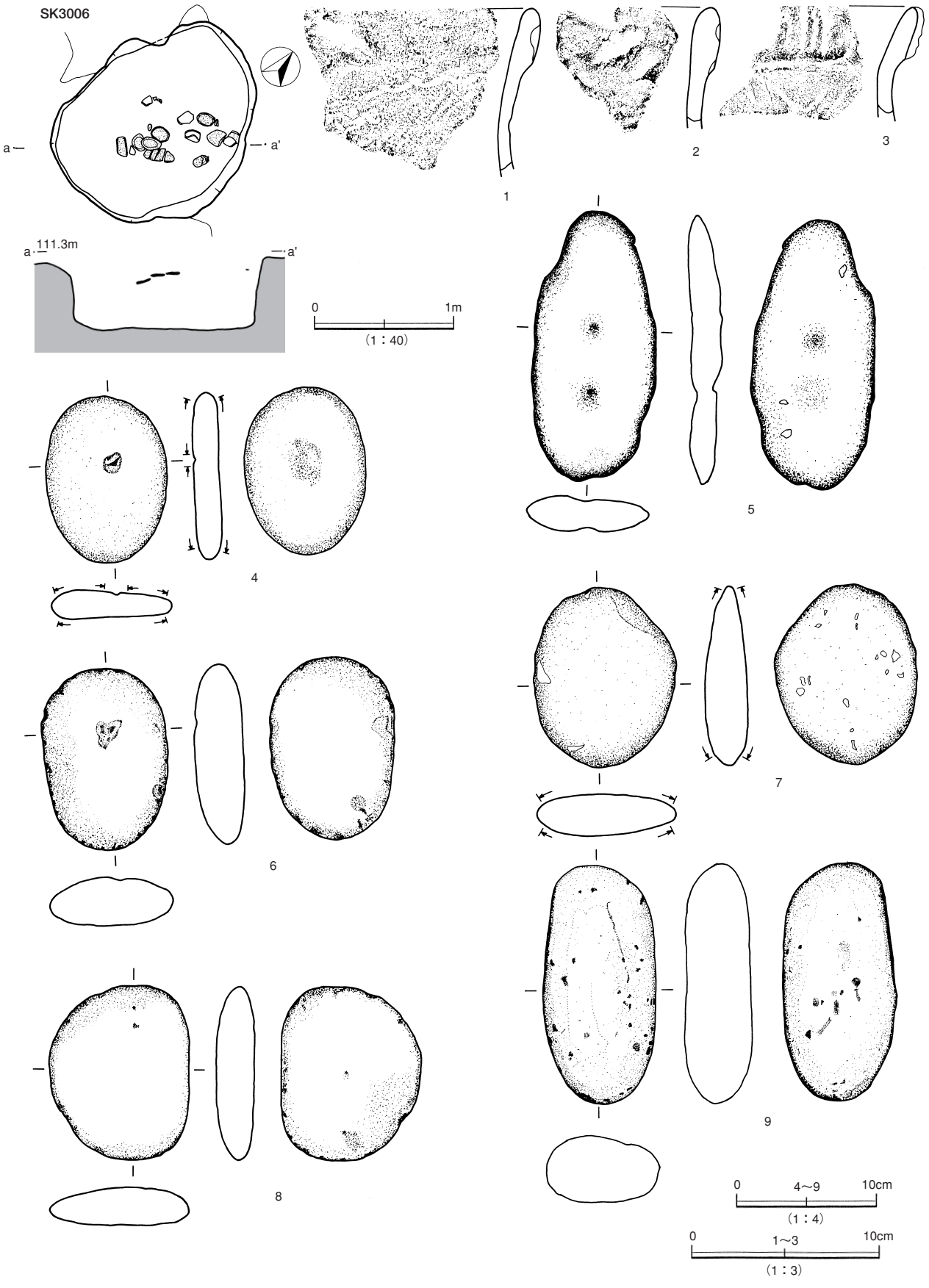
ＳＫ3111（第444図　写遺構－185）

グリッド８－96に位置する。ＳＴ3812大型住居跡の北側に隣接する。平面形は不整円形で長径1.04m、短径1.02m、深さ36cmを測るフラスコ状土坑である。壁は全体でオーバーハングする。底面は平坦だが中央部に径30cm、深さ22cmのピットを有する。

底面にピット

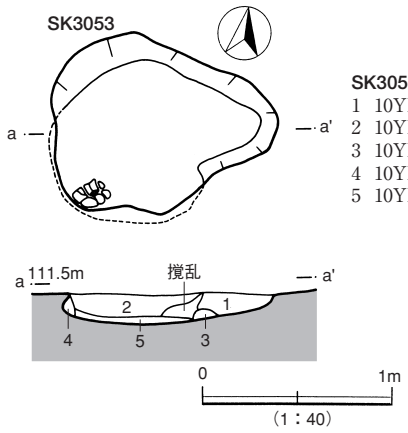
覆土は暗褐色腐植質シルトを主体とする。出土遺物は１～５の石匙・掻器・磨石がある。５は擦痕があり砥石に使用されたものか。

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:513 Date: 2005/03/18 Fri 19:08:25



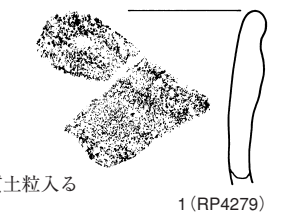
第442図　SK3006 土坑・出土遺物

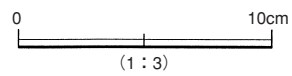
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:514 Date: 2005/03/18 Fri 19:10:39

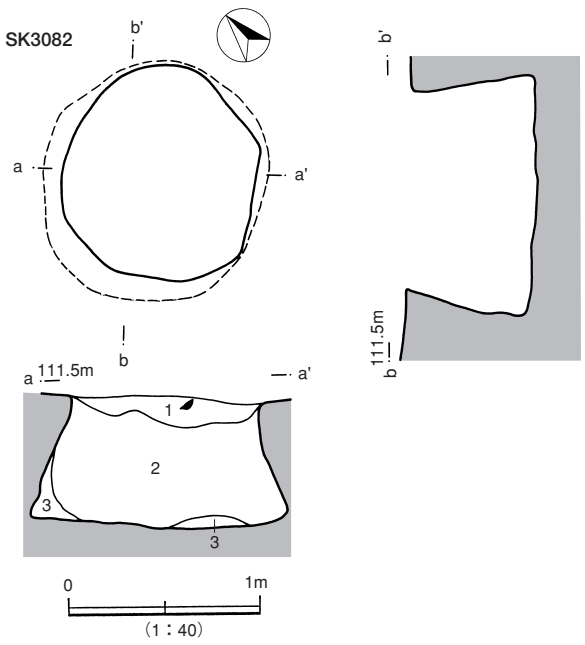


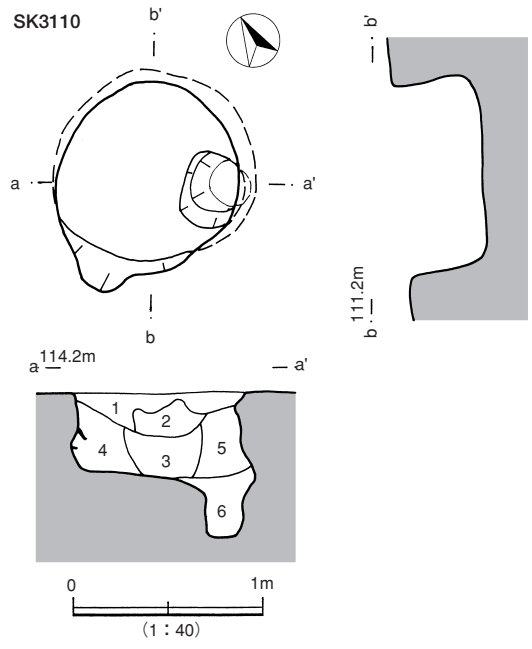
SK3053

1　10YR3/2 黒褐色腐植質土
2　10YR3/1 黒褐色土　粘性少、しまり少、1に近い
3　10YR6/6 明黄褐色粘質土　粘質土ブロック大
4　10YR4/4 褐色粘質シルト　壁崩れ、2と地山の混合
5　10YR3/1 黒褐色粘質シルト　炭化物、炭含み遺物出土
下部に地山10YR6/6明黄褐色粘質土粒入る



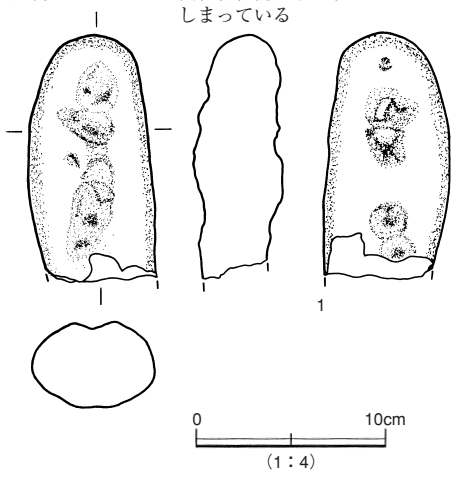






SK3082

1　10YR3/2 黒褐色シルト　腐植質シルト、遺物出土、固くしまっている
2　10YR3/2 黒褐色腐植シルト　ブロック少量、10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック、遺物出土、固くしまっている
3　10YR3/1 黒褐色シルト　炭化物粒混じり、砂にはさまれた状態、固くしまっている

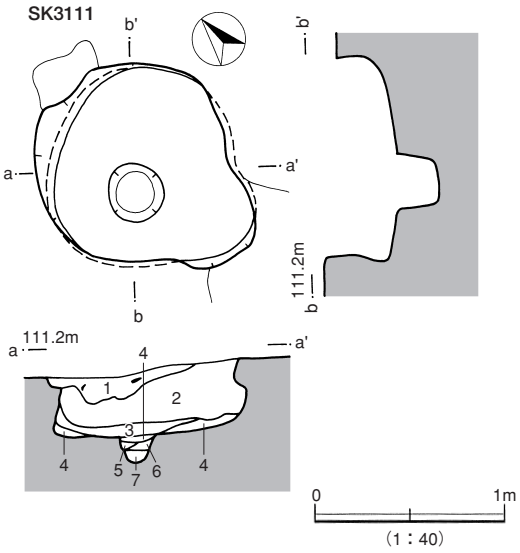


SK3110

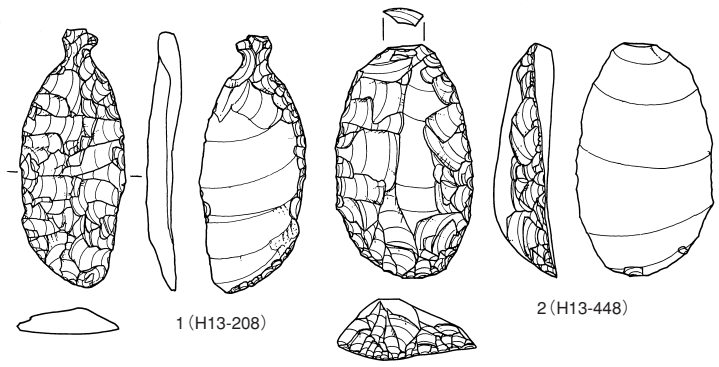
1　暗褐色土　黄褐色土粒、細砂粒少量混入
2　暗褐色土　黄褐色砂質土ブロック及び細砂粒を多量に混入
3　黒褐色土　黄褐色土粒、細砂粒多量に混入、木炭粒も混入
4　黒褐色土　黄褐色土ブロック少量、同粒子を多量に混入
木炭粒多く混入
5　黒褐色土　3に似るが、3より黄褐色土粒少ない
6　黒褐色土　黄褐色土粒、黄褐色砂質土多く混入

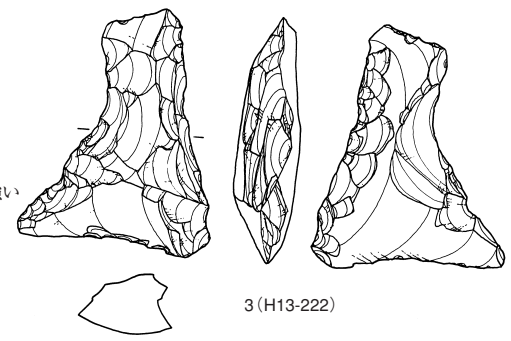
第443図　SK3053・3082・3110 土坑・出土遺物

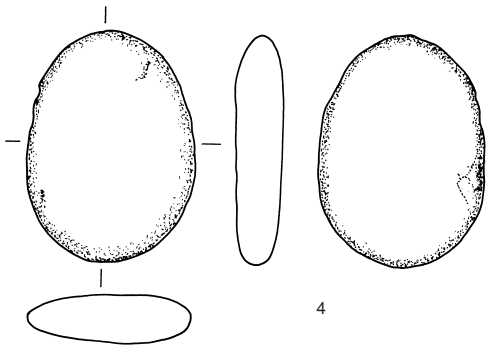
Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:515 Date: 2005/03/18 Fri 19:13:19

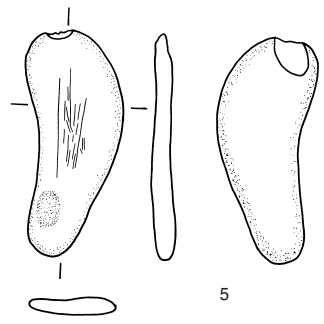


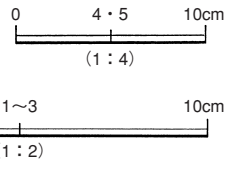
SK3111
1　10YR3/3 暗褐色腐植質シルト 小礫入る、遺物入る
2　10YR3/3 暗褐色腐植質シルト 10YR7/6明黄褐色シルト小粒がまじる、しまり強い
3　10YR3/1 黒褐色腐植質シルト 炭化物少量、石器あり
4　10YR4/4 褐色シルト　壁崩れ、細砂多い
5　10YR3/1 黒褐色腐植質シルト 粘性あり
6　10YR4/4 褐色シルト　4と近似しているが、砂が多い
7　10YR5/2 灰黄褐色砂質シルト 柔らかい





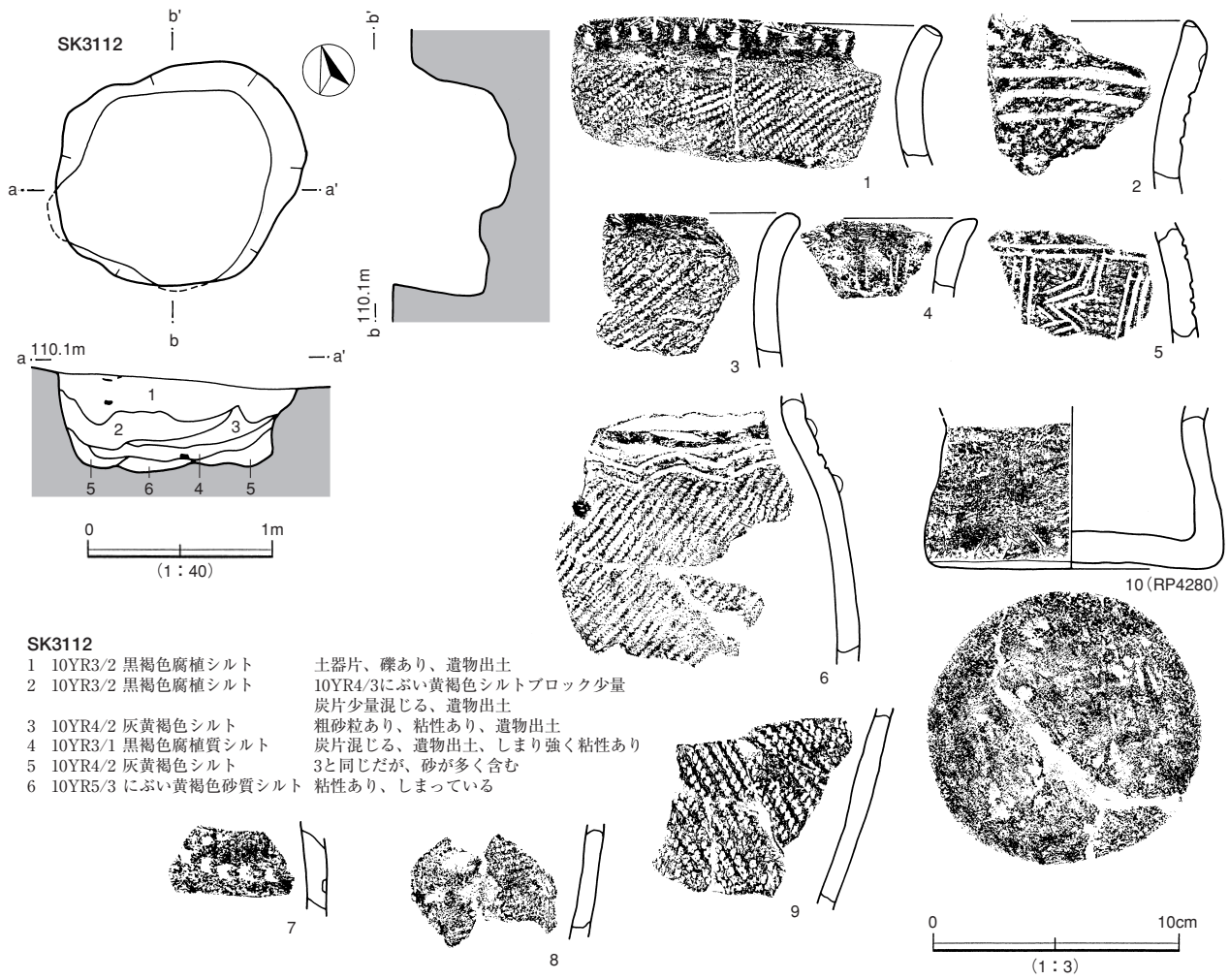






第444図　SK3111 土坑・出土遺物

Title:P493-516_縄文時代.ec6 Page:516 Date: 2005/03/19 Sat 11:30:31



SK3112

1	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	土器片、礫あり、遺物出土
2	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	10YR4/3にぶい黄褐色シルトブロック少量 炭片少量混じる、遺物出土
3	10YR4/2 灰黄褐色シルト	粗砂粒あり、粘性あり、遺物出土
4	10YR3/1 黒褐色腐植質シルト	炭片混じる、遺物出土、しまり強く粘性あり
5	10YR4/2 灰黄褐色シルト	3と同じだが、砂が多く含む
6	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質シルト	粘性あり、しまっている

第445図　SK3112 土坑・出土遺物

ＳＫ3112（第445図）

グリッド８－96に位置する。ＳＴ3703大型住居跡の西側に隣接する。平面形は円形で長径1.4m、短径1.17mを測る。深さは60cmでやや深い土坑である。壁は西側でオーバーハングしている。底面は凹凸がある。覆土は黒褐色シルトを主体とする。

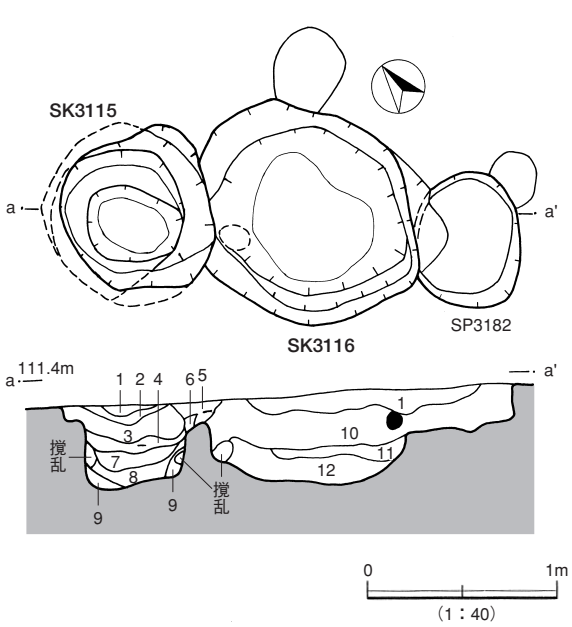
遺物は１～10の半截竹管文の深鉢が出土している。

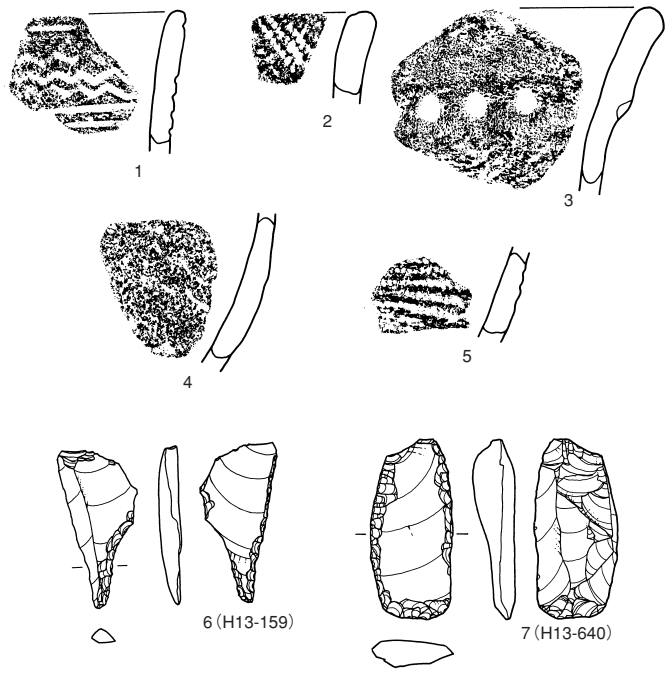
ＳＫ3115・ＳＫ3116・ＳＰ3182（第446図）

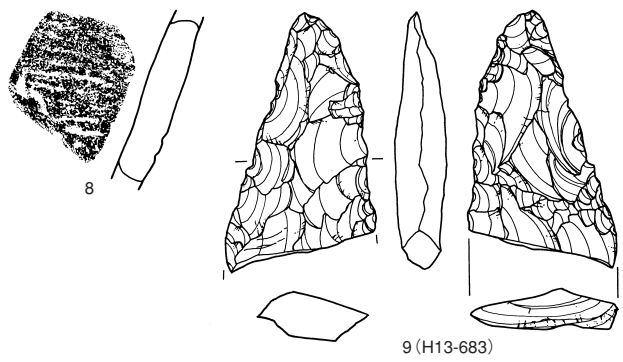
ＳＫ3115はグリッド８－95に位置する。ＳＴ3812大型住居跡内に所在する。平面形は円形を呈する。フラスコ状土坑と考えることもできるが、大型柱穴の可能性もある。断面図からＳＫ3116を切っているようである。規模は径90cm、深さ75cmを測る。断面はセクション図作成時より30cm程深くなる。底面は摺鉢状を呈し、底面中央部に平坦面がある。壁はオーバーハングしていたようだ。覆土はにぶい黄褐色～灰黄褐色シルトを主体とする。

ＳＫ3116はＳＫ3115と重複し、基本的に円形の土坑である。規模は径1.1m、深さ50cmを測

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:517 Date: 2005/03/19 Sat 11:32:35







SK3115、SK3116

1	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	
2	10YR4/3 にぶい黄褐色シルト	
3	10YR5/3 にぶい黄褐色粗砂	炭片少量混じる
4	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック
5	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	1と同じ
6	10YR5/3 にぶい黄褐色粗砂	3よりやわらかい土性流れ込み
7	10YR6/6 明黄褐色粘質シルトブロック	3、4小ブロックまじり
8	10YR4/2 灰黄褐色シルト	
9	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	壁くずれ
10	10YR2/1 黒色腐植質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック、2～4cm斑状に入る
11	10YR3/1 黒褐色シルト	砂混じり、炭化物少量
12	10YR2/1 黒色土	10より黄褐色粘土粒が多く下部は地山土がまじりこむ

1～7 ― SK3116
8・9 ― SK3115

0　1～5・8　10cm
(1：3)

0　6・7・9　10cm
(1：2)

第446図　SK3115・3116 土坑・出土遺物

る。底面に平坦部があり、壁はほぼ垂直に掘り込まれ、やや摺鉢状の底部に至る。ＳＰ3182を切っているように見えたが、ＳＰ3182と同じ覆土である。黒褐色シルトを主体とする。

ＳＰ3182の平面形は円形を呈し、規模は径60cm、深さ20cmの小坑である。平面図作成時ではオーバーハングしていないが、精査当初はオーバーハングしていた。フラスコ状土坑とみられる。底面は平坦である。

遺物はＳＫ3115及び3116から深鉢片・石錐・掻器が少量出土している。

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:518 Date: 2005/03/19 Sat 11:34:08

ＳＫ3117・3179・3195（第447図）

ＳＫ3117はグリッド９－96に位置する。ＳＴ3812大型住居跡と重複する。堆積土は黒褐色腐植土～褐色腐植土を主体とする。出土遺物は土器及び石鏃などが出土している。本址は３～４基の土坑からなる。ＳＫ3117Ａはフラスコ状土坑、その大部分をＢないしＣの土坑に壊される。平面形は円形であったと思われる。Ｂは隅丸方形、Ｃは不整形の土坑。ＤはＳＫ3195を貼床して作られていたようだ。円形ないし隅丸方形の土坑である。底面は平坦である。古い方からＡ→Ｄ→Ｂ→Ｃの新旧関係とみられる。

ＳＫ3179は底面平坦、やや浅く確認面から20cmの深さである。いわゆる中央にピットを持つ円形の土坑である。

ＳＫ3195はグリッド９－96に位置する。ＳＫ3117やＳＴ3812と重複する。規模は長径68cm、短径55cmを測る。楕円形を呈し深さ35cmの土坑である。底面はやや凹凸がみられ周辺に３基のピットを有する。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は深鉢片や礫がある。

ＳＫ3130（第448図）

グリッド10－98に位置する。ＳＴ4127内に所在しＳＫ3338と切り合う。平面形は円形を呈し、規模は長径1.64m、短径1.52mを測る。深さは27cmのやや浅い土坑である。底面は平坦である。

遺物は深鉢片と３～９の尖頭器・石錐・凹石・磨石などがある。

ＳＫ3131（第449図）

グリッド10－99に位置する。ＳＴ4127内に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.08m、短径56cmを測る。深さは65cmのやや深い土坑である。壁は南側でオーバーハングしている。底面は平坦である。当初はフラスコ状を呈していたものとみられる。覆土は黒褐色シルトを主体とする。

遺物は１～３の深鉢や４の砥石などがある。

ＳＫ3150（第450図　写遺構－186　写遺物－95）

グリッド８－100に位置する。ＳＴ3703の北側、調査区北端に所在するフラスコ状土坑である。平面形は円形を呈し、規模は径１m、深さ37cmを測る。壁は全体でオーバーハングし底面は平坦である。覆土は黒褐色土を主体とし遺物が多量に廃棄された状態で出土した。

遺物は１～９の台付鉢・深鉢や10の石鏃がある。

ＳＫ3151（第451図）

グリッド８－99に位置する。ＳＴ3703の北側に隣接する不整楕円形の土坑である。規模は長径1.25m、短径1.2mを測る。深さ35cmのやや浅い土坑である。底面は平坦で断面Ｕ字形を呈する。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は１・２の深鉢片や３・４の石鏃・石匙がある。

ＳＫ3154（第452・453図　写遺物－66）

グリッド９－97・98に位置する。ＳＴ3703内に所在する楕円形の土坑である。規模は長径1.77m、短径1.35mを測る。深さ50cmのやや深い土坑である。底面は平坦だが北東部に径30cm、深さ35cmのピットを有する。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は１～16の半截竹管文の台付鉢や17～21の石器・凹石が出土している。